

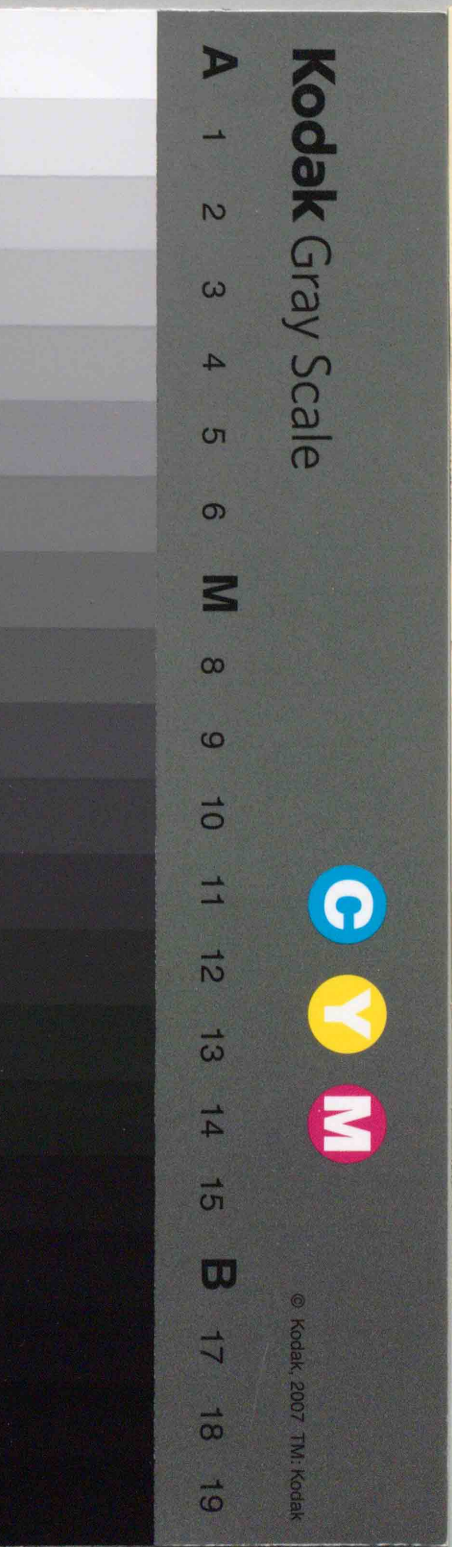
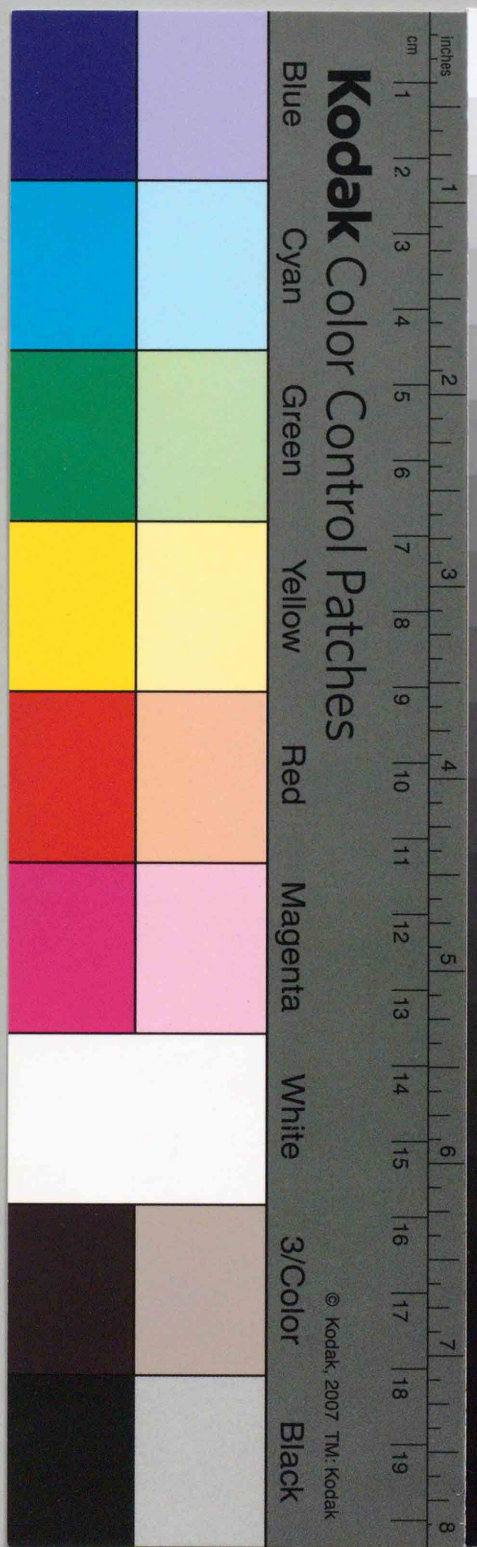
等中子女
理地本日

著爾啓中田

據準目要授教新

版大 堂省三京東

教
4
20



42887

教科書文庫

| |
|---------|
| 4 |
| 29.1. |
| 42-1938 |
| 20000 |
| 24194 |



© Kodak 2007 TM: Kodak



日三月二年三十和昭
濟定檢省部文
用科理地校學女等高

教科書文庫

4

291

42-1938

2000024194

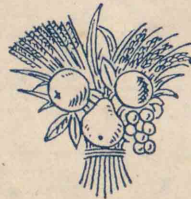
資料室

3289
Ta14

等中子女
理地本日

授教學大科理文京東
授教校學範師等高京東
著爾啓中田

據準目要授教新



阪大 堂 省 三 京東



東北日本の湖（十和田湖）（石井柏亭氏筆）



南國の港（臺灣の高雄）（石川寅治氏筆）

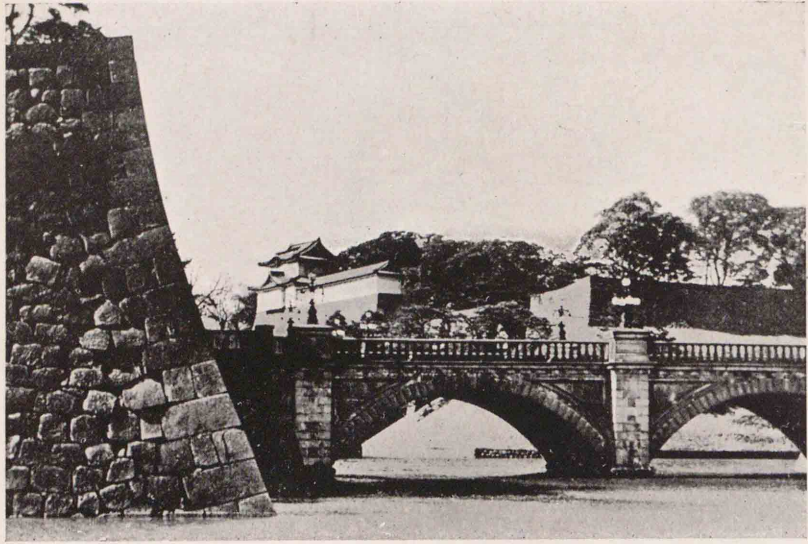
廣島大學
圖書印



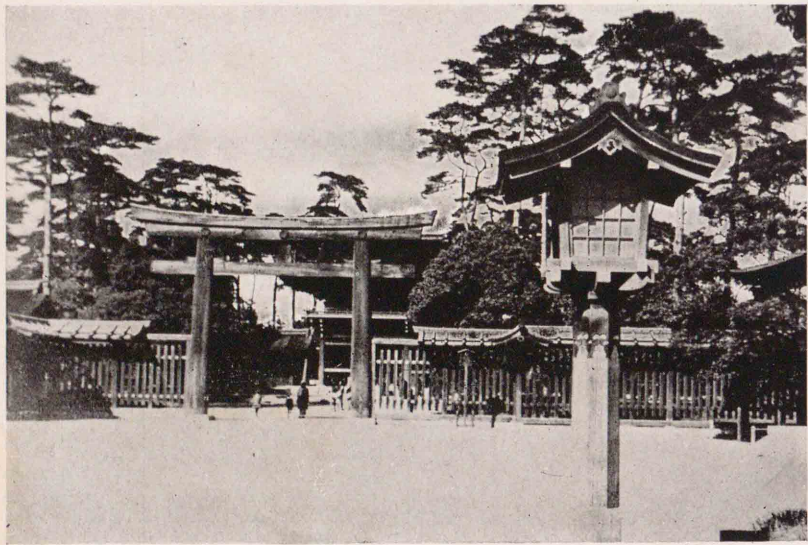
広島大学図書

2000024194

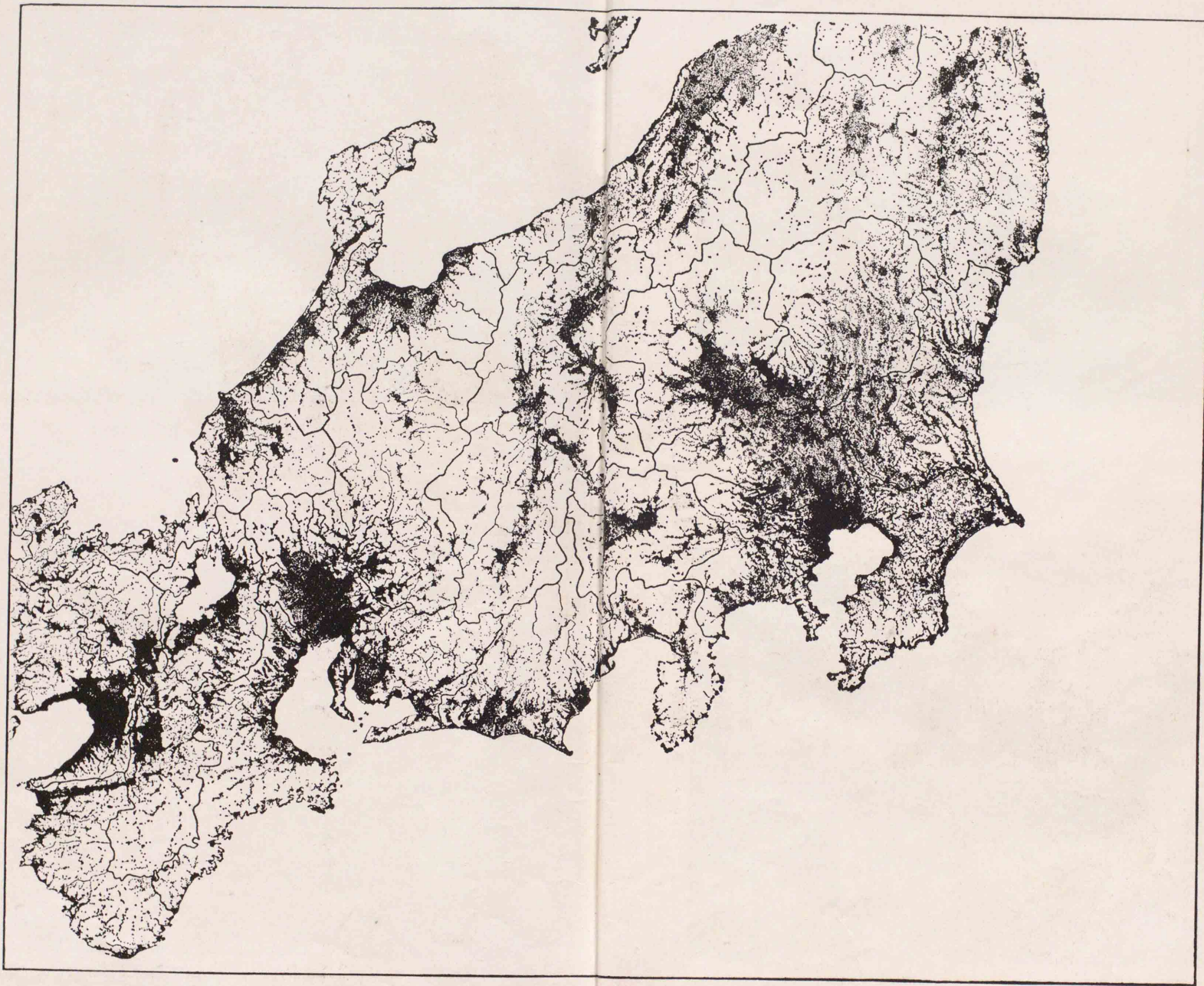




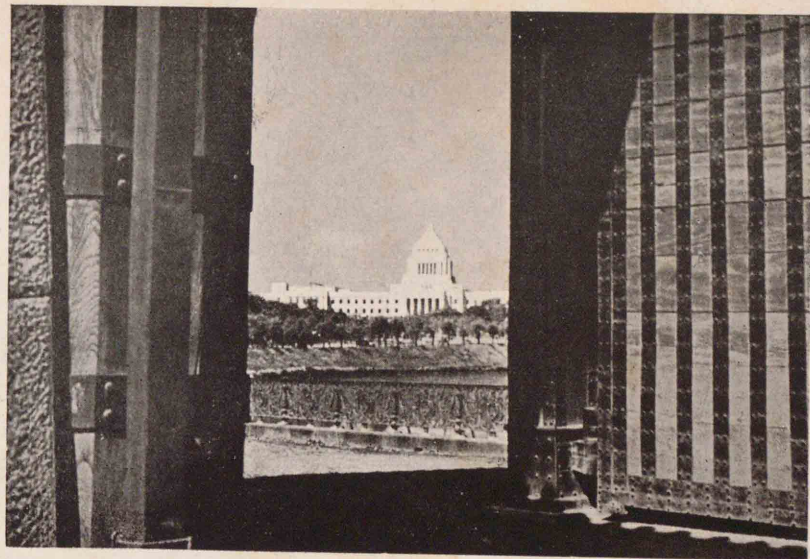
宮 城



明 治 神 宮



關東・中部・近畿地方の人口分布（各點大一萬人、中五千人、小二百人）



帝國議事堂



精進方面より観たる富士山

緒言

本書は高等女學校新教授要目に準據して編纂し、拙著^{女子}外國地理と姉妹篇をなす。編纂に當つては、我が國の自然及人類生活の情態を理會せしめ、兩者の相互關係を明らかにし、特に人類が自然を利用開發して各地の文化を形成せる所以を知らしめ、我が國民性・國民生活・國勢發展の因由を明瞭にし、國民精神を涵養し、國家の興隆と民族の發展とに資することに力め、以て新教授要目の趣旨に適合せしめんことを期した。

編纂上特に留意した點を擧ぐれば左の如くである。

一、本書は初等教育の地理書との連絡については徒らに重複することを避け、同一教材を説く場合にもその内容を深めて有意義な取扱をすることにした。

一、初等教育で、地方に大別して説述された後を受けて、各地方を詳説するに、數多の地理區に分つて説き眞に地理的價值ある知識の内容を増すことにした。

一、各地方誌に於て最初に地形・氣候等の自然を説くにはそれ／＼、地形區・氣候區により、且つその場合人文との關係については一言も言及せず、處誌を述べる時に到つて、人文とそれ等との關係を學習者に發見せしめ、最後に人文の節に於て歸納的に統括した。

- 一、卷末の總説の篇に於ては各地方別に習得した知識の相互の關係を系統づける點に重きを置き、すべて歸納的に説述した。
- 一、記述は單に羅列的にせず、能ふ限り説明的にし、問題は地理的意義の豊富なものを選んだ。
- 一、各地の標式的の現象は重要視して殊に多くの紙數を割いた。
- 一、教材の配列については、中央日本から西南日本及東北日本へ順次に説き及ぼし、地形・氣候・人文等の變化が推移のまゝ系統的に學習者に印象される如くした。
- 一、陸地測量部の地圖を挿入し、これ等によつて地理的讀圖力を養成し、將來の應用を期待した。
- 一、地形圖・氣候圖・交通運輸圖等を多く掲げたのは學習者に地理的に考察させて理法を發見させるため、ドットマップの生産分布圖を二種類併用したのはその生産地域・生産額及府縣別の産額等を知るに便ならしめるためである。
- 一、模型圖、各種の寫眞等を多く採擇して、地圖と相俟つて地理的考察力の増進をはかり、又模型圖及各種の地圖に地名を省き學習者をしてこれによつて暗射し練習させることとした。
- 一、歴史的沿革圖を挿入したのは新舊を對照し、その變化により理法を會得させるためである。
- 一、統計は出来るだけ地圖化して地理的表現につとめ、且つ圓グラフを多く挿入した。
- 一、別頁寫眞版は地理的意義の深いもの、又は我が國特有の風景美を示すに足るものを選んだ。
- 一、挿入地圖については、拙著「日本地圖」に詳かなるものは本書に於ては省略して重複を避けた。

昭和十二年七月

著者識

女子中等 日本地理

目次

序説.....一

第一編 地方誌

| | | |
|-----|--------------|-----|
| 第一章 | 關東地方..... | 四 |
| 第二章 | 中部地方..... | 二六 |
| 第三章 | 近畿地方..... | 五七 |
| 第四章 | 中國及四國地方..... | 七九 |
| 第五章 | 九州地方..... | 九四 |
| 第六章 | 奥羽地方..... | 一一二 |
| 第七章 | 北海道地方..... | 一二五 |
| 第八章 | 樺太地方..... | 一三九 |
| 第九章 | 臺灣地方..... | 一四四 |

目次



日本列島
 極北 千島
 阿頼度島北端 (北緯五〇度五五分)
 極南 小笠原島
 沖の島島南端 (北緯二〇度二五分)
 極東 千島
 占守島東端 (東經一五六度三一分)
 極西 臺灣
 澎湖島花嶼西端 (東經一八九度一八分)
 東京の位置 (舊麻布天文臺)
 北緯三五度三九分一六秒 東經一三九度四四分一四秒

目次

第十章 朝鮮地方……………一五

第十一章 關東州(租借地)……………一七

第十二章 南洋群島(委任統治地)……………一八

第二編 總說

第一章 地勢……………一六

第二章 海洋……………一九

第三章 氣候……………一七

第四章 産業……………一八

第五章 交通……………二〇

第六章 住民……………二三

第七章 政治……………二六

目次終

女子中等 日本地理

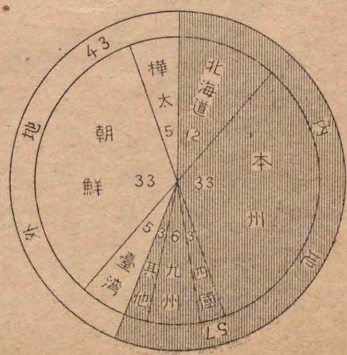
序說

位置 我が大日本帝國はアジヤ大陸の東縁に在つて、太平洋に面し、内側にオホーツク海日本海黄海及東支那海等の縁海を抱く三つの弓狀の列島と、大陸の一部である朝鮮半島とから成つてゐる。樺太の北境は北緯五十度で、臺灣の南部には北緯二十三度半の線が通過してゐる。千島の東北端から臺灣の西南端までは距離約五千料(千二百里)に及び、朝鮮半島の突出は約一千料(二百五十里)である。而して北は露(ソヴィエト聯邦)領シベリヤ、西は滿洲國及支那中華民國、南は米蘭英領のマライ群島と英米佛蘭領の大洋洲、東方は太平洋を隔てて北米合衆國及英領カナダと對する。その内陸地により直接外國と境を

●各地方面積比較
（關東州・南洋群島を除く）

| | |
|---------|----|
| 本州 | 三三 |
| 朝鮮 | 三三 |
| 北海道 | 三三 |
| 九州 | 三三 |
| 樺太 | 三三 |
| 臺灣 | 三三 |
| 關東州 | 三三 |
| 關東州 | 三三 |
| 南洋群島 | 三三 |
| 各地方人口比較 | 三三 |
| （萬人） | 三三 |
| 本州 | 三三 |
| 朝鮮 | 三三 |
| 北海道 | 三三 |
| 九州 | 三三 |
| 樺太 | 三三 |
| 臺灣 | 三三 |
| 關東州 | 三三 |
| 關東州 | 三三 |
| 南洋群島 | 三三 |
| 樺太 | 三三 |
| 關東州 | 三三 |
| 南洋群島 | 三三 |

接するのは樺太と朝鮮とに於てのみである。
面積人口 在來の本州・四國・九州・北海道を中心とし、明治の代に先づ臺灣を獲て南に伸び、次に樺太を得て北に展び、後に朝鮮を併合して大陸に擴がつた。尙關東州を租借し、南洋群島を委任統治するに及んで、益、我が政治的の勢力は遠きに及ぶやうになつた。これ等新附の土地を外れと呼び、これに對して本州島その他を内地又は本土と呼んでゐる。



我が總面積約六七萬五千平方千(四萬四)の内、本州と朝鮮とは各三分の一、北海道は本州の約三分の一、九州・臺灣・樺太は各北海道の約二分の一、四國はその二分の一に當る。
 我が國の總人口は約九七〇〇萬人である。

區劃 行政上、内地は一道・三府・四十三縣に、外地は樺太・臺灣・朝鮮・關東州・南洋群島に分たれる。本書は地理的に考察して先づ中央・日本

として關東・中部を説き、次に西南・日本として、近畿・中國及四國・九州の順に南下し、轉じて東北・日本として、奥羽・北海道の順に北上し、更に外地の樺太・臺灣・朝鮮を述べ、續いて租借地・關東州・委任統治地・南洋群島に及ぶ。

畿道別國名は慣用されることが多い。

| | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|
| 畿内 | 山城 | 大和 | 河内 | 和泉 | 攝津 |
| 東海道 | 伊賀 | 伊勢 | 志摩 | 尾張 | 三河 |
| 東山道 | 近江 | 美濃 | 飛騨 | 信濃 | 上野 |
| 北陸道 | 若狹 | 越前 | 加賀 | 能登 | 越中 |
| 山陽道 | 播磨 | 美作 | 備前 | 備中 | 備後 |
| 山陰道 | 丹波 | 丹後 | 但馬 | 因幡 | 伯耆 |
| 南海道 | 紀伊 | 淡路 | 阿波 | 讃岐 | 伊豫 |
| 西海道 | 筑前 | 筑後 | 豊前 | 豊後 | 肥前 |
| 北海道 | 渡島 | 後志 | 石狩 | 天鹽 | 北見 |
| | 琉球 | | | | 膽振 |
| | | | | | 日高 |
| | | | | | 十勝 |
| | | | | | 釧路 |
| | | | | | 根室 |
| | | | | | 千島 |

第一編 地方誌

第一章 關東地方

| 行政區劃 | 管轄國名 | 府縣名 | 廳所在地 |
|------|----------------|------|------|
| 東京府 | 武蔵一部・伊豆諸島・小笠原島 | 東京府 | 東京市 |
| 神奈川縣 | 武蔵一部・相模 | 横濱市 | 横濱市 |
| 埼玉縣 | 武蔵一部 | 浦和市 | 浦和市 |
| 群馬縣 | 上野 | 前橋市 | 前橋市 |
| 栃木縣 | 下野 | 宇都宮市 | 宇都宮市 |
| 茨城縣 | 常陸・下總一部 | 水戸市 | 水戸市 |
| 千葉縣 | 安房・上總 | 千葉市 | 千葉市 |
| | 下總大部 | | |

別してある。

この地方は地理的に大別すると關東平野・北境山地・西境山地の三區となる。

地勢

北境山地の東部に阿武隈山地の南端現はれ、その西南の筑波山は屹立して平野に臨み、西部には越後山脈があり、その南は那須火山脈が結合し、利根信濃兩河の流域の分水嶺に清水峠がある。那須火山脈に屬する那須岳・男體山（日光火山群）・赤城山・榛名山・淺間山・妙義

1 その東北部に越後平野、西南部に濃尾平野があるに似て東南部に關東平野がある。
2 外に伊豆諸島、小笠原諸島がある。

●日光附近模型圖 (一五頁)

●日光附近地圖 (二六頁)

●箱根山の模型圖 (二三頁)

●箱根地圖 (二二頁)

1 東京隅田以南を隅田川と稱する
2 上流は桂川、川口は馬入川と稱する

山等は何れも皆有名な山々で、温泉も亦之に伴ひ、那須・鹽原・伊香・保草津等風、に世人に親まれてゐる。

西境山地には關東山塊と秩父盆地とがある。富士火山脈に屬する箱根火山は富士山と共に富士箱根國立公園をなしてゐる。

舊大噴火口の内に神山及釣鐘型の駒ヶ岳・二子山が噴出し、その西に蘆湖を湛へ、早川は峽谷をなして山壁を破つて流出してゐる。その溪谷に強羅宮・下塔・澤湯本等の温泉がある。神山の東腹の大涌谷は火山活動の餘勢を示してゐる。

關東平野 河流は北境及西境山地から發し、利根川は支流の碓氷川・渡良瀬川・鬼怒川等を扇狀に集めて關東平野の中央を對角線狀に東南流して銚子半島に於て海に注いでゐる。下流には印旛沼・霞浦北浦及水郷十六島を含む湖沼地方があり、關東平野は主としてこの流域が占めてゐて、その分流江戸川は東京灣に注いでゐる。これより東北の那珂川と西南の荒川・多摩川・相模川とは利根川を軸にして向ひ合つて弓なりの流路をとつてゐる。

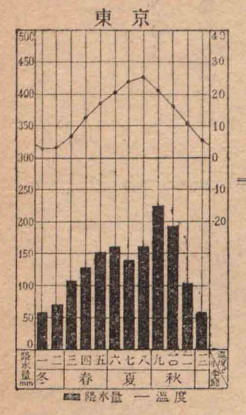
1 濃尾・越後・筑紫の諸平野に比べると臺地が割合に多い

●東京の地形
約二十萬分の一等高線は五米毎である

關東地方

平野は一般に低平ではあるが、武藏野臺地・常總臺地の如き臺地と河の兩岸の幅の狭い低地とより成る。

南部の房總三浦の兩半島は浦賀水道により切り離された丘陵性の地塊である。海岸は東京灣・浦賀水道・相模灣の諸灣入と房總三浦の兩半島の突出とが著しい變化を與へてゐる。古い地塊の一小片である銚子半島を核として



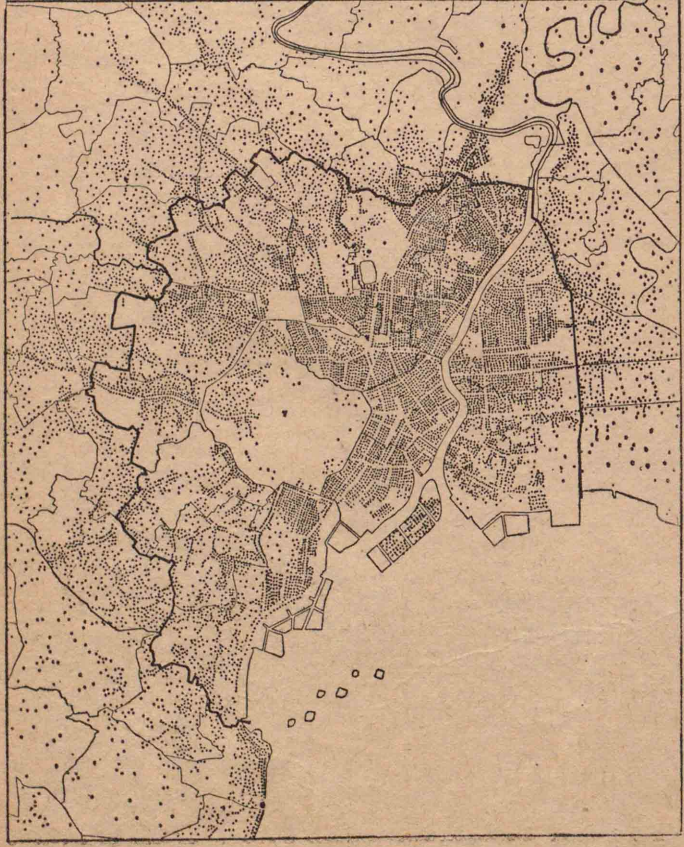
●東京の人口分布
十五萬分の一 (各點二百人)
●黒太線は舊市界
●東京の氣候(上) 年平均氣温 (攝氏)
八月 同 一三・九度
一月 同 一五・五度
年降水量 一五七四耗

關東地方

弓狀の砂濱九十九里濱及鹿島浦が南北に發達し、相模灣沿岸にも同じ砂濱がある。南部は關東大地震で甚だしい災害を蒙つた所が多い。

氣候 此の地

方は表日本に於ける氣候の良好な地帯の東端を占め、殊に南は海に面し北に丘陵を負へる湘南地方と房總半島の南部の如きは頗る

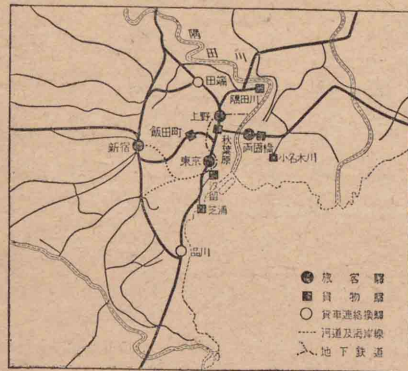


【東京】

●東京昭和通
(下右)

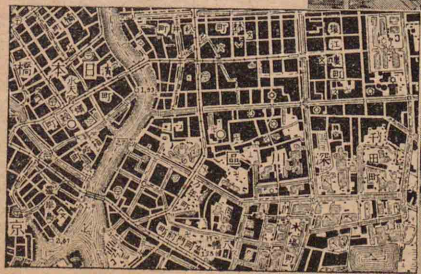
●東京市の交通網
(上)

●東京の工業區
●商業區・官廳區
●宮城住宅區
●測(七萬五千分の一)(震災前)(次頁に續く)(下左)

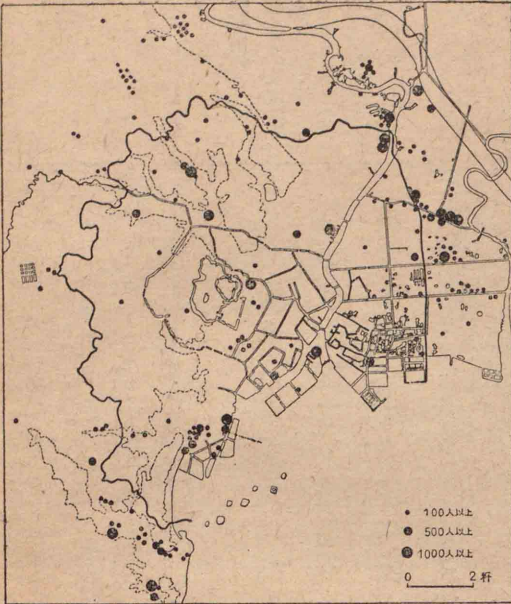


●旅客發着
●貨物發着
○貨車通線
— 河運及海岸線
— 地下鉄道

溫暖である。又冬は北境山地によつて裏日本の深雪地方と境されてゐる。
【處誌】 京濱地方 (1) 東京市 東京灣頭の低地と武蔵野臺地の東部に跨る地域を占め、近時接續町村を編入して三十五區、人口約六百萬を有する大都市となり、新日本の政治・經濟・交通・學術及軍事等の中心をなす。宮城・上野公園等は、その低地に臨んでゐる臺地末端の形勝な位置に設けられ、所謂下町(低地)は日本橋・京橋等の商業區と江東の工業區とを含む

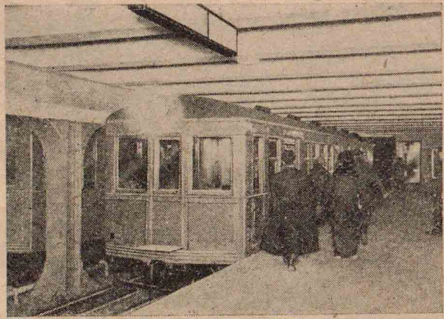


●東京の地下鐵道
●東京の工場分布
●點線は臺地と低地との境界



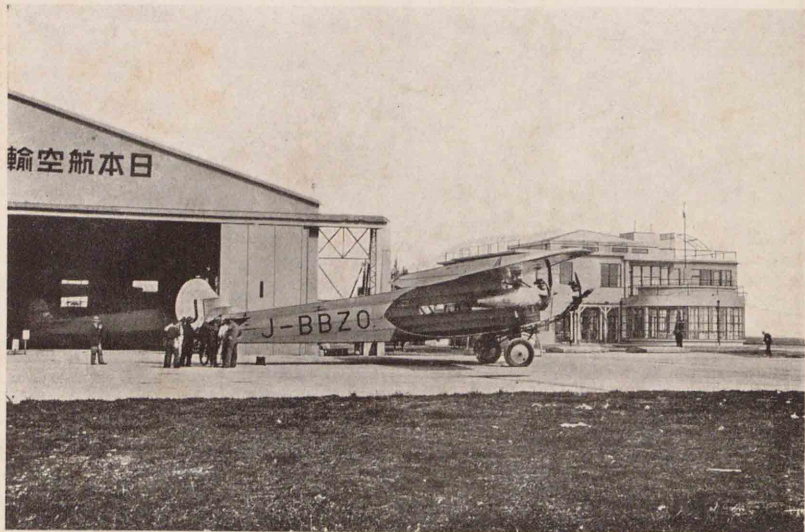
● 100人以上
● 500人以上
● 1000人以上
0 2 軒

み・山手(臺地)は麴町・四谷・赤坂・芝・淀橋・澁谷等の住宅區であり、丸の内・霞ヶ關附近は官廳區・事務所區である。德川幕府三百年間の所在地として發達した江戸が、更に新日本の



の帝都として近代的に改造せられ、宮城を始め官廳・學校・會社・商店・娛樂設備等備はらぬものは無い。各種新式工業も盛で、川崎市を仲介にして横濱と共に京濱工業地帯を形成してゐる。

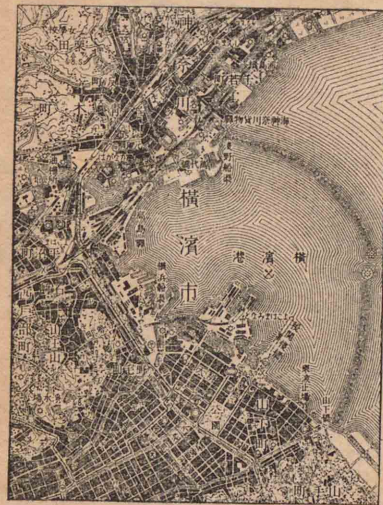
東京驛は西南日本へ、上野驛は東北日本へ、新宿驛は中



東京航空港（旅客機と格納庫と待合所）



清洲橋



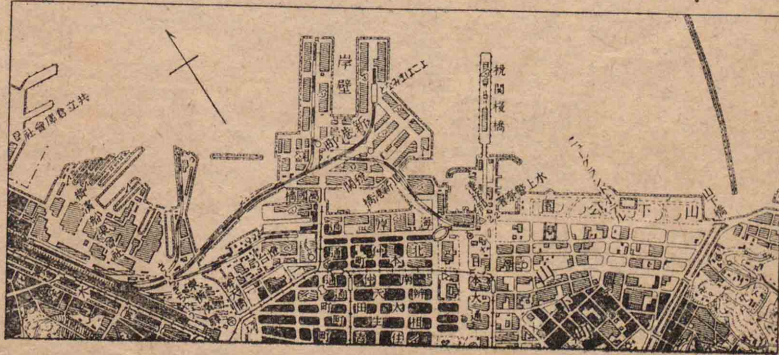
【神奈川】
 ●横濱港及臨海市
 街部（陸測）三
 萬分の一（下）
 ●横濱（陸測）震
 災前（上）
 七萬五千分の一

關東地方

中央高地への門戸であり、山手線は大都市の模式的環狀線であり、地下鐵道も次第に延長しつつある。
 大正十二年關東大地震のため甚だしい災害を蒙つたが、急速に復興したのみでなく、面目全く一新し都市美の躍進を見た。

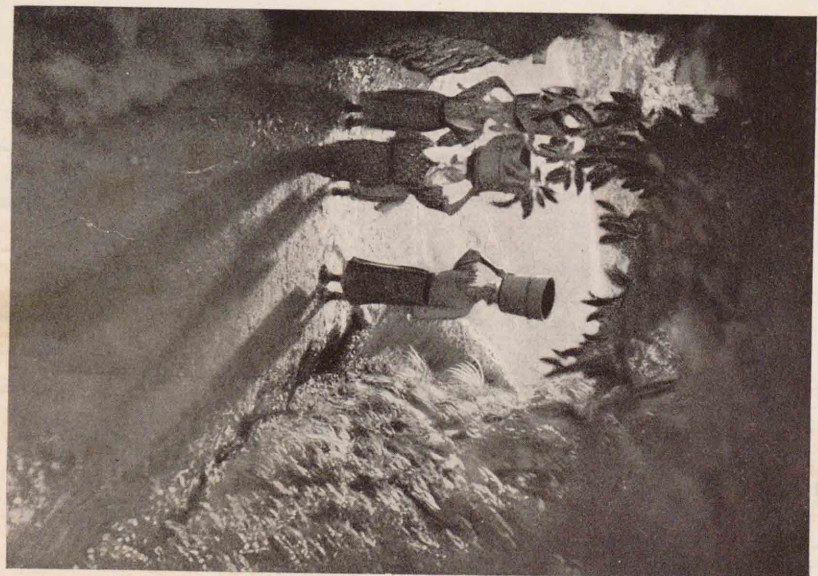
(2) 横濱市は東京の外港で、又日本東半部の關門で、我が國三大貿易港の一つである。貿易は後背地の生絲及絹織物の輸出を特色とする。

三浦半島の東岸の横須賀市は東京にとつて樞要な軍事的港市にして、東京灣口に位置し、小出入に富み海岸は直ちに深く、軍港としては附近稀に見る好適地で、海軍鎮守府及工廠があり、巨艦を造



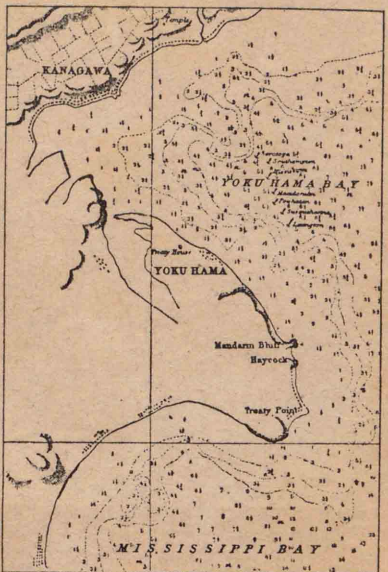


夜の銀座



伊豆大島の椿の路に於ける水汲女

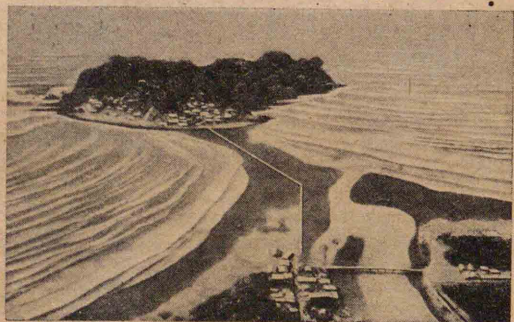
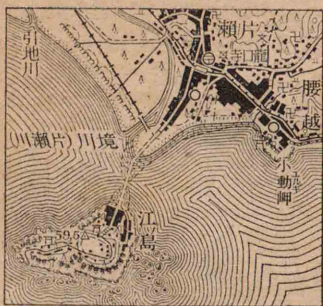
●ベルリの測量によつてできた横濱の古圖 (上)



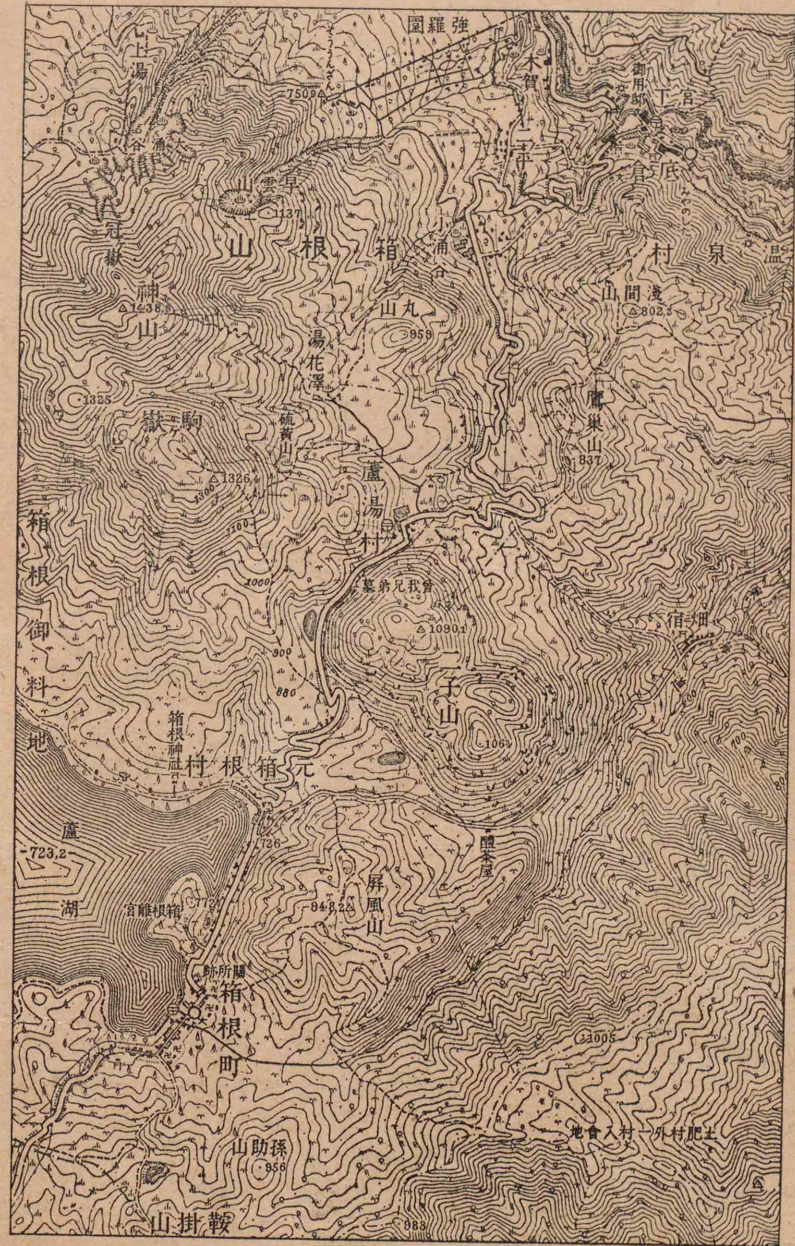
●飛行機から見た江ノ島 (下)

●江ノ島(陸測) (中)

つ京濱に近いため、葉山、逗子、鎌倉、平塚、塚市、大磯、國府津、小田原等が休養地帯として早く開け、平塚市は工業も行はれる。箱根は東京に最も近い變化多く趣味深い火山であつて、數多の温泉を伴ひ、風光明媚で、また史蹟にも富み理想的の



關東地方



關東地方

〔神奈川・東京・埼玉・群馬・栃木〕

●箱根山の模型 (上)

●鞍掛山から見た箱根 (下)

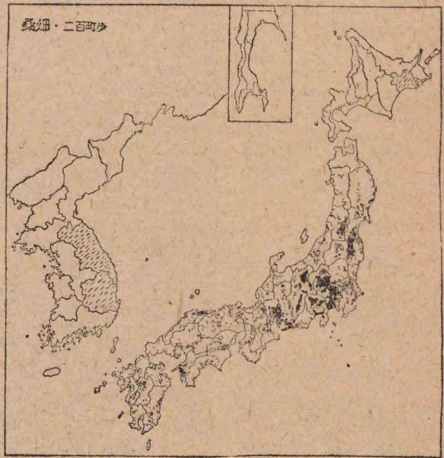


休養地である。西部及西北部山麓地帯は關東山塊の東麓及榛名赤城兩火山の南麓地方で、桑畑多く、養蠶が主な産業の一つとなつてゐる。

從つて製絲業も亦到る處に行はれ、前橋市・富岡・熊谷市等はその中心である。絹機業地として有名な足利市・桐生市・伊勢崎・秩父・八王子市等は皆この内に含まれる。この地域は關東の養蠶地帯であ

關東地方

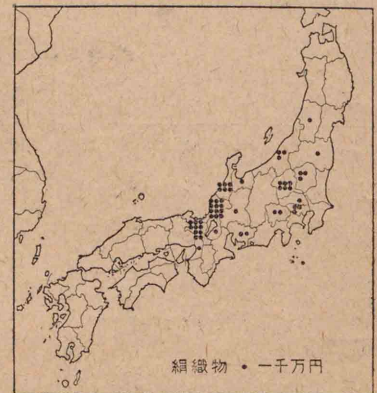
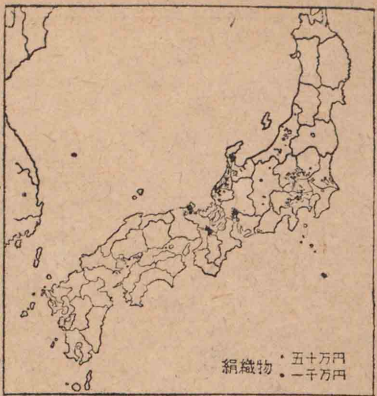
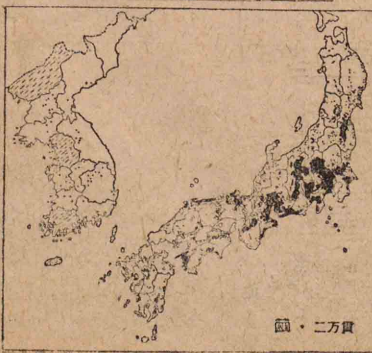




●關東平野西北部の桑畑の分布 (中)
 1 佐野は絹綿交織物及綿織物を産する

高崎に接近して前橋市があるが、これは繭生絲の集散地であり、又縣政の中心でもある。兩毛線は山麓にある製織都市伊勢崎、桐生、市、足利市、佐野等と栃木市とを連絡し

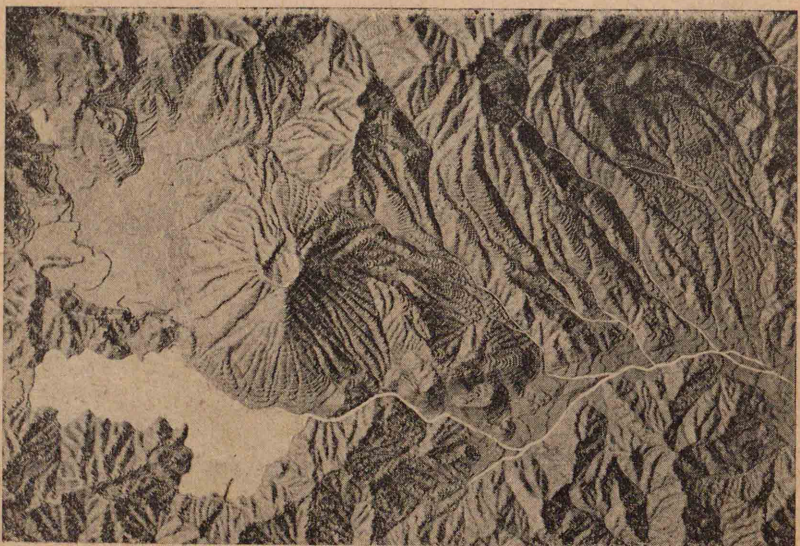
ると共に絹織物業地帯である。八王子市は山麓の要地で、秩父は秩父盆地の中心、所澤、立川には飛行場があり、川越市は川越諸の稱ある甘藷生産の中心地である。高崎市は關東平野の西北隅にあつて、中央高地の東縁の麓に當り、高崎線、信越線、上越線、兩毛線等の結合點であつて、交通の焦點である。



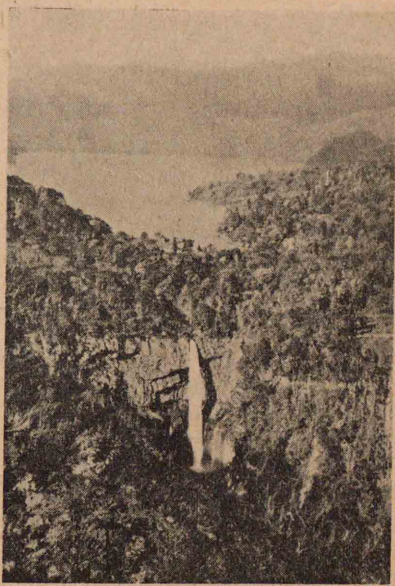
【栃木・茨城】
 ●日光の模型(下)

て小山に達してゐる。

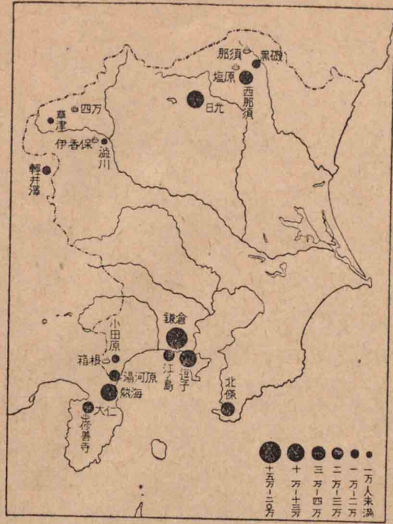
北部山麓地帯の中心は宇都宮市で、市は干瓢の集散地、鹿沼は大麻の集散地である。日光は自然と人工との美をよく調和した日光廟のある所、町はその門前町で、大谷川の谷の口の今市から上り来る参拜道に



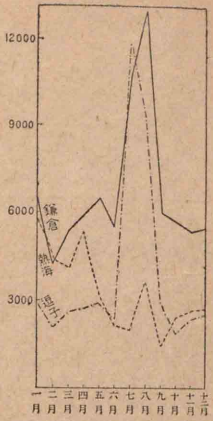
- 華嚴ノ瀧(右上)
- 日光附近の地形(陸・湖)七萬五千分の一(下)
- 京濱より休養・遊覽地帯への一ヶ月降車人員(左上)
- 〔埼玉・群馬・栃木・茨城・千葉〕



は有名な杉並木がある。日光山地は日光国立公園と稱せられる。中禪寺湖・華嚴瀧は自然の美景である。箱根と共に観光客が多い。平野の東部は



煙草の産地で、太田・烏山・茂木はその中心地である。那須野は新開墾地である。中央及東部平野は利根川中流及下流を主とした地域で、米を産するが、臺地が多いため、麥作も盛である。煙草の栽培も亦行はれる。銚子野・田の醬油・流山の味醂、佐原の酒、土浦の醬油等

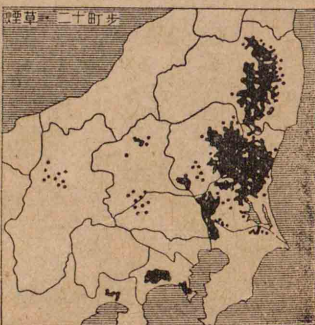
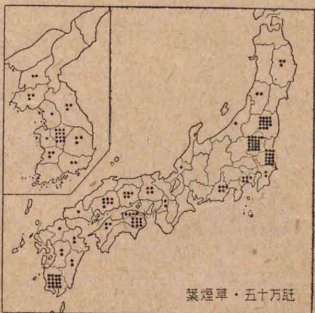
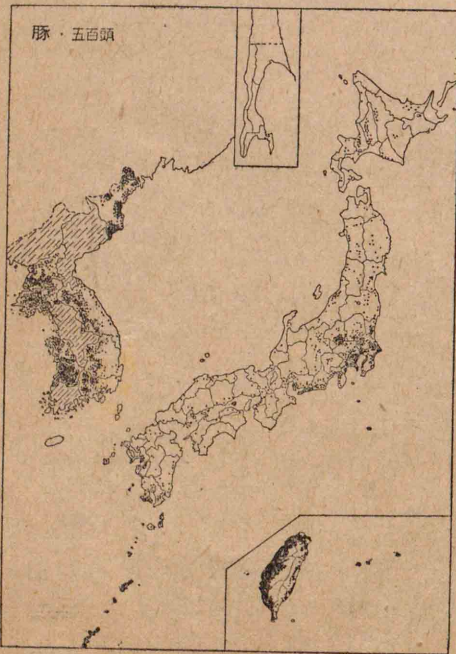


●主要休養地驛二等降車客數月別表 (上)

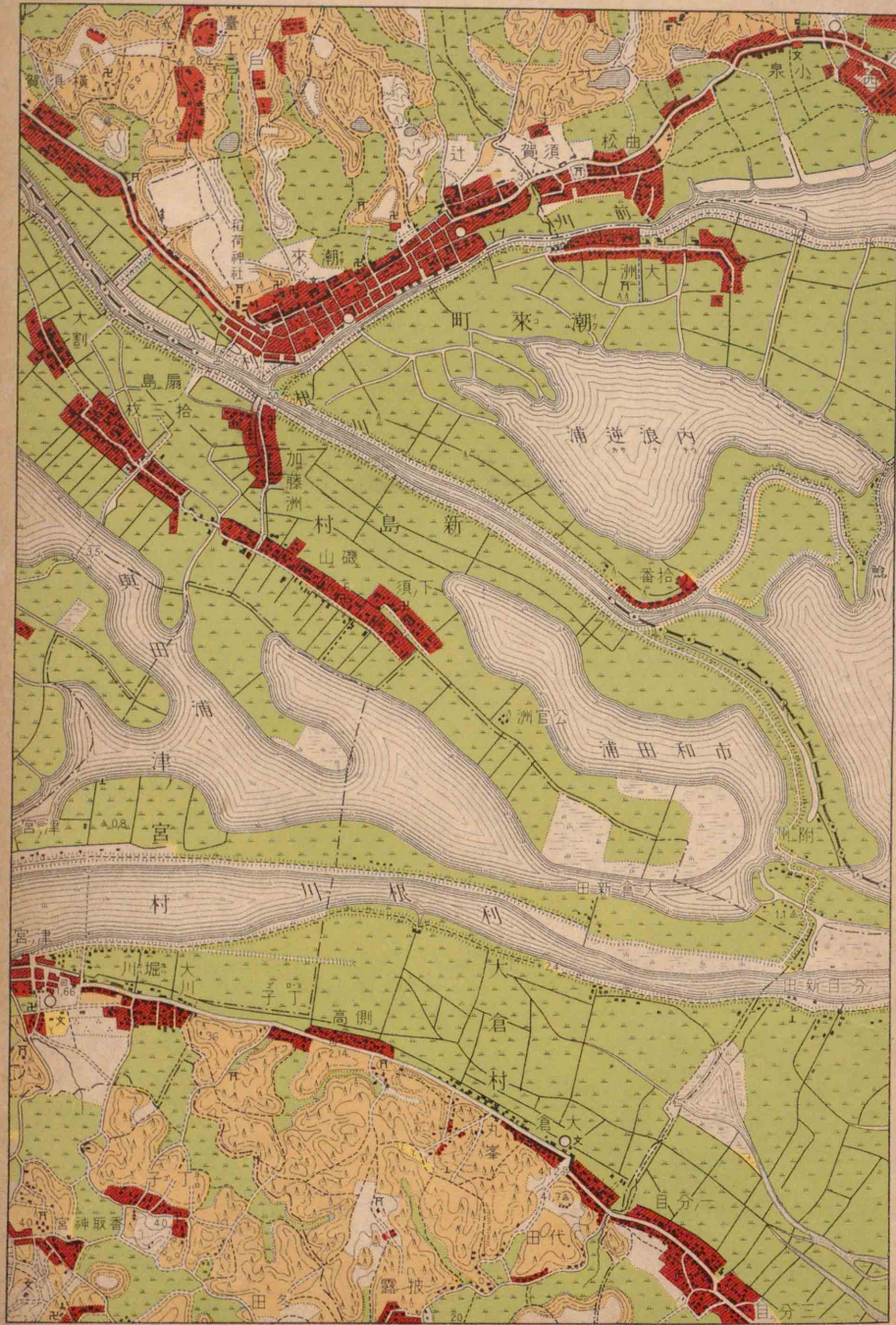
1 豚の飼料には搾り糟を使用するものが多い

2 偕樂園公園の景は世に名高い

醸造業が盛で、養豚も亦此に伴うて行はれてゐる。養鶏が養豚と共に盛なのは京濱に近いにもある。浦和市は縣政の中心地、川口市は鑄物の工業地、大宮は鐵道の分岐點で、又鐵道工場がある。結城は紬の名産地である。水戸市は水戸徳川家の舊城下町、史蹟名所に富み、太田は煙草産地の中心である。利根川下流地域の湖沼地方の低地は水郷

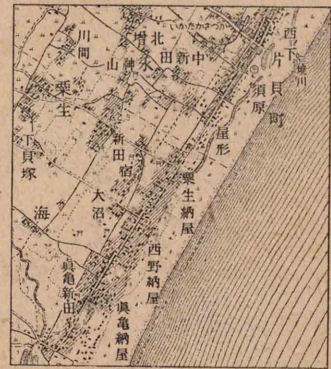
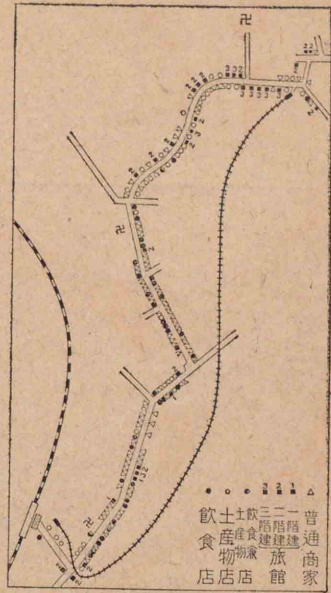


利根川下流低地の土地分類圖



● 集落 ■ 水田 □ 畑 ■ 桑畑 ■ 森林

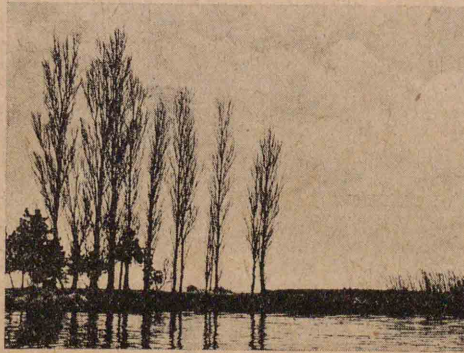
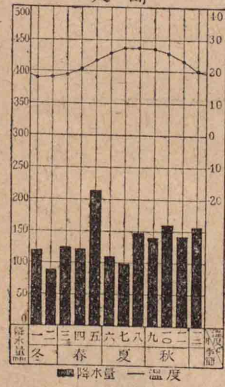
關東地方

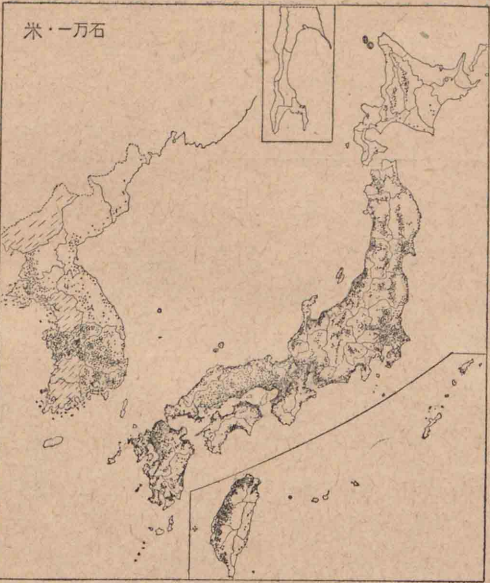


の景觀を有してゐる。湖沼地方の交通の中心は佐原で、土浦亦湖頭的好位置にあり、繭の集散が多い。銚子市は著しく突出してゐるので漁

- 成田の門前町 (上)
- 1 附近に香取・鹿島の兩神宮がある
- 九十九里濱(陸測)七萬五千分の一 (右中)
- 水郷風景 (下)
- 2 醫大

港に適し、且つ大吠崎燈臺及無線電信局がある。常總臺地の南部には雑木林が多く、又原野もあつて、その一部の習志野の如きは軍用地として利用されてゐる。千葉市は縣政の中心で、その西に新興の市川市及船橋市がある。東京及附近の信仰地として成田があり、不動を祀





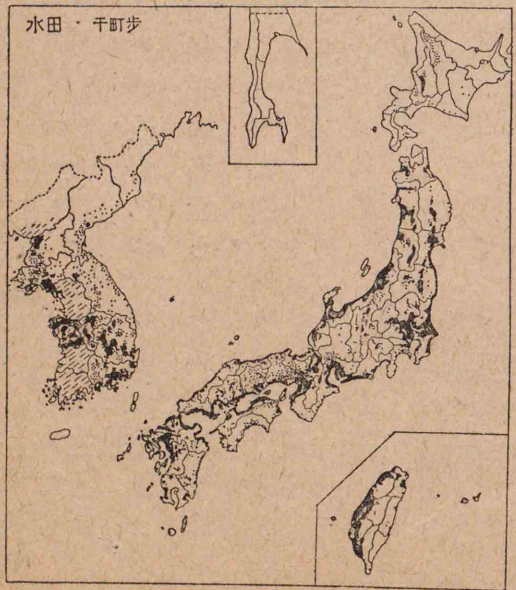
【千葉】
1 館山には海軍航空隊がある

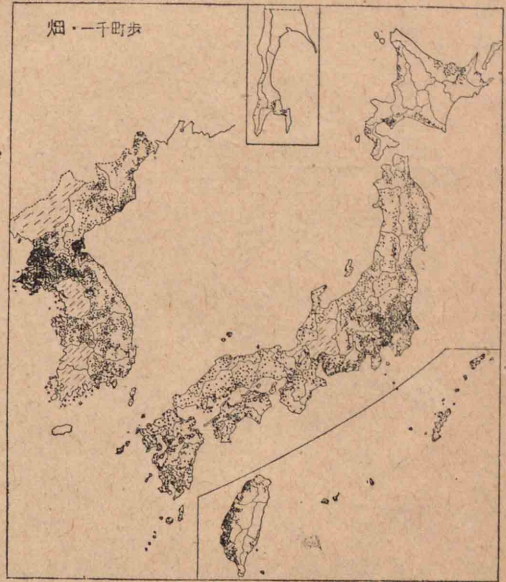
漁業の根據地に適し、沿岸の勝浦、その他の漁港からは銚子及三浦半島の三崎と共に京濱に生魚の供給をする。

伊豆諸島及小笠原諸島は略南

關東地方

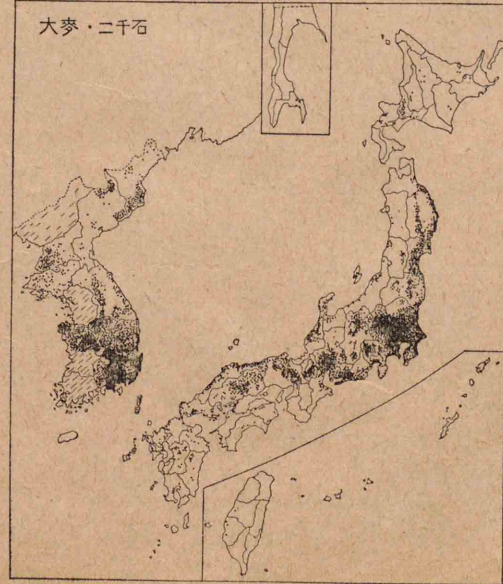
る所で参拜者多く、門前町としては模式的の發達をしてゐる。
九・九里濱には幾多の漁村が連つて、鱈漁業が特色である。
房總半島は休養地・乳牛飼育地・促成栽培地として知られ、又突出してゐるため沖





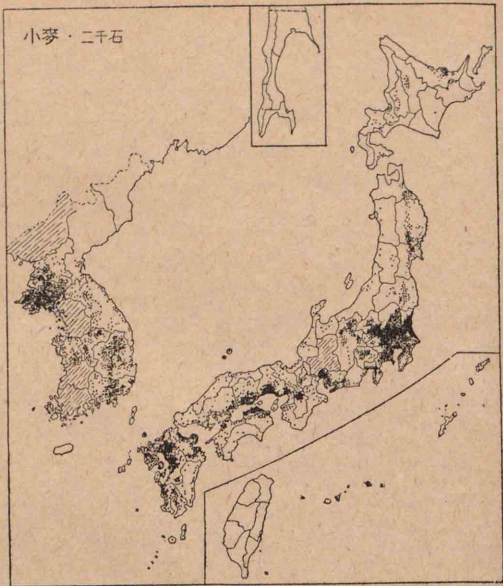
ナ・群島に延びてゐる。南するに従ひ、低緯度となり、且つ黒潮の影響を受けるので、氣温高く、小笠原諸島に至つては熱帶性氣候となる。従つて生物皆本土と異なる。

北に羅列し、太平洋中に隆起してゐる列島である。伊豆諸島の大島には活火山三原山、八丈島には八丈富士があつて、大島の椿油と八丈島の八丈絹とは名産として知られてゐる。小笠原諸島は父島、母島等から成り、その南は硫黄島を経て、委任統治地のマリアナ

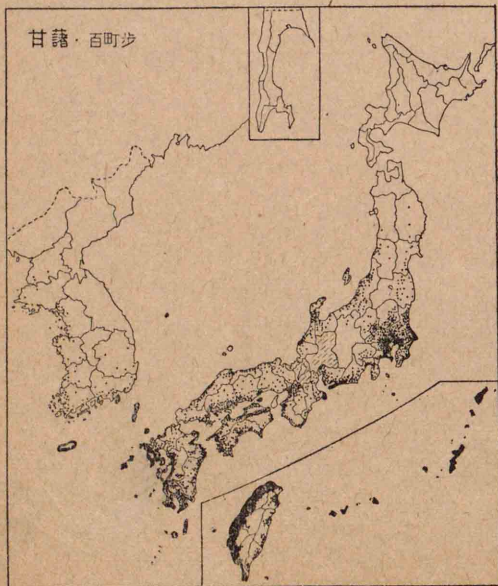


景觀を呈し、甘蔗、パイナップル、バナナ等を産するなど、臺灣と似てゐる。父島の二見港は太平洋中に於ける我が國の重要港で、太平洋横斷の海底電線もこの地で伸繼する。平野が最も廣大であるから、農業が

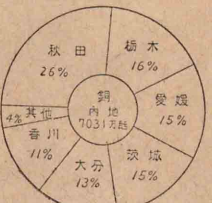
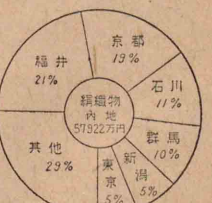
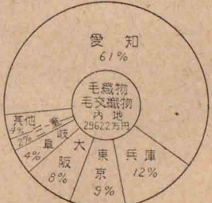
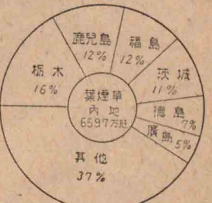
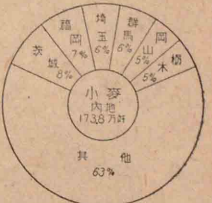
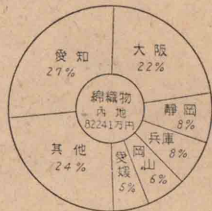
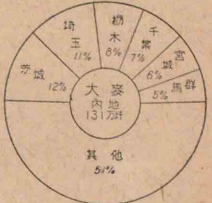
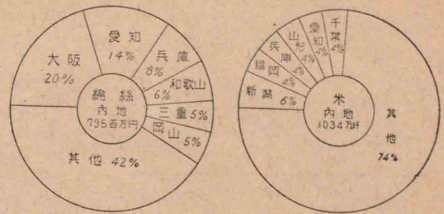
産業



部分をも占めてゐるので、灌漑の便が少いため、米作よりも麥作(天麥、小麥等)が盛で、従つて麥は多く他地方に移出される。甘蔗、煙草は全國生産地帯中、東部に於ける最



1 父島には海軍の無線電信局があつて、本土及洋上の艦船と通信する。
● 米圓グラフ (二二頁)
● 大麥・小麥圓グラフ (二二頁)

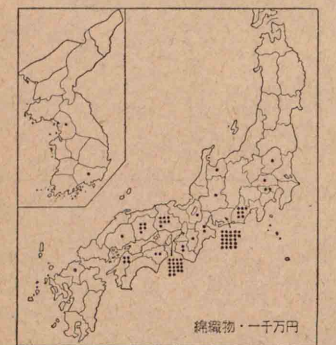
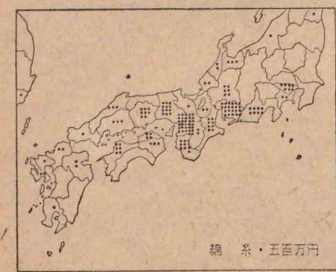
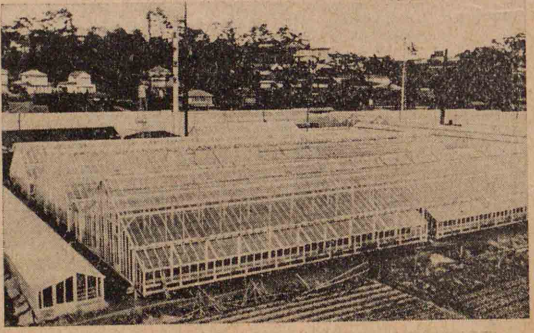


- 1 川越芋の種がある
- 2 秦野盆地
- 甘藷園グラフ (二二頁)
- 葉煙草園グラフ (二二頁)
- 乳牛園グラフ (一九九頁)

で、西部及西北部の山麓が一大中心地である。鯉鮪の沖漁業は銚子及等は東京及其近縣に於て殊に盛である。に於て大規模に栽培され、温室栽培も行はれ、氣候の暖い湘南地方及房總半島では冬季の露地栽培も行つてゐる。桑園多く養蠶では我が國の代表地域の一部

- 東京多摩川畔の温室村
- 銅園グラフ (二二頁)
- 絹織物園グラフ (二二頁)
- 生絲園グラフ (五一頁)

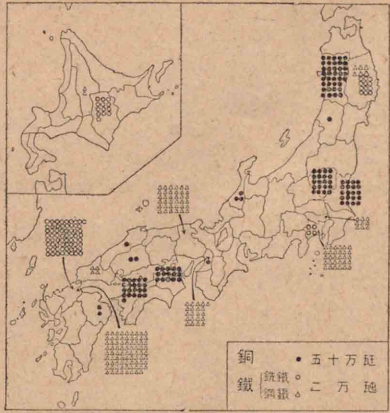
南方の二半島の三崎勝浦を根據地とし、鱈の濱漁業は九十九里濱が盛である。東京灣頭の淺瀬は淺草海苔の養殖成育に適してゐる。野菜と生魚の供給の多いのは大都市の影響である。日立と足尾とは共に有名な銅山で、日立は銅の外買鑛による金銀の産額も多い。石炭は常磐炭田の一部から産し、建築石材も亦各所に出る。山麓は製絲(前橋)絹機業(桐生足利八王子)共に極めて盛



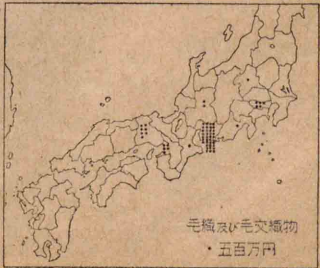
である。絹織物の外、綿織物、絹綿交織の如きも山麓及中央の平野に産する。而もこれ等機業は都市のみでなく、農村に於ても副

●毛織物圓グラフ
(二二頁)
●鋼鐵圓グラフ
(二二頁)

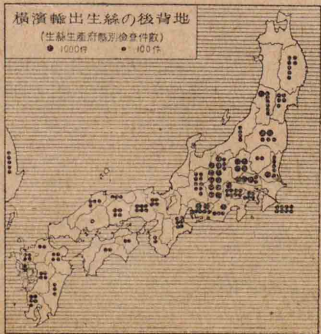
1 商圏とは商業の勢力範圍を云ふ



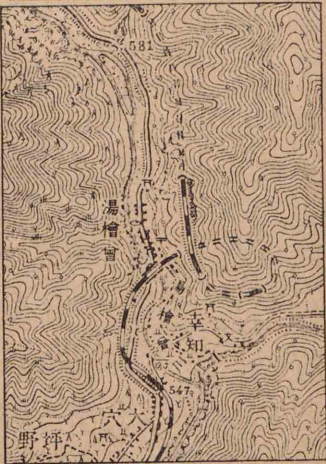
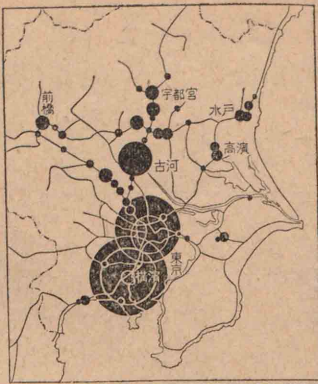
業としてこれを營んでゐる。
纖維工業 絹絲 絹織物 毛織物 メリヤス
等 化學工業 肥料 洋紙 ビール 砂糖 硝
子 藥品 石鹼 等 機械 車輛 電球 時計
自動車 麥粉 セメント ゴム 製品
菓子 雜貨の諸工業及印刷等の
如きは主に京濱工業地帯に集つてゐる。殊に印刷業は東京市内に



多く新聞圖書等の出版が盛で、文化の源をなしてゐる。
地方では各種の醸造業が比較的盛である。東京は大阪名古屋に對立して日本の東半を商圏として居り、特殊の製品については勿論全國に販路をもつてゐる。横濱港は神戸大阪兩港と對立して輸移出入の上



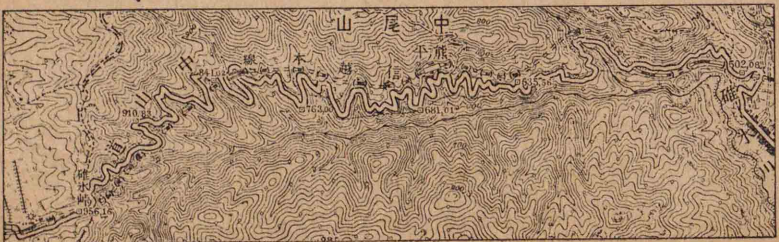
大商圏を有する。
交通 關東は

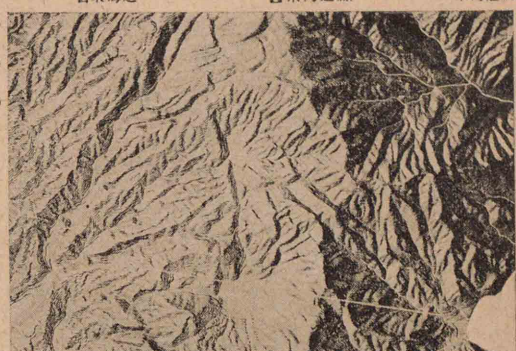
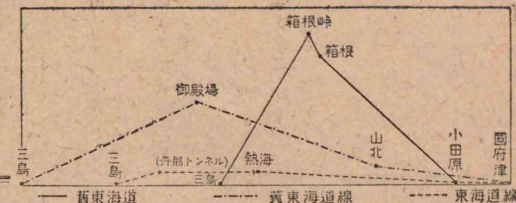


平野が廣大であるから、街道も鐵道も東京を中心として放射狀に

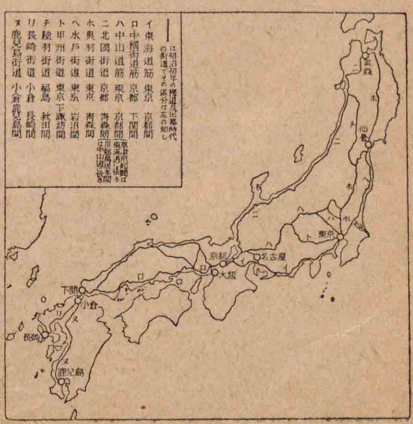
●小麦の發送地 (上)
●清水峠南斜面湯檜會(ユビソ)のループ式トンネル(陸・測)(中)
●碓氷峠(陸・測)七萬五千分の一(下)

自由に設けられてゐる。只他の地方に出る所は山地に支配される。東海道線と東海道とは我が國の最も重要な幹線で、箱根越には箱根八里の舊道以來新舊の變遷がある。箱根峠の自動車路の完成と丹那トンネルの開通とは京濱及阪神の二大中心を時間的に一層接近せしめた。中山道には高崎線信越線がかかり、碓氷峠では高原の縁を急に八百餘米も登るので、信越線はアプト式となり、中央線は小佛峠を、東北線と常磐





線とはそれ、白河と勿来の門戸を通り、越後平野との捷路として清水越の上越線も開通し、我が國最長のトンネル及二箇のループトンネルが設けられてある。その他には總武線の外に、八高線、兩毛線、水戸線、房総線等の環状線がある。



- 箱根越新舊道路の比較 (上)
- 東海道線丹那トンネル附近の模型 (中)
- 白線はトンネル (下)
- 主要街道 (下)

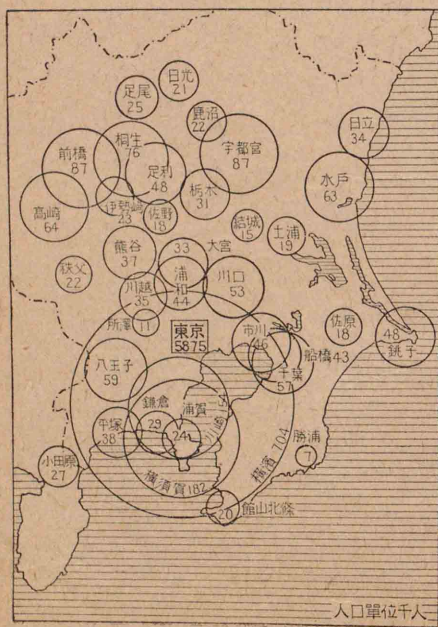
沿海線がある。省線の電化と郊外電車の新設延長と長距離電車の高速化とは年と共にその度を高めつゝある。外國航路は横濱を中心とするが内國航路は東京もその一中心である。京濱間は鐵道、京濱國道による自動車及艇船を利用するが、運河計畫もある。利根川、江戸川、隅田川及これ等を連絡する運河の如

- 1 東京中央電信局 (無線電信、電話、検見川送信所) (千葉縣)
- 小山送信所 (栃木縣)
- 岩槻受信所 (埼玉縣)
- 福岡受信所 (埼玉縣)
- 2 對滿、對米、對歐通信

●關東地方の都市人口分布

きは我が國ではよく利用されてあるものである。航空路網も國際無線電信電話網も東京を中心とする。東京中央電信局に屬する無線電信送信所は、検見川、小山等に、受信所は岩槻、福岡にあり、對内、對外通信に利用せられる。

住民 平野廣く、産業交通共によく發達し、且つ我が國政治の中心地があるため、人口密度は我が國で最も大きい地方の一つである。又養蠶地域には小聚落が多い。京濱を遠ざかつた山麓に地方中心の有力都市がある。近畿地方よりも後れて開けたけれども、今は近畿と並んで我が國の二大中心といふべきである。



問題

- (一) 東京の特色を挙げよ
- (二) 京濱を中心とした休養地帯について述べよ
- (三) 關東の境界の地形と交通との關係を述べよ

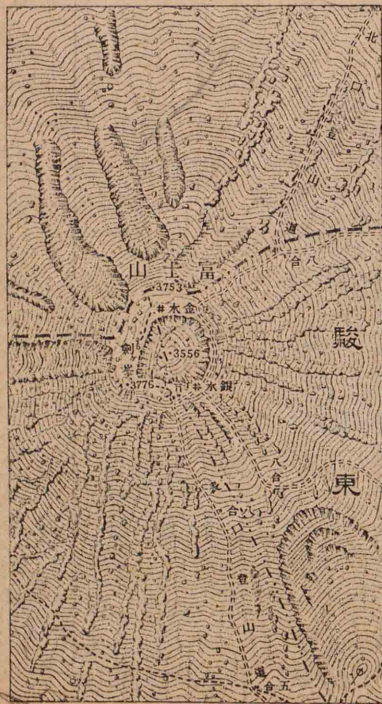
- (四) 利根川流域の自然と人文とについて述べよ
- (五) 關東の交通網について述べよ
- (六) 各府縣としての特色を挙げよ

第二章 中部地方

位置と地理的區分

この地方は本州島の中央部で又日本列島の中央でもある。地形上氣候上人文上すべて我が國の中央に於ける結合した地帯であり、相異なる東北日本と西南日本との漸移地帯である。

この地方は地理的に大別すると東海地方、中央高地、北陸地方の三區となる。郡内山地は關東の特色、若狹灣沿岸地方は近畿の特色著しく、濃尾平野は伊勢平野と、又東部山地は關東の北境及西境山地と共に各同一地理區をなしてゐる。



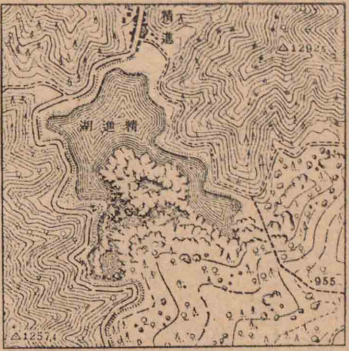
この地方は本州の最も幅の広い且つ高峻

地勢

この地方は本州の最も幅の広い且つ高峻

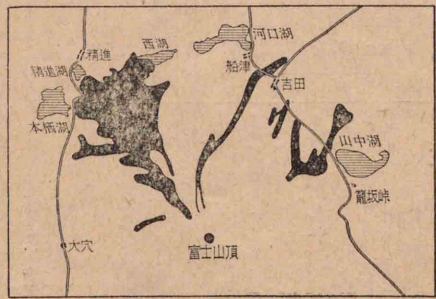
| 府縣名 | 管轄國名 | 廳所在地 |
|-----|-------|------|
| 静岡縣 | 伊豆・遠江 | 静岡市 |
| 愛知縣 | 三河・尾張 | 名古屋 |
| 岐阜縣 | 美濃・飛騨 | 岐阜市 |
| 山梨縣 | 甲斐 | 甲府市 |
| 長野縣 | 信濃 | 長野市 |
| 新潟縣 | 越後・佐渡 | 新潟市 |
| 富山縣 | 越中 | 富山市 |
| 石川縣 | 加賀・能登 | 金沢市 |
| 福井縣 | 越前・若狹 | 福井市 |

●富士山の頂上
(陸測)七萬五千分の一

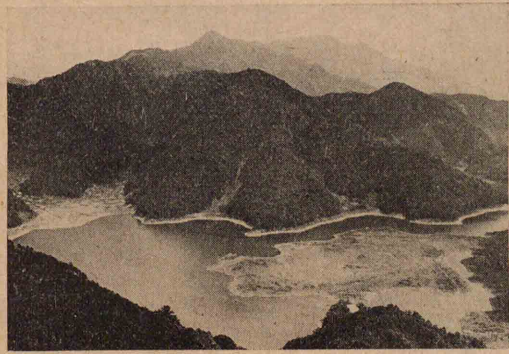


●精進湖(陸・湖)
七萬五千分の一
熔岩流がよくあらはれてゐる (上)

●飛行機から見た富士山 (下)
●精進湖 (中下)
●富士山と御坂山脈との組合にできた湖である
●富士の熔岩流 (中上)

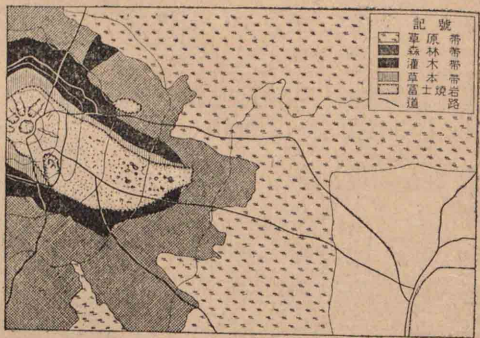


の高峰未だ開析されな
い圓錐形火
山で、岳麓の
裾合にでき
た山中湖、河
口湖、西湖、
精進湖等は風



●富士山の植物帯
登るに従ひ氣温
低下し植物帯が
變化する御殿場
及須走口を示す (上)

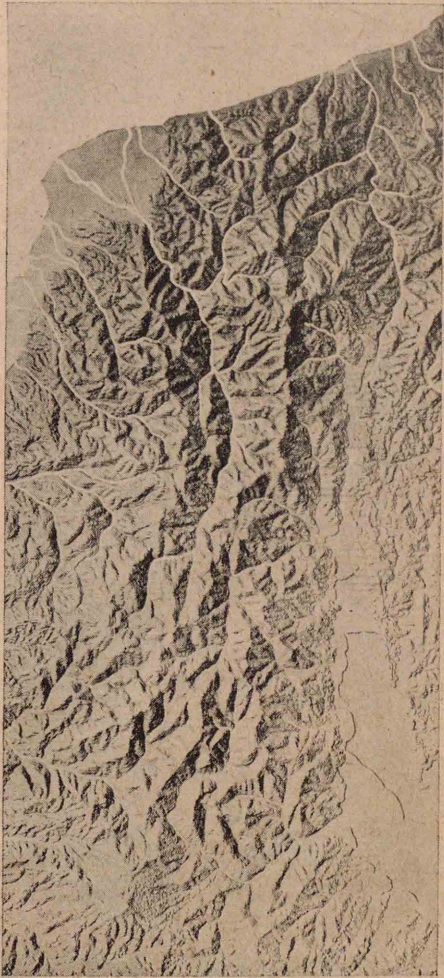
●穂高岳 (下)
高山性の地貌が
最もよくあらは
れてゐる



中部地方
境上高地がある。黒部川は立山と白馬岳との間を深く刻んで北流してゐる。この山脈の日本海に盡きる所に親不知の海崖がある。乗鞍火山脈亦これに伴ひ、御岳、乗鞍岳、及活火山、焼岳(硫黄岳)が噴出してゐる。木曾山脈は

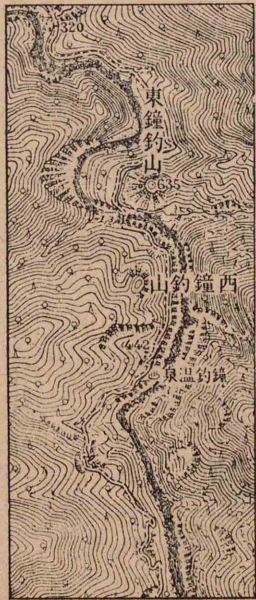


● 飛驒山脈・乗鞍
火山脈及松本平
の模型 (上)

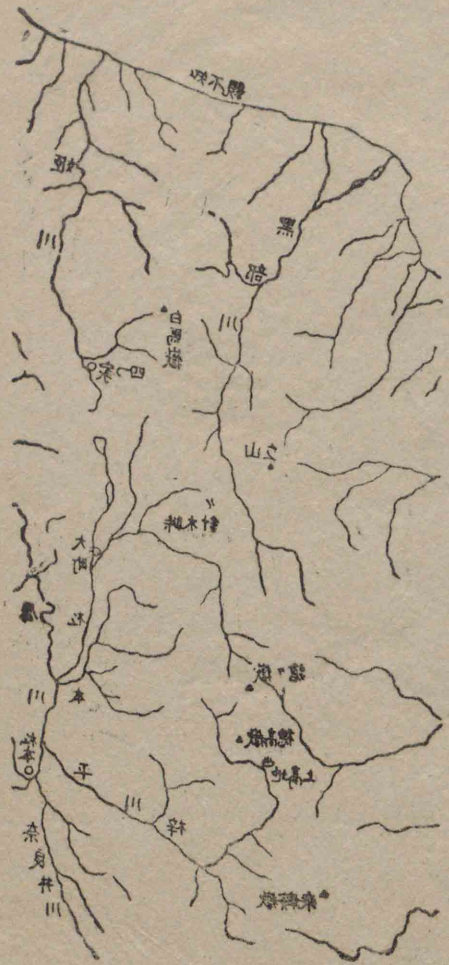


● 黒部川の峽谷
(陸・湖) (下)

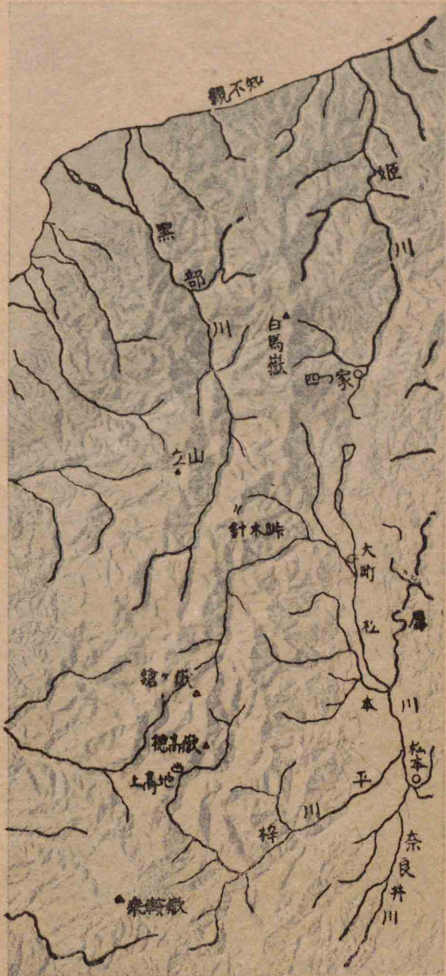
山がある。飛驒山脈と白山火山との間は飛驒高原をなしてゐる。これ等の高地の間には東に善光寺平¹、佐久平²、西に松本平³、諏訪盆地⁴、甲府盆地等の盆地があり、赤石山脈と木曾山脈との間の天龍川の流域に伊那谷がある。



花崗岩から成り、北に木曾駒ヶ岳、南に恵那山があり、赤石山脈には赤石岳、白峯



●飛驒山脈・乗鞍火山脈及松本平の模型 (上)



花崗岩から成り、北に木曾駒ヶ岳、南に恵那山があり、赤石山脈には赤石岳、白峯

●黒部川の峡谷 (陸・測) (下)

- 1 三三〇米
- 2 六五〇米
- 3 六〇〇米
- 4 七六〇米
- 5 二五〇米

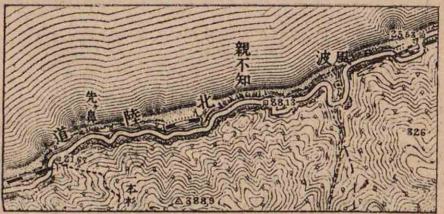
山がある。飛驒山脈と白山火山との間は飛驒高原をなしてゐる。これ等の高地の間には東に善光寺平、佐久平、西に松本平、諏訪盆地、甲府盆地等の盆地があり、赤石山脈と木曾山脈との間の天龍川の流域に伊那谷があ



●上高地 (右上) 白樺、梓川、穂高岳等があらはれてゐる



●親不知(陸・測) 七萬五千分の一 (中)



り、南方には天龍峽がある。木曾山脈と御岳との間

には狭長な木曾谷がある。

東海地方とは静岡・愛知・岐阜・三縣下の海岸地方をいひ、駿遠海岸地方では東海道式の荒川

●中央日本の盆地列と水系(左上)



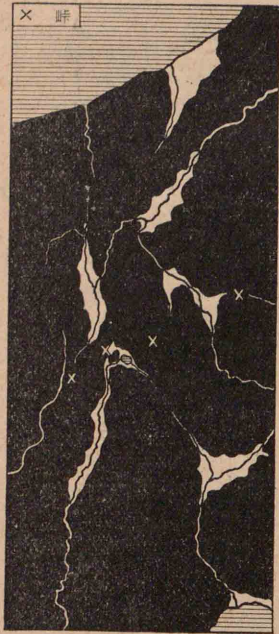
●中央日本の盆地
列と水系(左上)

●上高地 (右上)
白樺、梓川、穂
高岳等があらは
れてゐる

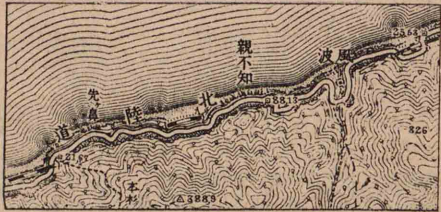
●親不知(陸・湖)
七萬五千分の一
(中)

●日本アルプス登
山 (下)

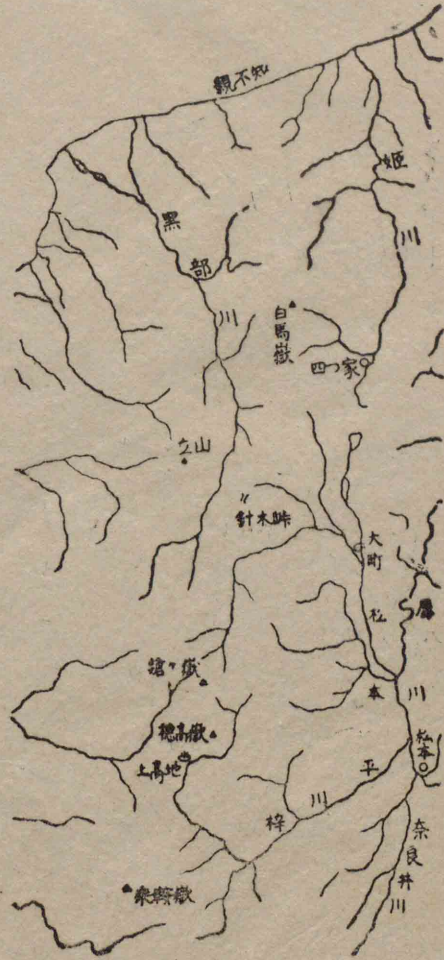
中部地方



り、南方には天龍峽がある。木曾山脈と御岳



との間
には狭長な木曾谷がある。
東海地方とは静岡・愛知・岐阜
三縣下の海岸地方をいひ、駿遠
海岸地方では東海道式の荒川





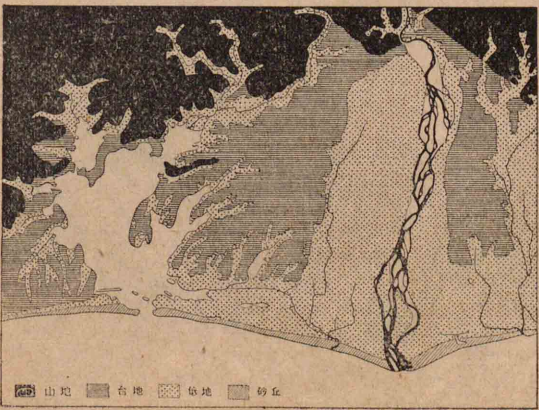
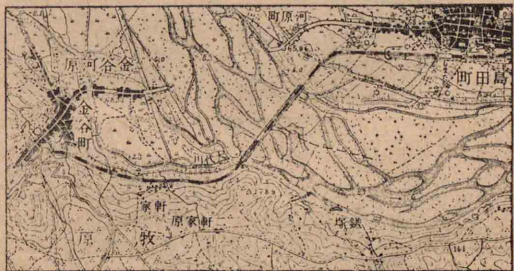
●天龍峽(陸測)七萬五千分の一
等高線の疎密に注意せよ

●遠江海岸平野の地形(下)
天龍川、濱名湖、三方ヶ原等があらはれてゐる
●大井川と島田金谷(陸測)七萬五千分の一
●舊道、島田の製材所、牧原の茶畑、渡頭二聚落、河原等があらはれてゐる

が北の山地から急に下つて海岸平野を造つてゐる。富士川、安倍川、大井川、天龍川等は何れも雨季に洪水を生ずることがあるが、平時は水少く大部分河原である。濱名湖は海岸平野の溺れてできたものである。濃尾平野と

三河平野 伊勢海に周圍から流入する木曾川、長良川、揖斐川、矢作川等が土砂を堆積して濃尾平野、三河平野、伊勢平野等の伊勢海沿岸平野を造つた。西境をなす伊吹山脈中には最も低い横谷の關原狭隘がある。

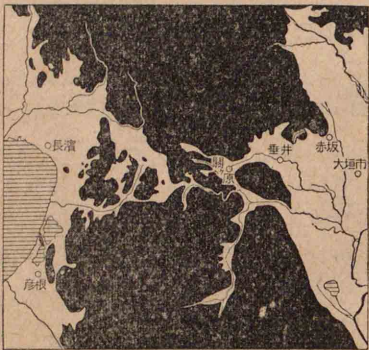
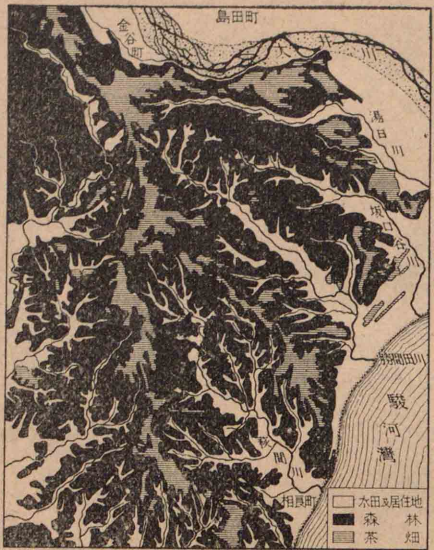
伊豆半島の西の駿河灣は著しく深い。遠州灘の海岸は平



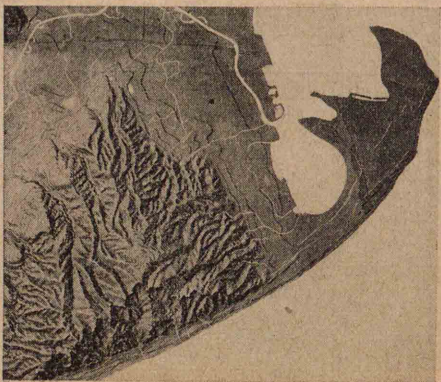
山地 台地 低地 砂丘

●久能地塊及三保の砂嘴の模型

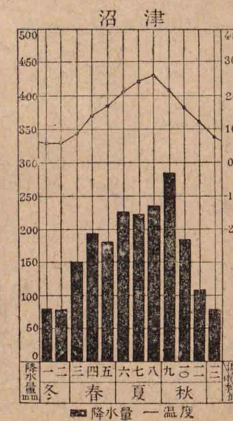
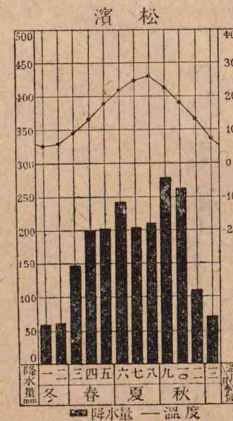
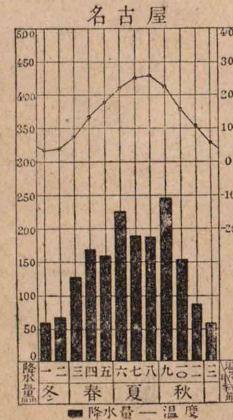
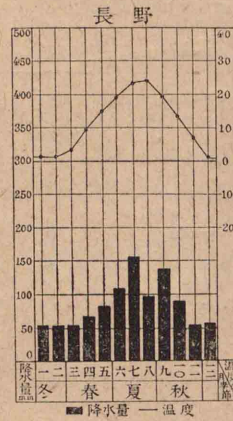
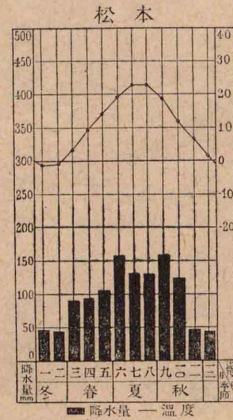
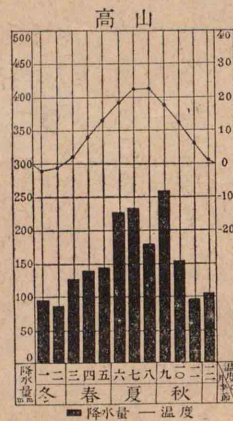
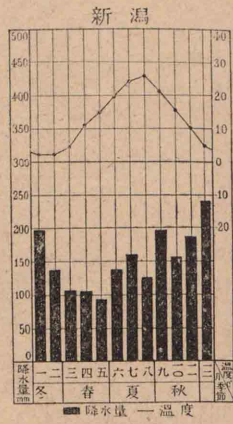
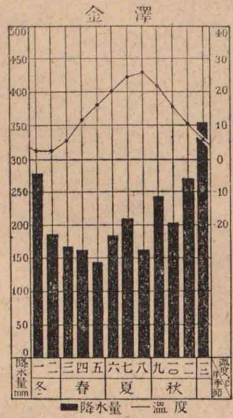
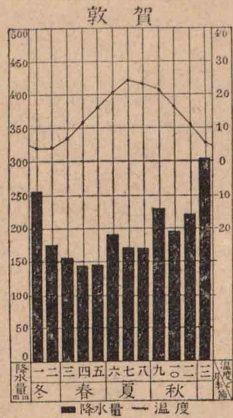
(下) 牧ノ原臺地の茶畑の分布 (上) 茶畑は主に臺地上の平坦面にある
●關原の狭隘 (中)



直である。伊勢海は渥美半島と志摩半島とに口を扼され、更に知多半島によつて三河灣を分離してゐる。濃尾地方は濃尾地震のあつた地方である。北陸地方とは日本海に面した新潟・富山・石川・福井の四縣下の海岸地方をいひ、越後平野は主として信濃川の沖積地で海岸には砂丘連り、その内側には瀉が



點に在してゐる。富山平野はもと富山灣の陥没が深く陸地に彎入してゐた所が山地から急下した神通川、常願寺川、庄川、黒部川等の扇狀地様の三角洲の結合



濃尾平野の地形 (上)
 富山平野の水系 (下)
 若狭湾沿岸の地形圖 (五〇頁)



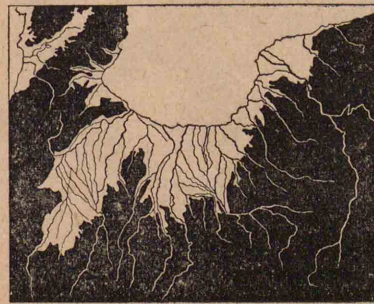
氣候

東海地方は表日本式の氣候であつて、降

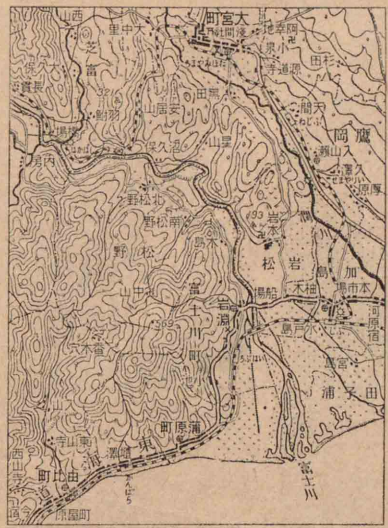
は駿河湾と好い對照である。能登半島の東岸は沈降して七尾の好出入を造つてゐる。若狭湾沿岸は近畿北部の高地が陥没後更に沈降したりアス式の海岸で小半島と小灣入に富んでゐて、その各灣頭に小平地が點在してゐる。佐渡島は二山地、一平野の三並行地帯から成つてゐる。

により埋められてできた平野である。能登半島は丘陵性である。加賀平野の砂丘の内側は諸川の三角洲が埋めてきた平野で、今尚河北、鴻等を残してゐる。福井平野及大野盆地は九頭龍川の流域にある。

海岸は富山湾と能登半島との部分を除けば極めて平直である。又親不知その他一二の外は砂濱つづきで川口も浅く、良港に乏しい。富山湾の深い



【静岡】
富士川の下流
廿萬分の一



水量は夏多く冬少い。之に反し北陸地方は裏日本式で、一般に言へば冬の降水量が遙かに大である。この表裏の相違は季節風の方向が影響するので、冬季裏日本は西北風に直面し日本海方面から齎された水蒸気は雪となつて降り、分水山地を隔てた風下に當る表日本では乾季となり晴天が続く。表裏日本の中間にある中央高地の諸盆地は、海岸から遠いため寒暑の差稍甚だしく、大陸性氣候の傾向をもつてゐる。降水量が海岸地方より少いのは、高地の邊縁山地に水蒸気を奪はれるからである。

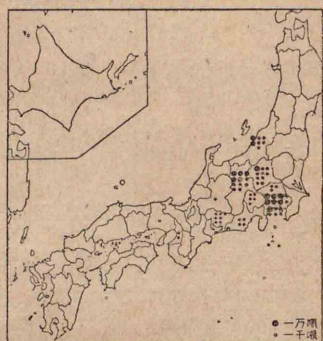
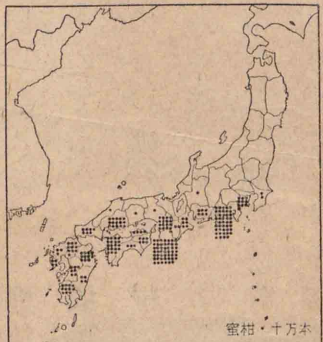
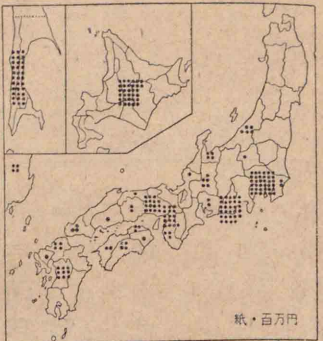
【處誌】

東海地方 (一) 伊豆半島は火山地域の中心である。(二) 駿遠海岸地方 沼津市は東部の中心で、氣候良好、景色よく葉山に酷似した休養地で、興津も亦好保養地として知られてゐる。

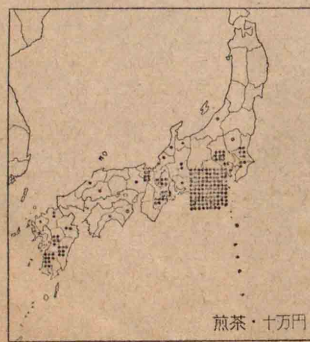
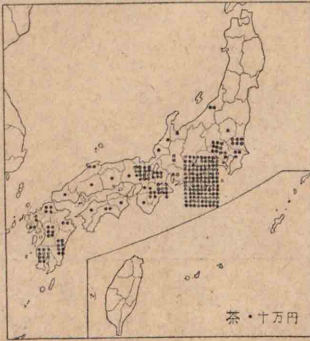
●静岡縣各驛發送
柑橘の到着府縣別
(右下)
1もとは山麓の森林が原料であつた

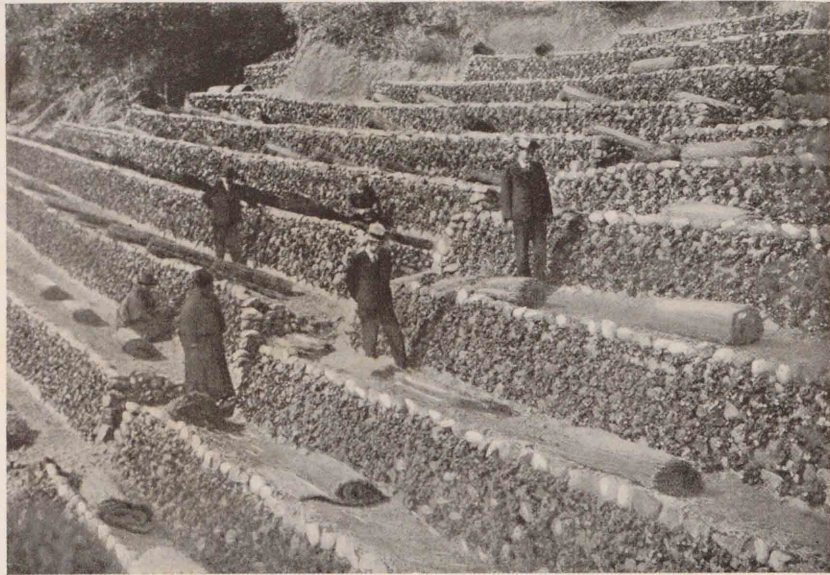
甲斐

を古くから産する。富士川の三角洲は梨を産する。蜜柑は氣候に恵まれた傾斜地に栽培され、興津北伊豆等に盛である。茶は大井川



る。富士山麓の大宮附近は水量豊富で、洋紙の製造夙に盛で、又この地方は楮三椏に適し、駿河半紙





久能苺の石垣栽培

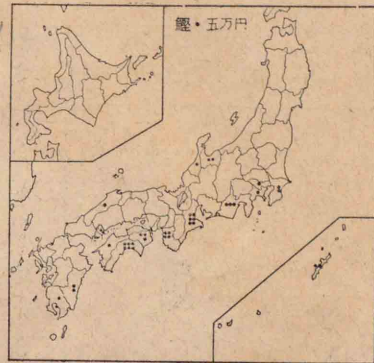


名古屋枇杷島青物市場

中部地方

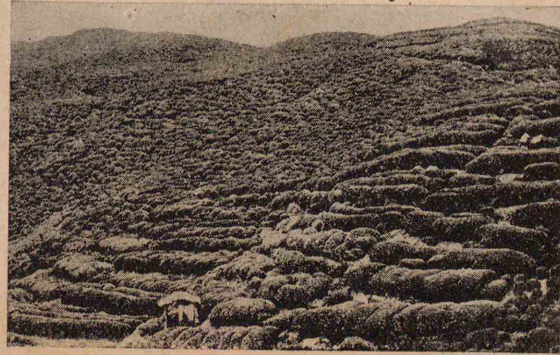
- 1 漆器・竹細工を産する
- 2 帽子・楽器等も産する

- 静岡の茶畑(下)
- 3 製絲の中心である
 - 4 多角農業が盛である
 - 5 醫大
 - 6 絹絲・絹織物・毛織物・車輛・陶磁器・柱時計・飛行機・楽器等



〔愛知〕
 三河平野 豊川流域は、豊橋市、矢作川流域は岡崎市が中心である。
 濃尾平野の中心の名古屋市は、中京の稱がある位で、東京大阪の間に勃興した新經濟中心地である。各種の製造工業、勃興し、中にも陶磁器、柱時計等は特産である。本州島の地峽部に位する優秀の位置が東海道

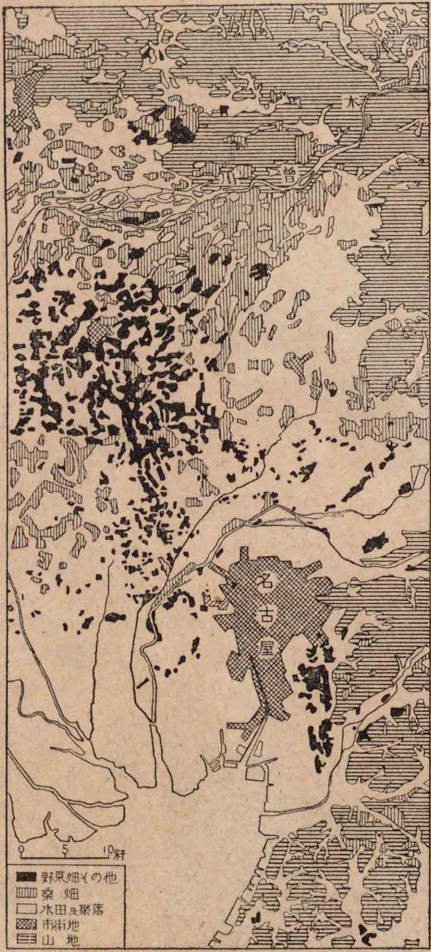
で、緩傾斜の礫層地で排水のよい所に多い。各地の茶を静岡に集めて再製し、開港清水から輸出する。久能山附近は早生苺を産出する。静岡市は縣政の中心、濱松市は工業都市、共に京濱と名古屋の中間都市である。濱松附近は輸出向綿織物の産が多い。焼津は



四

- 1 熱田神宮・魚市場・木曾御料林の貯木場等がある
 - 2 晒木綿・酒・醤油等を産する
 - 3 常滑焼を産する
 - 4 陶器を瀬戸物と稱するほどである
- 濃尾平野の一部に於ける野菜畑・桑畑・水田・聚落等の分布

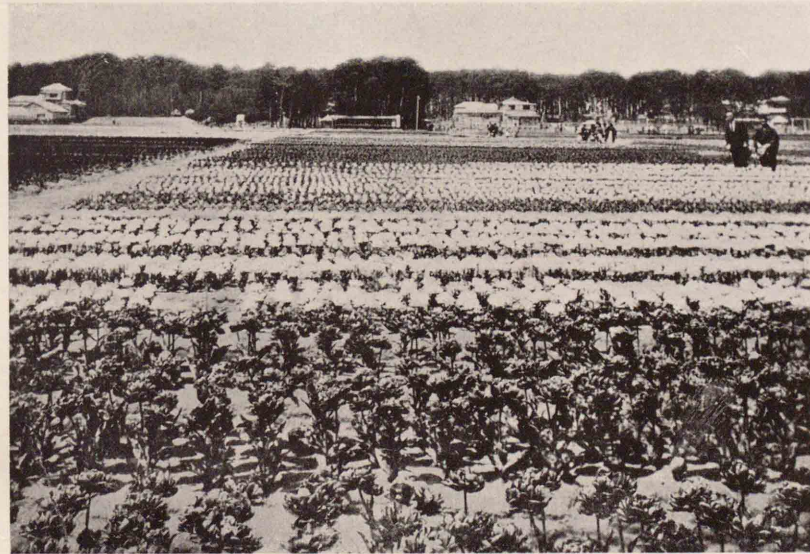
中央關西の三線を交又せしめて、商工業の發達を促したのである。市の南部の熱田には貿易港があり、西部の枇杷島には有名な青物市場があり、附近は野菜の栽培と養鶏が盛である。清洲一宮市鳴海有松等は工業が盛で、名古屋工業地帯の一部を成し、殊に一宮附近はセリ地・毛織物の中樞地である。知多半島に半田市常滑の工業地があり、武豊は開港場である。瀬戸市から多治見に至る地域は木曾山脈の花崗岩が風化され、た良質の陶土を出すため、愛知岐阜



中部地方



夜の泉都熱海



新潟に於ける花卉栽培

●瀬戸(陸・湖)
① 竜の位置は丘の麓に多い、現在は敷が増してゐる

1 提灯・團扇・傘等
を特産とする

●美濃紙の産地
谷の景 (下)
南向きの日照のよい水の豊富な川に臨んだところにある、白く見えるのは紙を乾かしたものである

2 もとは川によつて桑名に出した

【山梨】

●勝沼附近の扇状地
上の葡萄畑 (陸・湖) 七萬五千分の一 (右上)

●甲府盆地の葡萄の生産地 (右下)

甲斐の語原は峽

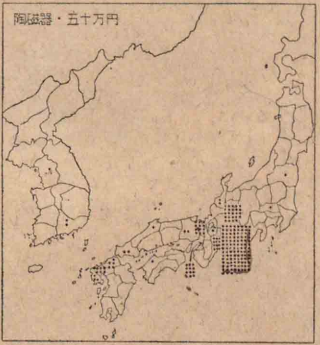
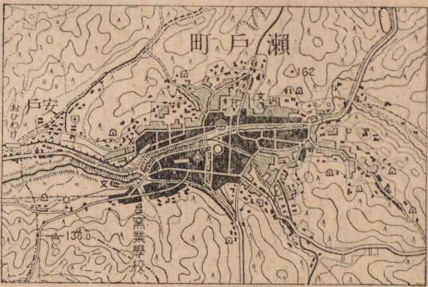
(カヒ)である

1 水晶細工を産する、北の山地に御嶽の勝がある

【長野】

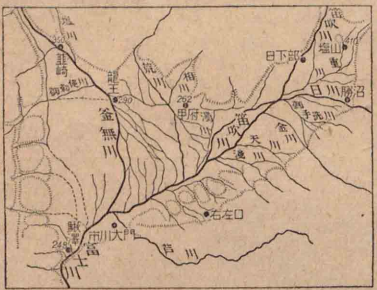
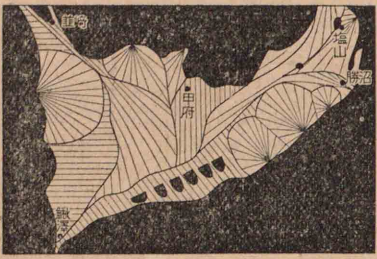
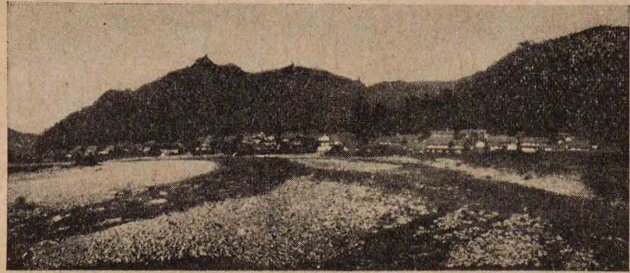
●甲府盆地の地形構成 (左上)
各川の堆積區域があらはれてゐる

●甲府盆地の水系地形構成圖と比較せよ (左中)

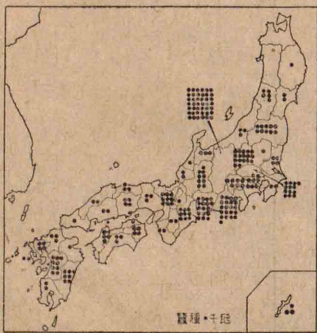


二縣下に跨る我が國第一の窯業地帯をなし、名古屋にも輸出向の大規模な製陶工場がある。長良川に臨む岐阜市は縣政の中心で、絹織物を産し、東濃の中心中津は木曾谷の口にあり、製絲業が盛で、西濃の中心大垣市は米の集散地で、製絲製織工場多く、北部の美濃は牧谷を控へ美濃紙の取引が盛である。關原狹隘は古戦場で、又不破關址がある。

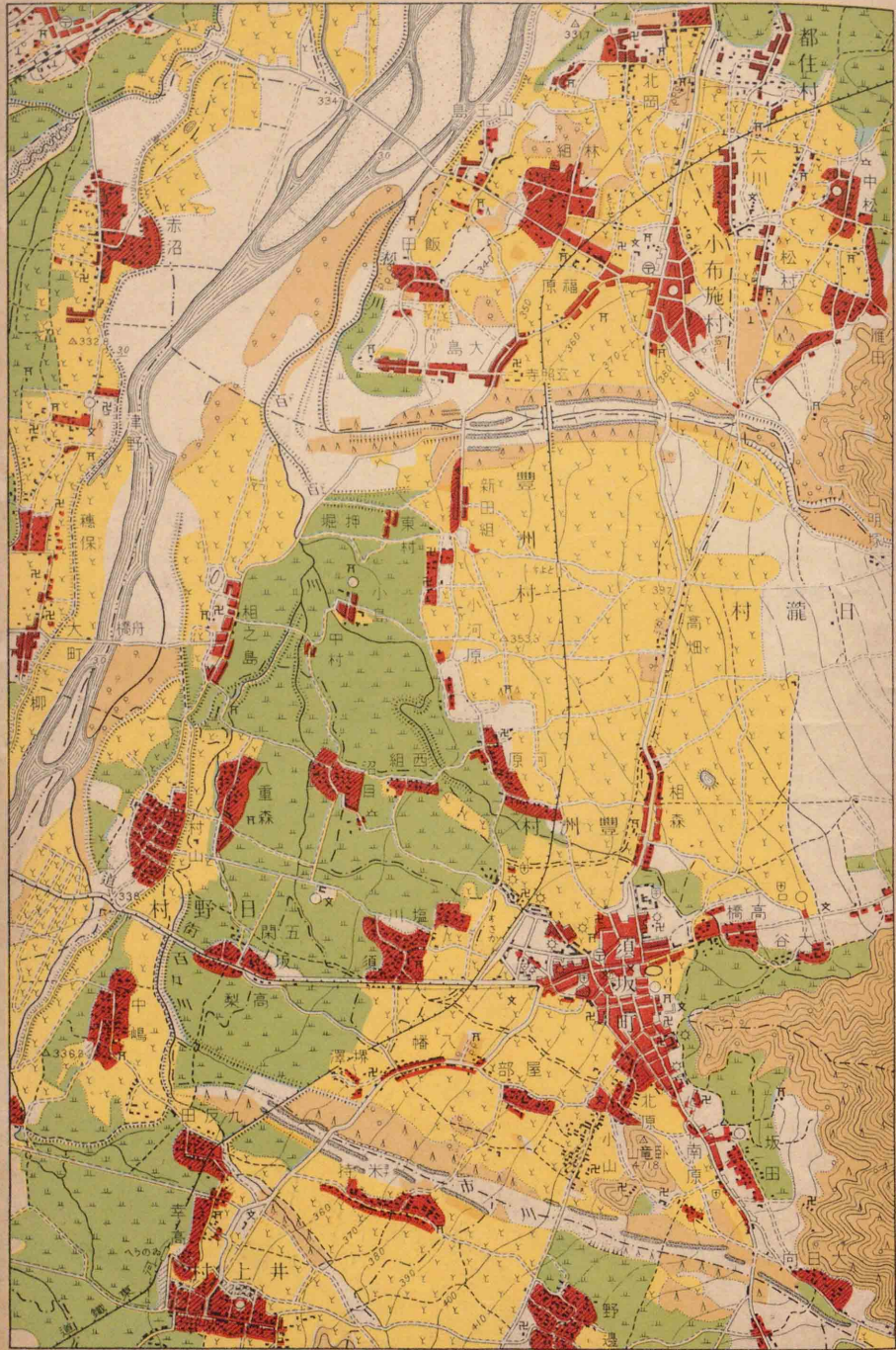
中央高地 (一) 郡内山地の桂川の谷は甲斐絹を産し、谷村等はその市場である。 (二) 甲府盆地は周縁山地に圍まれた陥没と笛吹釜無二川の堆積とによる山間盆地である。この地に産する葡萄は良質をもつて聞え、中央の低地は水田で、周圍の山地には桑畑が多い。 1 甲府市は盆地の中心都市で、製絲が盛である。 三 佐久平 浅間山麓の輕井澤は高原避暑地として標式的のもので、小諸は製絲の中心地である。又この平に養蠶業の殊に盛な所のあるのは水が豊富なためである。



中心地である。又この平に養蠶業の殊に盛な所のあるのは水が豊富なためである。



長野縣須坂養蠶製絲地帯の土地分類圖



● 集落 ● 水田 □ 畑 ● 桑畑 ● 森林

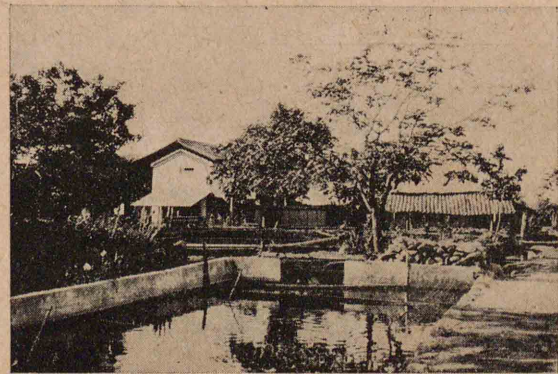
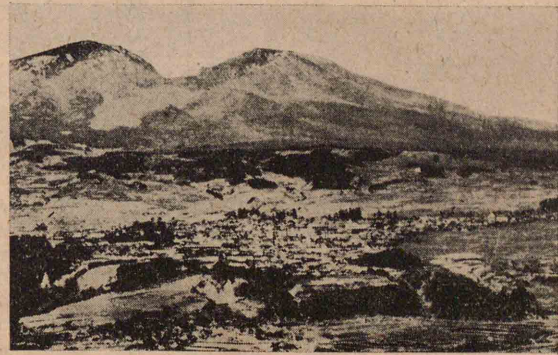


● 浅間山とその山麓町小諸 (中)
● 佐久平の冬季養蠶池 (下)
● 千曲川と犀川の合流點に川中島の古戰場がある
● 長野(陸測) (上)

中部地方

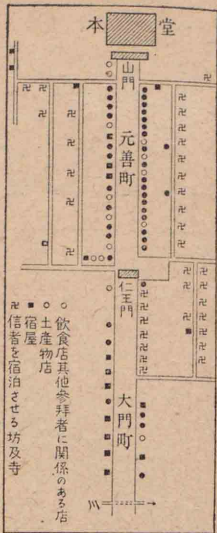
(四) 上田盆地(小縣盆地)は上田市が中心で、養蠶製絲及蠶種の製造が盛である。(五) 善光寺平の長野市は佛都として知られ、又北信並びに縣政の中心である。河東地方は養蠶製絲が盛で、須坂はその中心である。

(六) 松本平 飛驒山脈の東麓の扇狀地には桑畑が多く、松本市は製絲業行はれ、繭生絲及蠶種の取引が盛である。又この地は東西の二大商圏の接觸地に當り、附近の鹽尻は鐵道の會點である。(七) 諏訪盆地は紡錘狀の

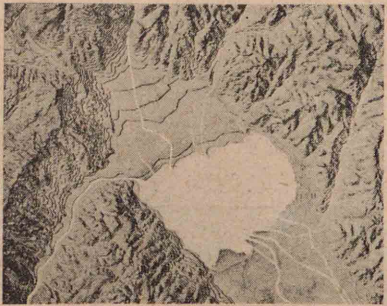
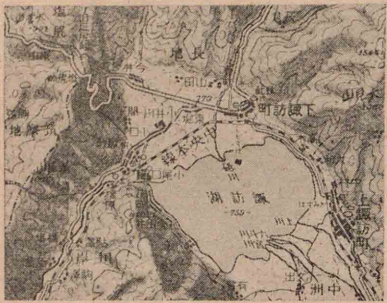


- 霧ヶ峰の山娘 (下)
- 諏訪盆地(陸測) 甘萬分の (左上)
- 諏訪盆地の模型 (左中)

- 善光寺の門前町 (上)
- 岡谷附近の機械製絲工場の分布 (右中)



中部地方



谷市が鼎立してゐる。東の山麓は温泉に富み、冬季は湖面結氷してスケートが行はれる。岡谷市は湖脚にあり、製絲業の盛なこと

地溝帯で、ここに諏訪湖を湛へ、湖畔には上諏訪、下諏訪、岡



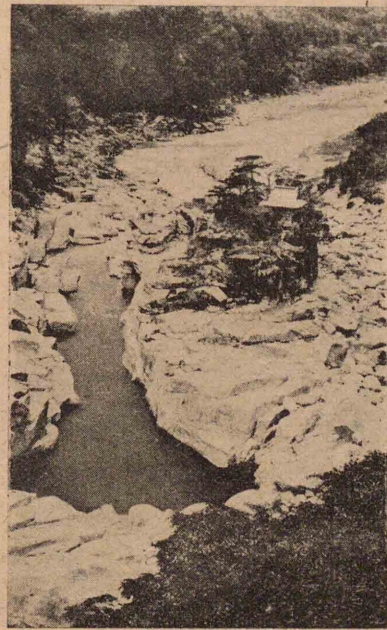
業の盛なこと 全國第一で、我が養蠶地帯の中央に位し、各交通系により比較的容易に原料を集める



● 寐覺の床 (下)
花崗岩の節理に
沿うて穿つてあ
る

【岐阜】
西部の庄川上流に
は隔絶された白
川村がある

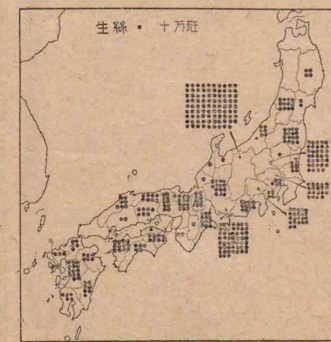
中部地方
ことができる。(八) 伊那谷は養
蠶行はれ、飯田市が中心地であ
る。(九) 木曾谷は峡谷と森林の
美とで知られてゐる。福島は
谷の中心である。(一〇) 飛騨高原
は南部は濃尾平野、北部は富山
平野と交渉が深く、高山市はそ
の中心である。



四六



生線・五千圓

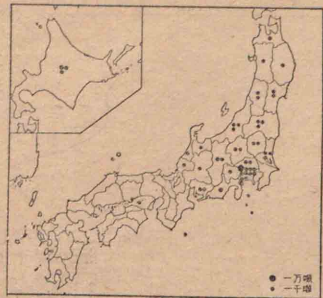


生線・十萬圓

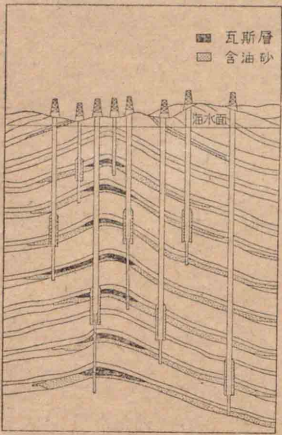
北陸地方 (一) 越後平野
は米産が極めて多い。梨
は砂丘地列と河畔に産す
る。石油は新津、西山等の
油田から産出し、新津が最
も盛である。製油所は何

● 新潟と梨の産地
聖籠村(陸測)
七萬五千分の一
砂丘の附近に梨
園がある (下)
1 上布・越後縮・透
綾(スキヤ)類
2 醫大

● 新潟縣各驛發送
米の到着府縣別
油層の断面(中) (上)

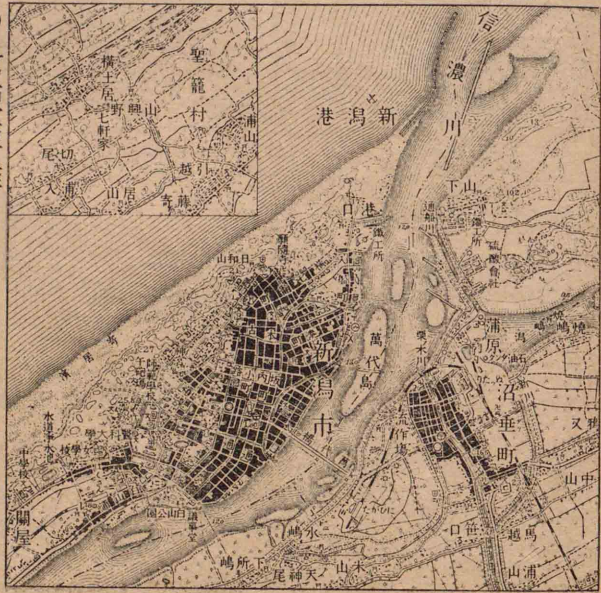


二〇二

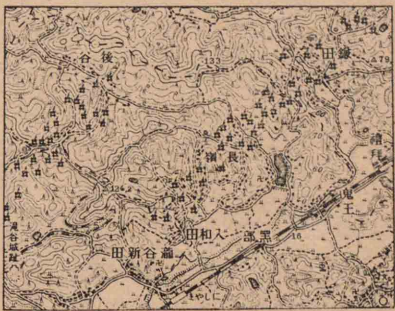
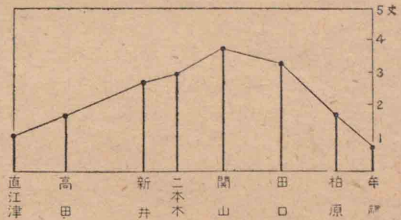


瓦斯層
含油砂

れも油田地方に比較的接近した
所即ち柏崎・新潟等にある。山麓
の都邑三條市・五泉・小千谷・十日町
等は絹・綿・麻等各種の織物を産す
る。開港・新潟市は北鮮及滿洲國
と相通ずる。他の中心長岡市は
商取引が盛である。下越・東京間
の交通は信越磐越兩線共に迂回
路であるが、上越線全通し、迂回



角對
線の最短距離となつたので、長岡・新潟
共に時間上東京に接近した。上越の
中心は高田市で、直江津は本州横斷の
信越線が日本海岸に達した好位置に



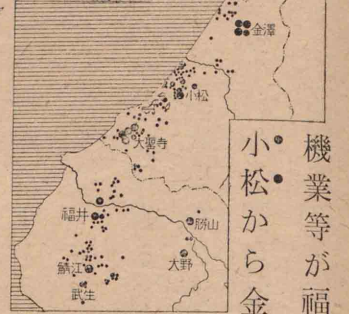
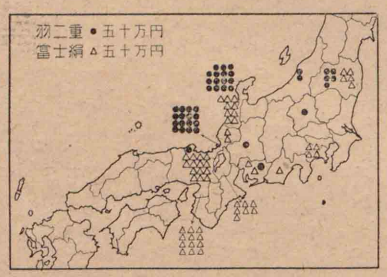
あるが、新潟と同じく日本海岸の港の缺點をもつてゐる。高田及妙高山裾野の赤倉等の深雪地帯は絶好のスキー場である。(二)富山平野は地形上山から出た水を分流して灌漑用水路網を發達させるのに適してゐるので、全平野殆んど水田になつてゐる。東の平野の中心は富山市で、神通川に臨み、西の中心は高岡市である。

●積雪量比較表
分水界の邊が最大である(上)
●西山油田(陸測)七萬五千分の油井の配置が略並行した二線になつてゐる(中上)
●(石川)
1 銅器・漆器を産する
2 海岸には疊氣樓が現はれる
●高田の深雪(下)雪のトンネル(中下)

開港伏木は米を移出し、又北鮮及滿洲國と取引する。富山の賣藥行商人は全國のみでなく海外にまで及んでゐる。富山灣は漁業盛で、魚津の漁港がある。(三)能登半島の輪島は漆器を産し、七尾は開港場である。(四)加賀平野は羽二重人絹



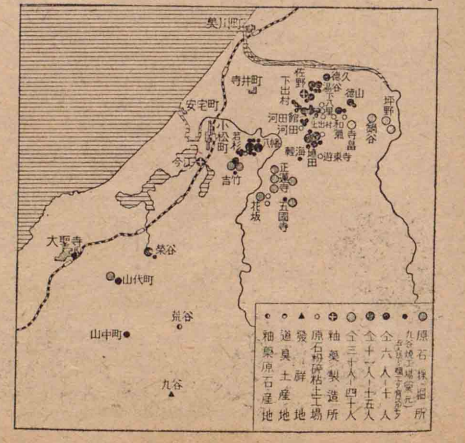
●福井・石川兩縣下の羽二重の生産地(右上)
●九谷焼の産地(下)
1 醫大・兼六公園
2 白山火山脈に屬する
3 藤島神社があり附近に永平寺がある



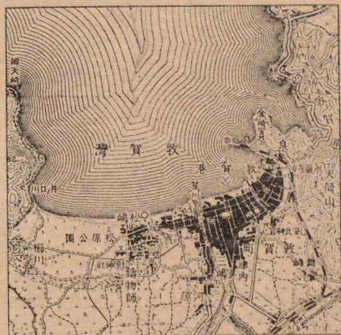
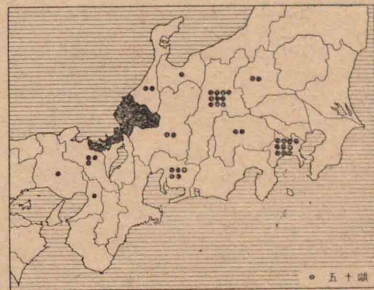
中部地方

機業等が福井平野と共に盛で、大聖寺・小松から金澤に及んでゐる。九谷焼は九谷に始まり、今は小松の東方が盛である。金澤市は北陸第一の大都會で、百萬石の舊城下町、織物の外、漆器陶磁器等の美術工藝品を産する。山代山中は北陸の名高い温泉で、白山は夏季信仰登山者が多い。

(五)福井平野・大野盆地は我が國に於ける羽二重人絹機業等の盛な地方で、福井市・大野及勝山がその中心である。(六)若狭灣沿岸、木芽峠から西南は地形人文共に北陸地方と全く様式を異にする。各小灣頭の砂濱に各地方の中心聚落がある。敦賀灣頭の敦賀市、小濱灣頭の



- 鐵道により福井縣に集る各府縣別の生絲 (上)
- 敦賀(陸・湖)
- 十萬分の一(中)
- 若狹灣沿岸の地形 (下)
- 米の生産分布圖 (二九頁)
- 米圓グラフ (二九頁)
- 大麥の生産分布圖 (二〇頁)
- 小麥の生産分布圖 (二〇頁)
- 桑畑の分布圖 (二四頁)
- 蜜柑圓グラフ (五一頁)
- 茶圓グラフ (五一頁)
- 煎茶圓グラフ (五一頁)



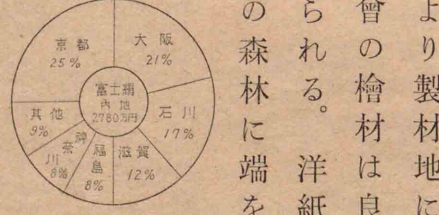
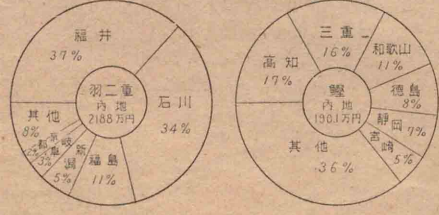
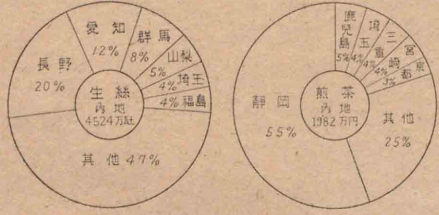
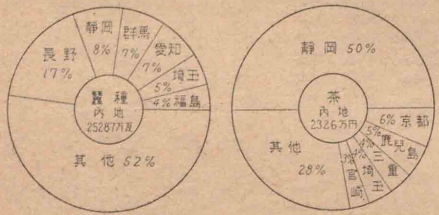
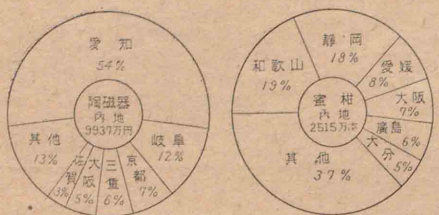
絡の幹線に當つてゐる。佐渡は古くから金山で知られ、相川はその鑛山町である。

産業

越後濃尾富山の三平野は灌漑の便よく全國に於ける有數の米産地である。表日本は麥作多く、裏日本は積雪の關係上殆んどこれを缺いてゐる。中央高地の山間諸盆地及濃尾平野附近に於ては桑畑が最も多く、我が國の養蠶地帯の中樞をなしてゐる。表日



- 繭の生産分布圖 (二四頁)
- 生絲の生産分布圖 (四六頁)
- 茶の生産分布圖 (二九頁)
- 和洋紙の生産分布圖 (二九頁)
- 金・銀の生産分布圖 (二四頁)
- 銅の生産分布圖 (二四頁)



本では氣候溫暖で排水よく、日射の強い傾斜した臺地又は丘陵地を利用して、茶蜜柑の栽培が盛である。野菜は大都市に近い濃尾平野及駿遠海岸に、梨は表裏海岸に、苹果は高地の信州に、葡萄櫻桃は甲府盆地に、西瓜は富山平野に産し、養鶏は東海地方に盛である。伊豆地方には乳牛の飼育が行はれる。中央高地は山地ゆゑ、木曾赤石の山中及飛驒等では林業本位の生活をなす者多く、木材は河川及鐵道により製材地に運搬され、木曾の檜材は良材として知られる。洋紙は富士山麓の森林に端を發し、駿河半

紙美濃紙は暖濕な氣候の山地に於ける楮三椏

- 鯉の集散地 (四〇頁)
- 陶磁器の生産分布圖 (四二頁)
- 漆器の生産分布圖 (二〇二頁)
- 主要街道圖 (二六頁)
- 鯉園グラフ (五一頁)
- 石油園グラフ (一九二頁)
- 生絲園グラフ (五一頁)
- 絹織物園グラフ (二二頁)
- 羽二重園グラフ (五一頁)
- 富士絹園グラフ (五一頁)
- 綿絲園グラフ (二二頁)
- 絹織物園グラフ (二二頁)
- 絹織物園グラフ (二二頁)
- 毛織物園グラフ (二二頁)
- 陶磁器園グラフ (五一頁)
- 漆器園グラフ (二〇二頁)

の成育に依つて發達してゐる。越後地方の油田は我が國の最も重要な地帯である。太平洋の鯉・鯖・鱈等は焼津・清水・沼津・熱田等に集められ、殊に鯉は加工して鯉節となり、日本海の柔魚等は富山灣の魚津その他に集められて鰯等となり、海に遠い中央高地の諸盆地では養鯉業、濱名湖畔では鰻の養殖が行はれる。製絲業はこの地域に卓越する産業の一つで、岡谷を第一とし、長野縣に盛である。絹機業は福井・石川兩縣の羽二重人絹織物をはじめ、郡内山地の甲斐絹織、越後山麓地方の絹麻織物等が發達してゐる。綿織物は濱松附近に多く産し、毛織物は一宮附近・岐阜・大垣に多い。名古屋には各種近代工業行はれ、濱松・岐阜・大垣に互つて我が國四大工業地帯の一つを形成する。在來の國産である陶磁器は、陶土の豊かな瀬戸・九谷に始め産してその附近に擴がり、名古屋・瀬戸・多治見附近が我が國第一の窯業地域を形成するに至つた。漆器は静岡・輪島で産し、銅器を産する所もある。各河川の水力發電能力は我が國第一であつて、従つて工業を盛なら

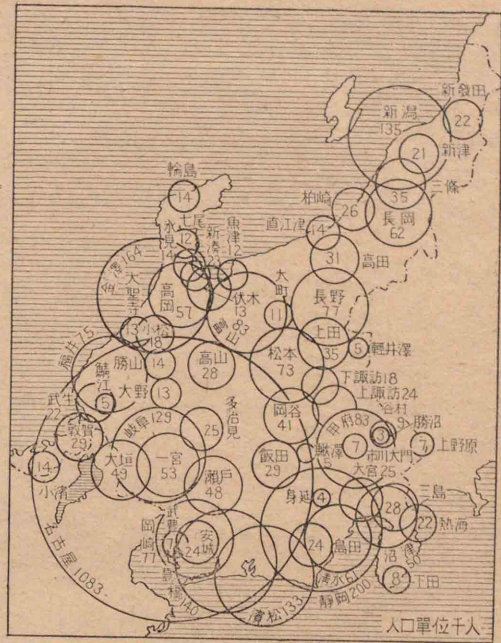
しめ、且つ東京・大阪へ送電されてゐる。東京と大阪との商圏の接觸點は東海地方では濱松、北陸地方では親不知、中央高地では鹽尻・松本、諏訪附近である。新興の名古屋は新にこの間に勢力圏を確立して、所によつては大阪よりも寧ろ名古屋と東京との對立をなしてゐる。貿易は名古屋は陶磁器・綿織物、清水は茶を輸出し、敦賀はシベリヤと取引し、敦賀・伏木・新潟三港は朝鮮の羅津を通じて、北鮮及滿洲國と取引する。大勢は輸出入共、横濱・神戸・大阪の後背地である。

交通 南北兩海岸道路として東海道と北陸道(北國街道)とこれに並ぶ中央の山間縦貫路の中山道との三幹線街道が古來東西の連絡に使はれた。外に中山道の補助として甲州街道がある。

街道の難所は東海道では箱根・大井川及熱田・桑名間の渡等で、北陸道では親不知・俱利伽羅峠・木芽峠等である。中山道は碓氷峠・和田峠・鹽尻峠・鳥居峠・馬籠峠・關原狹隘等を越え、甲州街道は小佛峠・笹子峠・富士見鞍部等を越えねばならぬ。

鐵道の東海道線・北陸線・中央線の三幹線は略、舊街道に沿うて縦貫

1 たゞ變化として
は中央線が諏訪
を捨てて甲州街
道により、東海
道線が名古屋以
西に於て東海道
を關西線に譲り
中山道に沿うて
關原狹隘を西
に向つてゐる



● 中部地方の都市
● 人口分布
(巻頭、五六頁)

してゐる。三幹線の内、東海道線は我が國の最初に開通した長距離の鐵道で、現在でも最も重要視されてゐる幹線である。横斷鐵道としては信越線上越線・高山線等がある。表裏兩海岸に港は少くないが横濱・神戸の如き大港はなく、唯新興の名古屋港が特に注目される。日本海岸は單調な砂濱と冬の西北の卓越風とのため碇泊困難のものが多いが、滿洲國との關係に於て敦賀・伏木・新瀉が將來を囑望されてゐる。

住民

人口密度は東海地方が最大で、北陸地方これに次ぎ、中央高地最も小である。濃尾平野及越後平野は農業地として人口の密集した所であり、松本平善光寺平諏訪盆地伊那谷甲府盆地等の如きは養蠶地帯であることが密度の大きな原因をなしてゐる。名古屋附近

が最も密なのは工業地帯であるからである。

裏日本の人は勞力に餘裕があるので、各種勞働のため表日本・北海道・樺太等に、殊に積雪の冬に於ては屋外勞働に適しないので、表日本に季節的に出稼するものがある。

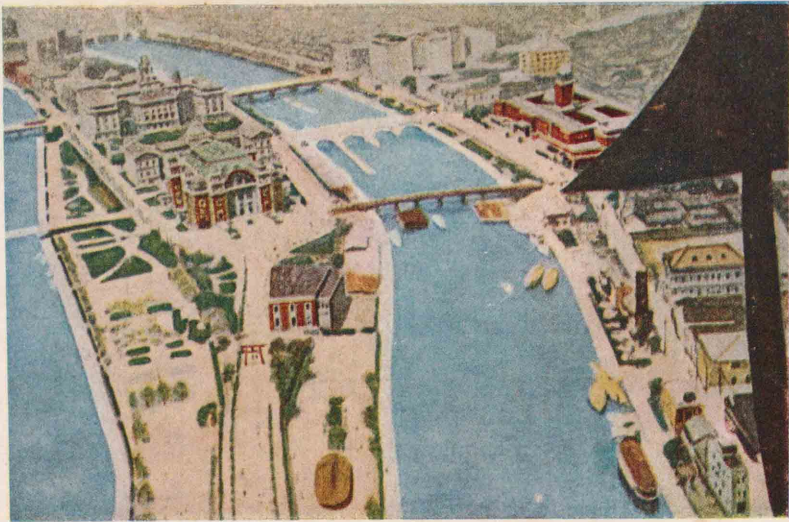
問題

- (一) 水系圖を作成し、その特色を説述せよ
- (二) 中央高地に於ける主要谷と新舊交通系との關係を述べよ

- (三) 東海地方と北陸地方とを比較せよ
- (四) 名古屋の特色を挙げよ
- (五) 各縣としての特色を挙げよ

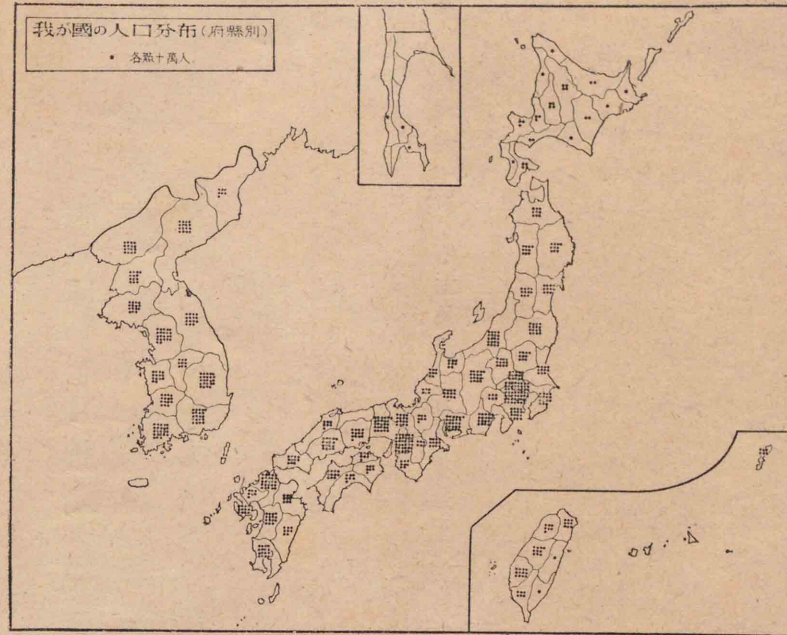


京都の名山嵐山(花の櫻と緑の松)

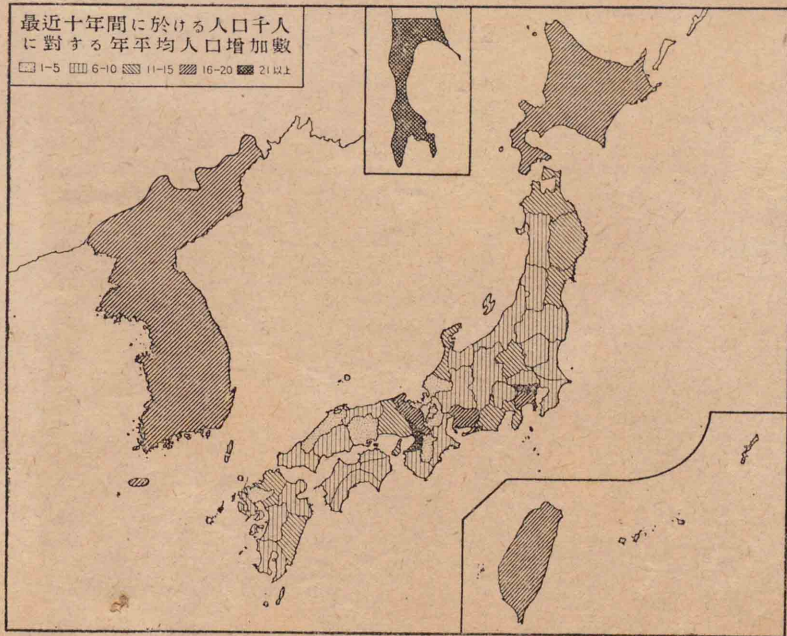


大阪の中心中之島

昭和十二年十二月二十四日中部防衛司令部許可済



中部地方



兵

第三章 近畿地方

位置と地理的區分 近畿地方は京阪神を中心とした地

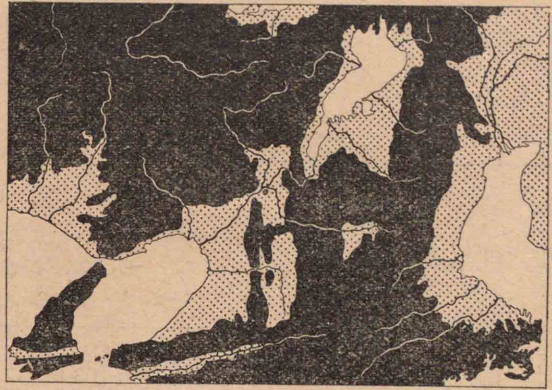
方で、所謂上方地方で、又關西地方ともいふ。

この地方は地理的に大別すると、北部山地、中央低地、南部山地の三區となる。その内、北部山地は中國地方の延長と見るべく、播磨平野は山陽地方、但馬地方は山陰地方の様式である。若狭灣沿岸は北陸地方の一部にまで及んでゐる。南部山地は紀伊半島であつて、和歌山縣(紀伊國の外、奈良・三重二縣の南部を含んでゐて、南四國と同様式である。而して中央低地が純粹の近畿の様式を代表する。但し伊勢平野は中部地方との漸移地帯である。

地勢

中央低地は幾多の斷層によつて切られ、隆起した所は伊吹山脈、鈴鹿山脈、比叡山脈、大和高原、生駒山脈、金剛山脈、淡路島等の地壘をなして、南北に長く横はり、陥没した所は近江盆地、京都盆地、伊勢平野、伊賀盆地、奈良盆地、大阪平野、播磨平野等をなしてゐる。近江盆地に注ぐ河は野洲川を初め、何れも琵琶湖に向つて著しく三角洲を突

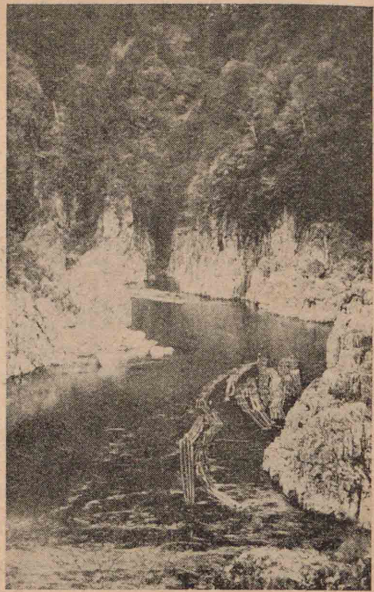
| 府縣名 | 管轄國名 | 廳所在地 |
|------|---------------|------|
| 三重縣 | 伊賀・伊勢・志摩・紀伊一部 | 津市 |
| 滋賀縣 | 近江 | 大津市 |
| 京都府 | 山城・丹後・丹波一部 | 京都市 |
| 奈良縣 | 大和 | 奈良市 |
| 大阪府 | 和泉・河内・攝津一部 | 大阪市 |
| 兵庫縣 | 攝津一部・但馬・播磨・淡路 | 神戸市 |
| 和歌山縣 | 紀伊大部 | 和歌山市 |



●近畿の地壘と盆地と湖海
●京都盆地の地形
●六甲山塊及海岸平野の模型圖
●奈良盆地の模型圖
(六四頁)

出して湖岸平野を造つてゐる。京都盆地に流入する桂川・賀茂川・宇治川・木津川等は合流して淀川となり、山崎の狭隘を西に出でゐる。大阪平野の東は生駒山脈で限られ、南と北は和泉山脈と六甲山塊とが對立してその内側が陥没してゐる。それを埋める軸は淀川である。六甲山麓の海岸平野は天井川が三角洲を造り、これ等の複合からなつてゐる。伊勢平野は楡田川・宮川等の三角洲から成る。伊賀盆地の水は木津川となつて西流し、奈良盆地の水は大和川となつて狭隘によつて生駒山脈を切つてゐる。播磨平野は播磨灘の陥没に沿うて在る。北部山地は中國高原の續きの丹波高原が主である。南部山地即ち紀伊半島は赤石山脈から四國山脈に續く山地が東は伊勢海口と熊野灘、西は紀伊水道の陥没によつて切り離された紀伊山脈で、中央低地の境は楡田川・高見峠・紀伊川を結ぶ線である。楡田川・紀伊川の縦谷に對

●瀨八丁の峽流



し、十津川・北山川の合流した熊野川は横谷をなし、そこに景色のよい瀨八丁がある。
紀伊半島の東西兩岸は若狹灘沿岸と共にリアス式の沈降海岸である。大阪灣伊勢海及播磨灘沿岸は砂濱つゞきである。紀淡海峽と鳴門海峽とは和泉山脈から山路島の南部を経て讃岐山脈に連絡する山

脈の低下沈水のために生じた狭い海峽と島嶼と岩礁との部分である。

氣候 中央部の大阪灣及播磨灘沿岸は瀬戸内式氣候で、伊勢平野は表日本式である。京都盆地は稍寒暑の差が甚しいが、近江盆地は琵琶湖のため幾分和いでゐる。北部山地の日本海沿岸は裏日本式で冬雪が多い。近江盆地の北半の如きもその影響を受けてゐる。南部山地の南斜面は純然たる表日本式で、夏雨が極めて多い。

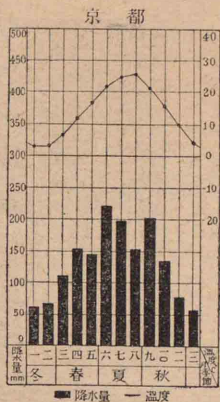
處誌

中央低地 (一) 伊勢平野は米・菜種茶を産し、又主な都市に綿

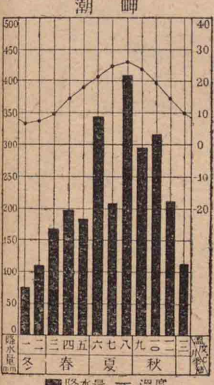
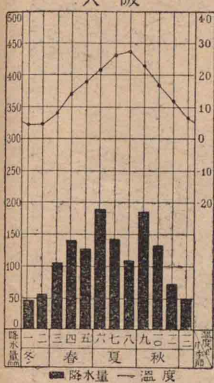
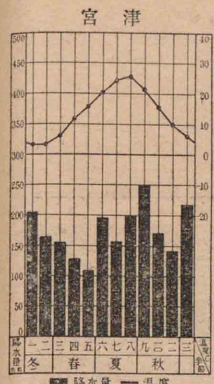
●敦賀の氣候 (三七頁)

【滋賀】

●大麥・小麥の生産分布圖 (二〇・二一頁)

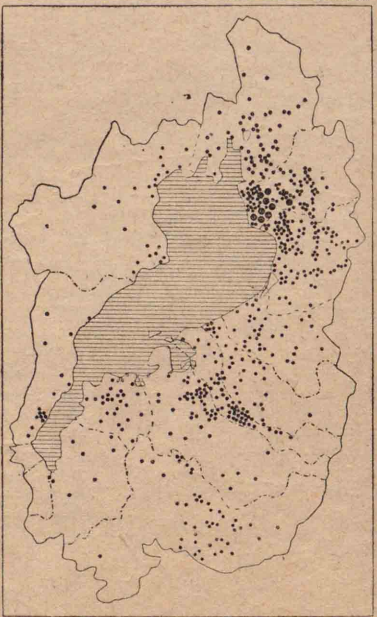


工業が行はれる。開港四日市市は羊毛棉花を輸入し、陶磁器等を輸出し、桑名市は揖斐河口港で木材を集散し、龜山は參宮線の分岐點である。津市は縣政の中心、松阪市は綿織物業地である。宇治山田市は伊勢神宮のある神都で、附近には二見浦朝熊山の勝地がある。(二) 伊賀盆地は伊賀一國の主部をなし、上野はその中心である。(三) 近江盆地 湖東には中心彦根市、蚊帳の産地八幡及所謂近江商人の郷里日野がある。湖北は麥作に適しないため養蠶が盛で、その中心は縮緬の産で聞えた長濱である。湖南の大津市は湖脚にあつて、湖上水運の要で、この地方の中心であり、又縣政の中心である。



附近に人造絹絲が製造され

●宇治山田市(上) (陸・湖) 七萬五千分の一
 内宮は神路山の麓五十鈴川の畔にある
 1 落差は四五米
 ●近江盆地の繭の生産分布 (下)

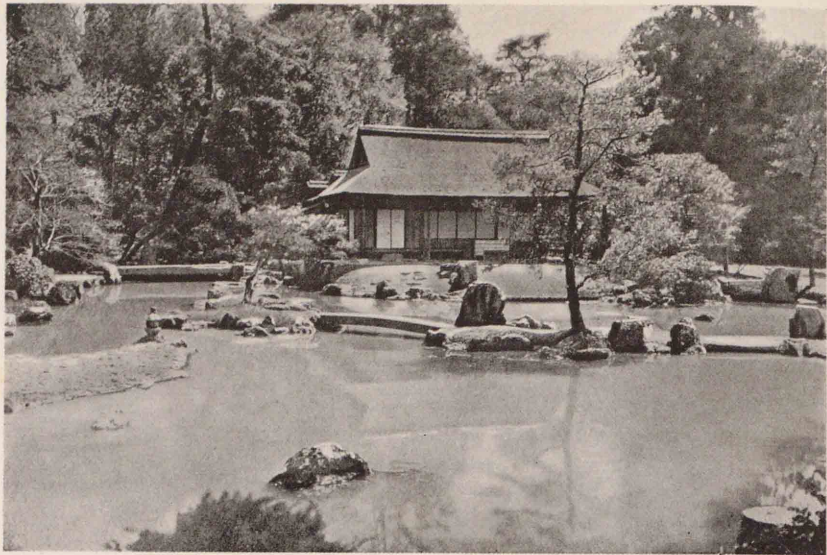


●近江湖南地方 (陸・湖) 廿萬分の一 (左上)

外、淡水産の魚族に富み、湖面の高さ八五米、大津から疏水が京都に通じ、又宇治電氣の源をなす。京都に近く古來名所古蹟に富み、湖畔の景色近江八景の美は世に知られてゐる。(四) 京都盆地



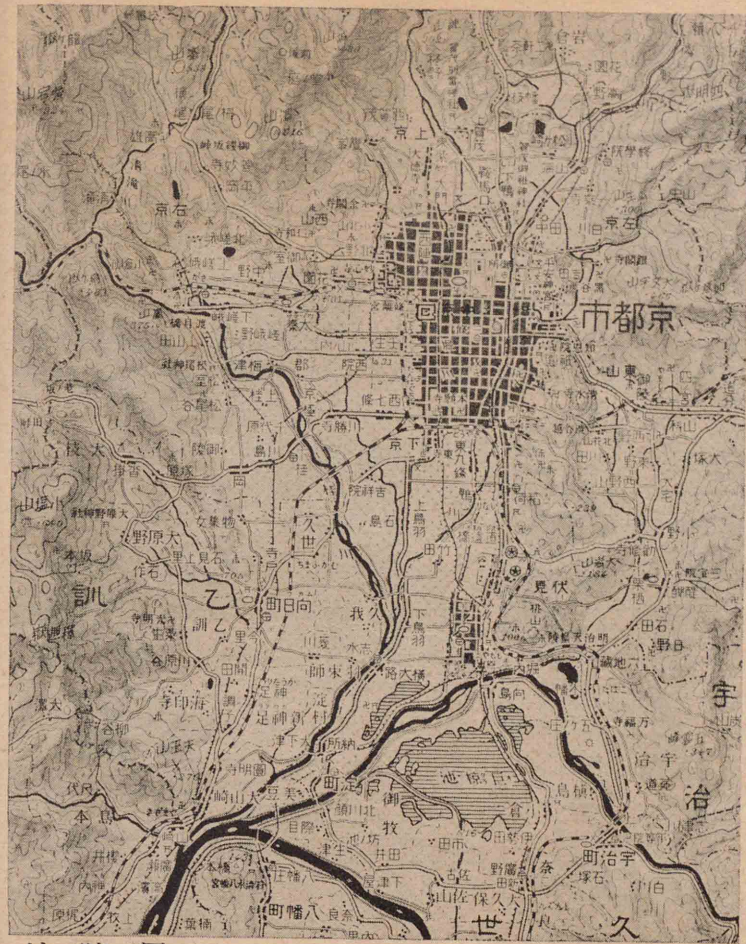
●京都 都で、今尙即位の禮はこ



純日本式の京都桂離宮



京都東山の建築美清水寺



●1 帝大・府立陸大
廿萬分の一

近畿地方

の地で行はれる。

1

この地は舊文化の中心地で、古來染色刺繡に長じ、

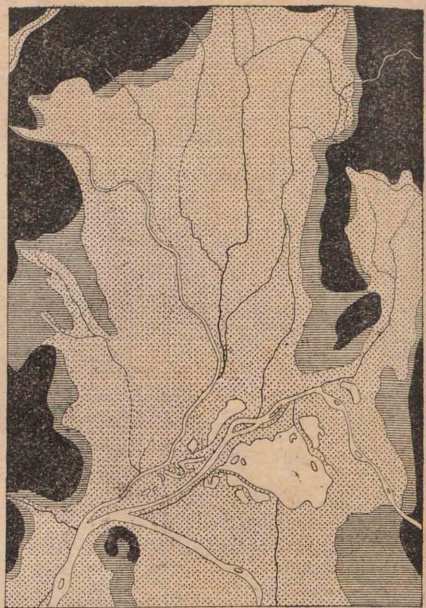
友禪染・西陣織・清水焼等は純日本の美術工藝を代表してゐる。桓武天皇奠都の地は南面した盆地、略中央であつたが、今はその西半は荒廢し、東北に延び、殊に賀茂川の東方、東山の麓は都の東郊で、神社佛閣の靈地であつたため、その後名所舊蹟地として發展し、清水寺・圓山公園・知恩院等が有名である。その外市中に東西兩本願寺、北



奈良の中心猿澤池（興福寺の塔）

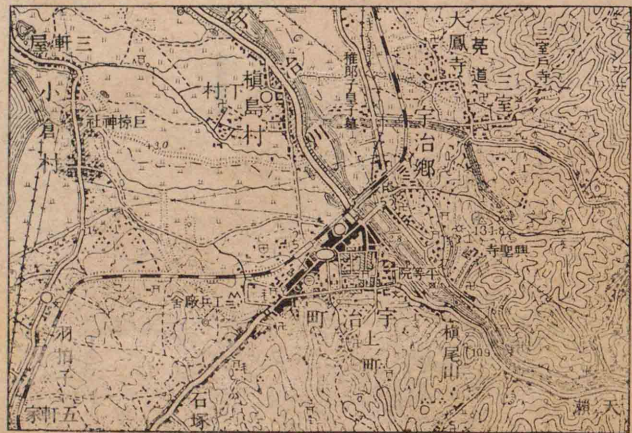


志摩の海女



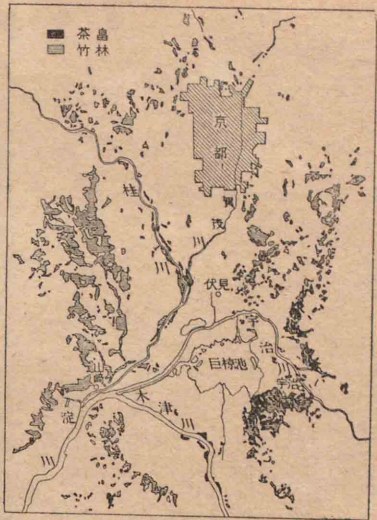
●京都盆地の地形
 ●宇治(陸・測) (上)
 1 宇治川の合戦の
 あつた所である
 (下)
 【奈良】

川が流れ、要害の地である。盆地周縁の臺地は礫層から成り、東は茶畑、西は竹林に利用され、宇治の名茶と京都の筍を産する。
 (五) 奈良盆地の北部に南面して都が設けられたが、今は條の名のつく村と寺とが残つてゐるのみである。當時の東郊で山を負



近畿地方

三



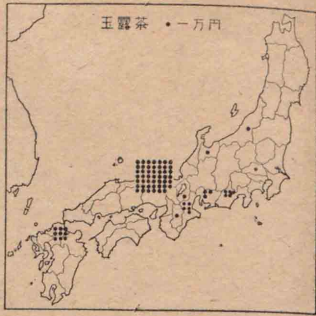
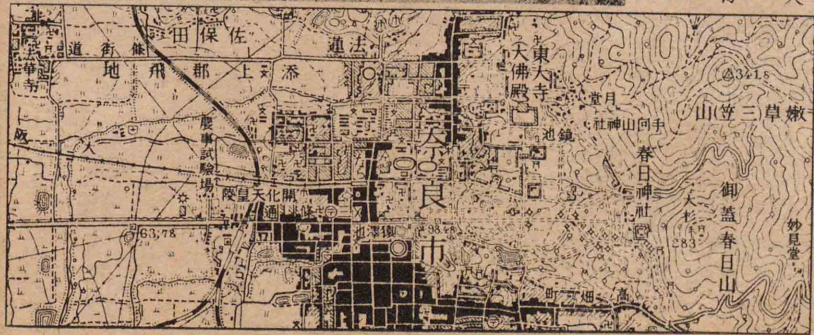
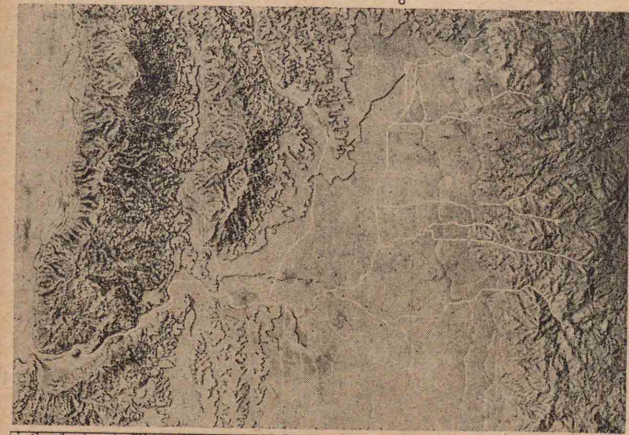
●京都盆地の茶畑と竹林 (上)

●奈良陸・澗(下) 奈良盆地の模様 (中)

1女高師 根來塗・墨・人形 漆器等を産する 法隆寺・長谷寺・多武峰の談山神社等の名勝古蹟がある

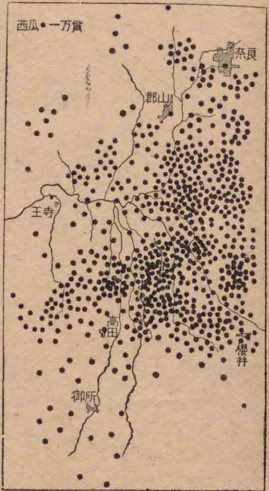
盆地の中心聚落である。飛鳥地方及附近に古い都の跡と御陵が多い。畝傍山麓には神武天皇の御陵と橿原神宮がある。郡山は名邑である。盆地の道路は條里正し

うた地に建てられた東大寺(天佛)正倉院興福寺春日神社等が現奈良市の主要部分をなして



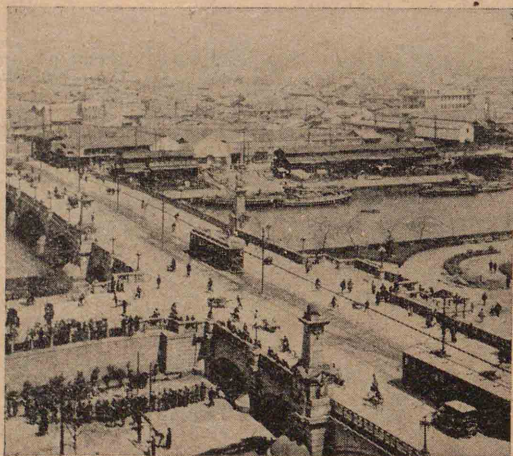
●大阪・兵庫 大和西瓜の生産分布 (中)

●大阪の難波橋附近 1帝大・造幣局がある



て、人口約三百萬、帝都東京と並ぶ

大都市である。市の地形は臺地と低地とから成り、臺地には高津宮・四天王寺・大阪城等が置かれたが、大阪の生命となつた商業區は低地の三角洲に發達した。淀川には安治川・木津川・新淀川等の分流があり、水の都橋の都と呼ばれ、運河網よく發達し、荷物の揚卸場・倉庫等が岸に並んでゐる。大阪は又煙の都で工場の數

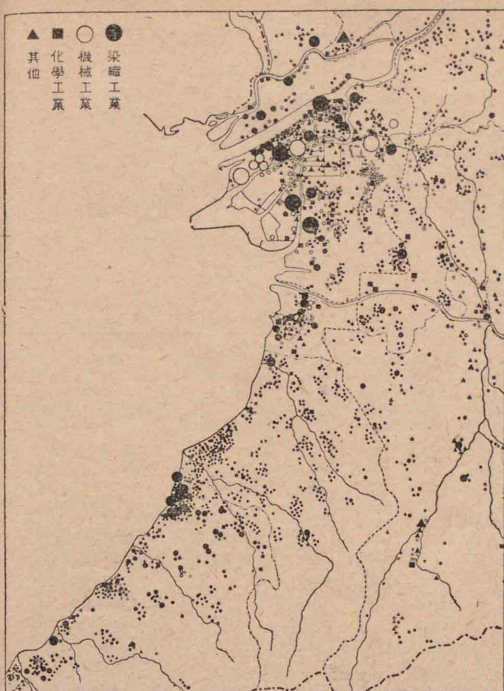


く古風の聚落の形も残つてゐる。又盆地は大和西瓜の産出が多い。

(六) 大阪平野 (阪神地方) 大阪市は大阪灣頭淀川口にあつ

1) 金屬製品・綿糸・綿布等は殊に盛である

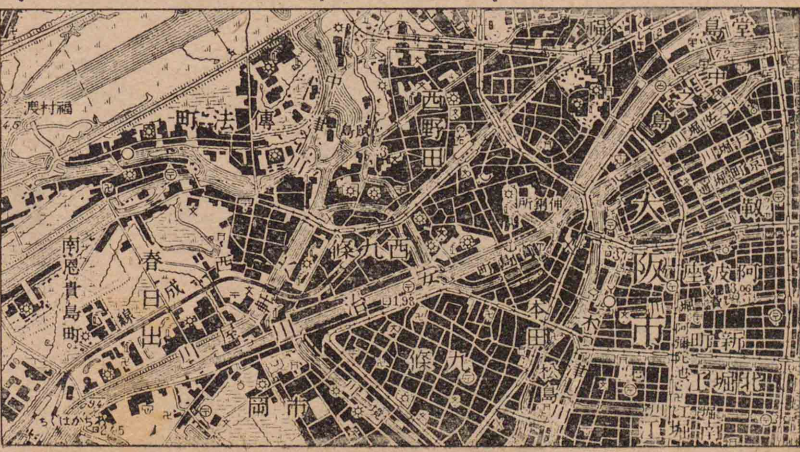
2 商大
● 大阪(陸測) (下)
● 大阪府下の工場分布 (上)



● 染織工業
○ 機械工業
■ 化学工業
▲ 其他

も種類も多く、西は尼崎・神戸、南は堺・岸和田まで及ぶ。阪神工業地帯の核心をなす。内地商業の大中心であると共に外国貿易も盛で、棉花羊毛を輸入し綿織物・人絹織物を輸出する。神戸市は六甲山塊の南麓の海

岸平野を占め、湊川・生田川の三角洲及和田岬の地を占め、西に兵庫港、東に神戸港がある。神戸は横濱・大阪と並ぶ貿易港で、棉花



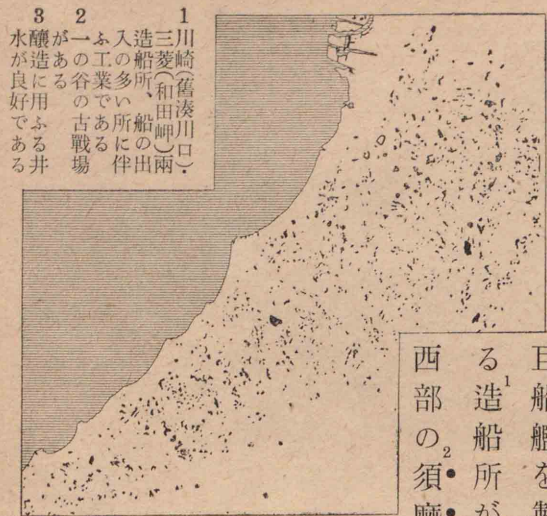
突



倉庫
荷揚場

大阪の倉庫及荷揚場の分布に密集してゐる(殊に水運の便な所)

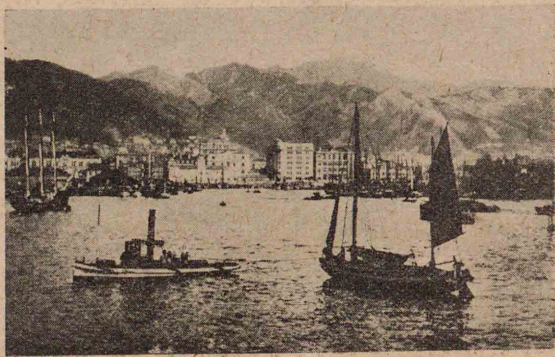
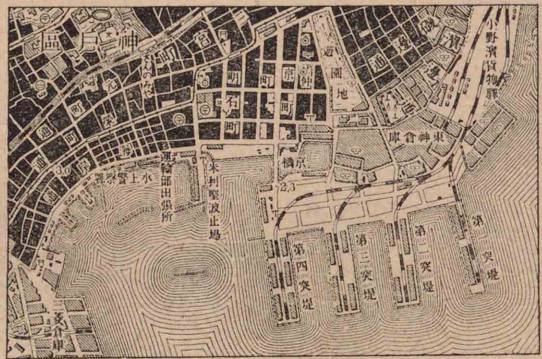
- 神戸港(陸測)三萬分の一(中)
- 海上から見た神戸市と六甲山(下)
- 和泉地方の溜池の分布(上)



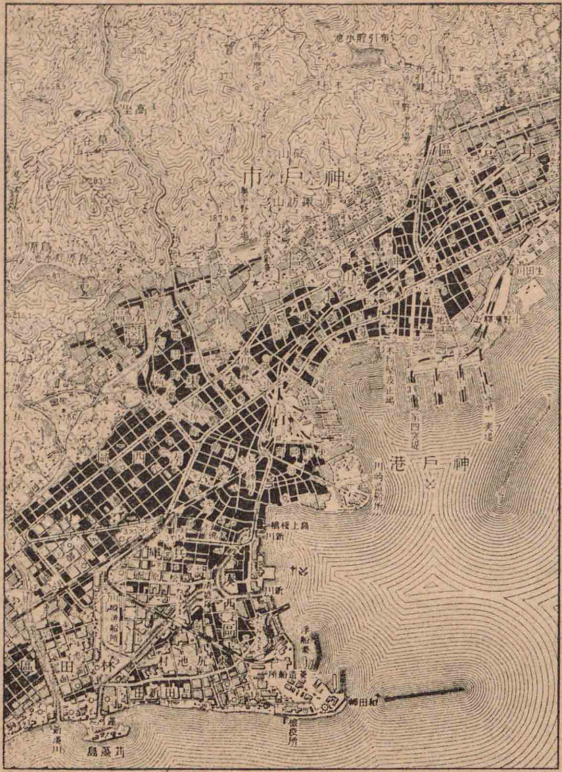
- 1 川崎(舊湊川)の三入(和泉)の造船所
- 2 入の多い所にある工業地帯
- 3 醸造に用ふる井水が良好である

生ゴム等を輸入し、綿織物、生絲、人絹織物等を輸出し、工業品は樟腦、マッチ等に於て特色がある。又巨船艦を製造する造船所がある。西部の須磨は氣

候良
好白
砂青



松古蹟に富み、阪神の休養地帯の標式的の地である。東郊の御影、西宮市は所謂灘と稱する我が國で最も有名な清酒の産地である。尼崎市は阪神二都の連鎖をなす工業都市で、阪神の兩港と船の



●明治九年實測の
●神戸(陸・河)の
●七萬五千分の一
●草細工を産する
●川陰陽連絡線
●を川から生野線
●一を直線に通じて
●る

野の中央に、¹姫路市があり、山陽線から
播但線と姫津線とが岐れる。明石市
は美景で知られ、又近時工業が興つた。
龍野は醤油を産する。(八)淡路島には

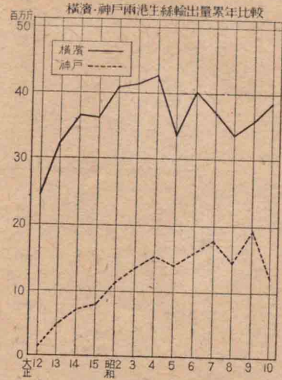
紀淡海に近く、良洲がある。北部山地



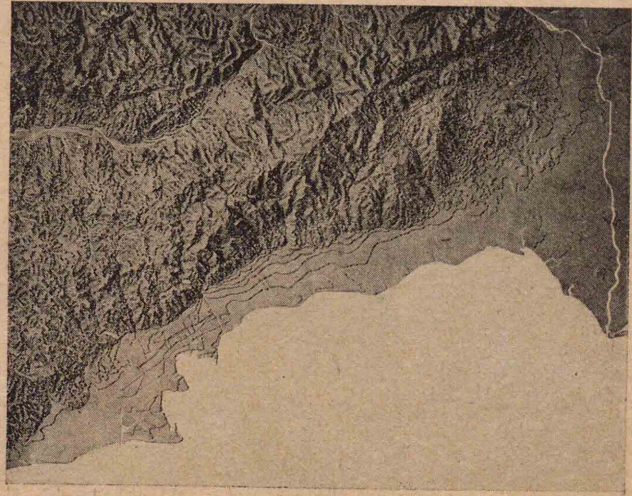
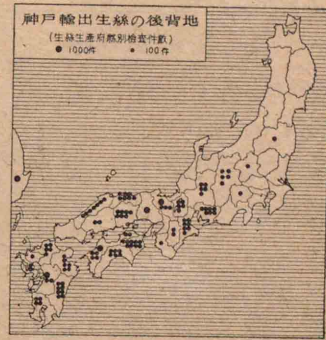
1 刃物・セルロイド等を産する
2 綿絲・綿布を産する

●六甲山塊及海岸平野の模型

池田は清酒を産する



便がある。¹堺市はもと足利時代の貿易港、今は²岸和田市及和泉山麓の村落と共に阪神工業地帯の南部を形成する。又大阪の外廓には豊中市池田八尾及布施市等がある。和泉地方では水田灌漑のため溜池が著しく多い。(七)播磨平野は市川千種川等の下流平野で、中國の山陽式の景觀を備へてゐる。海岸は白砂青松で、室津以西は多島海となり、純瀬戸内式となる。千種川三角洲上産の赤穂鹽は古來良質で知られてゐる。平

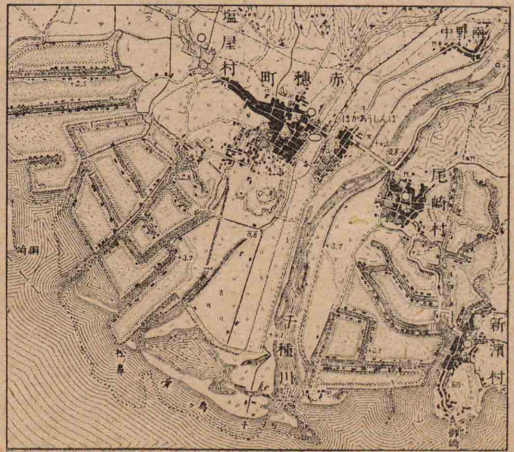


●住吉陸測(七萬五千分の一)(上)
 六甲斷層崖に於ける水車谷(もとは盛に醸造用の米を搗いた)天井川を横ぎる鐵道等がある

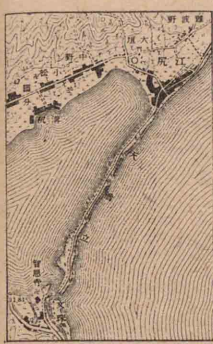
【京都・兵庫】
 1 柳行李を産する
 2 銀・銅を産する



(一)主體山地の由良川の谷に福知山市加古川の谷に篠山保津川の谷に



●赤穂の鹽田(陸測)七萬五千分の一(下)
 ●天橋立(陸測)七萬五千分の一(上)
 南流する沿岸潮流によつて砂嘴が長く突出し與謝(ヨサ)の内海を抱いてゐる

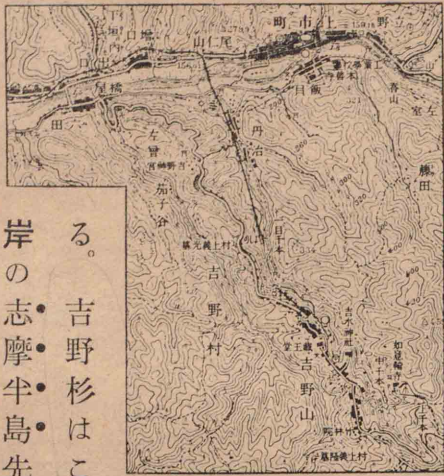


若狹灣沿岸 舞鶴灣頭には日本海方面の海軍根據地である要港舞鶴があり、宮津灣頭に開港宮津があることは敦賀・小濱と同様式である。宮津の附近に砂嘴の形勝地天橋立がある。

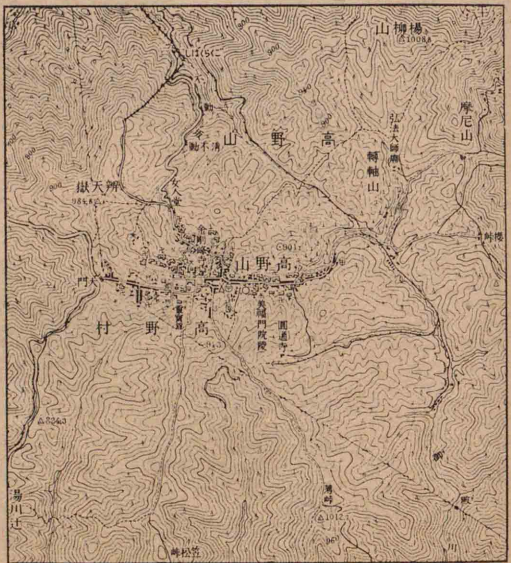
南部山地 (一)紀川の谷は和泉山脈と紀伊山

【和歌山】
 1 市の南部には和歌浦がある

●高野山(陸測)七萬五千分の一(下)
 ●和歌山・奈良・三重
 ●吉野山(陸測)七萬五千分の一(上)



脈に挟まれた狭長な地溝帯で、中央低地と南部山地との漸移地帯である。和歌山市は綿ネルの創業古く、紀川口は吉野杉を集散する。(二)紀伊山地は吉野熊野國立公園に指定され、又靈地が多い。



大臺原山及山上岳は信仰登山者極めて多く、又金剛峯寺のある有名な高野山は山上の平坦面を空海によつて寺域と定められた所である。吉野川の谷に傾いてゐる山嶺の末端は史蹟に富む吉野山である。吉野杉はこの地方から筏で新宮へも下される。(三)紀伊半島東岸の志摩半島先端は海蝕臺地で、沿岸は沈降して溺れ谷をなしてゐる。

1 白濱温泉は阪神
休養地帯の一つ
である

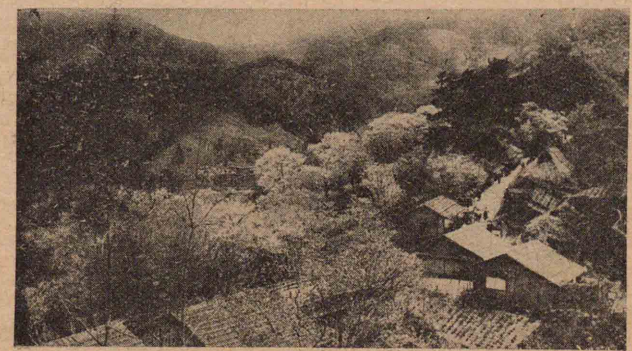
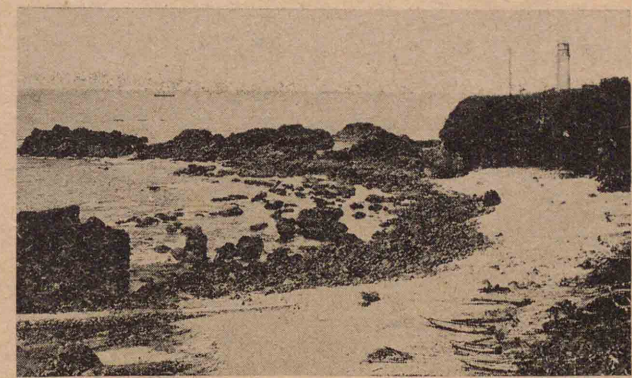
【和歌山】

- 潮岬の燈臺(中)
- 吉野山の櫻と尾根聚落(下)
- 潮岬(陸・測)廿萬分の一(上)



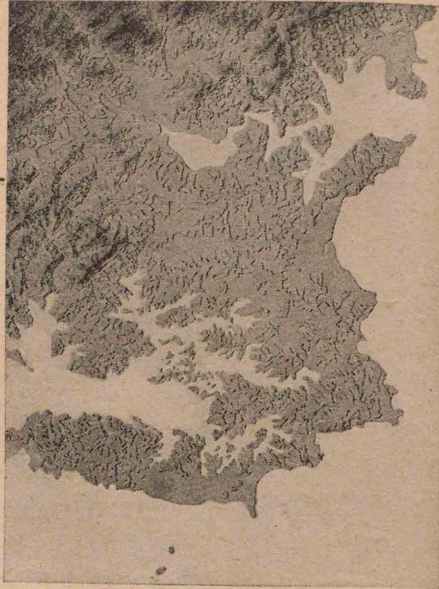
近畿地方

るから、鳥羽灣の鳥羽は避難港及漁港として好錨地をなし、英虞灣五ヶ所灣は眞珠養殖の好適地である。(四) 紀伊半島西岸の有田川の北の古い岩石の山地は良質の蜜柑を産し、海南市には特産黒江塗がある。(五)



三

紀伊半島南岸は米作地が少く、狭い海岸段丘上に甘藷を栽培し、その他は森林である。従つて漁業に力を注ぎ又海外にも出稼する。潮岬は紀伊半島の最南端にあるため、燈臺無線電信局があり、地頸部の串本は漁港で、捕鯨の根



- 志摩半島の模型(上)
- 米の生産分布圖(一九頁)
- 成牛の分布圖(八三頁)
- 箕島附近の蜜柑の生産地(陸・測)七萬五千分の一(下)
- 二百米以下である有田川附近の蜜柑の生産地(中)

近畿地方

麥稈麥・小麥・菜種等は伊勢近江大阪播磨の諸平野に産し、米は兵庫縣が名高く、近畿以西は稈麥と菜種の作付が多くなる。茶は京都奈良・三重の三縣下の傾斜地に産し、玉露が多く、宇治茶が最も名高い。



三

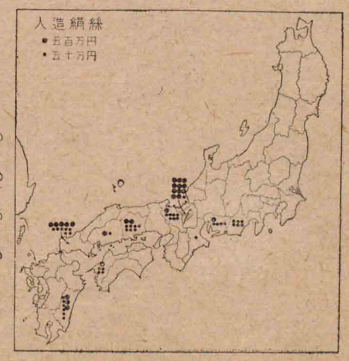
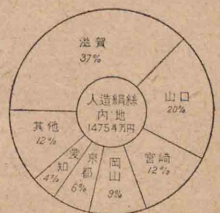
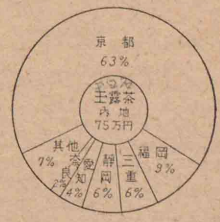
據地に適してゐる。新宮市は杉材の集散地で、附近の那智山と那智瀧とは有名である。又紀勢線が東西兩岸より漸次開通しつつある。

産業

農業は中央低地が主で、南北山地は餘り振はず、殊に紀伊半島には耕地が少い。米

- 米園グラフ (二二頁)
- 茶園グラフ (五一頁)
- 蜜柑園グラフ (五一頁)
- 乳牛園グラフ (一九九頁)
- 蠶園グラフ (五一頁)
- 毛織物園グラフ (二二頁)
- 絹織物園グラフ (二二頁)
- 綿織物園グラフ (二二頁)
- 綿絲園グラフ (二二頁)
- 絹織物園グラフ (二二頁)
- 富士絹園グラフ (五一頁)
- 羽二重園グラフ (五一頁)
- 漆器園グラフ (二〇二頁)
- 陶磁器園グラフ (五一頁)

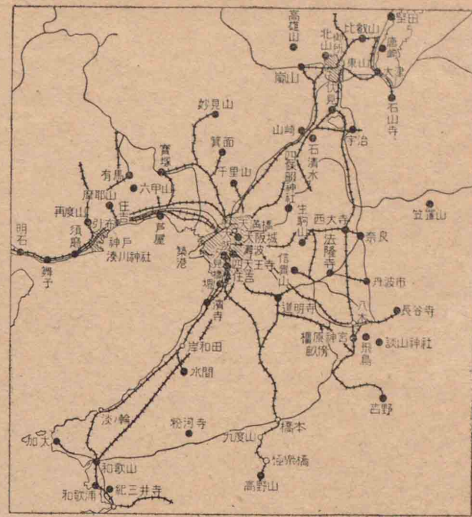
蜜柑は茶と共に東海地方に對する西部の名産地で、和歌山縣は全國有數の産地である。大阪平野の葡萄と大和の西瓜は知られてゐる。養蠶は滋賀京都兩府縣の北部に行はれる。牧畜は但馬淡路の地方に行はれ、中國の牧牛地帯の東端で、但馬・牛・神戸・牛として各地に送られる。森林に富むのは古來木の國と呼ばれた紀伊と吉野地方で、水産業の盛なのは熊野灘に面する紀伊半島の沿岸で、鱈・鰯・鯉・鯨等の漁利多く、伊勢海は蝦の特産がある。眞珠貝の養殖は世界的に名高い。瀬戸内海は鯛を以て特色とする。鹽田は播磨灘沿岸にあり、瀬戸内製鹽地帯の東端をなす。阪神工業地帯は我が國有數の近代式工業地帯で、大阪灣沿岸に連り、纖維工業・機械工業・化學工業等殆んど總てが發達し、殊に綿紡織の大工



場が多い。琵琶湖畔の人造絹絲は殊に新興工業である。これに反し絹織物・染物・陶磁器等の在來の美術工藝は古い文化の源泉地、山紫水明の京都に行はれる。その外各地に縮緬・麻布・綿ネル等の織物・清酒・陶器・漆器等の産があり、灘の酒は古今に名高い。大阪は徳川時代に全國大名の米が取引された所で、當時既に我が國商業の大中心であつた。今も取引上の中心としては東京に譲らない。大阪の商品は廉價で實用向な點に於て全國に得意をもつてゐる。貿易は神戸・大阪共に盛であるが、大阪へ神戸を経て輸出するものが多いのは取引の惰力による點が多い。阪神二港は合して一港と見られ、取引先は共に米國・英領印度・關東州・滿洲國・支那・蘭領印度・イギリス・ドイツ等である。

●鹽田の分布圖 (八五頁)

交通 中央低地は若狹灣・伊勢海・大阪灣の三灣入のために生じた地峽部に當るため、東海・中央高地・北陸・山陽・山陰の諸地方からの鐵道及諸街道が總べて京阪に集まつてゐる。これ等の交通路は地壘中

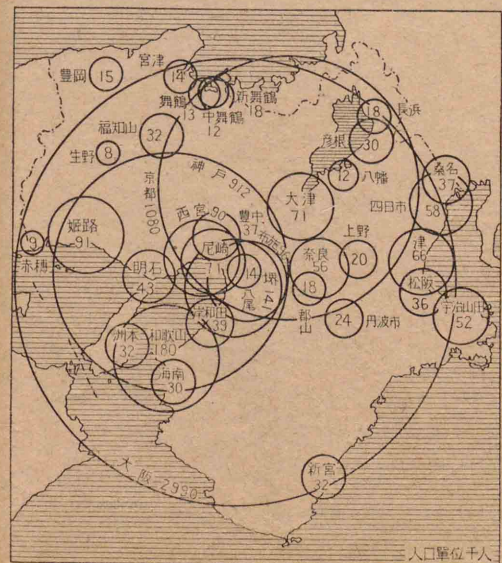


● 京阪神中心の遊覽休養地帯と電車及鐵道網
 ● 近畿地方の都市人口分布圖
 ● 人口分布圖 (卷頭、五六頁)

の狹隘を巧に通過してゐる。又電車網の發達は我が國第一である。大阪・神戸・京都の三都には地下鐵道も開通した。これに反し南部山地は交通の發達が極めて遅い。海上交通は神戸及大阪が中心で、内國航路は勿論、外國航路も悉くこの二港から發するといつても過言ではない。沿岸航路は紀伊半島に發達してゐる。大阪は東京と共に對外無線電信・電話網の中心で、遠くヨーロッパ及南洋方面とも直接通信してゐる。

住民

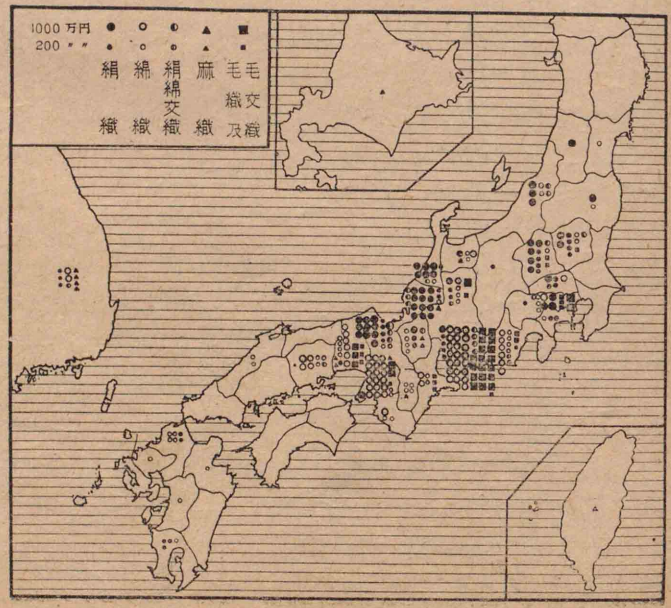
中央の諸盆地は我が國



● 本邦織物生産比較
 1 (前頁) 大阪中央電信局 (無線電信・電話 深井送信所)
 (大阪府) 明石受信所 (兵庫縣) 依佐美送信所 (愛知縣) 小野受信所 (兵庫縣)
 2 (前頁) 對滿・對支・對南洋・對歐通信

問題

- (一) 主な鐵道及街道を圖示してそれと地形との關係を述べよ
- (二) 關東と關西とを比較せよ
- (三) 京阪神三都の特色を挙げよ
- (四) 紀伊半島の自然と人文とを述べよ
- (五) 各府縣としての特色を挙げよ



第四章 中國及四國地方

位置と地理的區分

中國及四國地方は近畿九州二地方

の中間にある。

瀬戸内及諸海峡の陥没によつて、中國は半島に四國は島となつたが、近畿の北部中央南部三帶の西の繼續であるから中國及四國を一括して一地區とした。中國を分つて山陰と山陽との二地方とし、四國を北四國及南四國の二地方とする。而して山陽と北四國とは合して瀬戸内と稱する一地區を形成する。

地勢

中國山地は高原狀であつて、餘り高峻な山はない。分水界は一般に北に偏して略東西に走る。東部では南斜面に津山盆地等の盆地がある。西部の三次盆地は北斜面に屬するが、南斜面と類似點が多い。山陰に大山(天・山・國・立・公・園・三・瓶・山)等の火山があるのは白山火山脈が走つてゐるからである。三朝温泉等も亦この線上にある。山陰海岸地方の中央海岸に島根半島と松江低地帯があるのは著

| 縣名 | 行政區劃 | 管轄國名 | 廳所在地 |
|-----|-------|------|------|
| 鳥取縣 | 因幡・伯耆 | 鳥取市 | 鳥取市 |
| 島根縣 | 出雲・石見 | 松江市 | 松江市 |
| 山口縣 | 隱岐・長門 | 山口市 | 山口市 |
| 岡山縣 | 備前・備中 | 岡山市 | 岡山市 |
| 廣島縣 | 備後・安藝 | 廣島市 | 廣島市 |
| 香川縣 | 讚岐 | 高松市 | 高松市 |
| 愛媛縣 | 伊豫 | 松山市 | 松山市 |
| 徳島縣 | 阿波 | 徳島市 | 徳島市 |
| 高知縣 | 土佐 | 高知市 | 高知市 |

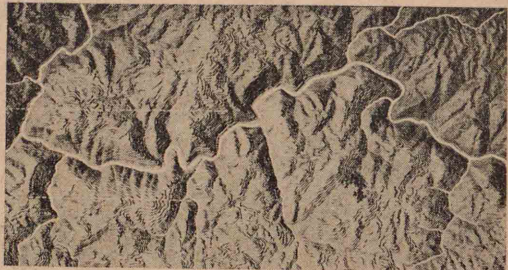
1 大山は中國第一の名山で、その北に船上山がある

● 出雲海岸地方の地形圖(八二頁)

● 中國高原の模型

成羽川及東城川の流域(岡山縣内)は成羽川と稱し、廣島縣内は東城川といふ。中國高原(陸・測七萬五千分の一)東城川の流域、共に谷は深いが山頂面は略同じ高さで、そこに耕地も聚落もある

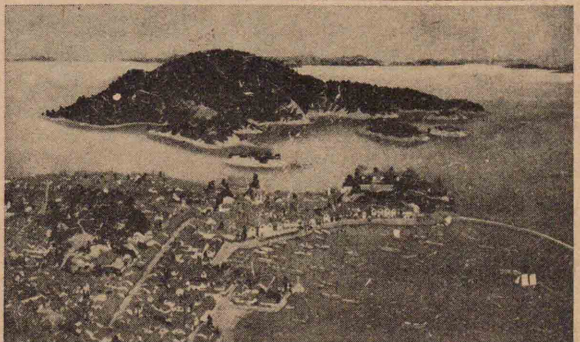
しい變化である。島根半島の地塊と本陸との間の地溝帯は斐伊川等の三角洲及夜見濱の砂嘴によつて埋められたが、宍道湖と中海とは残つてゐる。沖には隱岐群島がある。東部海岸は山地が海に迫つてゐる間に諸川の谷が開け、川口には砂丘及瀉がある。石見長門の海岸は岩がちで、江川の川口には三角洲もない。



瀬戸内 中國と北四國とはもと地續きであつたものが陥没し沈水して多島海を生じた。山陽海岸地方は岡山平野が最大で、その他は小低地が海岸に散在してゐるのみである。北四國の南境は四國山脈の北麓である。東部には讚岐山脈と讚岐平野とがあり、その平野の中に屋島の如き熔岩臺地がある。西部に高繩半島の地塊と松

山平野がある。中部は四國山脈が直ちに燧灘に面してゐる。

瀬戸内海の中央部は海国立公園で、この内海には播磨灘、水島灘、備後灘、燧灘、伊豫灘、周防灘等の灘と、兒島灣、廣島灣の灣入と、兒島、讃岐、高縄の三半島及無數の群島がある。潮汐は東は紀伊水道及紀淡明石、鳴門の三海峡から、西は下關海峡、豊後水道及來島海峡から流入して、備後灘で會合する。内海は島の多いのと、花崗岩の明るい山膚と、それが分解されてできた白砂の濱と、緑の松と、碧い海とが快晴の多きと相俟つて、美景をなしてゐる。



凸

- 1 瀬戸内海国立公園と稱する
- 瀬戸内(陸測) 廿萬分の一(中)
- 瀬戸内の標式的の景(瀬戸内)石塚省三氏筆(下)

● 屋島の模型(上)

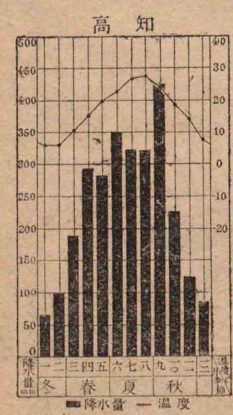
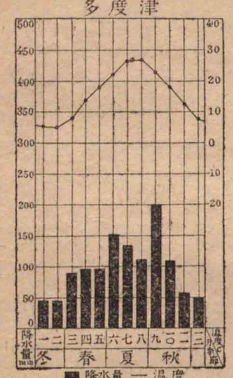
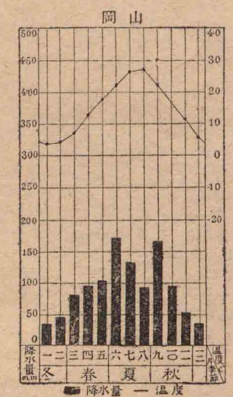
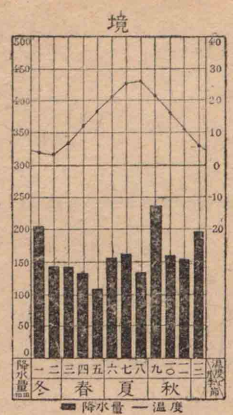


南四國 吉野川平野は狭長な地溝帯で、對岸の紀川平野と似てゐる。四國山地は四國山脈、東西に走り、起伏が著しく、石鎚山と劔山とは最も知ら

れてゐる。東西の方向の縦谷もあれば、吉野川上流の大歩危小歩危の如き南北の方向の横谷もある。陥没した土佐灣頭には堆積した高知平野がある。東岸は紀伊水道によつて紀伊山脈と切斷され、西岸の豊後水道は九州山脈と絶ち、共にリアス式の海岸をなし、東に蒲生田岬、西に佐田岬が突出してゐる。兩水道と土佐灣との間の三角狀の突端が室戸崎と蹉跎岬(足摺岬)とである。

氣候

山陰の氣候は北陸地方に似て、冬雪の多い裏日本式で、南四國は紀伊半島に似た夏雨の多い表日本式である。これに反し、



内式の氣候である。夏冬兩季の季節風に對し山を隔てた風下にあるためである。

【鳥取】

處誌 山陰海岸地方 (一) 東部地方 鳥取平野の中心として鳥取市がある。

(二) 出雲海岸地方 松江市は松江低地帯の中央、宍道湖の水が中海へ通ずる所に臨んでゐて、山陰文化の中心地である。夜見濱の基脚部に米子市があり、尖端に位する開港境は昔榮えた美保、關に代つた山陰第一の港である。島根半島西端に近い大社に出雲大社の神域がある。

- 【鳥取・島根】
- 1 中部地方
- 2 瑠璃細工・出雲焼を産する

●出雲海岸地方の地形

【島根】西部地方

【島根・山口】3・4 開港場

【中國諸縣】

(四) 石見長門の海岸の濱田は山地に産する石州半紙及和紙の原料の集散地であり、萩市は毛利氏の舊城下町で、維新の史蹟に富み、夏蜜柑の特産がある。

中國高原及盆地 津山盆地には中心津山市があり、陰陽連絡線の



●牛の發送 (下) 各驛の比例をあらはす

一が通過してゐる。三次盆地は江川の上流にあるが、斷層谷で容易に廣島と連絡してゐる。山口盆地の山口市は縣政の中心である。山口線は斷層谷によつて山陰・山陽兩線を連絡してゐる。高原の中央部は牧牛が盛で、牝多く、所々に市が立ち、それ等に近い驛から盛に發送される。

瀬戸内 (1) 山陽海岸地方

(一) 岡山平野及備後海岸地方

は吉井川・旭川及高梁川等の

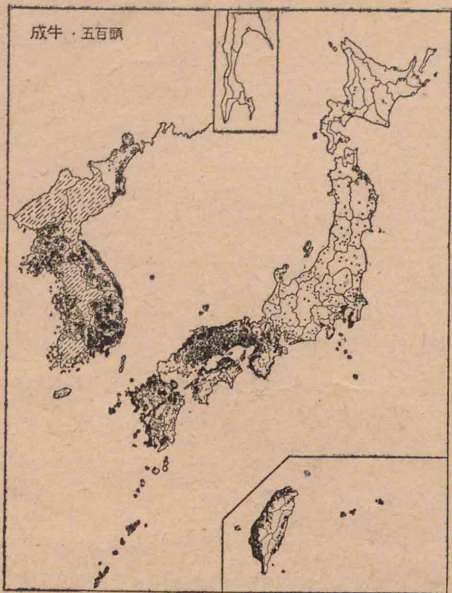
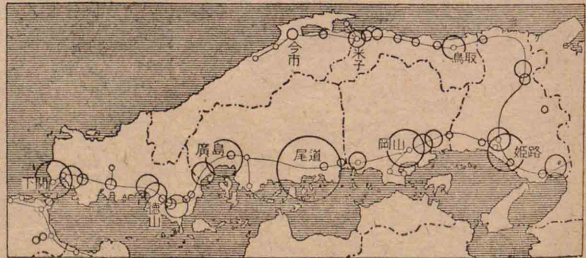
三角洲が丘陵を抱く海岸平

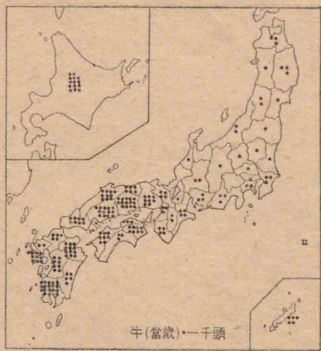
野である。兒島灣内の遠淺の地は順次干拓

されつゝある。米作の外、麥作が殊に盛で、藺

も亦廣く栽培されてゐる。従つて花筵・壘表

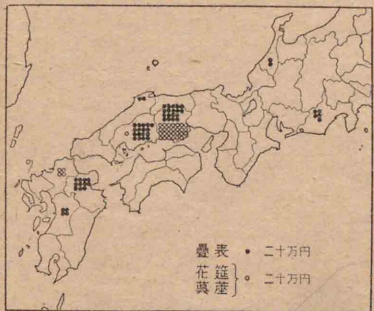
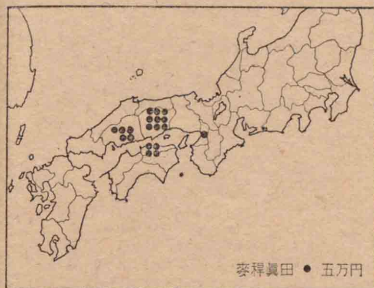
麥稈眞田等の生産が副業として行はれる。





〔岡山・広島〕

- 小麦の生産分布
- 1 夏季は北部の高原に貸飼(チンガヒ)に出す
- 2 醫大・後樂園がある
- 3 三原市は新工業地で、その一部糸崎は尾道と共して開港場をなしている
- 児島灣の干拓(陸測)七萬五千分の一(右下)



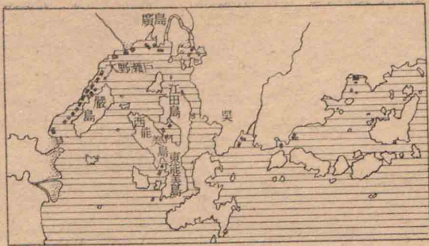
この低地には、牛の舎飼が行はれる。疊表花筵は岡山・福山・尾道三市等に、麥稈眞田類は高梁・笠岡に集散される。綿絲紡績の工場は岡山市・倉敷市及玉島等にある。製鹽業は到る處の三角洲に行はれ、松・永・味・野等は、その中心である。岡山市は山陽東半の中心で多くの鐵道が交叉し、宇野線により開港宇野に通じ、四國と連絡する。備後海岸には福山市・三原市及尾道市等がある。尾道市は瀬戸内の略中央に位し、古來船の出入の多かつた港である。多度津・今治・高濱等との間に連絡船が通つてゐる。鞆も亦昔榮えた港



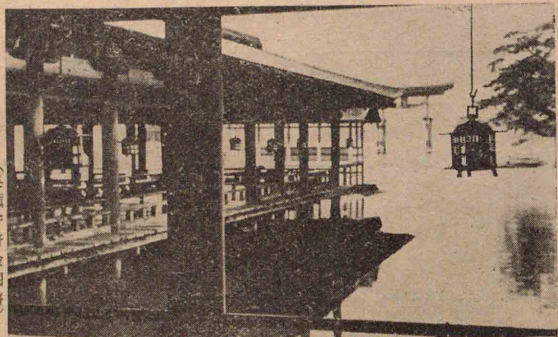
三原市 三原市

〔広島〕

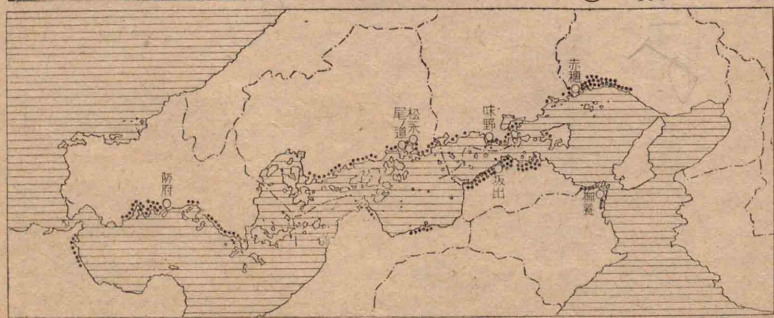
- 1 文理大
- 2 今治・高濱・別府・下關等と連絡してゐる
- 3 第二海軍區の鎮守府がある
- 鹽田の分布(下)
- 満潮時の嚴島廻廊(中)
- 広島灣の牡蠣築(七七)の分布(上)



であつた。水島灘からは鯛が多く獲れる。(二) 廣島灣沿岸地方 廣島市は山陽西半の中心をなし、中國最大の都市で、大田川の三角洲上にあつて、數多の分流が市中を貫いてゐる。廣島港(舊稱宇品港)は嘗て兩度の戰役に大陸への軍隊及軍需品の輸送に使はれた。吳市は瀬戸内海に於ける軍港で、巨艦・巨砲を造る工廠もある。嚴島は短冊形の地塊で、山を負ひ瀬戸に面した海濱に水陸に跨る殿堂・廻廊等が配置され、自然と人工の美がよく調和されてゐる。灣内

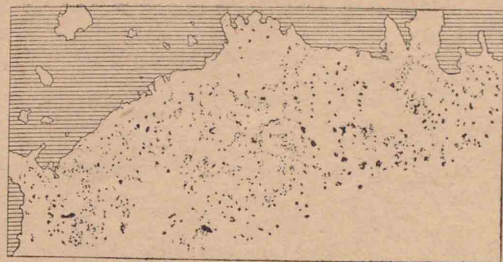


(吳鎮守府檢閱濟)

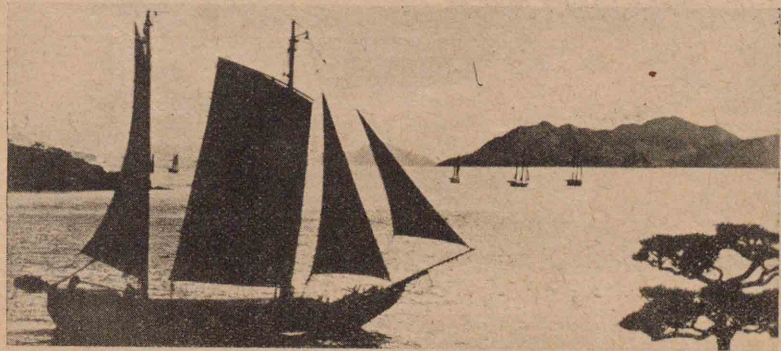
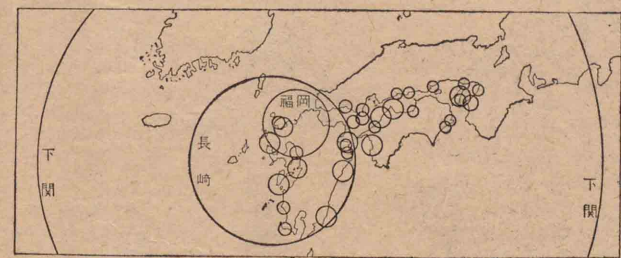


【山口】
瀬戸内及九州の
漁港漁獲物集散
高(香川縣の資
料を缺く)(中)
讃岐平野の溜池
(上)

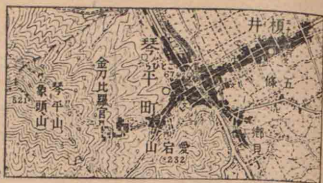
1 下關・朝鮮麗水
間



北部の淺堆には牡蠣の養殖が行はれる。
長海岸地方 岩國附近は人造絹絲を産し、開港
徳山市は海軍燃料廠があつて、大嶺及朝鮮の無
煙炭を原料として煉炭を製造
し、又製油も行つてゐる。
防府
市(三田)附近には鹽田多
く、小野田にはセメント工
場がある。宇部市は炭坑
聚落で、諸工業も盛である。
下關市は本州の西端にあ
り、關門・關釜・關麗三連絡
の要地で、又朝鮮近海に出
漁するトロール船及發動
機船の根據地で、戸畑市と

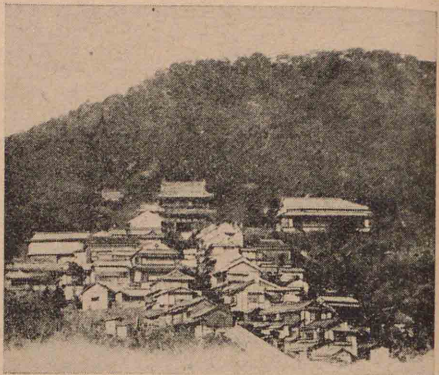


瀬戸内の風光



【香川】
1 和泉地方に似る
●琴平町(陸・測)
七萬五千分の一
(上)
●琴平の門前町
(中)

【愛媛】
2 離島は鑛毒の害
が緩和される
●松山陸・測(下)
小豆島の高地には
寒霞溪の勝があ
る



共に我が國有數の漁港である。又米の取引
が多い。

(2) 北四國 (一) 讃岐平野は灌漑用の溜池多
く、耕地よく發達し、人口密度が大である。米
作の外、麥作も亦盛で、副業としては麥稈眞田
を編む。沿岸には坂出を中心として鹽田が
到る處にある。高松市は縣政の中心で、宇野
との間に鐵道連絡船がある。多度津は丸龜
丸龜市は舊城下町、善

と共に昔金比羅參の船着場として繁昌した。
通寺は兵營町、琴平は船乗の信仰厚い金刀比羅宮の
ある所である。
東豫地方 新居濱市は別子銅山
の鑛石を、四阪島精鍊所に送る仲繼港で、工業も興つ
てゐる。開港今治市は來島海峡に近く、綿機業が行
はれてゐる。
(三) 松山平野 松山市は城址のある丘



1 興居島が前にある。宇治・宇品と連絡がある

〔徳島〕
●徳島(陸・測)七
萬五千分の一
三角洲にある小丘上の城址とその城下町とがあらはれてゐる

〔徳島・愛媛・高知〕
2 輸入の染料の壓迫により衰へた藍畑は桑畑となつたり灌漑用水路の新設により水田となつて産額は減じたが尙一特産である

〔高知〕
●高知平野第一回の米作地の分布 (上)
●同第二回の米作地の分布 (下)
●銅の生産分布圖 (二四頁)
四國山地の横断路は自動車により高知から大歩危の谷を池田に出ると仁淀川の谷を廻り三坂峠を経て松山に達するのことが主である

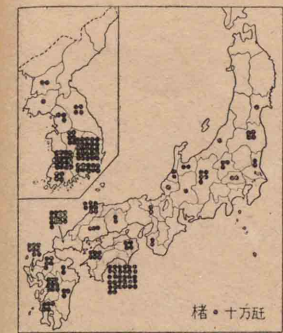
1 阪神と汽船の連絡がある

〔愛媛・高知〕

中國及四國地方

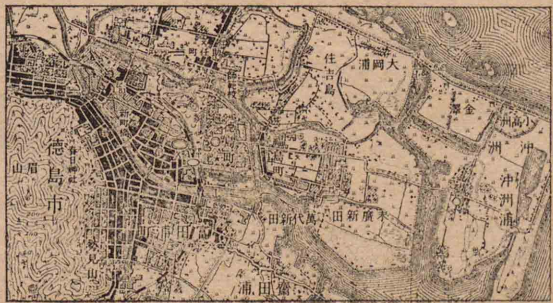
を圍んだ舊城下町、北・豫の中心で、伊・豫・緋を集散し、高・濱・三・津・濱はその外港である。東郊の道後温泉は古來知られてゐる。

南四國 (一) 吉野川平野は南北四國の漸移地帯である。平野の西端の池田は交通の要路に當り、池田・脇町附近の高地から煙草を産し、脇町附近の低地では古來藍の栽培を行つて來た。この谷の中心徳島市は吉野川三角洲にあつて、小松島港によつて阪神と通じてゐる。撫養は瀬戸内製鹽地帯の東南端である。 (二) 四

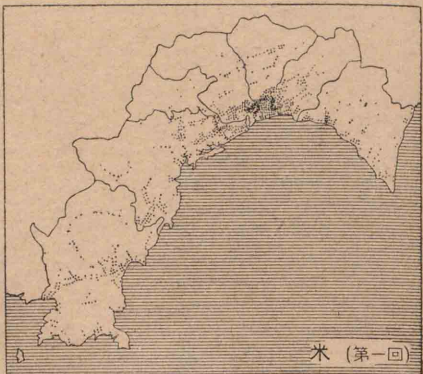


格・十方旺

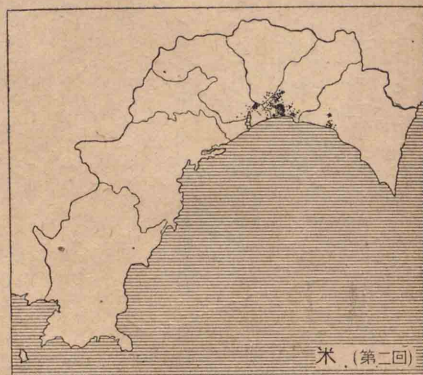
國山地は山が深い。祖谷は久しく隔絶された山間の地方として知られてゐる。山地は暖濕の氣候で森林に富み、殊に樟の自然林がある。大洲盆地附近は榎の産出あり、大洲はその集散



六



米 (第一回)



米 (第二回)

地である。 (三) 高知平野は温暖で、稻の二回の成育に適してゐる。山地では三椶楮よく育ち、伊野附近では土佐半紙の生産が盛である。近海は鮪・鰹等の漁獲多く、土佐節の

名も亦世に高い。室戸崎・足踏岬は遙かに太平洋に突出し、漁業の根據地に適し、室戸・清水等の漁港がある。高知市は土佐灣頭の港市で、この中心である。 (四) 豊後水道東岸即ち南豫地方は各灣頭にそれぞれ地方の中心があり、宇和島市及八幡濱市はその主なものである。この地方の産業の中心地帯である。比較的平地廣く且つよく利用

産業

産業は中國では山陽、四國では北四國が盛で、即ち瀬戸内がこの地方の産業の中心地帯である。比較的平地廣く且つよく利用

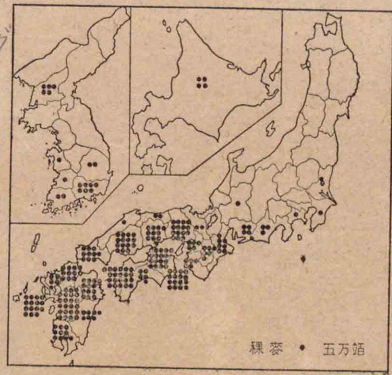
中國及四國地方

六

- 米の生産分布圖 (一九頁)
- 畑の分布圖 (二〇頁)
- 大麥の生産分布圖 (二〇頁)
- 小麥の生産分布圖 (二二頁)
- 煙草の生産分布圖 (二七頁)
- 蠶の生産分布圖 (二〇〇頁)
- 成牛の分布圖 (八三頁)
- 鯉の集散地圖 (四〇頁)
- 鹽田の分布圖 (八五頁)
- 石炭・石油の生産分布圖 (二〇一頁)
- 銅の生産分布圖 (二四頁)
- 麥稈眞田の生産分布圖 (八四頁)
- 蠶表・莫産・花筵の生産分布圖 (八四頁)
- 綿絲の生産分布圖 (二三頁)
- 綿織物の生産分布圖 (二三頁)

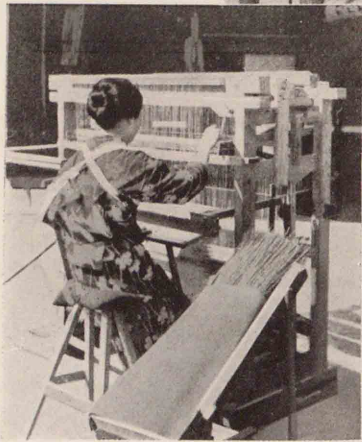
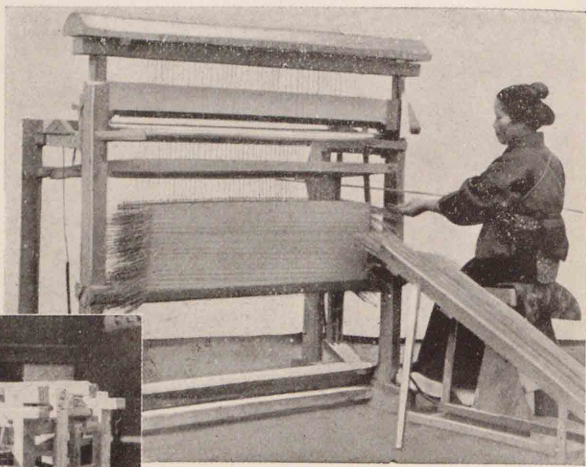
中國及四國地方

されてゐるのは讃岐平野と岡山平野とである。一般に低地は勿論、高原上でも灌漑の許される所は米作が行はれてゐる。麥作は降水量の最も少い岡山・讃岐兩平野が主である。梨・烏取・愛媛・桃・岡山・葡萄・同・夏蜜柑(山口)及蜜柑(廣島)・愛媛も産し、藍・煙草(徳島)・榎(愛媛)・楮(三桧)・甘蔗(香川)・除蟲菊(山陽)等の特産もあるが、後者は舊時藩侯の保護奨励によるものが多く、その後僅かに情性により倂を存してゐるものもある。中國に於ける牧牛は我が國第一で、肉牛として他地方に賣出す外、廣島に於て肉罐詰業が盛である。南四國は林産が多い。瀬戸内の鯛・鱈、土佐沖の鮪・鯉・鯉節・鮪・鯨、隱岐の柔魚・鰻、廣島灣の牡蠣等は各地方の代表的水産物であつて、山口縣及近縣は朝鮮近海へ出漁の好位置にあり、下關の如き大漁港が發達してゐる。瀬戸内は到る處鹽田があり、所謂十州鹽田と稱せられ、我が内地製鹽の約



六

蠶表の製作



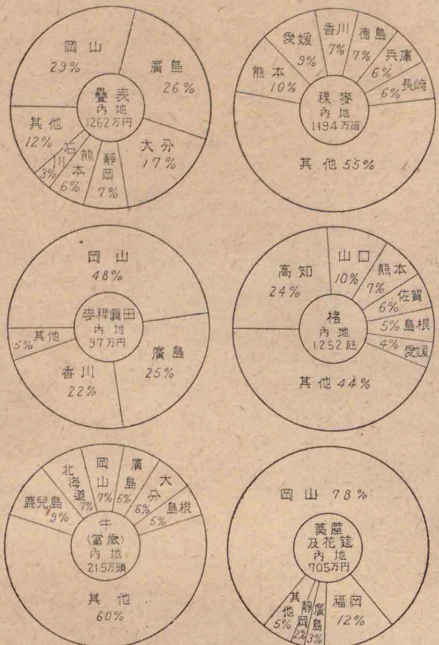
花筵の製作



蔘草の刈取

- 1 稞麥の麥稈
- 蜜柑園グラフ
- 楡園グラフ (五一頁)
- 椋園グラフ (二〇七頁)
- 鯉園グラフ (五一頁)
- 銅圓グラフ (二二頁)
- 石炭園グラフ (二〇一頁)
- 人造絹絲園グラフ (七四頁)

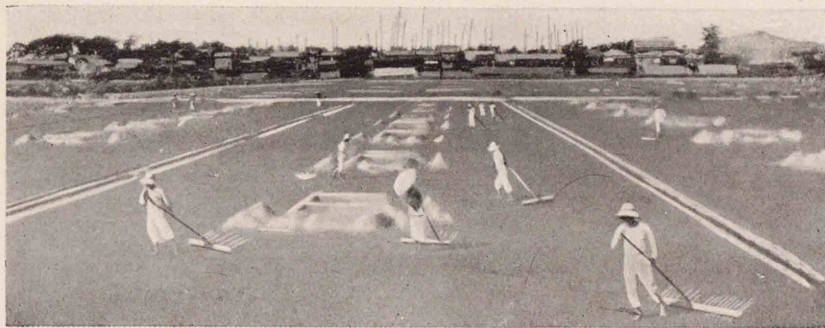
中國及四國地方



九割を占めるのは氣候・地形その他に負ふ所が多く、防府・松永・味野・坂出・撫養等の附近が殊に盛である。鑛産では別子の銅、宇部の石炭、大嶺の無煙炭、瀬戸内の花崗岩等が主なるものである。副業的の工業では山陽地方の藺草、瀬戸内の麥稈等を原料とする内地向の疊表、輸出向の花筵、麥稈眞田等の製作が農家の副業として行はれ、我が國の産額の大部分を占めてゐる。近代工業の綿絲・人絹等の工業は岡山・廣

島・三原・岩國附近に、綿ネル・タオル類の製織は今治に、在來工業の織物は岡山・愛媛・徳島諸縣下に産し、清酒・和紙等を各地に産する。内地商業は岡山・廣島・下關・高松・松江・徳島・高知等主として縣政の中心が主要な地方的中心で

麥稈眞田の製作



坂出の鹽田



土佐の鯉節製造

あるが、總じて阪神の商圏に屬する。貿易は神戸の後背地であるため各港は餘り振はない。

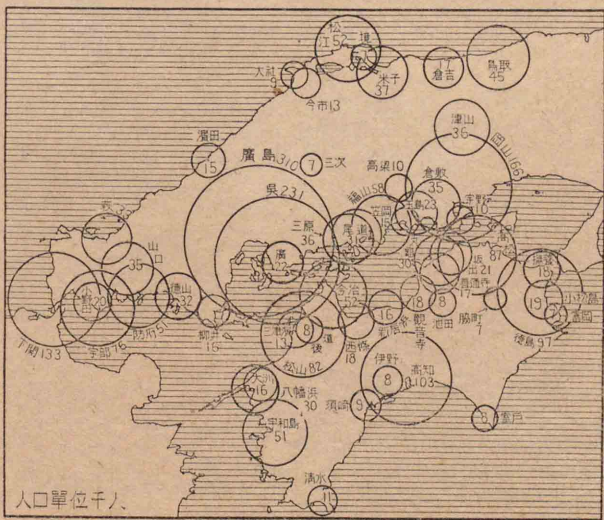
交通

山陽線最も早く全通し、東海道線と接續して我が國の幹線をなし、次で山陰線開通して中國の環狀線が成立し、又中央部に於て兩線を結ぶ横斷線山口線、伯備線、因美線等も開通し、更にこれを助ける省營バスの横斷線も數線ある。北四國には東西縦貫の豫讃線ありて山陽線と對立し、吉野川流域には縦貫の徳島線あり、南四國は土讃線の開通により高知と高松、徳島との連絡が完成したが、南四國は未だ十分鐵道に恵まれない。瀬戸内海は古來水運

▲主要鐵道の線名と起點・終點・乗換驛等とを擧げよ

●人口の分布圖 (五六頁)

●中國及四國地方の都市人口分布圖 (下)



- 1 大阪—高松間
- 宇野—高松間
- 尾道—鞆—多度津間
- 尾道—今治間
- 尾道—高濱間
- 廣島—今治間
- 廣島—高濱間

發達し、この地の制海權を得た者は常に優勢であつた。今は國內で航路網の最も密な所で、内外主要汽船でこの海を通過しない船は殆んど無いと言つてよい。瀬戸内の美景は内外人に最も楽しい航海をさせてゐる。山陽北四國間はW字形に連絡航路が發達してゐる。山陰地方の冬季航海の不便なのは北陸地方に似てをり、南四國の沿岸航路が陸上交通の缺を補つてゐる點は紀伊半島と類似點である。住民 人口密度は山陽北四國が密で、山陰これに次ぎ、南四國が最も疎であることは自然、人文の環境と文化地帯への距離の關係による。文化は中央の瀬戸内が表、山陰と南四國とは裏といふ外はない。

問題

- (一) 山陰と山陽との二地方を比較せよ
- (二) 岡山平野と讃岐平野とが姉妹地方であると
いひ得る理由があれば述べよ

- (三) 瀬戸内の自然及人文を總括して述べよ
- (四) 南四國と紀伊半島との類似點を擧げよ
- (五) 各縣としての特色を擧げよ

第五章 九州地方

位置と地理的區分

九州地方は中國及四國の西南に位し、それ等二地方の續きを一つに接合した所である。

この地方は地理的に大別すると北九州、肥前、半島、九州、南九州の四區となる。

地勢

北九州には中國高原に續く筑紫山塊があるが、遠賀川の谷、二日市の狹隘等の斷層谷によつて斷絶されてゐる。福岡海岸平野の川は博多灣に集中し、海中道の大砂嘴

は灣を抱いてゐる。筑紫平野は筑後川流域で下流は三角洲の堆積作用が盛で、低平な平野が増加しつゝある。

肥前半島で、岩がちの沈降海岸をなし、極めて肢節に富んでゐる。唐津、住江地峽部以西は

原半島は殆んど火山、雲仙岳から成つてゐる。平戸島、五島列島は列

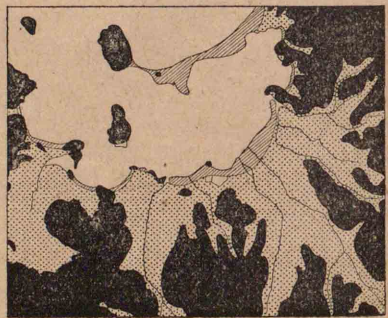
をなし、壹岐對馬の二島は朝鮮との間にある。

| 縣名 | 管轄國名 | 廳所在地 |
|------|------------|------|
| 福岡縣 | 筑前・筑後・豊前一部 | 福岡市 |
| 佐賀縣 | 肥前一部 | 佐賀市 |
| 長崎縣 | 肥前一部・壹岐・對馬 | 長崎市 |
| 熊本縣 | 肥後 | 熊本市 |
| 大分縣 | 豊前一部・豊後 | 大分市 |
| 宮崎縣 | 日向 | 宮崎市 |
| 鹿児島縣 | 大隅・薩摩 | 鹿児島市 |
| 沖縄縣 | 琉球 | 那覇市 |

1 温泉岳とも書く

●福岡海岸平野の地形

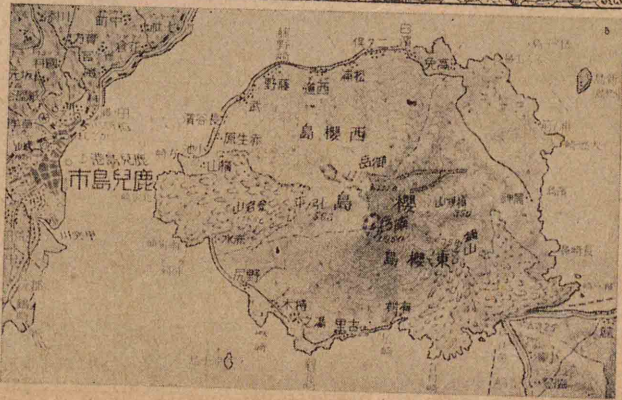
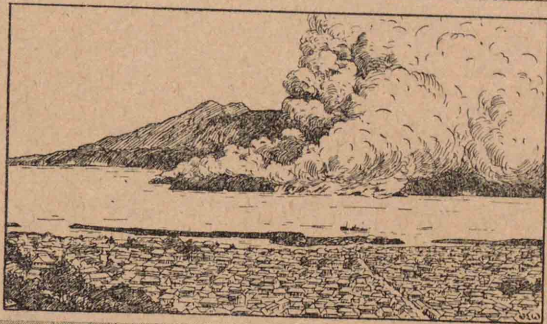
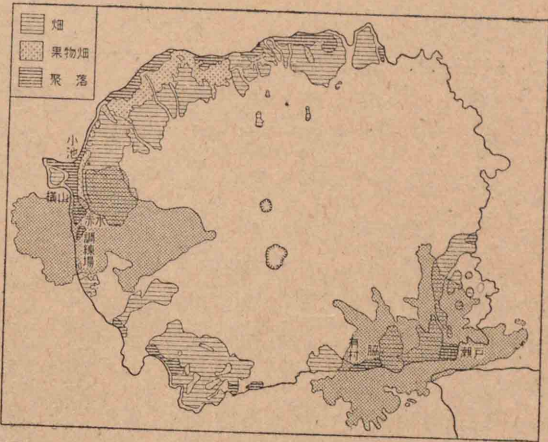
中九州は南北九州の連鎖をなす阿蘇火山脈の地域である。阿蘇火山は略中央に位し、東西兩斜面を分つてゐる。阿蘇山の東北に久住山及國東半島等が連なり、耶馬溪で知られてゐる熔岩臺地が北部にある。別府灣頭は温泉が豊富で、且つ種類が多い。白川は阿蘇火口原から西流し、その下流に熊本平野がある。八代海と天草灘との間に天草群島が横はつてゐる。



南九州は四國山脈の續きの九州山脈が九州山地をなす所である。磨川は横谷をなして溪谷美を發揮し、上流には人吉盆地がある。東西を分つ分水界は祖母山から矢岳に及ぶ。山地は起伏が多く谷が深い。五箇瀬川等は相並んで山を出で、日向灘に注ぎ、大淀川下流には日向海岸平野がある。四國山脈との間は陥没して臼杵灣、佐伯灣等の彎入と佐賀關半島等の突出があり、純リアス式の海岸をなし

●櫻島
 (上)櫻島の土地分類及噴火前後の比較
 (中)鹿兒島から見た噴火當時の光景
 (下)噴火後の櫻島の地圖(陸測) 甘萬分の一 舊噴火口は南北の方向、新噴火口は東西の方向の弱線に沿うてゐる

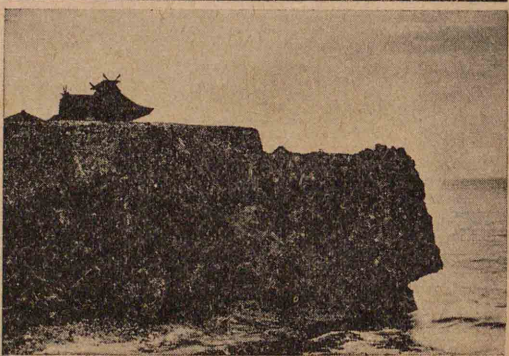
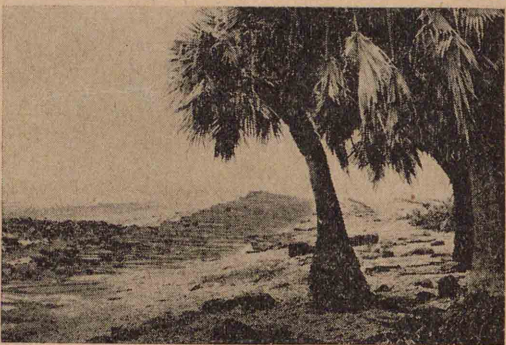
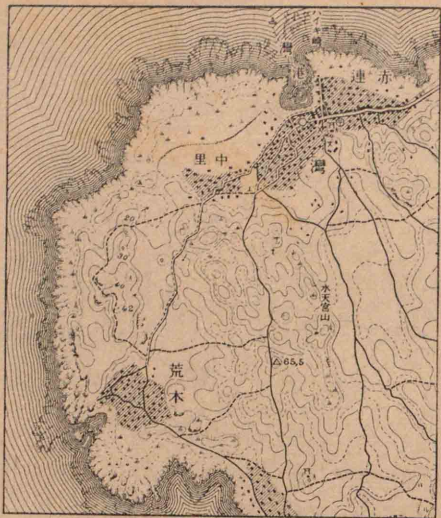
1 西風卓越する西岸には吹上濱の砂丘が發達してゐる
 2 兩半島は火山灰から成る臺地が多く、其所が畑地をなしてゐる



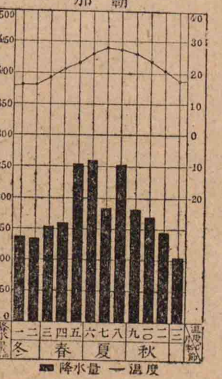
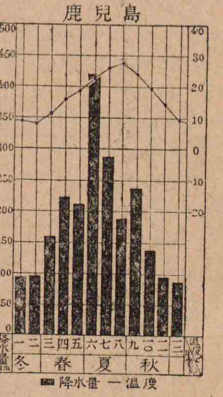
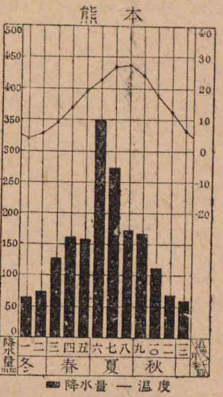
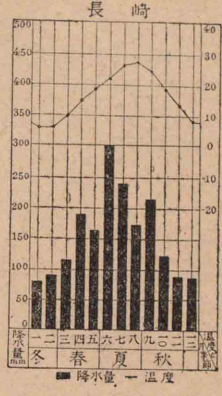
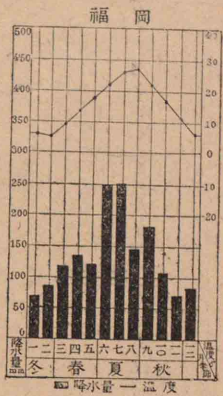
て南豫海岸と對し、九州山脈の西端は三太郎越となつて八代海に臨んでゐる。九州の南部は別に霧島火山帯といふ一區をなしてゐる。大隅薩摩の兩半島南へ突出し、鹿兒島灣が地溝帯をなして深く北へ彎入してゐる。この弱線に沿つて霧島火

●熱帯植物の茂つてゐる青島(中)
 ●那覇の隆起珊瑚礁上の波上神社(下)
 1 川邊十島・鳥島等
 ●薩南諸島の喜界島の珊瑚礁海岸(陸測)七萬五千分の一(上)

山・櫻島開聞岳が南北に連つて噴出し、これに伴うて霧島等の豊富な温泉が湧出してゐる。大淀川の上流には都城盆地があり、川内川流域には川内盆地等



がある。琉球列島は薩南諸島と共に一大弓狀の列島をなし、その内側に沿うて霧島火山脈の火山島がある。島嶼の周圍には珊瑚礁が發達してゐる。二百米以内の浅い東支那海から急に數千米の深さの太平洋に低下する所に琉球列島が隆起し、内側と外側とに二列の陥没地を生じ、殊に外側は極めて深く琉球海溝と稱せられる。その



気候

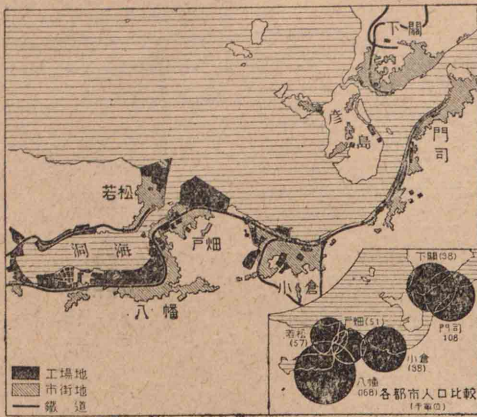
内側に火山島がある。北部は良

1 石垣島は防風のため石垣を用ふる。この名がある。

【福岡】

北九州 (一) 北九州工業地帯は我が國主要工業地帯の一つであつて、門司市、小倉市、戸畑市、若松市、八幡市、五市が殆んど一都市の如く連続し、八幡製鐵所を始め、製鐵、製鋼、精糖、造兵及セメント、硝子、ビール、化學製品の製造等の工業が行はれ、煙突が林立してゐる。

- 1 製鐵所は鐵礦を海峽植民地、那賀及朝鮮、精糖社、粗糖を臺灣から仰ぐ。
 - 2 貨車が船に載せられ、海峽を渡つて連絡する。
 - 3 石炭の輸出を主とする開港場。
- 琉球の蘇鐵(下) ● 北九州工業地帯



こゝは炭田が近く、燃料得易く、海陸の交通至便で勞力得易く、原料精製品の輸移出入に便なため工業が急に勃興した。舊城下町の小倉市を除いては漁村、農村、宿驛等に過ぎなかつたものが、近代式の都市に發達して來た。

門司市は瀬戸内海の關門で、内外主要汽船が燃料の石炭を積込むために必ず寄航するので、船の出入多く、關門連絡船も亦絶えず往復し、九州交通の要をなしてゐる。貿易はセメント、砂糖等の輸出が多い。(二) 遠賀川の谷は到る處に炭坑があり、筑豊炭田と總稱せられ、Y字形の谷に沿うて樹枝狀に發達した鐵道網によつて若松及門司に輸送され、盛に内外に輸移出入されてゐる。西の谷の中心に飯塚市、東の谷の中心に後藤寺、兩谷の合する所に直方市がある。(三) 福岡海岸



九州



阿蘇國立公園

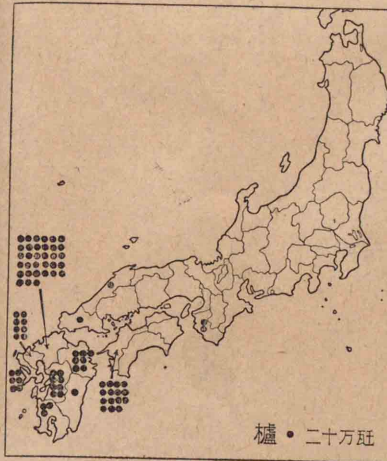


霧島國立公園

3 紆・足袋を産する
4 太刀洗に飛行場がある

1 太宰府があつた、元寇のこと
2 帝大附近に箱崎宮・香椎宮・太宰府神社がある
●筑紫平野の南部(陸・測)卅萬分の一(下)
筑後川口附近の新しい三角洲と新開地とがあらはれてゐる

九州地方
平野は古くから大陸との交渉が深い要地であつた。福岡市は北に偏してゐるが九州の文化の中心である。その博多(開港)は商業區である。二日市の狹隘により容易に後背地と連絡してゐる。(四)筑紫平野は福岡



楯・二十万延

佐賀兩縣に跨る九州第一の廣い米作地である。その南部は灌漑排水の溝渠網が我が國で最も密な處で、三角洲の末端には新開地が多い。平野の西部の中心は佐賀市で、東部の中心は久留米市である。久留米附近は交通の要地で、北九州の軍事上の中心地である。この平野は



1 開港場、潮汐干満の差が甚しいので口之津を伸繼港として輸出してゐたが、今は三池に開門式濕船渠を設けたので直接輸出することができ

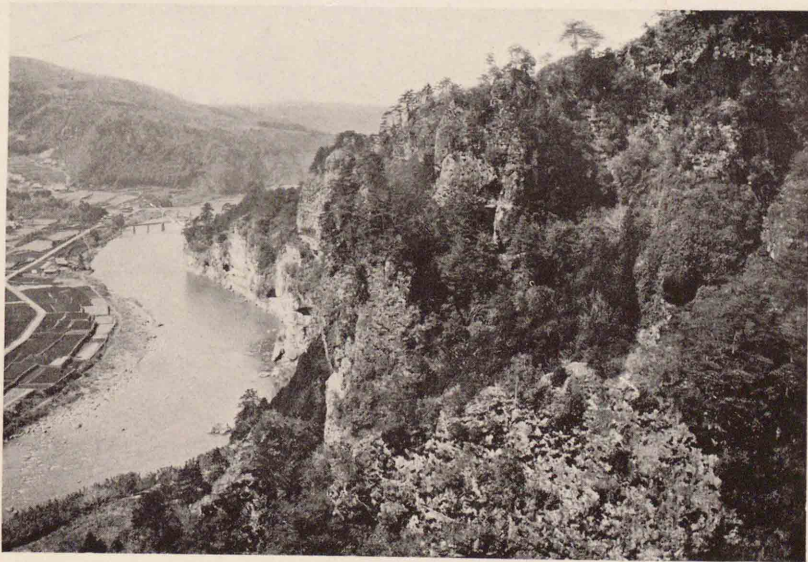
【佐賀・長崎】

- 2 附近の島を含む三池炭田・三池港及工業市大牟田(陸・測)七萬五千分の一
- 3 鱈・鱒・烏賊・海鼠・鯨が獲れる
- 4 附近に武雄温泉がある
- 陶磁器の生産分布圖(四二頁)
- 5・6 開港場

7 醫大

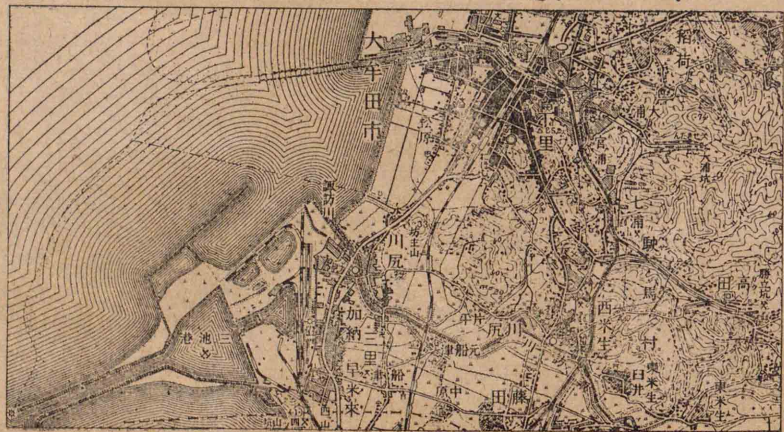


雲仙國立公園



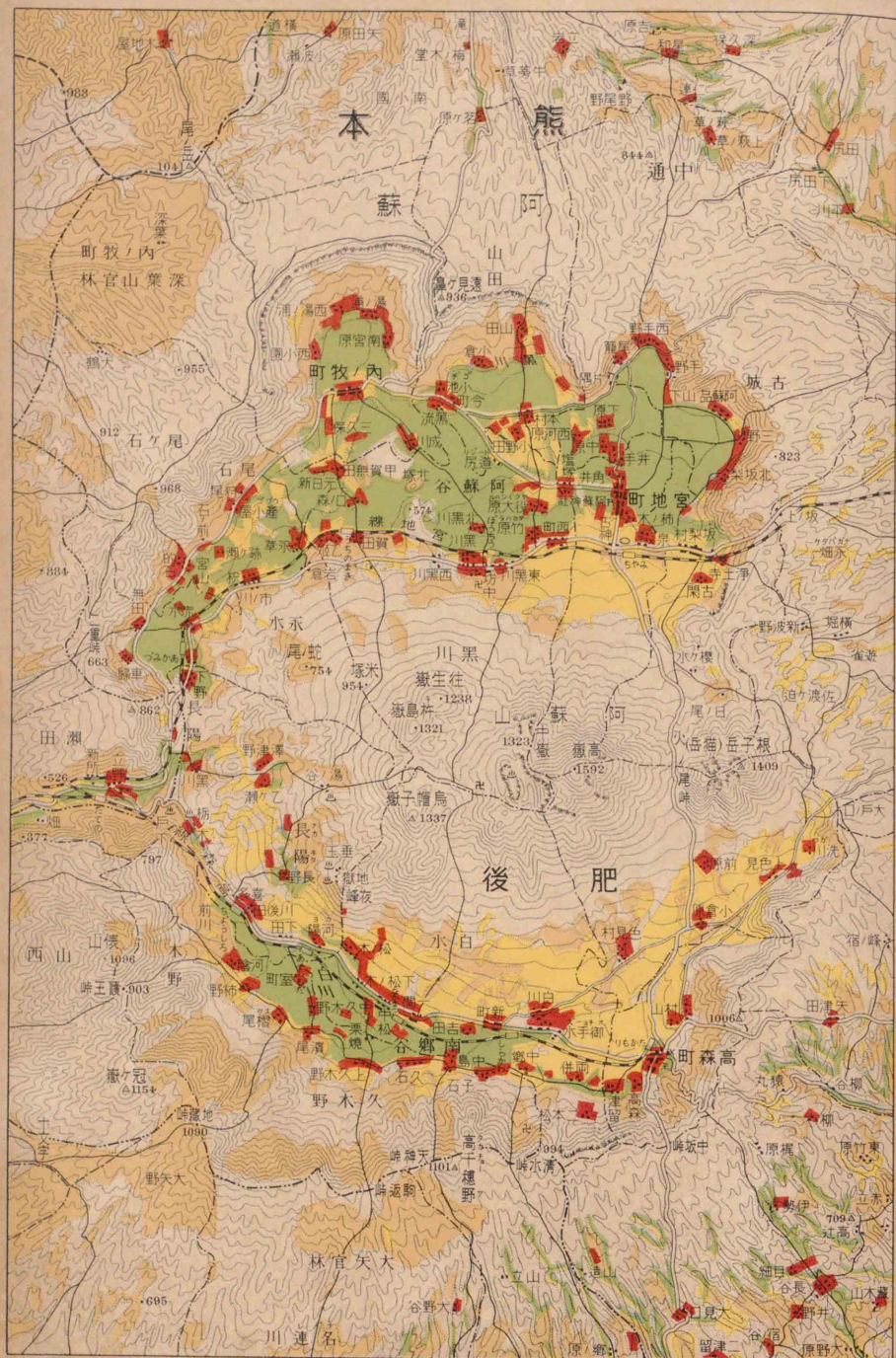
耶馬溪青洞門

榎の多いこと我が國第一であるから生蠟の産が多い。清酒の醸造も盛である。平野の最南端の三池炭田は産出炭量が多く、三池港から移輸出する。この地は燃料が得易いから工業都市大牟田市が勃興した。肥前半島は山がちなため畑作が行はれ甘藷等を栽培してゐるが米作は少い。従つて大いに漁業が発達し、殊に壹岐・對馬五島等は盛である。有田は陶土を産し、有田焼は古くから著はれ、西南日本の窯業の核心である。各灣頭に長崎、唐津市、伊萬里等の如き港が発達し、唐津炭田の石炭は唐津から、杵島炭田のものは住江から積出される。長崎市は鎖國時代二百餘年間唯一の



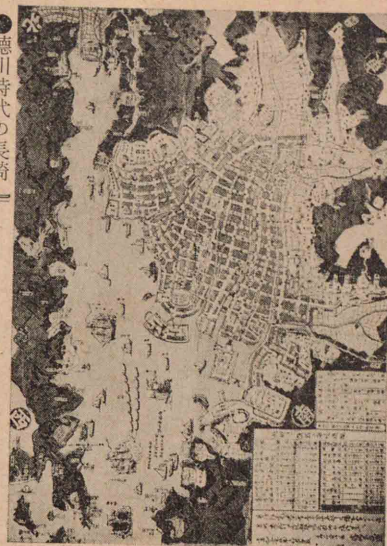
九州地方

阿蘇火口原の土地分類圖



● 集落 ■ 水田 □ 畑 ■ 森林 (二十万分ノ一)

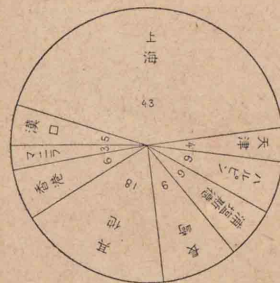
九州地方



● 徳川時代の長崎

和蘭人の居留地 (上)
支那人の居留地 (中)
唐人屋鋪 (タウ)
シヤンキ、ウ
時の外國船等
あらはれてゐる

【長崎】
● 有田焼工場の畫
工部 (下)
1 東の麓に島原が
ある
● 雲仙岳新湯滞在
外人居住地別
(百分率) (上)



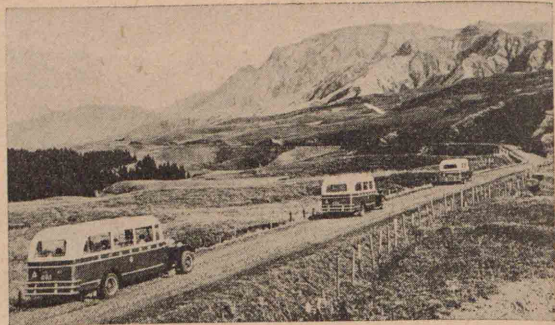
易港であつた。佐世保市は大陸に對する
戦略上重要な軍港である。島原半島の雲

富み大陸在住の外人が避暑に來る所である。
壹岐對馬は朝鮮への飛石であつて、對馬の中心は

開港嚴原である。

中九州 (一) 阿蘇山阿蘇國立公園は二重式火山で、舊





〔福岡・大分〕
 ●阿蘇国立公園観
 光路 (上)
 1 醫大、東部に清
 泉の湧く水前寺
 成趣園がある
 2 洋紙・セメント
 等を産する

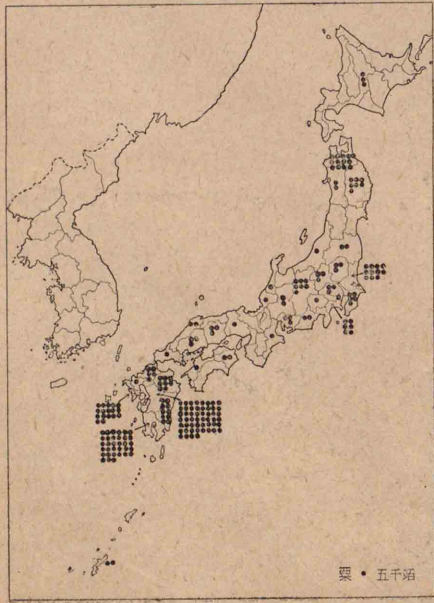
九州地方

中津市である。
 大分市は縣政の中心、別府市は標式的温泉都である。近く九州の工業地帯を控へ、遠く

(三) 周防灘沿岸の中心は
 三角洲には八代がある。
 宇土半島

噴火口の大きさは世界第一で、火口原内に數萬人が住んでゐる。
 火口原の北半は黒川の流域で阿蘇谷と稱し、宮地がその中心、南半は白川の流域で南郷谷と稱へる。二川は合して外輪山を破つて西へ出る。中央火口丘の中岳は現に活動してゐる。この火口原は低地から中腹まで水田畑牧場と環狀に分布する。北方の山間二盆地に日田森の二中心都會がある。

(二) 熊本平野は良米を産し、又甘藷粟も多く、その中心は熊本市で、九州横斷鐵道の分岐點で、平野の北部には山鹿隈府の二



3 (前頁) 宇佐には宇佐八幡宮がある。

●阿蘇山(陸測)三十萬分の一

1 杵築で集散する九州山地の諸山の外四國・中國・朝鮮・臺灣等に於ける諸鑛山の原鑛を集めるため割合に産額が大である

【大分・宮崎・熊本・鹿兒島】
3 人絹工業が盛である



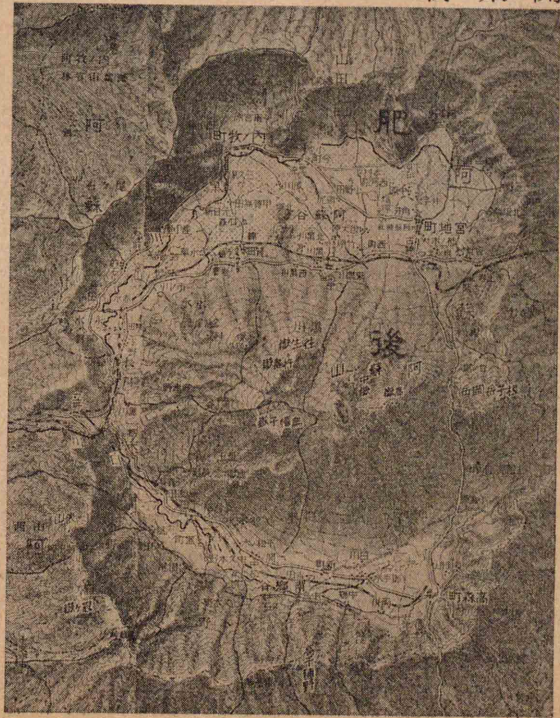
阪神からも船車の便が開けて有名になつた。國東半島の海岸は七島・蔦の栽培盛で、七島表を産する。

南九州 (一) 豊後水道西

岸には臼杵・佐伯の二中心があり、半島の地頸部にある佐賀、關には大精錬所があり、金銀銅を産する。(二)

九州山地に

は金銀銅錫鑛(鯛生・の金銀・見立の錫等)木材薪炭椎茸竹等を産するが、山が深いため球磨川上流の五家莊の如き比較的隔絶した生活をして來た所がある。(三)日向海岸平野の宮崎市は縣政の中心で、北には工業地延岡市



【宮崎】

1 出雲地方と比較せよ

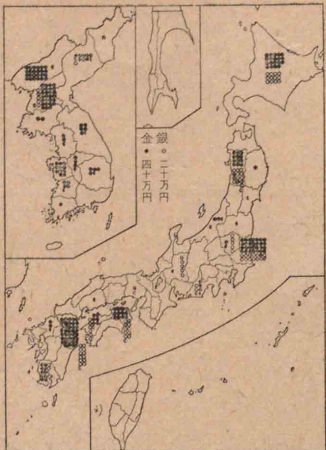
【熊本】

2 十三塚原及鹿兒島の北の吉野臺の如き

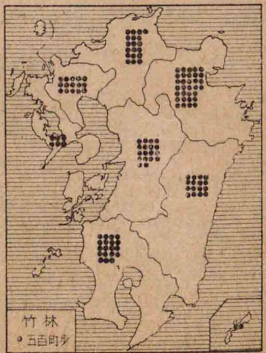
●三太郎越(陸測)二十萬分の一

(下左) 赤松太郎・佐敷太郎・津奈木太郎の三峠とリアス式の海岸とがあらはれてゐる

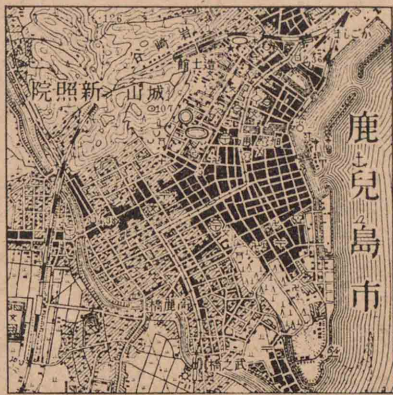
【鹿兒島・宮崎】



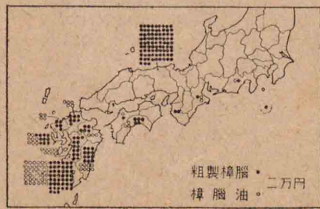
がある。この地方は神代に於て夙に開けた所であつたが、交通不便で久しく文化の中心に遠ざかつてゐた。(四)人吉盆地 横谷球磨川から盆地の中心人吉に達した鐵道(肥薩線)はループ式の特殊の設備で南に向ひ内陸を縦貫してゐる。(五)三太郎越はもと肥薩の國境をなす三太郎の嶮と謂はれてゐる。六 薩隅地方は霧島火山帯で、輕石層の臺地の畑作が行はれ、甘



●鹿兒島(陸) (上)
 臺地の末端が背後に迫つて城山となつてゐる、士族町からは維新の名士を出した



諸粟の産が多い。國分、指宿及出水は共に煙草栽培の中心地である。金銀鑛山は古くから開け、今も串木野、山野等は貴金屬の産が多い。この地方は九州の南端であるから漁業の根據地に適し、薩摩半島の枕崎及山川港等の漁港がある。鯉の製品薩摩節は世に知られてゐる。この地方の中心鹿兒島市は鹿兒島灣の奥にあつて、櫻島を前に望み、景色がよく、島津氏の舊城下町で、南九州唯一の開港場である。伊集院は薩摩焼、薩摩紉、薩摩焼等を産する。伊集院は薩摩焼、谷山は錫器を産し、川内は川内川流域の中心である。都城市は都城盆地の中心で、茶繭を集島は薩隅に似た景觀を有してゐるが、奄美大島は琉球と同じである。屋久杉と大島紬とは特産である。(八)



【鹿兒島】

【沖縄】

- 琉球の榕樹(上) 氣根が多い
- 1・2は貢として入念に製造したため技術が進歩して來たのである
- 米の生産分布圖 (一九頁)
- 畑の分布圖 (一九頁)
- 甘藷の生産分布圖 (二〇頁)
- 粟の生産分布圖 (二〇三頁)
- 植の生産分布圖 (二〇〇頁)
- 馬の分布圖 (二〇〇頁)
- 當歲駒の分布圖 (二〇七頁)
- 豚の分布圖 (二〇七頁)
- 石炭・石油の生産分布圖 (二〇一頁)
- 金・銀の生産分布圖 (二〇五頁)
- 銅の生産分布圖 (二〇四頁)

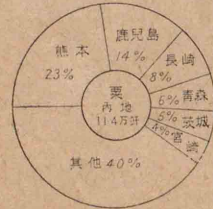
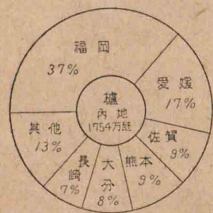


琉球列島は沖繩島、石垣島等が主な島で、熱帯性の榕樹、芭蕉が到處に見られ、甘蔗に適し、黒砂糖を産する。甘藷は常食の料となり、豚は戸毎に飼はれてゐる。泡盛、芭蕉布、上布、漆器、琉球紉等は特産である。沖繩島の首里市はもと

王城のあつた所で、那覇市は今縣政及經濟の中心である。

【産業】

筑紫平野及熊本平野は米、麥、菜種を多く産し、南九州・中九州・め榎の樹多く、竹林、樟も亦よく繁茂し、九州山脈以南は木材、薪炭、椎茸、樟腦、竹材等を産する。南九州・中九州は牧馬で聞えてゐる。豚は南部特に琉球に多い。北



- 鐵の生産分布圖 (二四頁)
- 洋紙の生産分布圖 (三九頁)
- 1 博多織・久留米緋・薩摩緋・大島紬・琉球上布等
- 2 門司・若松・博多・唐津・長崎・口之津・住江・三池・三角・鹿兒島・嚴原・那覇

- 米圓グラフ (二二頁)
- 小麥圓グラフ (二二頁)
- 粟圓グラフ (九一頁)
- 大豆圓グラフ (二〇七頁)
- 葉煙草圓グラフ (二二頁)
- 甘藷圓グラフ (二二頁)
- 茶・煎茶圓グラフ (五一頁)
- 玉露茶圓グラフ (七四頁)

- 楮圓グラフ (九一頁)
- 蠟圓グラフ (二〇七頁)
- 當歲牛圓グラフ (九一頁)
- 當歲駒圓グラフ (九一頁)
- 疊表・蕨・花・花・花 (九一頁)
- 石炭圓グラフ (二〇一頁)
- 銅圓グラフ (二二頁)
- 鋼鐵圓グラフ (二二頁)
- 人造絹絲圓グラフ (七四頁)
- 陶磁器圓グラフ (五一頁)
- ▲ 主要鐵道の線名と起點・終點・乗換驛とを擧げよ (五六頁)
- 九州地方の都市人口分布

九州及肥前半島は我が國に於て石炭を最も多量に産出し、南九州は金・銀・銅・錫等の金屬を以て夙に知られてゐる。漁業は肥前半島及南九州の沿海に盛で、北部は鰻・柔魚・鰯、南部は鰯・鰹・鮪を特色とし、従つて鰻と鰹節とが製造物として知られてゐる。近代式各種工業は北九州に集中してゐるが、それは主に石炭産出の影響である。各地の工業には古くから知られた織物・陶器・酒類がある。産業から見ると中九州は南北九州の漸移地帯をなしてゐる。

商業の中心地は北九州は福岡、中九州は熊本、南九州は鹿兒島である。古來この地方は支那大陸との關係深く、西・葡・英・蘭等の歐羅巴人も亦西岸に渡來し、灘・津・博多・坊・津・平戸・長崎等は我が國に於ける對外貿易の獨占地であつた時代がある。今も門司・長崎を始め、一二の開港場がある。而して東岸には一つの貿易港も無く、殆んどすべてが西北海岸に群つてゐる。これは炭田の分布と海岸の出入と交通の發達とに關する所が大である。主なる取引は門司・長崎に於けるセ

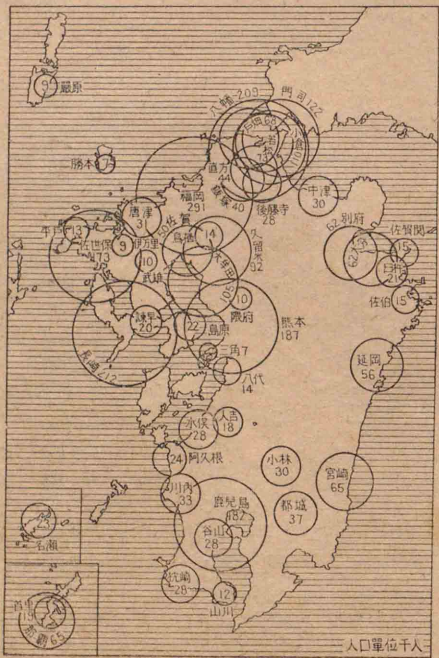
メント・精糖・機械・石炭等の輸出と鐵・棉花・礦油・豆粕等の輸入で、その他各港を通じて石炭の輸移出が特色である。

交通

交通網は北九州が最も密であつて、南九州は疎である。海上交通は西岸が盛で、東岸は振はない。鐵道は始め西部斜面に沿うて鹿兒島本線が福岡・熊本を経て南下して鹿兒島に達し、最後は東部斜面の日豊本線の全通によつて九州環狀線を完成した。横斷線としては豊肥線・久大線が順次全通した。長崎本線は長崎と福岡・門司等との連絡に役立つ。福岡を中心として大阪・朝鮮・滿洲國・北支那・臺灣への航空路も開けてゐる。

住民

人口は南九州は疎であるが、北九州は最も密で



あつて、殊に工業地帯、炭坑地帯が甚しい。市の數も他の地方で見られないほど北九州に多く群り、我が國文化地帯の西部を形成する。

問題

- (一) 南北九州を比較せよ
- (二) 肥前半島の特色を挙げよ
- (三) 阿蘇火山の特色を挙げ且つ人文との關係を述べよ

- (四) 南九州と南四國及紀伊半島とを比較せよ
- (五) 北九州の文化の發達した地理的原因を詳述せよ
- (六) 各縣としての特色を挙げよ

第六章 奥羽地方

| 縣名 | 管轄國名 | 廳所在地 |
|-----|---------|------|
| 福島縣 | 磐城大部 | 福島市 |
| 宮城縣 | 磐城一部 | 仙台市 |
| 岩手縣 | 陸前一部 | 盛岡市 |
| 青森縣 | 陸中一部 | 青森市 |
| 山形縣 | 羽前・羽後一部 | 山形市 |
| 秋田縣 | 羽後大部 | 秋田市 |

位置と地理的區分 この地方は本州島が大屈曲をなして北に向ふ部分に當り、東北日本の南部を占め、北海道樺太に向ふ漸移地帯である。

この地方は地理的に大別すると東部・中央部・西部の三區となる。

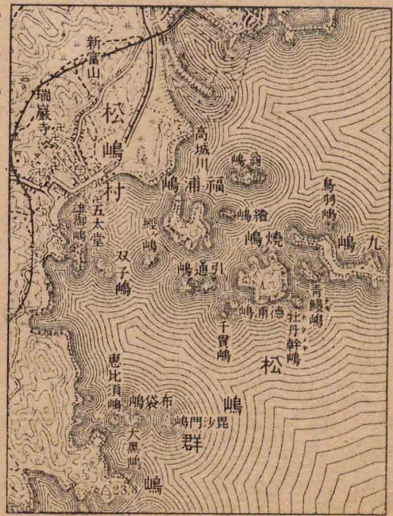
地勢 三列の山地と三列の低地が南北の方向に走つて、水系も亦これに支配され、本流は南北の方向の縦谷に沿つて流れてゐるが、西部では横谷をなしてゐる所もある。

東部山地は古い岩石の侵蝕されたもので、中央部及西部の山地とは全く景觀を異にする。この山地は仙臺灣を境にして更に紡錘狀の南北の山地即ち阿武隈山地及北上山地に分たれる。阿武隈山地は數百米の高原で、その上に殘丘として聳えるものが靈山大瀧根山等である。北上山地は阿武隈山地よりも比較的高低が多く、最高峯

●松島陸測(下)
●飛行機から見た松島(上)
●爆裂後の磐梯山(中)



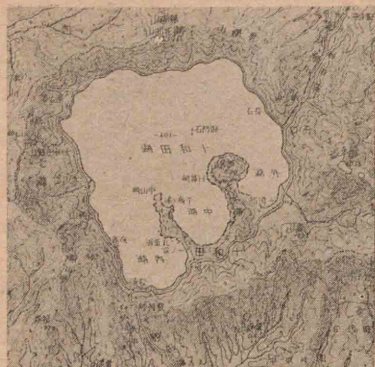
を早池峯といふ。北上山地から東流する諸川の刻んだ谷の沈降したものがリアス式の海岸を形成する。此の海岸は大津波の災害を蒙つた地域である。牡鹿半島は南に突出して、尖端に近く金華山島がある。



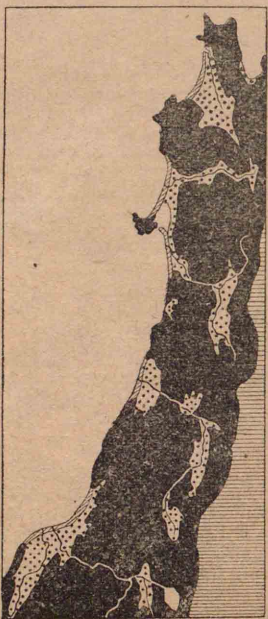
東部低地 北流する阿武隈川、南流する北上川及これに背きて北流する馬淵川等の流域を通ずる一大縦谷があつて諸平野を含んでゐる。その内松島灣附近には断層侵蝕及沈降の諸作用によつて多島の松島を生じてゐる。

●西部地方の地形(下)

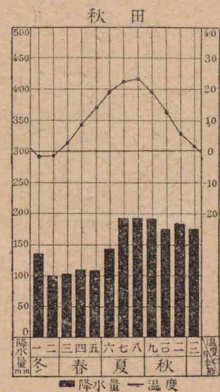
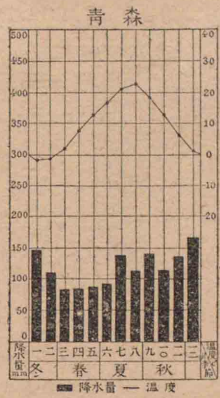
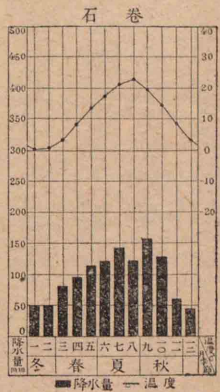
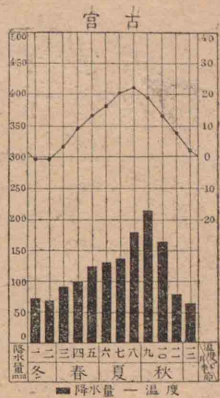
●十和田湖(陸測三十萬分の一)(上)



中央分水山地は高くないが、これに伴ふ那須火山脈の那須岳、磐梯山、藏王山、岩手山、八甲田山、恐山等の上に高く聳え、何れも名山として知られ、東山飯坂、鬼首、浅虫等の温泉が伴つてゐる。和田国立公園等もこの山中にある。



西部地方 中央山地と出羽丘陵、越後山脈の間に會津米澤山形、新庄、横手、大館等の諸盆地が縦に並び、これを潤はす阿賀川、最上川、雄物川、米代川等は越後山脈及出羽丘陵に各横谷を造つて西流し、海岸地方には庄内、秋田、能代、津軽等の諸平野があり、青森灣頭に青森平野がある。鳥海火山脈に屬する月山、鳥海山、岩木山等は低い出羽丘陵の上に聳えてゐる。男鹿半島は二つの砂嘴によつて繋がれ、内に八郎潟



を抱いてゐる。
気候 この地方は中央の日本以西に比べると地域が北に長く延びてゐるため、緯度による気温の變化があらはれ、北するに従つて気温が低い。西海岸が東海岸より暖いのは對馬海流と親潮との影響である。雨雪季も中央山

【福島】

【宮城・岩手・青森】

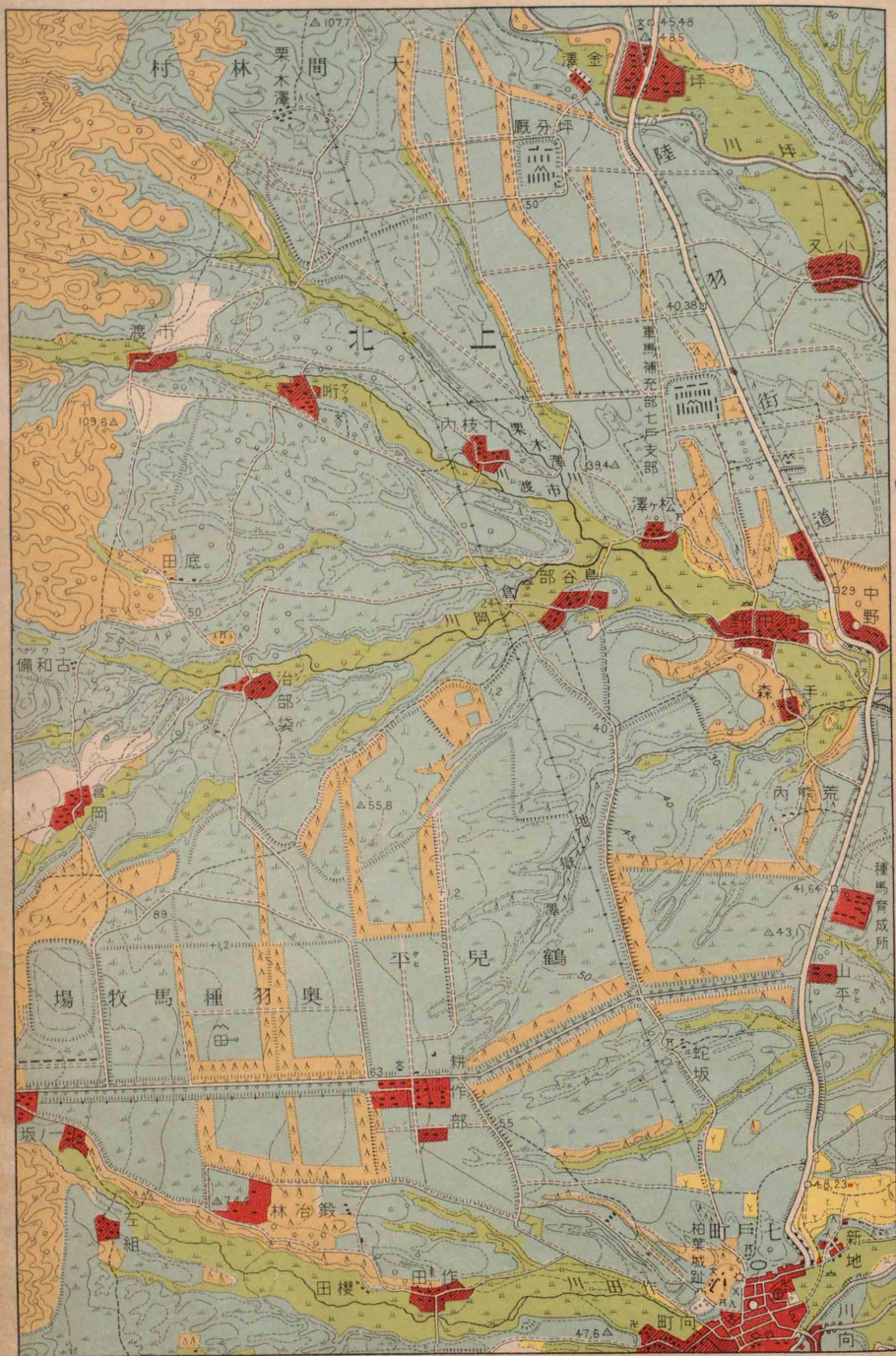
地を境にして表と裏との差がある。
處誌 東部地方 (一) 東部山地 (1) 阿武隈山地は四五百米の高所に耕地や聚落が發達してゐる。分水界は傾斜が鈍いので、磐越東線は平市から郡山に越えてゐる。牧畜は諸所に行はれる。北部の谷に羽二重を産する川俣がある。濱通りの南部の常磐炭田は京濱に近いためよく利用されてゐる。(2) 北上山地には放牧地が多い。リ



●北上海岸(陸測) 廿萬分の一
 1 開港場
 2 中通りと稱する
 【福島】

半島の荻濱は横濱函館間の寄航地である。(二) 東部低地 (1) 阿武隈川の谷は養蠶が盛で、又煙草も栽培される。上流の白河は奥羽の門戸で、附近に白河關址があり、馬市が立つ。郡山市は東北線と磐越東西線の交叉點にあり、猪苗代湖に近く、動力と勞力の供給得易く、工業が勃興しつつある。福島市は福島盆地の中心で、繭生絲等の取引が

奥羽地方七戸附近牧場地帯の土地分類圖



● 集落 ● 水田 □ 畑 ● 桑畑 ● 森林 ● 牧場

【宮城】

1 帝大

● 仙臺市

(下)

● 鹽釜の魚市場 (上)

【岩手】

奥羽地方

多い。(2)陸前平野は米を産する。仙臺市は廣瀬川が山麓に出た所に位し、伊達氏の舊城下町で雄大な形を備へてゐる。東北日本



第一の文化の中心地で、教育、軍事の諸機關がある。開港



鹽釜は漁港で、魚類の大集散地である。石巻市はもと米の集散が多かつたが、東北本線に貨物を奪はれた。然し現在は漁港として知られてゐる。(3)北上川の谷の南の口に一關

- 1 中尊寺がある
水澤には緯度観測所がある
- 2 鐵瓶を産する
附近に小岩井農場がある

【青森】

- 3 板谷峠で
當歲駒の分布
- (下)
この密度が最もよく牧馬地帯を示すものである

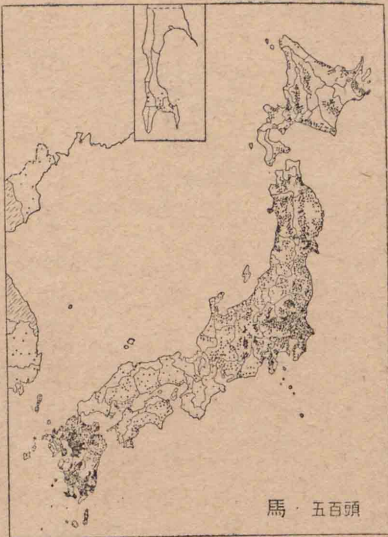
【奥羽諸縣】

3 板谷峠で

當歲駒の分布

(下)

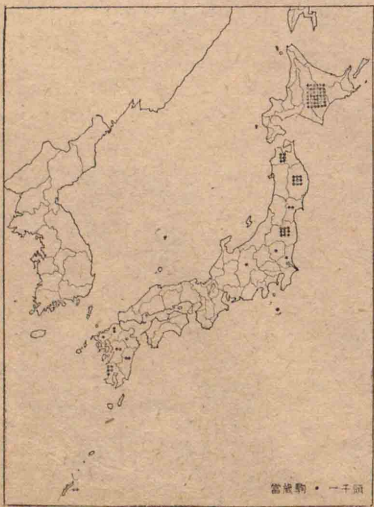
この密度が最もよく牧馬地帯を示すものである



馬 五百頭

があり、その附近に藤原氏三代の根據地平泉の舊蹟がある。盛岡市はこの谷の中心で、馬市が立つ。(4)陸奥東部平野の臺地に三本木七戸の好牧場がある。八戸市は漁業の根據地であり、下北半島の内側には要港大湊があつて、津輕海峡の防

衛に備へてゐる。中央山地は東西兩部を分つ障壁であるが、東北線、奥羽線、磐越西線、陸羽線、黒線等によつて横斷されてゐる。猪苗代湖から日橋川となつて會津盆地に下る三〇〇米の落差は、猪苗代發電所を起し、東京へ長距離の送電をする。



當歲駒 一千頭

西部地方 (一) 會

津盆地 中心は若松市で、戊辰の戦蹟がある。 (二) 最上川

流域 (1) 米澤盆地 壇賜地方は山形盆地と共に養

蠶と米作とが盛である。その中心は米澤市で

米澤織を産する。 (2) 山形盆地 村山地方の中心は

山形市で、市は扇状地の上にあり、櫻桃を産する。

最上川の水運は鐵道が並行して敷設されたため衰へた。 (3) 新庄盆地

は耕地と牧場とが混つてゐる。新庄は大石田と共にこの

流域の深雪地である。奥羽本線と陸羽東西線がこの

地で交叉してゐる。 (4) 庄内平野は有名な米産地で、分流

によつて灌漑がよく行はれてゐる。北に酒田市、南に鶴



【福島】 米澤陸(測)(中) 城下町としての特色をあらはしてゐる、人家の密な町人町と疎な土族町とがよい對照をしてゐる

【山形】 櫻桃の收穫(下) 津輕平野に於ける華果園の分布

弘前郊外の臺地、岩木川兩岸の砂地、黒石附近の山地等に産する

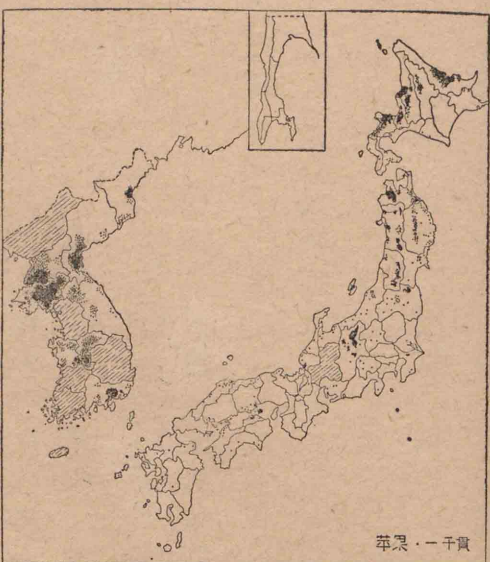
が現はれてゐる



【秋田】

●秋田油田分布 (111頁)

1 院内・八橋・中野 小國・豊川等 能代港(陸測) 七萬五千分の一 後の下る米代川、林用鐵道、貯木場・製材所等が現はれてゐる



岡市の二中心があり、酒田は米の移出で知られてゐる。 (三) 雄物川

流域 (1) 横手盆地は水田が多く、横手はその名邑である。 (2) 秋田

平野の中心は秋田市である。河

口にある土崎港はその外港で、又

製油所があるが、西北風の強い時

船は開港船川港

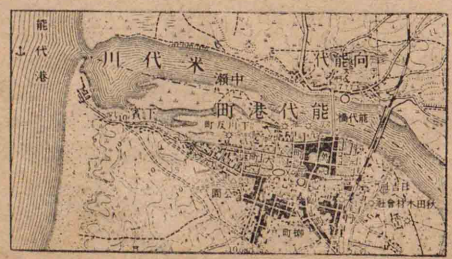
に避ける外は無。秋田油田は南北に長くて、越後

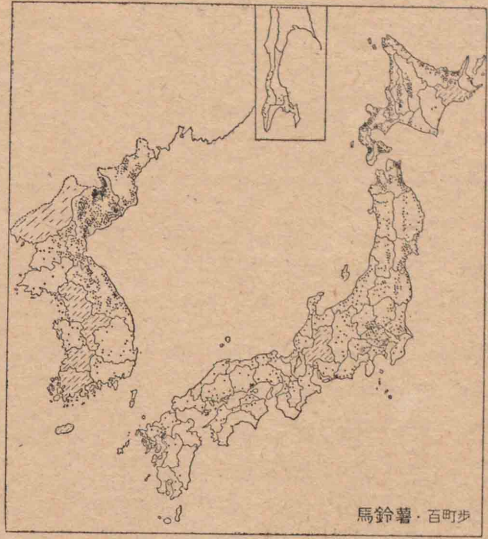
油田と對してゐる。 (四) 米代川流域 秋田縣の山地

は小坂尾去澤發盛等の銅銀の鑛山に富み、又杉の美

林があつて、米代川河畔に運ばれて製材される。河

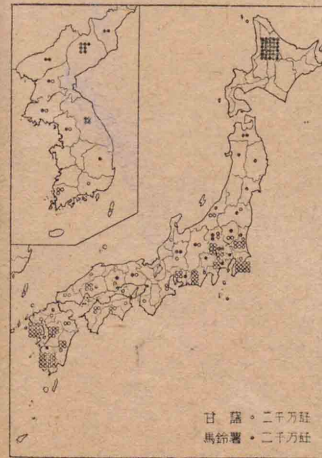
口の能代港はその中心である。 (五) 津輕平野 我が





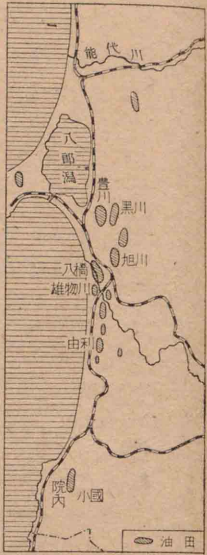
國第一の苹果の産地で、弘前市はこの平野の中心である。(六)青森平野 青森灣頭の青森市は本州島の北端に近いいため、青函及青蘭の連絡船が定期に發著し、漁港としても注目されて來た。

産業 米は南部に多く、北部では年によると米作に氣温の不足することがある。又東部よりも西部に多い。これに反し麥が東部に多いのは降水量、殊に冬の雪が少いたためである。馬鈴薯、大豆、稗等はよく風土に適し、北部に多く收穫される。北部は桑の成育に適しないため養蠶は南部に限られてゐて、福島山形二縣の諸盆地に盛である。冷涼の氣候に適する苹果は津輕平野を中心として北部に多



- 1 木通細工 (アケビザイク)、津輕塗を産する
- 米の生産分布圖 (一九頁)
- 大麥・小麥の生産分布圖 (二〇・二二頁)

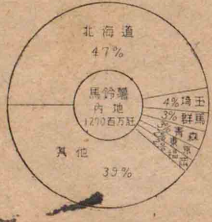
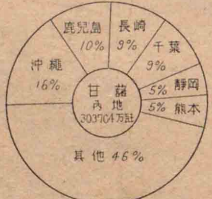
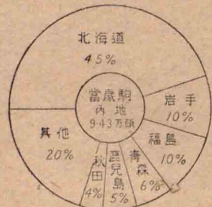
秋田油田の分布



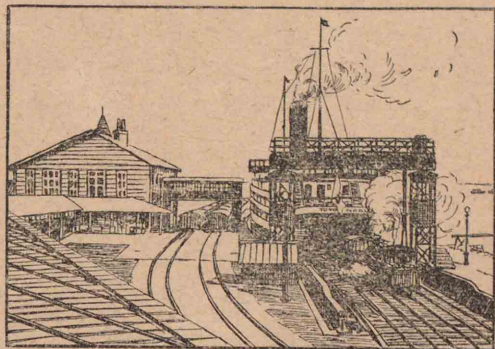
- 大豆の生産分布圖 (一七〇頁)
- 桑畑の分布圖 (一四頁)
- 繭の生産分布圖 (一四頁)
- 葉煙草園グラフ (二二頁)
- 銅圓グラフ (二二頁)
- 銅鐵圓グラフ (二二頁)
- 石炭園グラフ (一九一頁)
- 石油園グラフ (二〇一頁)
- 生絲園グラフ (五一頁)
- 羽二重園グラフ (五一頁)
- 漆器園グラフ (二〇一頁)

馬は東部の原野に放牧せられ、我が國で最も重要な地帯をなし、古來南部馬、三春駒等の名が知られてゐる。鑛業も亦この地方の一特色で、秋田縣の金屬鑛山及油田、釜石の鐵山、常磐の炭田等それ々々知られてゐる。津輕半島と出羽丘陵の北部は杉及羅漢柏の美林があつて建築材を出し、北上山地から木炭を産する。寒暖二流の會合する東部沿海では、鰹、鮪、鱈等の如き溫暖な海に棲む魚類を漁獲し捕鯨も行はれ、湖河には鱒、鮭の養殖が行はれる。近代式の製造工業は未だ多く興らず、製絲機業製材精鍊製油の外は、從來の絹織物、漆器、陶磁器、鐵器、木工品及その他の手工藝品があるに過ぎない。

この地方は東京の商圏に屬するが、日本海岸では



●青森埠頭に於ける貨車積載の青函連絡船(上)



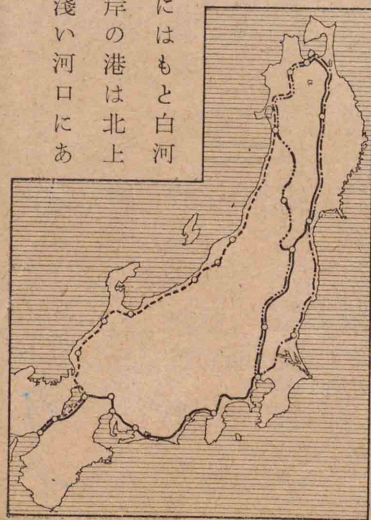
羽越線の開通によつて大阪の商圏が北に展びつゝある。港は北海道及樺太と取引が多いが貿易港の青森・船川港・釜石・鹽釜の四港の貿易額は大では無い。

交通 中央日本と連続して本州島を縦貫する諸鐵道が縦列の地形に沿うて發達してゐる。

東部低地の東北本線、東海岸の常磐線、西部盆地列の奥羽線、西海岸の羽越線の四線は略並

●青森・東京・大阪間の主要列車線(下)

行してゐる。東西の横斷線は奥羽線・磐越線・陸羽線・横黒線等の如く漸次横谷及び峠を利用して開通しつゝある。三街道の南の關門にはもと白河關・勿來關・念珠關の三關所があつた。日本海岸の港は北上海岸のものに比し、後背地との連絡はよいが、浅い河口にあるのと、冬は殆んど交通が絶える缺點がある。



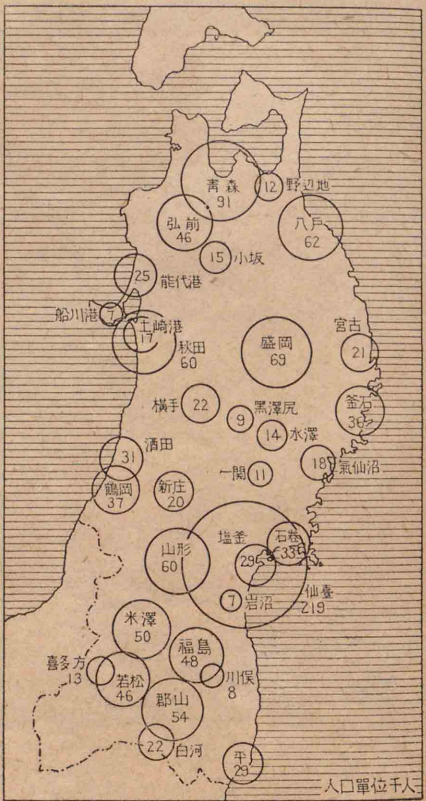
●人口の分布圖(巻頭、五六頁)

●奥羽地方の都市人口分布

住民

人口は本

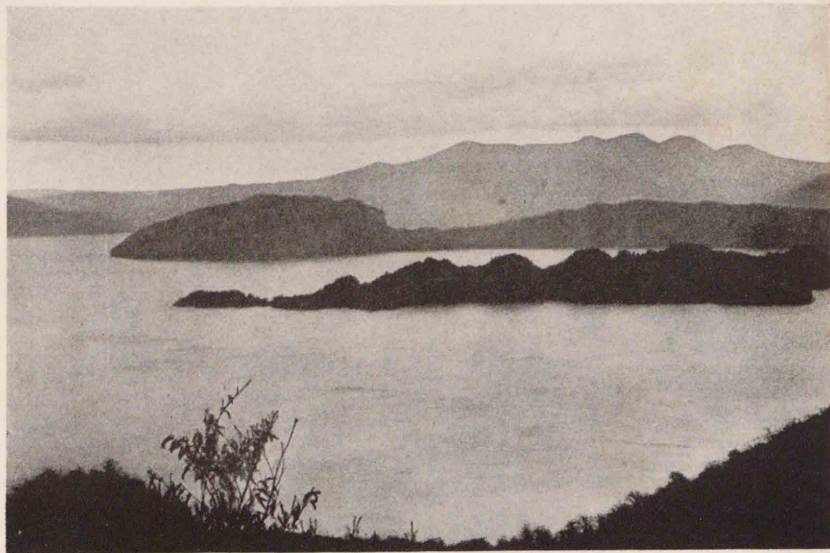
州島の他の地方に比べると最も稀薄である。中央の文化が東北に移りゆく地帯に當つてゐる。各河谷・平野・盆地及海岸平野には相當に聚落も發達し、各平野には一つ若くは二つの中心都會がある。そこが地形及位置の關係で鐵道の交叉點になつてゐる所が多い。地形と交通と聚落と人口との關係が明瞭である。



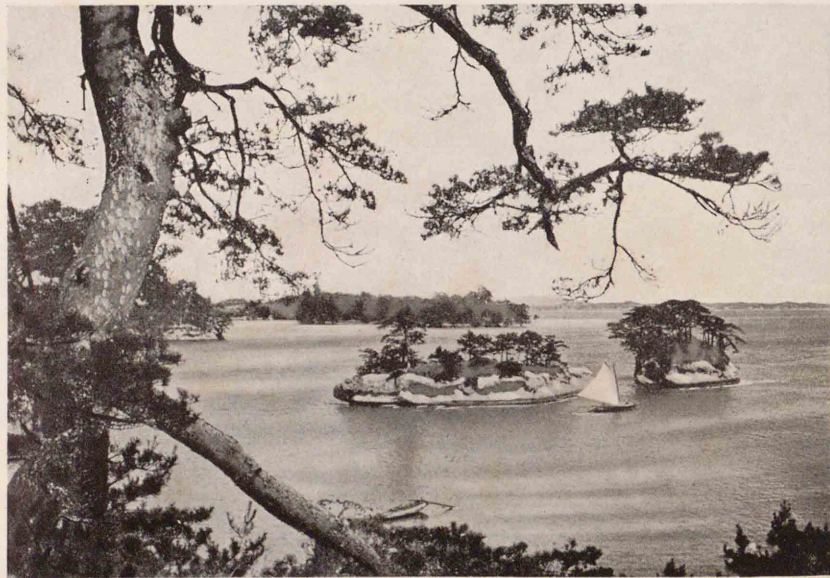
問題

- (一) 奥羽地方の東部西部の二地方を比較せよ
- (二) 奥羽地方の氣候の特色及それと人文との關係を述べよ
- (三) 日本海沿岸地方と北陸地方とを比較せよ

- (四) 奥羽地方の水系圖を描き、之に鐵道と主なる聚落とを記入し、それ等の相互の關係を述べよ
- (五) 各縣としての特色を擧げよ



十和田國立公園



松島

1 この他に千島列島がある

行政區劃(七十支廳)

市名

函館・札幌・小樽・旭川・室蘭・帯広・釧路

支廳名

支廳所在地

渡島 函館市

檜山 江差町

後志 倶知安町

釧路 室蘭市

石狩 札幌市

空知 岩見沢町

日高 浦河町

上川 旭川市

留萌 留萌町

宗谷 稚内町

十勝 帯広市

釧路 釧路市

根室 根室市

網走 網走町

有珠岳と洞爺湖

第七章 北海道地方

位置と地理的區分

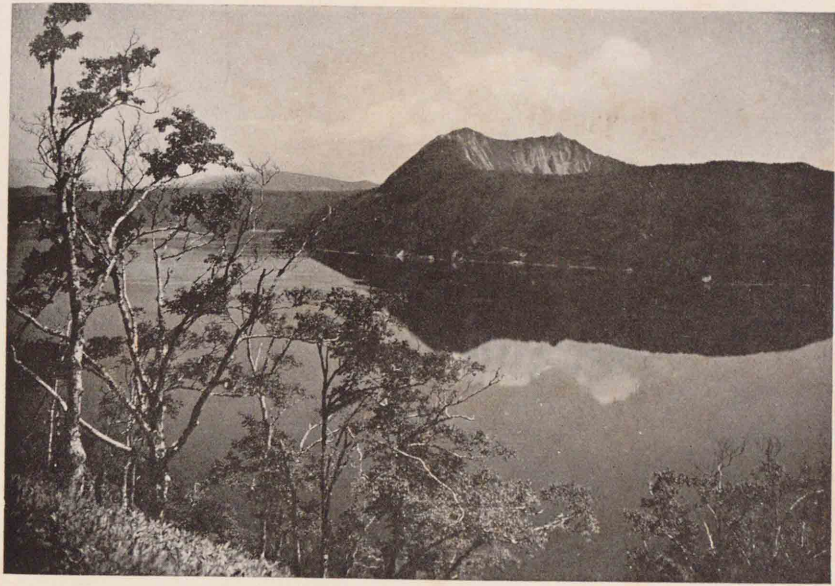
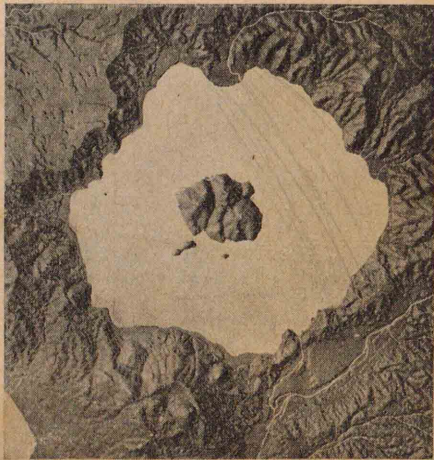
北海道地方は奥羽地方の北に位し、北及西は海を隔て、露領シベリヤに對し、殊に千島列島はカムチャッカ半島に接近してゐる。

地勢

半島部は火山を含む山地で、奥

羽地方と連続してゐたものが津軽海峡の陥没によつて分離されたものである。平野は殆んど無いが、火山には有名なものが多く、破裂して南麓に大沼公園を造つた駒ヶ嶽、蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山、後方羊蹄山、洞爺湖をもつ有珠岳、支笏湖をもつ樽前岳等があり、本島で最も有名な登

北海道地方



阿寒國立公園(摩周湖)



札幌月寒種羊場

●大沼公園陸測
(上)



別温泉も亦この地帯に屬してゐる。
中央低地は殆ど石狩川流域の石狩平野で低い
分水界によつて太平洋海岸平野と連続してゐる。
石狩平野は極めて低平なため石狩川は自由に蛇
行して無数の日月沼を造つてゐる。

●蝦夷山脈は分つ
て日高山脈・北
見山脈とする

洞體部は山脈が丁字形をなし、中央部の交叉點が最も高い。蝦夷山脈は襟裳岬から宗谷岬まで縦走し、石狩岳はそれに屬し、千島火山脈は中央部から東知床岬に達し、東部には阿寒国立公園の雄阿寒岳・雌阿寒岳と屈斜路湖等があつて、オホーツク海太平洋兩斜面の分水界をなし、中央部には大雪山国立公園をなす大雪山・十勝岳がある。蝦夷山脈の西には夕張山脈・天鹽山脈等が前山の形に於て存し、その間の陥沒地には空知川の上流にある富良野盆地、石



●洞體部に於ける
盆地列と水系
(下)

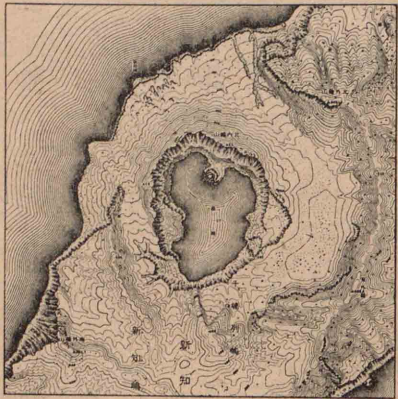
狩川及其の支流の流域にある上川盆地、天鹽川の
上流にある名寄盆地等が並んで縦谷の盆地列をなし、空知川、右狩川、天鹽川等は横谷をなして西流してゐる。石狩川の横谷は神居古潭の峽流である。三盆地の分水界は低く、一の通谷をなしてゐる。洞體部の東南部には十勝及釧路根室等の平野がある。



十勝川が侵蝕してゐる。釧路根室平野も臺地性で、釧路川、西別川等の流域である。釧路から花咲半島に到る地域は岩石海岸であつて厚岸灣がある。洞體部の東北部に當る北見海岸平野は常呂川及其の他の河川が並行してオホーツク海に入り、到る

●神居古潭の横谷
(下)

●千島の火山島
(陸測)十五萬
分の一 (上)

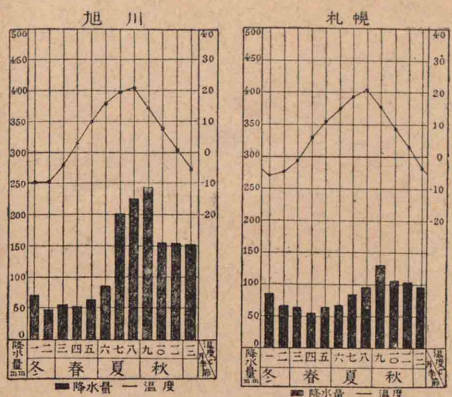


處砂嘴が発達し、その内側に猿洞湖等の瀉がある。千島列島は弧状をなす火山列島で、その外側には深い海溝がある。

氣候

奥羽地方より更に高緯度になるため氣温は一層低い。日本海岸が太平洋岸より比較的高温であるのは對馬暖流と親潮との關係による

●北見常呂川上流の原生林(下)



ことは奥羽地方と同じである。旭川が時に驚くべき低温を示すことのあるのは最も海と隔つた内陸盆地にあるからである。雪は降るが降水量は奥羽地方より遙かに少い。初秋の低氣壓の影響は稍あるが梅雨の現象は全く無い。オホーツク海に面してゐる北見海岸及根室海峡方面は凍結及流氷の襲來がある。寒暖二流の接觸するため所謂ガスと稱する霧が屢起る。

津輕海峡以北は杉は殆んど無く、蝦夷

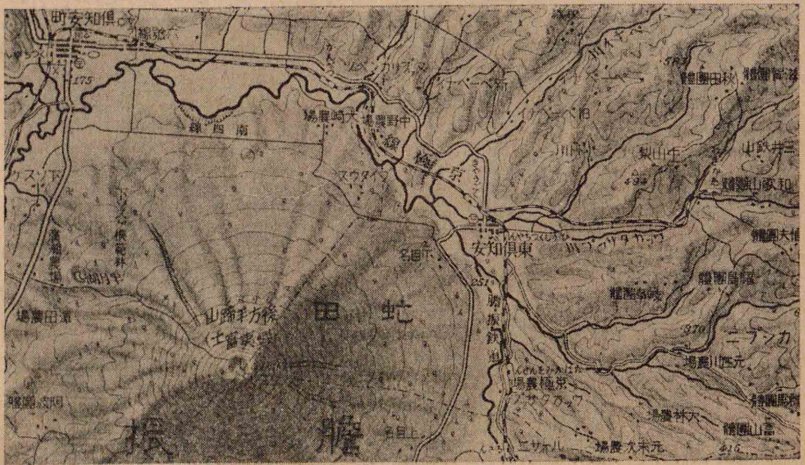
松・榎・檜・柵等が主となる。

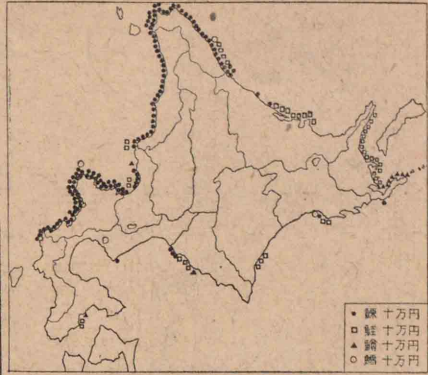
處誌

半島部には耕地は少いが、羊蹄山の麓の如きは古い開墾地である。余市附近は本島で最も多く苹果を産する。鯨はもと西海岸で多く獲れ、壽都等はその漁港として榮えたが、今は漁獲が著しく減じ、これ等の聚落は打撃を受けた。然し半島の北の海岸では今尚漁獲があ

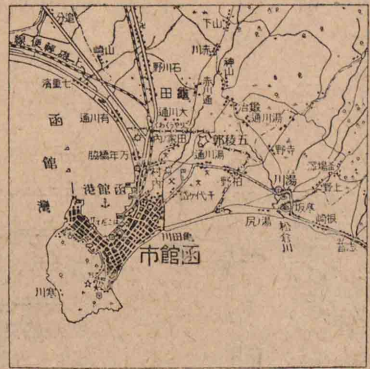


り、余市はその中心である。本島の最も重要な開港函館小樽・室蘭の三港はすべてこの半島部

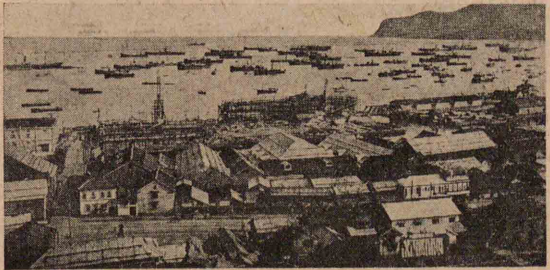




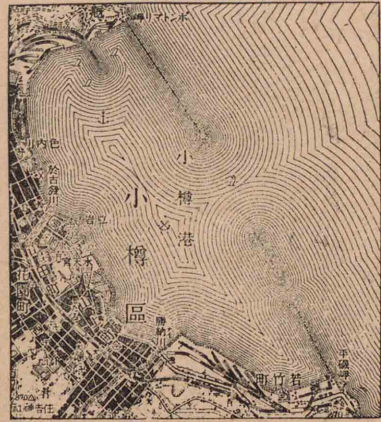
にある。各港は何れも更に小突出によつて風波を避けてゐる。函館市には砂洲により陸繋島の内側になつた港がある。



(昭和十二年八月三日津軽要寮司令部撮影)

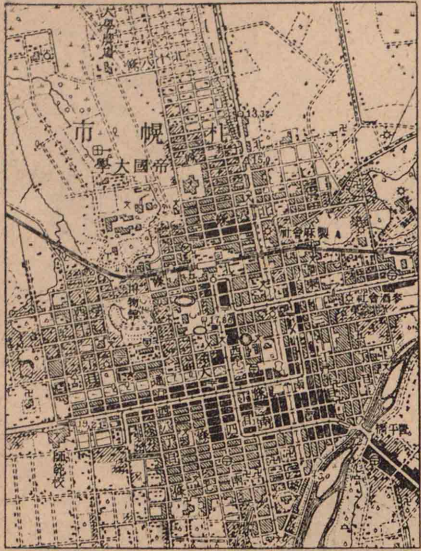
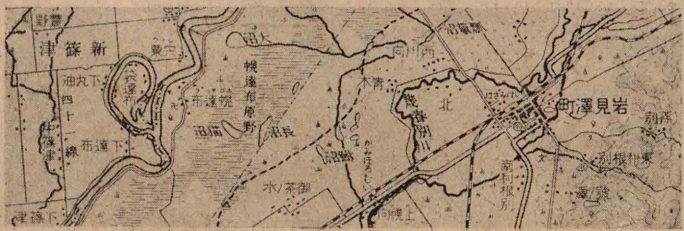
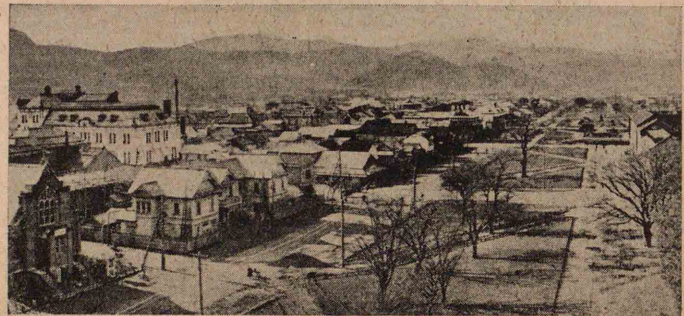


この地は本島の門戸で、最初に開けた所である。小樽市は高島岬の内側に長い防波堤を設けた港で、札幌の外港であると共に石狩平野・上川盆地・十勝平野等の咽喉であり、又樺太との関係も深く、石狩炭田の石炭の輸移出も多い。室蘭市は砂洲で



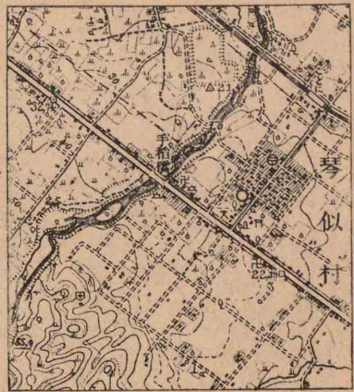
- 北海道の沿海漁場 (右)
- 函館 甘萬分の一 (中)
- 小樽港の一部 (下)
- 苹果の生産分布 (一九二九年)
- やませと稱する強い南風の陰になつてゐる
- 小樽(陸測)七萬五千分の一 (左)

繋がれた丘陵の内側に港のあることは函館の地形と酷似する。石狩炭田から容易に石炭を輸送し得るので大製鋼所が設けられた。中央低地の石狩川の沿岸は低湿に過ぎて耕作に適しない所が多い



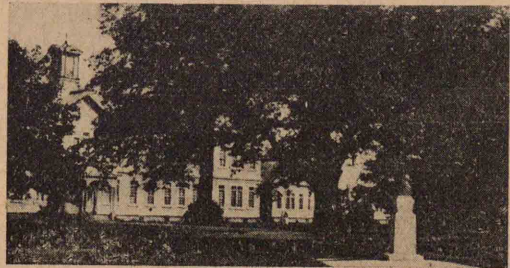
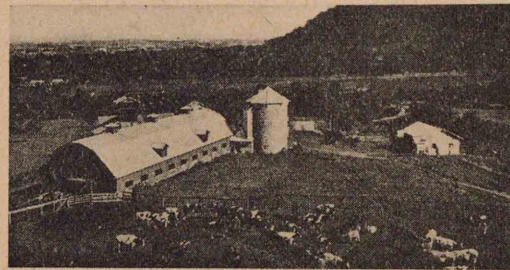
- 札幌 (中)
- 札幌の街路は広く且つ新式である
- 石狩平野の一部 (陸測) 廿萬分の一 (下)
- 石狩川の蛇行、不毛の低湿地、岩見澤附近の開墾された農場等
- 1 帝大・道廳・試験場等
- 札幌(陸測)上は市内に泉の多い扇状地の伏流水である

が遠ざかるに従ひ、放牧及耕作が行はれる。東部山麓の岩見澤は古い開墾地である。札幌市は豊平川の扇状地の上にあり、本島の文化の中心で、政治學術の諸機關が備つてゐる。



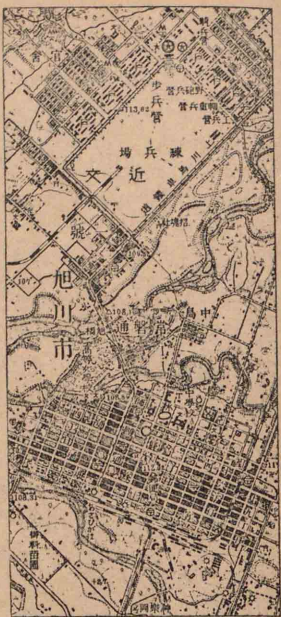
- 札幌の西郊 (琴似村) (陸測) (右)
- 畑では各種の西洋野菜が栽培され、草地では乳牛が放牧され、果樹園には櫻桃がある
- 米の生産分布圖 (九頁)
- 札幌郊外の乳牛舎 (左上)
- 楡の大樹を有する大學の校庭 (左中)
- 苫小牧の製紙工場 (下)

點は石狩平野と趣を異にしてゐる。灌漑用水路網よく發達し、又大陸性の氣候のため米の成育時期に高温なのが好都合である。



街區は米國式で條里が正しい。農産物を原料とするビール醸造、製麻、澱粉製造等が行はれる。石狩川口は淺いが、石狩は溯る鮭を獲る好位置にある。膽振海岸の苫小牧には製紙工場がある。

胴體部 (一) 上川盆地が殆んど水田として利用されて

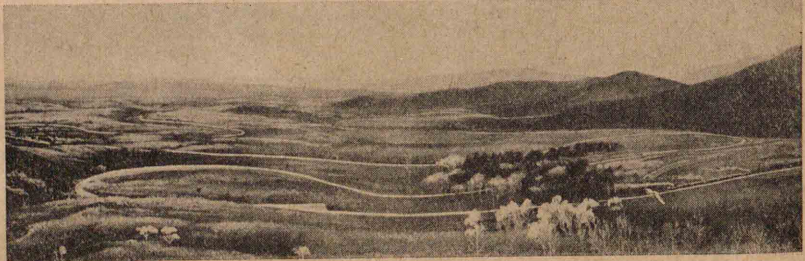


盆地の水系の要に旭川市がある。市街の條里、澱粉製造等の工場のあることなど札幌に似てゐる。

この地は海から最も離れた内地であるが、南北の通谷と東西の横谷とによって函館本線、宗谷線、富良野線、石北線等により四方に通ずる要地にある。

(二) 中央山地の周縁地 石狩炭田は夕張山脈の西

の谷にあつて、夕張その他の諸炭坑に鐵道の支線が各通じてゐる。稚内は最北の突出部にあり、樺太の大泊との連絡港である。日高地方の海岸には新冠の牧場があり、天鹽の海岸にある留萌は上川盆地に近い港である。(三) 十勝平野は鐵道が狩勝峠を経て小樽に通じてから開拓が急速に進んだが、臺地が主



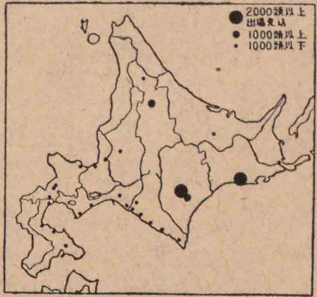
- 旭川(陸測) 七萬五千分の一 (上)
- 1 第七師團司令部も置かれ軍事上の要地である
- 狩勝峠 (下) 雄大な景色である
- 2 開港場
- 馬の分布圖 (二七頁)
- 當藏駒の分布圖 (二七頁)

1 北ヨーロッパ原に多く栽培される

● 北海道の馬市の分布

2 開港場

3 近くの落石岬(オッチシ)には米國航路の汽船への通信に便利な無電局があるカムチャッカとも通信する



なので未だ畑林牧場等が多く畑では豆及甜菜が作られる。甜菜は低溫地に適する砂糖の原料で帯廣市には製糖工業が行はれる。又帯廣市はこの平野の中心で池田は網走線の分岐点である。
● 釧路根室平野 釧路平野は牧畜が行はれ、大樂毛の馬市は名高く、白糠には軍馬の育成所がある。
● 厚岸沿海は昆布の産地で、釧路市はその集散地である。根室は函館と共に北千島及北洋漁業の根據地で、水産物の取引が盛であるが、海面の凍結するときには半島南岸の花咲を代用する。鮭は西別川口の西別で獲れる。
● 北見海岸の中心は網走で、内地には野付牛があり、この地方は薄荷を産し、鴻舞の金銀鑛も知られる。
● 千島列島は根室を根據として交通し、近海は漁業が比較的盛である。米露二國との國際關係上、この列島は重要な位置を占めてゐる。
● 國後、擇捉、占守等は主な島で、紗那は首邑である。

- 畑の分布圖 (二〇頁)
- 小麦の生産分布圖 (二〇頁)
- 馬鈴薯の生産分布圖 (二〇頁)
- 苹果的の生産分布圖 (二〇頁)
- 米の生産分布圖 (一九頁)
- 大豆の生産分布圖 (一七頁)
- 馬の分布圖 (一七頁)
- 石狩平野北部の開墾



北海道地方

トウモロコシなどの機械をこつこつと買ひ集めて大にかかりな

産業

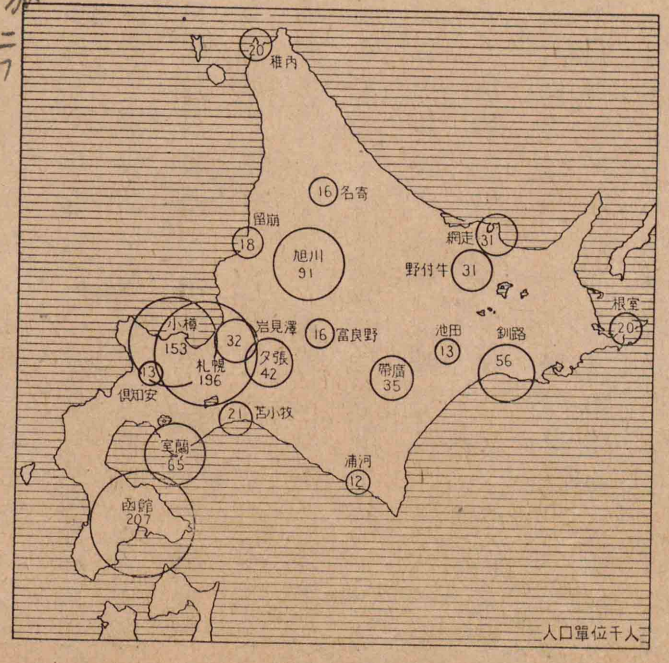
開拓に洋式の長所を採用したり、移住民を奨励したりしたため農業が大いに進み、耕地も次第に増した。大農法で廣大な畑を耕し、作物の種類にも洋種が多い。燕麥、甜菜、亞麻、甘藍、蕎麥、小麦、馬鈴薯、苹果及櫻桃等の栽培が行はれるのは、冷涼地の特色をよく現はしてゐる。米はガスの影響ある海岸約四軒の地帯を除いては全道に耕作可能で、現在上川盆地に最も多く産する。畑地は豆類の産額頗る多く、玉蜀黍、稗麥、菜種等も産する。上川盆地、石狩平野、十勝平野等は耕地が最も多い。一般に原野多く放牧に適し、又冬季舍飼のための牧草も豊富であるから、牧畜は盛である。殊に良馬を産し、新冠牧場、軍馬育成所を始め各地で好成績を擧げてゐる。
● 牛 綿羊等の飼育は石狩平野等に行はれ、千島其の他には養狐が行はれる。蝦夷松、檜松等の寒帯性の原生林があるので、これ等は製紙原料のパルプにして本州島へも移出し、檜は鐵道の枕木として他へ供給する。石炭の産出量は東北日本第一で、九州炭

かすがたよすがの出る、濃霧が出来る、太陽があたりない

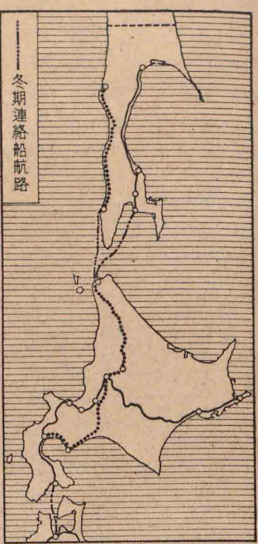
- 千島・奥尻島
- 當麻駒の分布圖 (一七頁)
- 洋紙の生産分布圖 (三九頁)
- 和洋紙の生産分布圖 (三九頁)
- 石炭・石油の生産分布圖 (二〇一頁)
- 大豆圓グラフ (二〇一頁)
- 馬鈴薯圓グラフ (二〇一頁)
- 當麻牛圓グラフ (九一頁)
- 乳牛圓グラフ (二八八頁)
- 石炭圓グラフ (二〇一頁)
- 石油圓グラフ (二〇一頁)
- 北海道地方の都市人口分布

北海道地方

に次ぐ炭量を出し、火山地方からは硫黄を産する。水産は鱈、鮎等も獲れるが、低温の水に棲む鱈、殊に鰺の漁獲が盛である。漁期には本州から出稼する者もあり、又函館その他を根據としてシベリヤ近海に出漁する者もある。昆布は特色ある水産物である。工業は農林の産物を原料とする麥酒、酒精、澱粉、麻絲、洋紙等の製造が札幌、旭川を始め各地に勃興してゐる。又その他鐵工業及びセメント、罐詰、其の他水産物の製造も行はれる。最初に函館が全道を商圏とした。



魚



● 北海道及樺太の主要交通系(上)

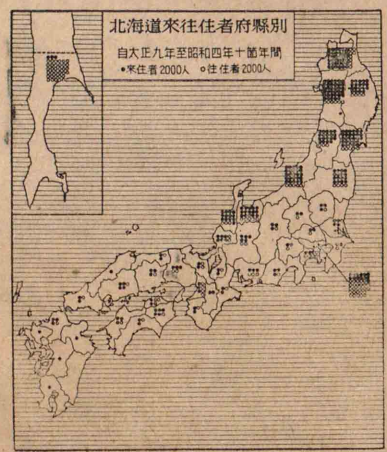
交通

開拓の當初は沿岸の航路先づ發達し、次に内地の開発につれ鐵道網が次第に密になつた。函館本線は半島及石狩平野の中軸を貫いて上川盆地に達し、根室線は十勝平野及釧路根室平野と石狩平野との連絡、宗谷線は樺太との連絡を保つてゐる。室蘭線も重要で東廻り縦貫線の一部を形成する。北見地方も四鐵道で連絡されてゐる。

● 人口の分布圖 (五六頁)

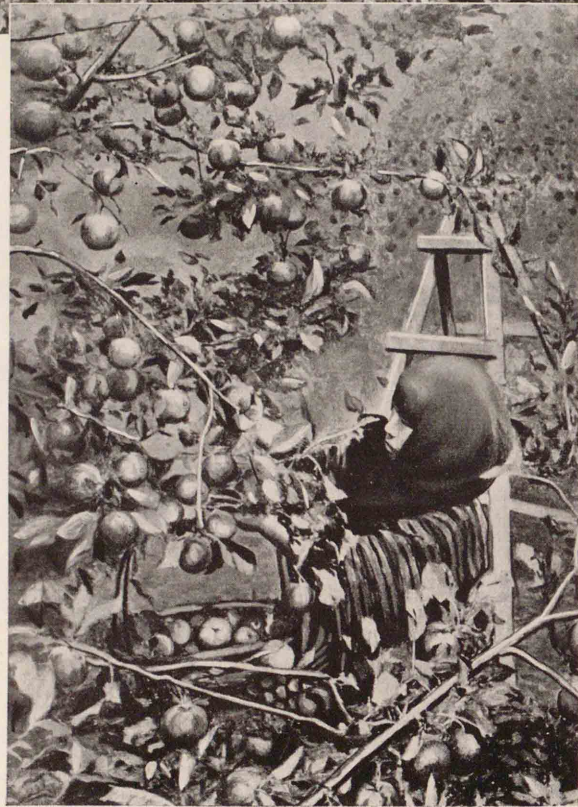
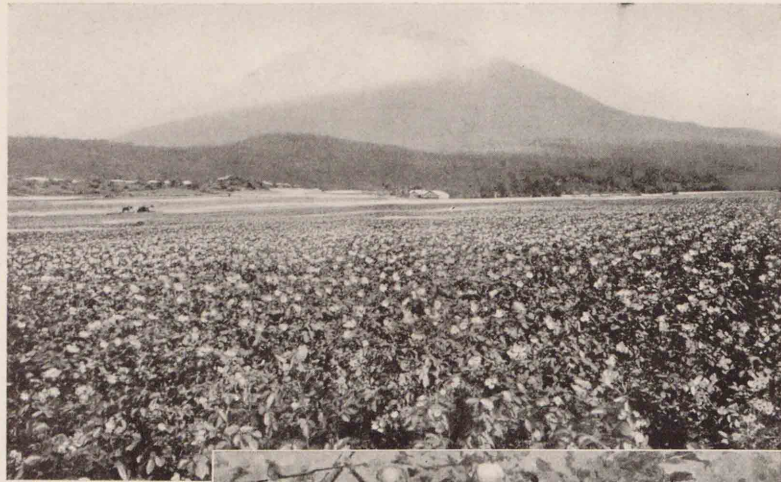
住民

アイヌ族は原住民であるが、今



北海道地方

北海道の馬鈴薯畑の花盛り



北海道の苹果

●日高國平取村のアイヌ部落(上)屋根の葺き方に特色がある
●白老村のアイヌ部落(陸測)(下)コタンの海濱の人家疎らな一團がアイヌ族の特別区である

北海道地方



と人口密度は著しく小である。

は移住民が優勢で、殆んど全人口の大部分を占めてゐる。アイヌ族は特殊の風習を保存しつゝ、日高膽振などの一部に保護されてゐるが漸次減少する傾向がある。移住民は最初本州島に近い半島部の沿岸に居住し、漸次中央低地に達し、更に胴體部に及び今日の如き分布状態となつた。而し未だ本州に比べる

問題

- (一) 胴體部に於ける三縦谷盆地の人文と自然とを述べよ
- (二) 石狩・上川・十勝の三平野を比較せよ
- (三) 半島部に於ける三大港を比較せよ

- (四) 北海道の産業と氣候との關係を述べよ
- (五) 北海道の景觀が府縣のそれと異なる點を擧げよ
- (六) 北海道近海の濃霧について述べよ

●北緯五十度の國境(陸・測)七萬五千分の一
 境界線・境界標・幌内川・森林及ツンドラ等があらはれてゐる

行政區劃 (七支廳)
 大泊 元泊
 豊原 眞岡
 本斗 眞居
 敷香 泊居

第八章 樺太地方

位置と地理的區分

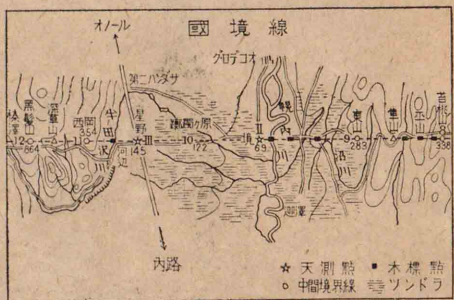
樺太は北海道の北に位し、我が國最北の地方で、寒い地域を代表してゐる。陸を以て露領北樺太と連り、その間に何等自然的境界は無い。西は間宮海峡を隔て、シベリヤに對する。

この地方を地理的に大別すると、東部山地、中央低地及西部山地の三區となる。

地勢

二條の山地とその間の一條の低地が縦走してゐる。東半は更に多來加灣の陥没によつて南北の二つに分れ、東部山地の南部は鈴谷山脈、中部は半島とから成つてをり、北部は東北山脈と稱し、南は尖つて北知床半島をなし、その南端の沖には海豹島がある。中央低地の南部は南流する鈴谷川と北流する内淵川の支流との流域で、兩流

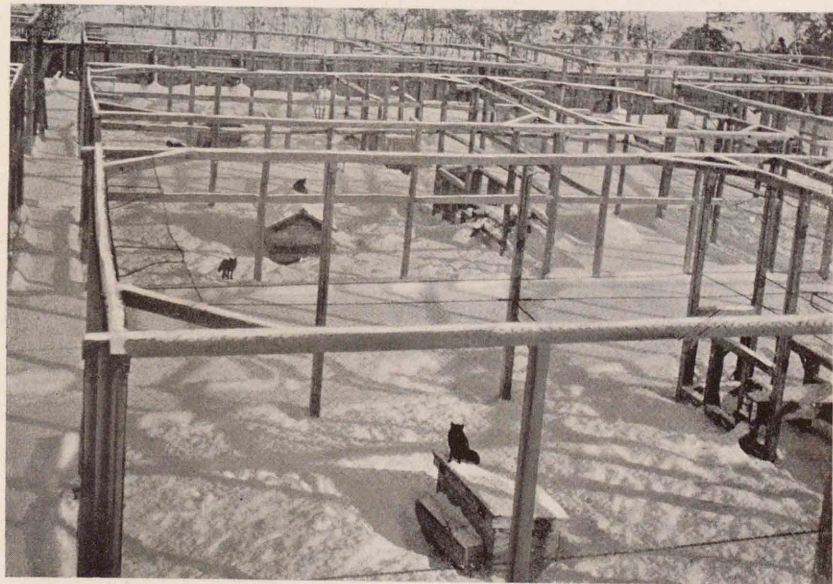
樺太地方



三元

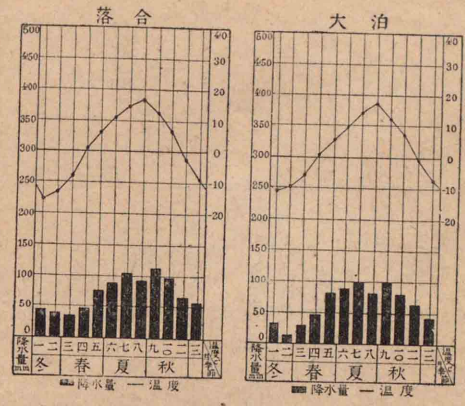


北海道の甜菜畑



樺太の養狐

●樺太地形分類圖
黒は山地、白は
低地



樺太地方

域の分水界は極めて低く、一通谷をなしてゐる。中央低地の北部は露領から流れて来る幌内川下流の低濕な平野で、所謂ツンドラ帯である。西部山地は西能登呂岬から國境まで連続してゐる狭長な樺太山脈である。海岸は鈍い弧線の集合で、亞庭灣と多來加灣との弧線が最も大きい。海岸には隆起した段丘のある所が多い。地形を全體的に見ると北海道の胴體部の連続である。

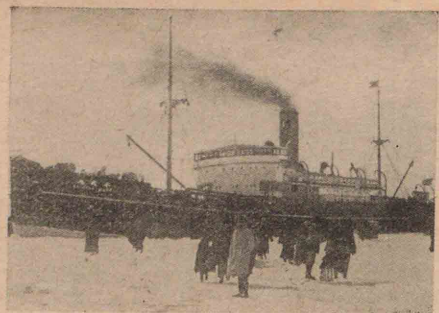


一四

氣候

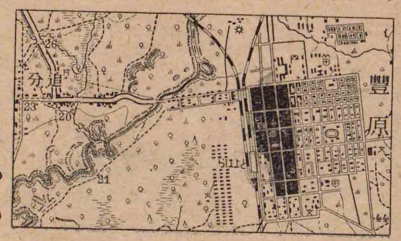
我が國に於ける最も高緯度の地方であるから氣温が最も低く、寒暑の較差も大である。冬は海面も凍結するが、西岸に凍らない所のあるのは對馬海流が岸に沿うて北上してゐるからである。降水量は我が國に於て最も少い。ガスは宗谷海峽附近に最も多い。

●豊原(陸測)七
萬五千分の一
(下)
新開地の景觀が
あらはれてゐる
1 近時甜菜糖製造
工業が起つた
2 毛皮の集散地
もある
●氷上荷役 (上)



處誌

この地の植物は寒帯性の蝦夷松、椴松、落葉松等の針葉樹と白樺とがあり、ツンドラには水苔類と矮小な落葉松とのみしか見えない。森林には狐が棲息し、海豹島には馴鹿が保護されて繁殖してゐる。原住民の一部は馴鹿を飼ふ。



進み農業がよく行はれてゐる。樺太行政の中心地として平野の中央に、豊原市の市街が新に經營された。大泊は平野の南端の近くに在り、鈴谷山脈の南端が亞庭灣頭に臨むところに發達し、水産物及木材の集散が多い。稚内及小樽と連絡してゐるが、冬は凍結するため碎氷船を用ゐる。(二)幌内平野はツンドラで、耕作に適しないから農業は行はれない。西南部の灣頭に敷香があり、パルプを産し、鱒、鮭等を集散する。

西部山地 (一)主體山地に於ては針葉樹の原生林から製紙の

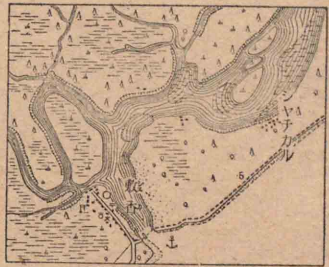
樺太地方

●敷香(陸・測)七
萬五千分の一
(中上)
ツンドラがよく
あらはれてゐる
●ツンドラ(下)
●樺太神社(中下)

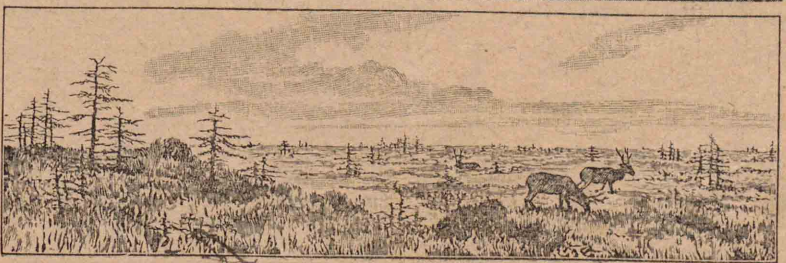
●眞岡(陸・測)七
萬五千分の一
(上)
海岸段丘がよく
あらはれてゐる



豊富な原料、各地炭田から燃料を得、狐から毛皮が獲れる。豊眞線は河谷を利用して横断してゐる。(二)西海岸は氣温比較的高く、農業も漁業も行はれ、その南部は海も凍らず、冬本土との好連絡地で、眞岡と本斗の二港がある。眞岡は漁業の根據地で、本斗は岩礁が沖に横はり防波堤の築造に便をもつた良港である。



便をもつた良港である。氣温低く作物

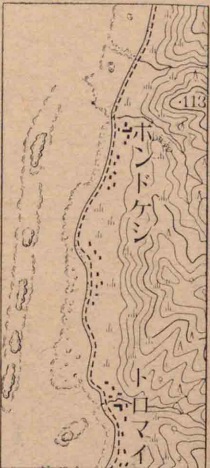


●築港前の本斗(右上)

●沖の岩礁がよくあらはれてゐる
●築港後発展しつつある本斗港(下)

●岩礁上の防波堤に注意せよ
●米の生産分布圖(二九頁)

1 我が國の人絹パ
ルプの工場は野
田・泊居・敷香の
三箇所にある
●樺太の農業地帯(左上)
●大豆の生産分布圖(二七〇頁)



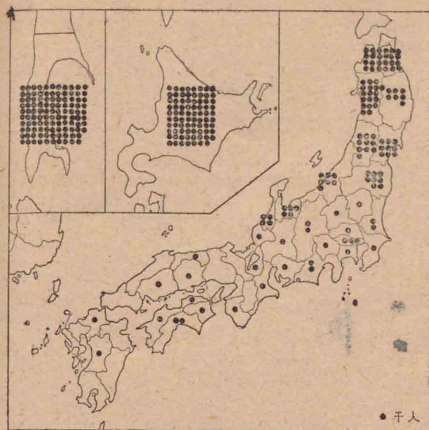
試みられてゐるし、燕麥・大豆・馬鈴薯・甜菜等の如き北海道と同種のもものが鈴谷平野及西海岸に耕作され、養狐も行はれ、山地からは木材・石炭等を産する。水産は最も價値あるもので、寒海性の練鮭・鱈・昆布と鱈等を産することは北海道に似てゐる。

の成育時期が短いから、北海道には及ばないが、夏が比較的高温のため米作も甜菜も



近時蟹も獲れる。漁期には定期的に出稼に来るものが多い。工業は未だ發達しないが、パルプ製紙製材等の工場は大泊・豊原・落合・眞岡・野田・泊居の外、このための新興都市・恵須取・知取・敷香等にある。開港場として大泊・眞岡があるが、取

- 馬鈴薯の生産分布圖(二〇頁)
- 洋紙の生産分布圖(三九頁)
- ニクブ人(下)とテントとがあらはれてゐる人口の分布圖(五六頁)
- 樺太の内地人の原籍別(上)
- 樺太地方の都市人口分布(左下)



引は内地への木材・パルプ・洋紙・海産物等の移出が主である。

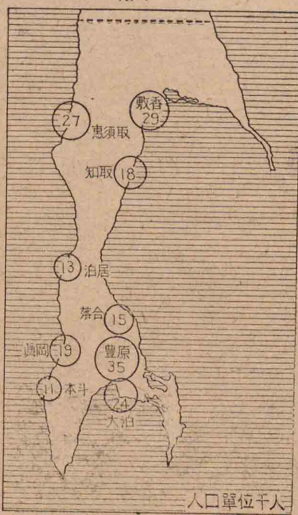
交通 鐵道は鈴谷平野縦谷の東海岸線の外、樺太鐵道先づ開通し、次は西海岸線の縦貫線開通し、更に豊原・真岡の兩中心地を結ぶ横斷線も全通した。航路は凍結流水及ガス等の障害はあるが、大泊・真岡・本斗等によつて北海道及本州島と連絡してゐる。



一四

住民

南から移住したアイヌ族は南部に、北から南下したオロコ族及ニクブ人族は北部に残存してゐるが、大部は



人口單位千人

内地からの移住民で、その原籍地は奥羽地方及北海道が主である。アイヌ族の如くオロコ族・ニクブ人族も亦特殊の風習を保存してゐる。人口密度は極めて小であるが増加率は著しい。

問題

- (一) 樺太と北海道とを比較せよ
- (二) 樺太の人文と氣候との關係を述べよ
- (三) 樺太西海岸の人文と自然とを述べよ

- (四) 樺太及北海道の移住地としての價值について述べよ

第九章 臺灣地方

行政區劃

(五州三廳)
 州名 廳所在地
 臺北 臺北市
 新竹 新竹街
 臺中 臺中市
 臺南 臺南市
 高雄 高雄市
 廳名 廳所在地
 臺東 臺東街
 花蓮 花蓮港街
 澎湖 馬公街

1 この他に澎湖島がある

位置と地理的區分

臺灣は我が國の西南端に位し、亞熱帶性の氣候の地域を代表してゐる。臺灣海峽によつて支那の福建、廣東二省と對し、香港に近く、又南洋に對する發展の好根據地である。

この地方を地理的に分つと、東部山地、東部縱谷、中央山地、臺灣平野の四區となる。

地勢

中央山地は北々東から南々西へ島軸に沿うて走り東西兩斜面を分ち、我が國最高峰の新高山及次高山等はこの中に聳えてゐる。三貂角とドーム角とはこの山地北端の兩翼で、宜蘭平野はその中央の彎入に堆積したものである。西斜面の濁水溪の上流は縱谷、中流は横谷をなしてゐる。埔里盆地及日月潭(竹湖)は本山とその西に横はる前山との境をなす谷で、前山は本山よりも低く、阿里山はその中にある。北部には霧島火山脈の延長である大屯火山群があり、有名な北投温泉がこれに伴つてゐる。臺灣平野は廣く長く南北に互

▲主なる河の名を挙げよ

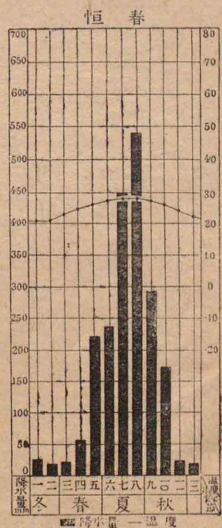
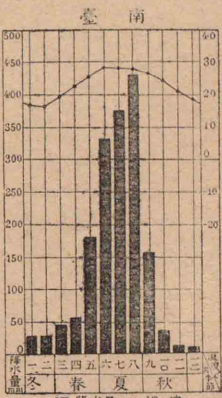
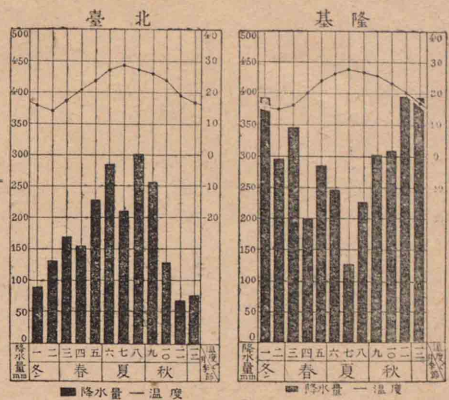
●臺灣の東西横斷面

つて、その北部には臺地が多く、淡水河の流域には臺北盆地がある。中央の最も幅の廣い所は濁水溪の諸分流の堆積地で、その他何れの河もそれ〴〵大三角洲を造り、それが複合して臺灣平野ができた。西海岸は遠淺で、自然に平野から海に傾いてゐて、臺灣海峽は陸棚をなし、その上に低平で多島な澎湖島がある。中央山地の東には東部山地をなす臺東山脈があり、規模は小であるが、中央山地と同じ形式に縦走し一つの河谷のみがこれを横ぎる。中央山脈と臺東山脈との間には東部縱谷があつて、花蓮港から臺東まで一通谷が發達してゐる。東海岸は西海岸と異なり、岩石海岸で海は急に深い。本島の北の突出は富貴角、南の突出は南岬といふ。



氣候

氣候は亞熱帶性で、内地と甚しく異なつてゐる。琉球よりも更に熱帶性である。夏の氣温は必ずしも内地より著しく高くは



る。但し北部と南部とはその乾季雨季が正反対である。

夏は南西の季節風卓越して風上の南部は雨季となり、風下の北部は乾季となるが、冬は東北の季節風卓越して風上の北部は雨季であり、風下の南部は乾季である。臺灣平野の中央部は南北の兩雨季とも降水量が少く、全島で最も降水量の少い所である。

この地の植物は低地では熱帯性の榕樹、檳榔、椰子、林投樹等が繁茂し、バナナ、パイナップル、パイヤ等がよく發育する。而して山地では



● 阿里山の檜林

● 森林帶圖 (二八四頁)

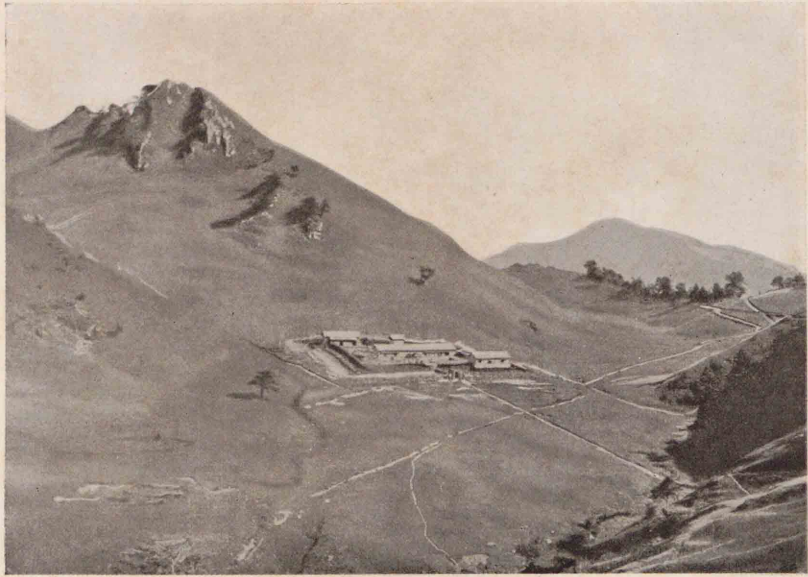
未だ文化は低い。

垂直的に變化し、阿里山は溫帶性の檜を産し、新高山の頂には寒帶性の植物がある。動物は内地に見ない水牛、穿山甲等がある。

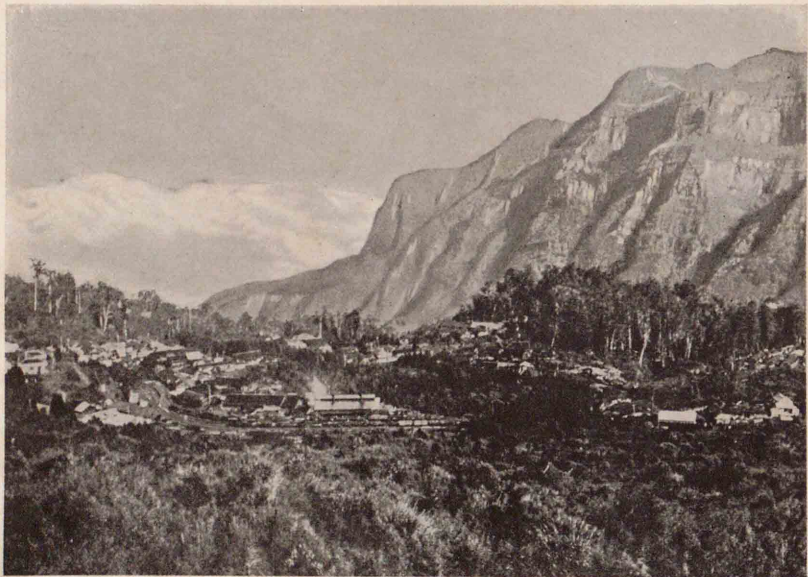
處誌

東部低地には花蓮港、臺東(卑南)の二門戸があり、分水界の低い三川の流域の縦谷を通じて縦貫鐵道及軌道が全通し、内地の開発を促してゐるが中央山地のため西部と隔絶されてゐるので

中央山地は高峻且つ雄大で、東西を隔絶し、横斷路の八通關と能高越とがあるに過ぎない。蕃族が山地に籠つてゐるのは地勢險峻、交通不便の結果である。埔里は山間の要地であり、日月潭にはその湖水を利用し、大發電所が經營されつゝある。阿里山には檜、紅檜の大森林があり、鐵索とループ式の林用鐵道が運材のため設けられてゐる。北部から石炭、金瓜石、瑞芳から金、銀、銅、西の山脚の錦水、出磺坑か



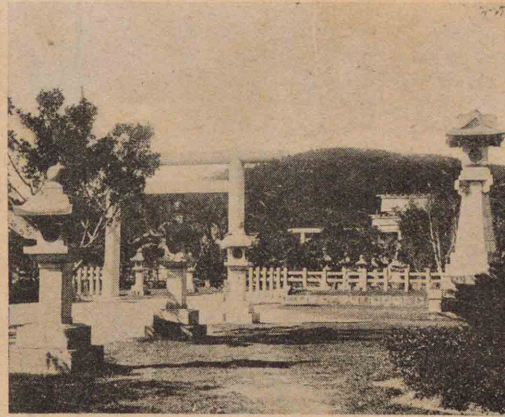
臺灣脊梁山脈橫斷路八通關
(建物は警察官吏駐在所)



檜の良材に富む阿里山

2 總督府
3 帝大

●臺灣神社 (上)



●臺灣の茶畑(下)

臺灣地方
1 木材の集散地
ら石油を産する。北部の宜蘭は宜蘭平野の中心で、蘇澳はその門戸をなし、且つ漁港で、その漁獲物は内地にも運ばれる。
臺灣平野は更に北部・中部・南部の三區に分たれる。(一) 北部の臺地には茶を盛に栽培する。

内地に比べると、氣温の激變少く、且つ南部ほど乾濕の差が甚しくないので、良質のものを産し、その上年に十數回の摘葉ができる。臺北盆地と桃園臺地等を主産地とし、臺中まで及んでゐる。臺北はじめ諸所の工場で粗茶を再製して烏龍茶、種茶、紅茶等とし、基隆から輸出する。臺北盆地の中心をなす臺北市は淡水河に臨み、本島の首都で、臺灣の文化の中心をなし、政治、教育、軍事、商工業等の機關及設備



吾



臺灣に於けるパイナップルの採集

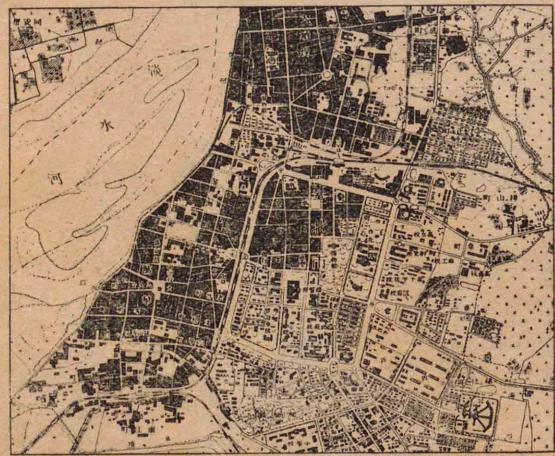


臺灣の名果パパイヤ (木瓜)

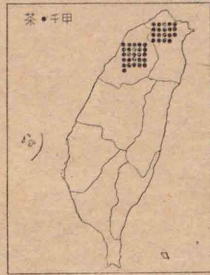
1 開港場

●臺北(陸・測)
七萬五千分の一
(下)

が整つてゐて、新装の市街は壯麗である。外港はもと淡水であつたが、今は基隆が主である。淡水は淡水河口にあり、港は浅いが支那と取引する。開港基隆市は本島第一の良港で、附近から石炭を得られる便を有し、本島の北端に位し内地に向つた門戸で、縦貫鐵道の起點に當り、樟腦等の輸出と砂糖米・バナナ等の移出が著しい。桃園は茶、新竹は柑橘、苗栗は樟腦の集散地である。(二)中部はバナナ。



2 内地種の良米は
蓬萊米と稱し、
豊原附近に多い



臺灣地方

甘藷落花生・麥等を産し、バナナは殊に名高く、米は内地種の良米を産する所があり、この地方のみ麥の耕作が行はれてゐる觀があるのは降水量の少いためである。これ等農産物の集散地としては臺中市・彰

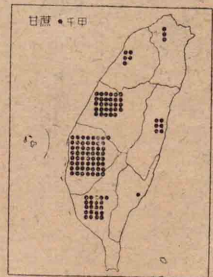


化市があり、鹿港は他の特別開港場と共に對岸支那に限り取引が行はれる。西岸一帯は浅いが支那型船の碇泊には堪へ、又竹筏も用ひられてゐる。嘉義市は阿里山の木材を受けて製材する。

南部の産物は甘蔗が主である。

この地方は氣温高く、夏季雨多く甘蔗の栽培に適し、殊に外國種を移植して改良し、よい成績を擧げてゐる。甘蔗輸送の輕便鐵道網は極めて密に發達し、甘蔗は畑から工場に集められて製糖され、粗製糖は内地に輸送されて更に精製されるものもある。屏東市は製糖業の中心で、高雄はその輸出港である。

中部の沿岸と共に南部に天日製鹽の盛なのは、遠淺で鹽田を造るに適し、日照強く蒸發が盛なためである。パインアップルの集散の一中心は鳳山である。南部の中心臺南市はもとの首府で、オランダ人及鄭氏の史蹟があり、舊文化の中心である。その外港安平は



1 後龍・東石

2 開港場

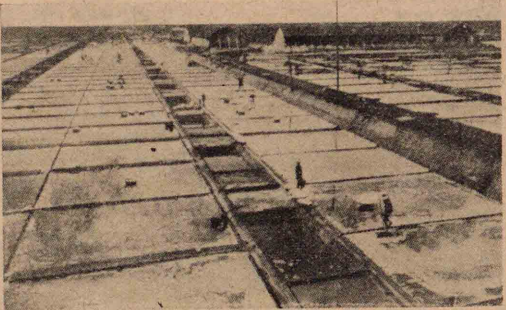
臺灣の鹽田(下) 天日製鹽

港が浅く、戎克の出入のみが多いが、南部の總門戶高雄市は開港場で築港によつて大船を泊するに足り、砂糖米の一大集散地となつた。南端の都市恒春は恒に氣温が高い。

澎湖諸島

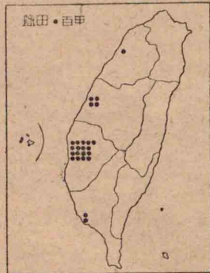
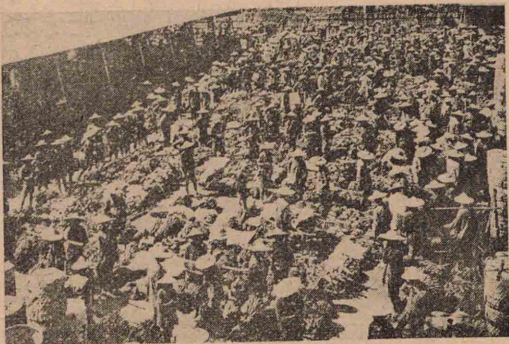
澎湖島等の三島に圍まれた内灣に臨んでゐる馬公は位置が優

れ且つ良港であるため、臺灣海峽方面に於ける海軍要港となつてゐる。



産業

米は高温が長く續くため、二回の收穫があつて、主として臺灣平野に産する。従つて灌漑のため、數多の埤圳と稱する溜池及水路を設けてゐる。甘蔗は米に



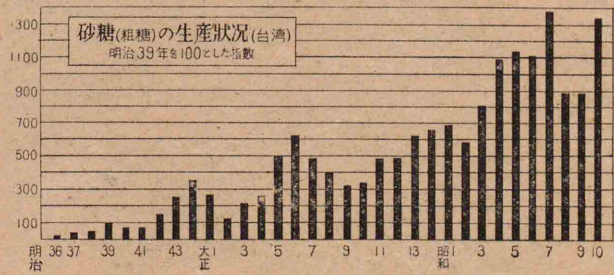
臺中バナナ市場 (上)

●豚の分布圖
(一七頁)

次ぐ食用植物で、又良く本島の氣候に適し、四時到る處に栽培され、殊に臺灣平野の南部に多い。甘蔗及茶は米、甘藷と共に四大農産物で、地形氣候の關係上、甘蔗は南部に、茶は北部に多く、共に最も重要な生産物である。落花生及バナナは全島に産し、殊にバナナは氣候の關係上特産で、共に多量に内地へ供給する。豚は琉球と同じく各戸盛に飼育する。

山地からは檜、紅檜の良材と石炭、金、石油等の鑛産とを産し、近海では鯉、鯛等が獲れ、天日製鹽は地勢氣候等の關係上西海岸で行はれる。工業は農林業に關聯したものが主なもので、北部では製茶が最も盛で、製糖は南部を中心に全島到る處に行はれる。樟からは樟腦を製する。その他の工業は未だ盛でない。

商業は内地との取引が最も盛で、砂糖、米をはじめ、バナナ、パイン、アップル、罐詰等移出し、又肥料、織物、鐵



木材、機械類等を移入する。北部の基隆、南部の高雄は二大貿易港で、もと榮えた淡水、安平の二開港に優り、對岸の支那に對しては、これ等の外三特別開港場が西海岸に分布してゐる。烏龍茶は米國に、包種茶は南洋に、砂糖は内地及外國に移輸出せられ、樟腦は世界の需要の大部分を供給する。

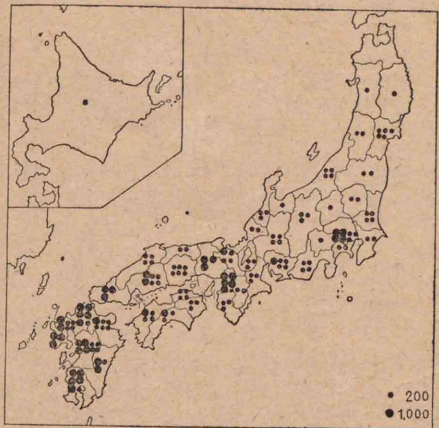
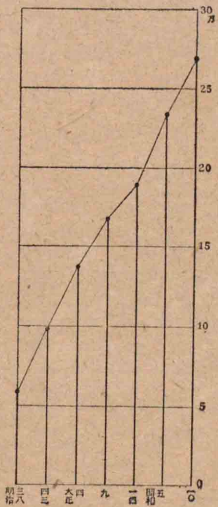
交通

鐵道は臺灣平野、東部縱谷に縱貫鐵道が走り、殊に西部では主な都市を悉く連絡してゐるが、東西連絡の横斷鐵道は北部の海岸線の外は一線も未だ敷設されない。南部には輕便鐵道多く、我が國で最も鐵道網の密な地方の一つである。臺車と稱する手押簡易軌道が各地にあつて、地方的な交通に役立つてゐることは臺灣の特色である。海上交通は主として内地へは基隆港から、支那へは全貿易港から、南洋へは高雄港から航路網が發達してゐる。沿岸航路は東岸は深い波荒く、西岸は波穏かでも海が浅い缺點がある。戎克と竹筏の用ひられることも亦臺灣の特色である。近時内臺連絡の定

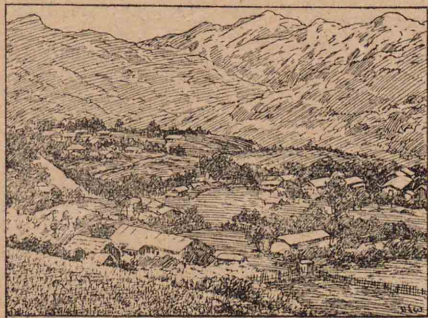
期航空路も開かれた。

住民 最初の住民は馬來種の最北部に屬する蕃族であつた。

對岸の福建省地方の閩族と廣東地方の粵族とが臺灣平野に移住して來るに及んで、蕃族は平野から追はれて山地に籠り、今尙そこに據つてゐる。従つて平野の漢人種との融合性弱く、尙原始的の生活をつゞけて蕃風を保存する。七種族中タイヤル族の如きは最も猛惡と稱せられてゐる。但し平地と交する地域及東部の沿岸には若干進歩した蕃人があり、農業又は勞役に従つてゐる。總督府も撫育の方策を定め、水田耕作、兔豚蠶の飼育、交易方法等を指導してゐる。夙に本島人化せ



臺灣移住内地人の原籍別 (上) 角板山の土人部落 (左下)

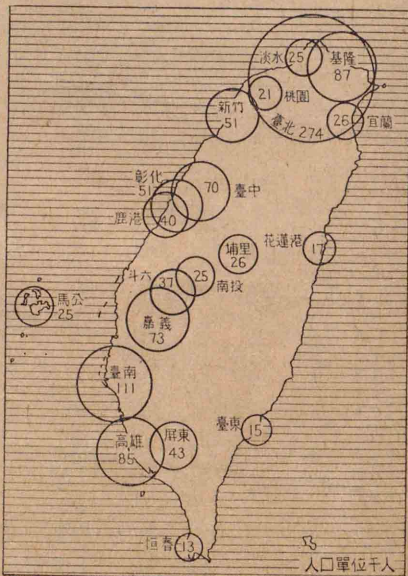


●臺灣地方の都市人口分布

1 東部低地には内地人の移民村がある

られたものを熟蕃と稱し、然らざるものを生蕃と呼んでゐる。

土着した支那人は隸屬當時歸化して我が國籍に入り、本島人と呼ばれ、本島住民の約九割二分の多數を占めてゐる。内地人は改隸以來の移住で未だ多くなく、僅かに二六萬人に過ぎない。その原籍地は西南日本のものが多い。



問題

- (一) 臺灣の南北兩部の自然及人文について比較せよ
- (二) 臺灣の地形の特色とその人文との關係を述べよ

- (三) 臺灣と内地との著しい相違點を挙げよ
- (四) 北海道と臺灣との地理的景觀を比較せよ

第十章 朝鮮地方

位置と地理的區分

朝鮮はアジヤ大陸東部の一大半島で、朝鮮海峽によつて内地と對する。滿洲國及シベリヤとの境は長白山脈を中央にして、東に豆滿江、西に鴨綠江が流れて比較的自然的國境をなしてゐる。我が國と大陸との關係上重要な位置を占める。

この地方は地理的に大別すると北部朝鮮、中部朝鮮、南部朝鮮の三區となり、又別に裏朝鮮、表朝鮮に分つこともできる。

地勢

北部朝鮮は長白山脈が國境附近に横はり、その主峯、白頭山は高く國境線上に聳える。鴨綠江、豆滿江は源を此の山地から發し東西に岐れてゐる。鴨綠江は我が國第一の長流である。白頭山の南には蓋馬高臺が横はつてゐる。中部及南部朝鮮は低山性の山地と淺い谷とが發達し、分水界は殊に著しく東に偏し、裏朝鮮の河は短く急で、海岸平野は殆んど無いが、表朝鮮の川は大、同江、漢江、錦江、榮山

| 道名 | 廳名 | 在所 |
|---------|-----------|---------|
| 咸鏡北道 | 羅南邑 | 咸鏡北道 |
| 咸鏡南道 | 咸興府 | 咸鏡南道 |
| 平安北道 | 新義州府 | 平安北道 |
| 平安南道 | 平壤府 | 平安南道 |
| 黃海道 | 海州邑 | 黃海道 |
| 江原道 | 春川邑 | 江原道 |
| 京畿道 | 京城府 | 京畿道 |
| 慶尙北道 | 大邱府 | 慶尙北道 |
| 慶尙南道 | 釜山府 | 慶尙南道 |
| 忠清北道 | 清州邑 | 忠清北道 |
| 忠清南道 | 大田府 | 忠清南道 |
| 全羅北道 | 全州府 | 全羅北道 |
| 全羅南道 | 光州府 | 全羅南道 |
| 北緯三三度一分 | | から四三度二分 |
| 1 | 頂上に龍王潭がある | |
| 2 | 八〇〇餘軒 | |



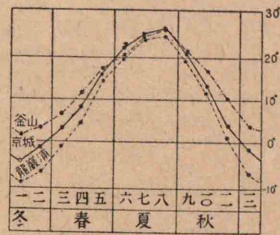
● 金剛山の萬物相 (上)
● 凍結した鴨綠江 (中)
● 氷滑のできる漢江 (下)

江等の如く長く緩かた平野が到る處にある。東海岸は永興灣、迎日灣の外出入乏しく、沿岸には殆んど島を缺き、海は急に深いのに反し、西海岸は出入極めて多く、島も亦無數で、海は遠淺である。潮汐干満の差の如きも東海岸は殆んど無いが、西海岸は我が國第一の差を示してゐる。主な分水界をなしてゐるのは太白山脈で、その中に金剛山の勝がある。この山脈の中央から斜に西南に半島を横切つて小白山脈が走り、その中に鳥嶺、秋風嶺等の峠があり、その西に蘆嶺山脈がある。それがため洛東江等はそれ等山脈の間を南流して朝鮮海峽に注いでゐる。西南部の海岸は小白山脈の海に没したところで、多島海をなしてゐる。黄海斜面の河口はす



1 最も海岸より遠い中江鎮は著しい低温を示すことがある

●北部・中部・南部朝鮮の気温の比較 (右)



べて喇叭形の入江をなしてゐる。

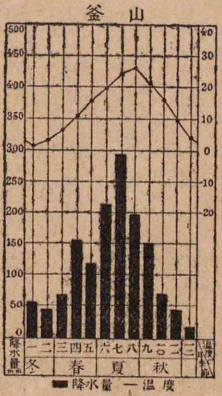
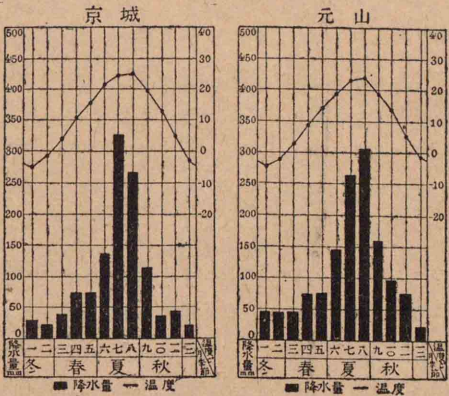
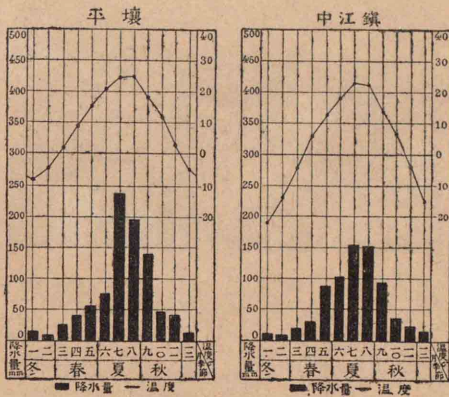
氣候

南部の氣候は中國・北九州等と大差は無いが、京城・平壤・龍巖浦と北するに従ひ、寒暑の差が大となる。それは緯度の變化と大陸の影響とがあるからである。北部では冬季河が凍結するほど気温が下る。降水量は南から北するに従つて減じ、又東岸よりも西岸に少

い。對馬海峽の濃霧は寒暖兩流の影響である。

處誌

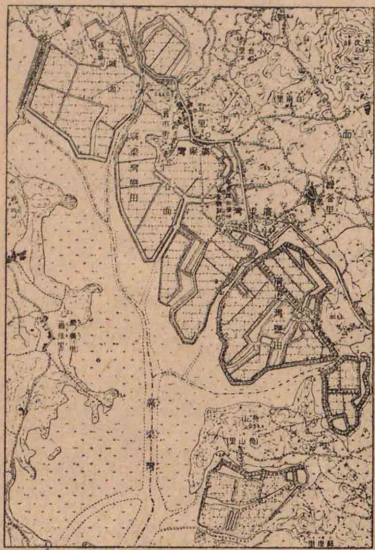
北部朝鮮は東部は北鮮と稱し、西部は西北鮮と呼ばれてゐる。この地方は米作



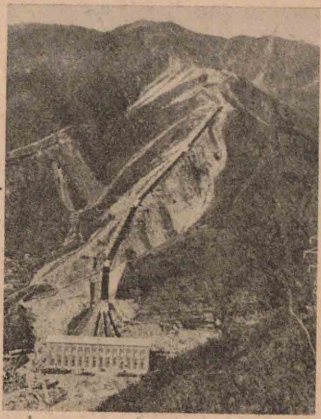
〔咸鏡南北道・平安北道・黃海道北部〕
▲中江鎮と敷香・旭川等と比較せよ

古くより朝鮮

●廣梁灣の鹽田 (陸・湖) 十萬分の一



も行はれるが、畑作が主で、大豆・馬鈴薯・大麻・菜豆等を産し、西北鮮は殊に粟・蜀黍在來棉等を多く栽培し、平壤平野はその主要中心地である。高原及山間地方には燕麥の耕作が盛である。又一般に桑も育ち養蠶も行はれる地方がある。牛は人口及耕地に比して著しく多く、北鮮の北半、西北鮮の平壤牛共に名高い。國境附近の内陸には紅松(朝鮮松)・杉・松・唐檜・落葉松等の寒帶性の針葉樹の大森林があり、秋冬の候積雪結氷を利用して伐木し、夏に筏として鴨綠江を下し、新義州で製材する。金は雲山・大楡洞等を主産地とし、石炭は平壤附近の炭田から無煙炭を産し、利原・下聖・載寧等からは鐵鑛を産し、共にその一部は内地に輸送される。大同江畔の兼二浦には製鐵所がある。日本海沿岸は鱈・明太魚の漁獲が極めて盛である。



●赴戦江の發電所
1 赴戦江は鴨綠江の上流に屬するがこの川を堰きとめて湖を造りその水を脊梁分水山地にトンネルを鑿ちて東海岸に落し、その大落差によつて發電しつゝある

魚油の産も多い。黄海沿岸の廣梁灣は天日製鹽で名高い。工業には古來北鮮布と稱せられる麻布が知られ、平壤は石炭の燃料に富むため新式工業が興りつゝある。赴戦江及長津江には水力發電所が設けられ、興南でその電力を利用して肥料が製造される。新義州にはパルプ製紙の工場がある。鐵道は西に京義線、東に北鮮鐵道管理局線、咸鏡線、京元線があり、新義州は滿洲國との連絡點である。一北鮮の中心は元山府で、斷層谷に沿ふ鐵道により京城と通じ、且つ永興灣に臨む裏朝鮮著名の港市である。羅津府、雄基、清津府は北滿洲の門戸としてそれづゝ發達し、阪神及北陸地方との交通が次第に繁くなりつゝあるが、殊に羅津は將來を囑望される。羅南、咸興府は地方行政の中心地で、羅南は又師團司令部及兵營の所在地で、北鮮の國境防備の中心地である。會寧は豆滿江畔にあり、滿洲國の間島に對する國境の要地、鏡城には生牛市場がある。二 西北鮮の中心は平壤府



●平壤(陸・測) 約七萬五千分の一
臺地・低地・大同江・聚落・城壁等があらはれてゐる

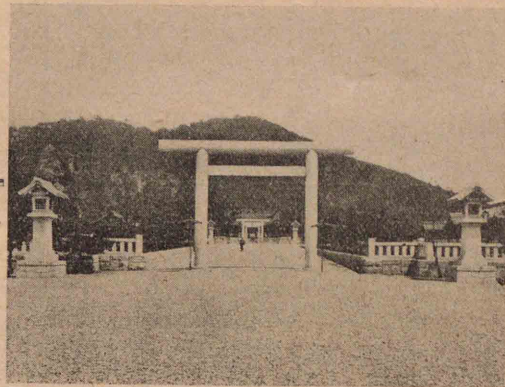
1 前の高麗
●朝鮮の棉作(下)

〔江原道・黄海道南部・京畿道〕

府は大同江の河口にある。鴨綠江下流の中心地である新義州府は製紙製材行はれ、江を隔て、滿洲國の安東と對し、その間に架する長橋は鮮滿の連絡橋である。龍巖浦は鴨綠江口の港である。

中部朝鮮 米・小麥・大豆等の外、開城附近の人蔘栽培が知られ、開城には官營の紅蔘製造所がある。近年は繭の産出も漸



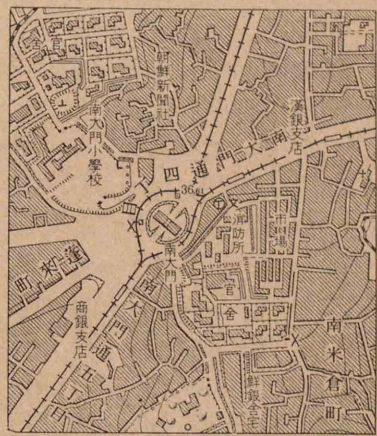


●朝鮮神宮(上)

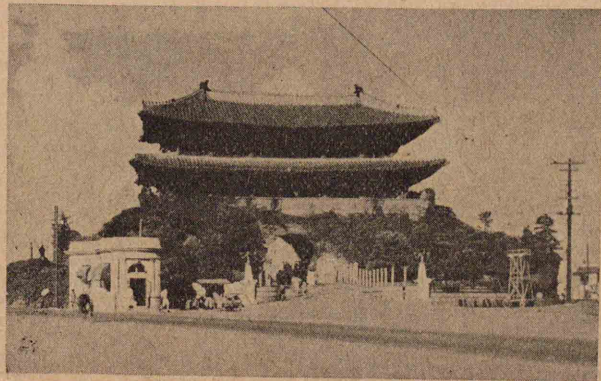
●京城南大門(陸測)一萬分の一(中)

●京城南大門(下)

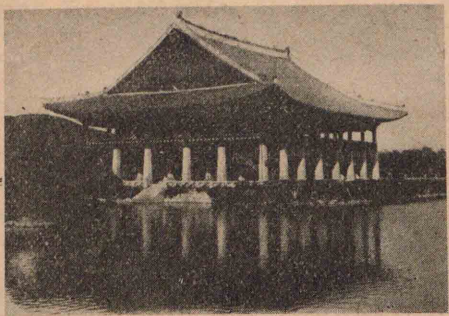
製鹽が行はれる。京城は半島交通の中心で、**京元**・**京義**・**京釜**の三大幹線はこゝから發してゐる。漢江は水運の便よく春川まで舟を通ずる。日本海岸は交通が未だ開けないが、黄海岸は仁川を中心として各地に通じ、殊に



面は西北鮮と等しく干潟が廣く、蒸發も盛なために**朱安**等で天日く多い。又牛の飼養も盛で、牧羊をも試みつゝある。日本海方面は鯨が獲れ、黄海は石首魚の好漁場である。又黄海方面は



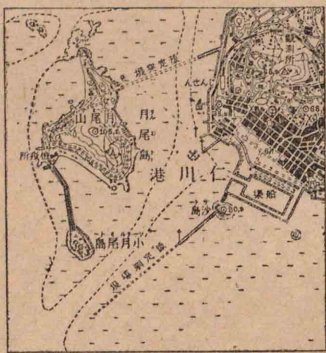
一畝



●景福宮の慶會樓(上)

●仁川港(陸測)七萬五千分の一(中)

●開城の人蔘畑(下)

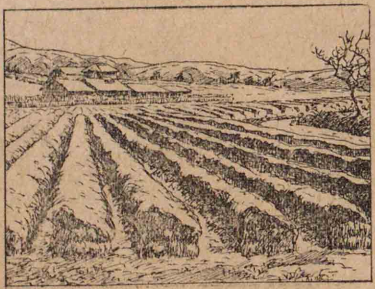


支那との取引が多い。

西部平野は産業交通が發達し大小の都邑が多い。殊に漢江の流域が主で、その中心に半島の首都**京城**・**府**がある。

京城は北は北漢山、南は南山に圍まれ、自然の城壁を繞らす盆地に發達した城市で、北漢山麓には總督府昌德宮景福宮がある。龍山は師團司令部兵營等の軍事關係地並に諸鐵道の中樞をなす鐵道用地として發達した京城の一區である。

京城は殆んど半島の中央に位し、總督府・大學等をはじめ諸官廳・學校等多く備はり、商工業も年を逐うて盛となり、半島の政治・教育・交通・商工業・軍事等の中心地で、朝鮮第一の人口を有する都市である。仁川府は京城の外港で、内地及支那との貿易が盛であるが、潮汐干満の



一畝

1 後の高麗

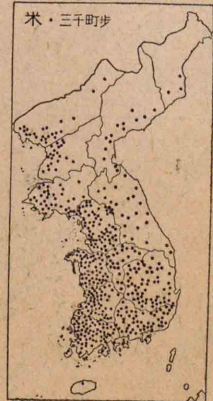
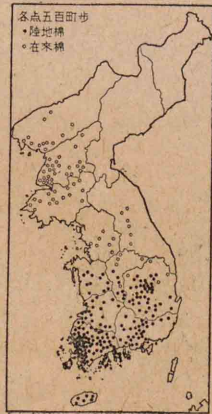
朝鮮地方

差が甚しいため開門式濕船渠を設けて、その缺點を補つてゐる。開城府は高麗の舊都で、商人が多く、人蔘の産とその取引とで最もよく知られ、春川・海州等は地方行政の中心地である。

〔忠清南道・慶尙南道・全羅南道〕

2 湖南地方とは西部平野の中部以南をいふ

南部朝鮮は平地が比較的多く、氣候温暖のため、北部朝鮮中部朝鮮に比すると農業が大いに發達し、西部地方の錦江榮山江等の流域殊に、湖南地方は米棉の生産額が多いので知られてゐる。殊に近年は灌漑のため水利事業も進み、又西岸の干潟を干拓して水田の増加をはかつてゐる。米は主として群山港から内地へ多く移出されてゐる。麥も多く、殊に稞麥が盛である。在來棉の代りに外國から移植した良質の陸地棉は榮山江流域に多く栽培され、木浦から内地へ移出する。東部地方の洛東江の流域は米の外麥を多く産し、



仁川埠頭の米



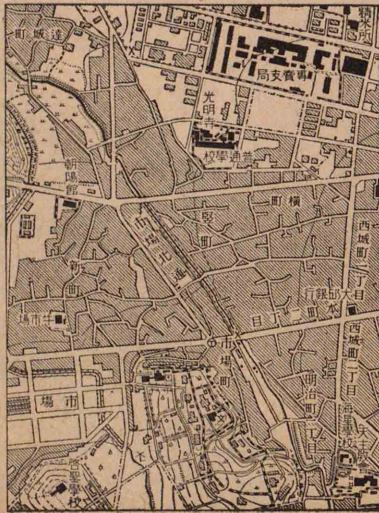
開城の人蔘乾燥

●大邱(陸測)約
一萬五千分の一

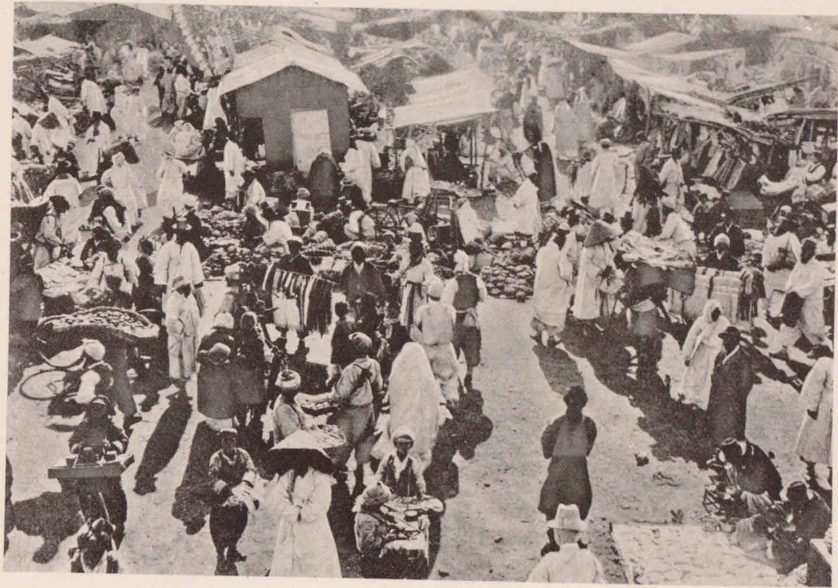
朝鮮地方

甘藷も亦栽培せられる。又その中流の流域は繭の産額半島第一である。朝鮮海峽及其の附近は寒暖兩流が流れてゐるので鯨鰻鯛等多種の魚族に富み漁獲高も全鮮に於て最も多く、釜山は其の集散の中心である。京釜線は京城から秋風嶺を越え大邱を経て釜山に着き、直ちに關釜連絡船によつて下關に達することができる。湖南線は大田より岐れて西部地方を貫いて木浦に達し、途中群山麗水に各支線を出してゐる。

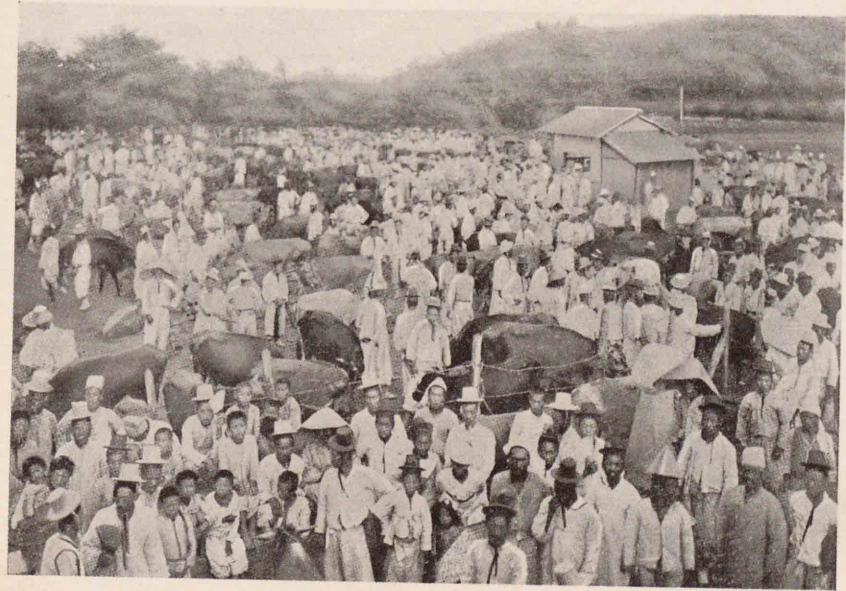
一 西部平野は風土に最も恵まれて人口密度が朝鮮に於て最も大で、大小の都邑が多い。錦江の上流には清州と大田府があり、清州は道廳の所在地、大田府は鐵道の分岐點に發達した市街である。中流には公州、扶餘、江景等がある。扶餘は百濟の舊都、江景には



三七

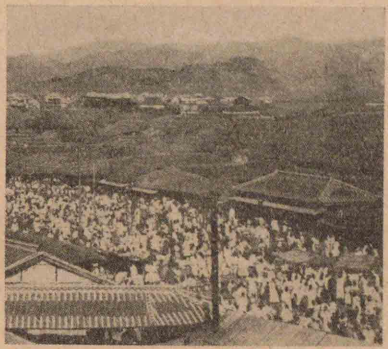


大邱西門市場に於ける群衆



永興牛市場に於ける群衆

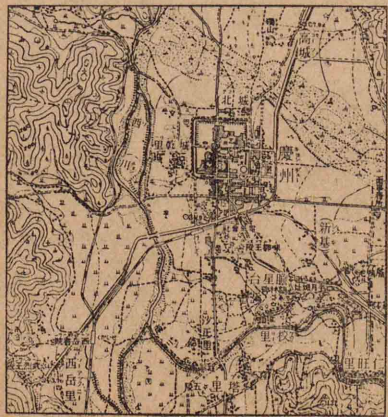
●大邱市場 (上)



古來有名な市場がある。湖南平野の内陸の中心は全州府である。これ等の地方の門戸港として錦江口に群山府が発達し、米の集散が多い。榮山江上流の光州府も内陸の一中心で、江口の木浦府はこの流域の門戸港である。(二)東部地方 洛東江流域の中流盆地の中心に大邱府があり、我が國第一の大都市が今尙行はれ、その附近

1 洛東江の流域に屬する ●慶州(陸・測)七 萬五千分の一 (下)

には朝鮮海峽を横断して福岡と連絡する飛行機の發着場がある。金泉は秋風嶺の麓の要地である。東海岸地方は極めて狭いが、浦項と蔚山とがあり、その内陸に慶州がある。慶州は新羅の舊都で古蹟に富んでゐる。南海岸は内地に面し、夙に文化が進み、釜山の如きは内地人も多く、殆んど内

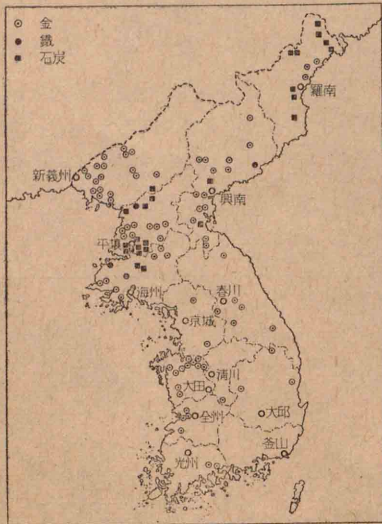


●朝鮮婦人の洗濯 (下)

地化した都會である。釜山府は朝鮮の南の門戸港で、内地との交通の要所に當り、貿易の盛なこと半島第一である。絶影島が前に横はつて安全な碇泊場をなし、船車の連絡の設備もよく整つてゐる。附近の東萊は温泉地として有名である。馬山府は港で清酒を産し、海軍要港鎮海は朝鮮海峽に於ける軍事上大切な根據地である。西方の麗水から最近内地へ直通航路が開かれた。

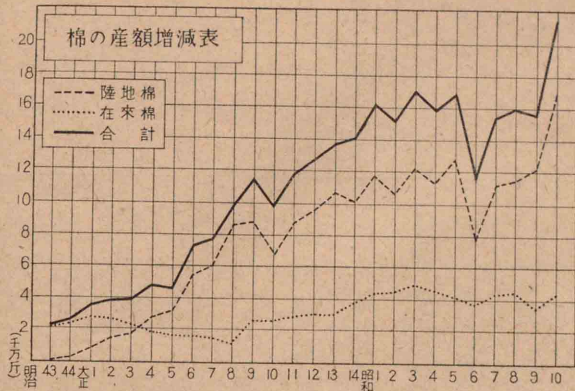
産業 朝鮮地方

方は雨量が少く、且つ古來森林の保護を怠つたため山地の大部は荒廢し、従つて平地も灌漑の便乏

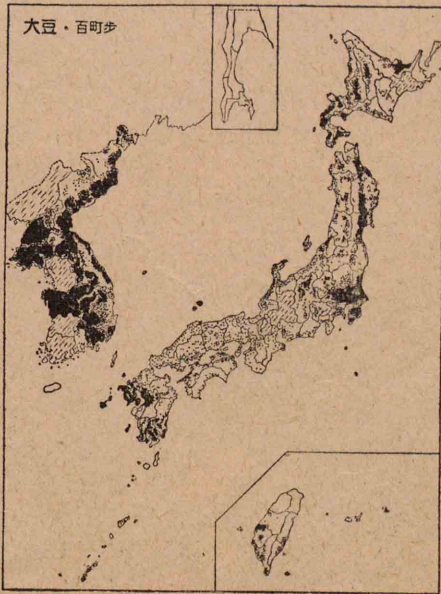


●朝鮮の鑛産地の分布 (上)

●小麥の生産分布
圖 (二二頁)



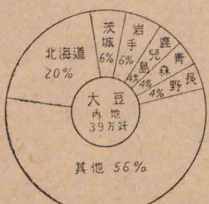
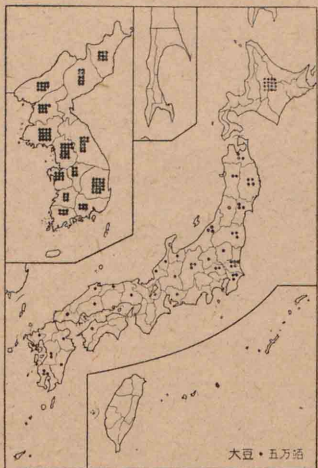
しく、原野が多くて耕地の割合が少い。然しそれにもかゝはらず農業は昔から朝鮮産業の随一で、住民の大部分は農業者である。



近年水源の涵養灌漑工事等大いに進み、耕地の面積も増加したので、農産物は増加しつつある。その主なるものは米大豆麥棉人蔘等である。米及棉は比較的高温多湿で平野の多い西南部に産し、小麥は低温寡雨の北部に多い。稞麥は暖い南部に多く、大麦はそれよりも北部に多い。馬鈴薯は北部に多く、甘藷は南部が主である。燕麥は殆んど北部のみである。良質の陸地棉は南部に限られ、それを栽培し得ない北部に

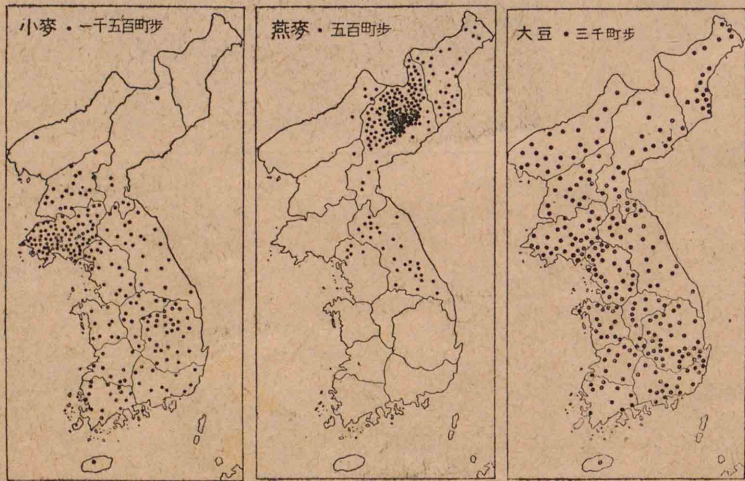
●成牛の分布圖
(八三頁)

●森林帶圖
(一九五頁)



在來棉が作られる。大豆は特に盛で、到處に多く産する。所謂朝鮮人蔘は特産で支那へ輸出する。苹果は産するが柑橘類は濟州島の外は全く産しない。養蠶牧畜も亦氣候に適

し、繭の産額は年々増加し、牛の飼養は到る處盛で、牛の頭数は内地よりも多く、各地に牛市が開かれ、皮革は勿論生牛も朝鮮牛と稱して近時内地に移出



1 近時植林を奨励し面目を改めつつある
2 鴨綠江・豆滿江の流域

● 東洋殖産會社の開拓地の農場と農村 (上)
● 砂防工事 (下)

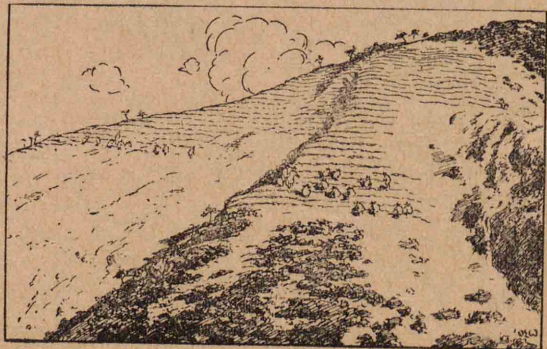
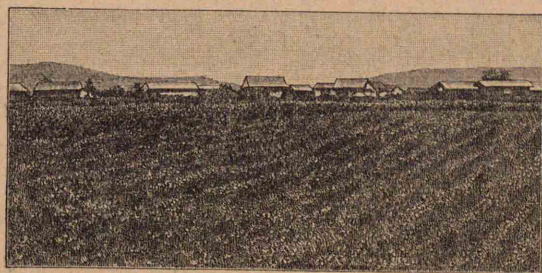
3 殊にその北部に多く、南部には寒流のため鯨が獲れる

1 廣梁灣はその一つである

2 織物・陶磁器・眞鍮の食器類等擔夫

される。南朝鮮は、濫伐の結果

樹木に乏しいが、北部には寒帯性の針葉樹林が密生し、營林署の鴨綠江材の伐り出しは規模が大である。鑛山は北部に多く、中部これに次ぎ、その主なものは金及砂金で、平安北道に多く、鐵これに次ぎ、黃海道から産し、良質の石炭も北部に産出する。農業に次ぐ重要な産業は水産業で、半島沿岸一帯に漁業がよく行はれるが殊に南海岸は最も盛である。東海岸の明太魚と西海岸の石首魚とは朝鮮人の賞美する特殊の魚で、その漁獲多く、南海岸及東海岸には寒暖二流の關係で鱈・鯖・鯛・鯨・鯨・鱈等が獲れる。中國及九州から出漁するものが多い。



西海岸で、天日製鹽の行はれるのは降水量少く、且つ風強く蒸發の盛なため、遠淺であるのは鹽田作成に便である。工業は從來簡易の衣食用品を小規模に製作したに過ぎなかつたが、内地人によつて近代式工業が漸次行はれるやうになつて來た。

市は内地では昔盛であつたが、朝鮮では今尙至る處に定期に開かれ、日用品を取引してゐる。大邱の市はその最大のものである。然し近來内地風に常設の店舗が増して來たので、市場の勢力が衰へつゝある。貿易は釜山・仁川・新義州・鎮南浦等が主で、釜山は内地、仁川は内地、滿洲國及支那との取引が特色で、輸移出品は米・粃肥料・大豆・水産物・生絲・鐵・線・綿・魚油・金鑛・石炭・木材・生牛等で、輸移入品は鐵及鐵製品・機械・綿織物・粟鑛油肥料・雜貨等の加工品等である。

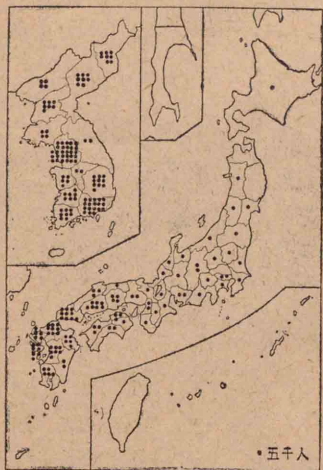
1四呎八吋半の廣軌(標準軌道)である

仁川・群山・麗水・鎮南浦・馬山・鎮海等の港には連絡のために各支線が通じてゐる

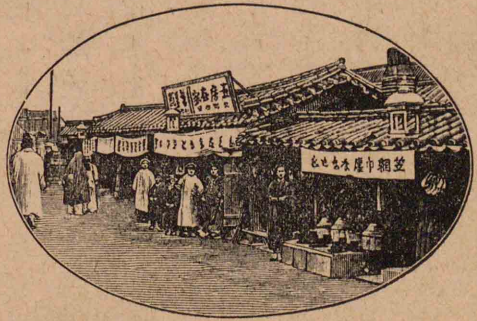
●朝鮮の店(下)

交通

京義京釜の二幹線が半島を斜に縦貫する。それは單に内地と滿洲國の連絡に資するだけでなく、歐亞連絡の幹線の一部をなしてゐる。中央部から西南へ向ふ湖南線と東北へ向ふ京元咸鏡の二線とは、縦貫幹線から隔つてゐる。湖南・北鮮の兩海岸地方と中央部との連絡をはかつてゐる。滿洲國との連絡も新義州のみでなく、上三峯・南陽方面からも開かれた。航路は西海岸では仁川、東海岸では羅津、清津、元山、南海岸では釜山、麗水の六港が中心で、内地、滿洲國及支那と連絡してゐる。たゞ春夏の霧と冬の風波とが、航海を困難ならしめることがある。河は河口が喇叭形で、流は緩



路は西海岸では仁川、東海岸では羅津、清津、元山、南海岸では釜山、麗水の六港が中心で、内地、滿洲國及支那と連絡してゐる。たゞ春夏の霧と冬の風波とが、航海を困難ならしめることがある。河は河口が喇叭形で、流は緩



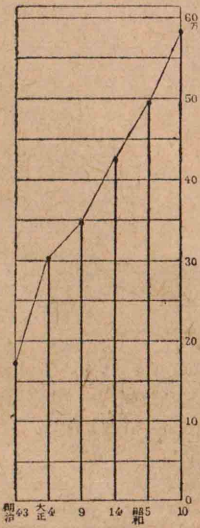
●朝鮮在住内地人の道別及原籍別(上)

かで且つ屈曲し、流路も長く、上流まで船で溯ることのできるのは、内地の河と異つてゐる。もと轎が流行したが、道路の改修につれて、自動車^{クルマ}が次第にこれに代りつゝある。航空路は京城を中心として大邱を経て内地の各地へ、新義州を経て滿洲國に通じてゐる。

住民

朝鮮族の容貌は内地人に酷似してゐる。朝鮮はアジヤ大陸の一半島であるため、古代進んでゐた支那文化の影響を早くから受けてゐた。従つて佛教學術その他の文化を我が國に輸入する媒介をしたのは、位置的關係上當然であつた。今は逆に我が新文化を移入してその文化を開發することに努めてゐる。總人口は約二〇〇萬、その密度は内地の約二分の一で、奥羽地方よりも小である。密度は裏朝鮮よりも表朝鮮、北部朝鮮よりも南部朝鮮が大である。故

に北鮮が最小で、湖南地方が最大である。都會も小さいのが分散して



●朝鮮在住内地人増加表

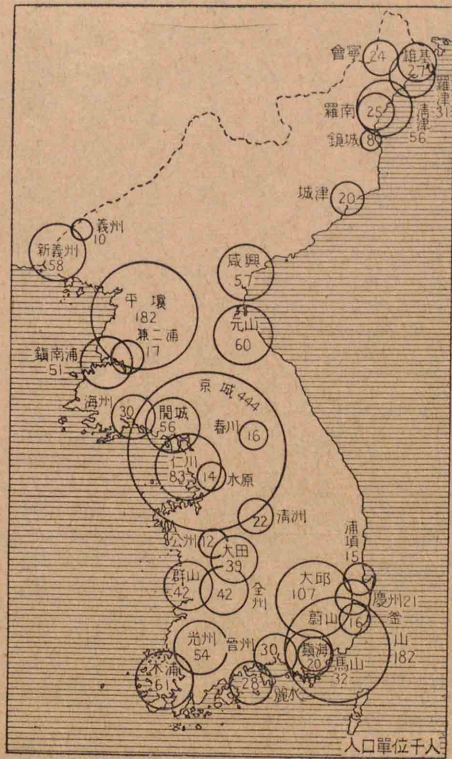
●人口の分布圖(五六頁)

●朝鮮地方の都市
人口分布

朝鮮地方
みて大きいものは少
い。内地人の移住者
は増しつゝあるも漸
く約六〇萬で、總數の
百分の三に過ぎない。
その原籍地は西南日
本のもが多い。

問題

- (一) 南北朝鮮を比較せよ
- (二) 表裏朝鮮を比較せよ



- (三) 朝鮮と内地との景觀を比較せよ
- (四) 各道としての特色を挙げよ

第十一章 關東州(租借地)

1 面積三四六二平方
方

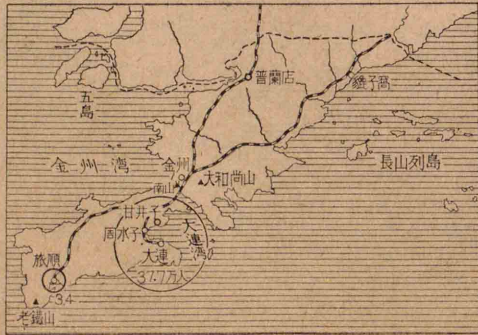
●關東州の都市人
口分布

位置・面積

滿洲國の南方に接續する遼東半島の南端部を占め、南は渤海海峽を隔て、支那の山東半島と對してゐる。面積は略々奈良縣に等しい小地域であるが、位置的に最も滿洲國の門戸に適し、滿洲國及北支那に對する重要地域である。而して總ての現象が南滿洲の様式である。

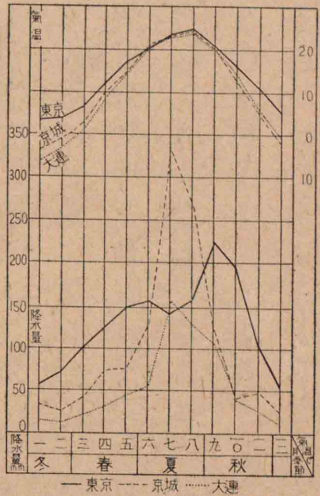
地勢・氣候

遼東半島の脊梁山脈である遼東山脈の南端が縦に走つて分水嶺をなし、一般に丘陵性で、海岸は出入に富み、中央部には黄海より大連灣、渤海より金州灣が彎入して金州地峽部をなし、南端に近く旅順灣があり、黄海には長山列島が横つてゐる。氣候は大陸的で、内地に比すれば



關東州(租借地)

●東京・京城・大連の氣候比較(上)

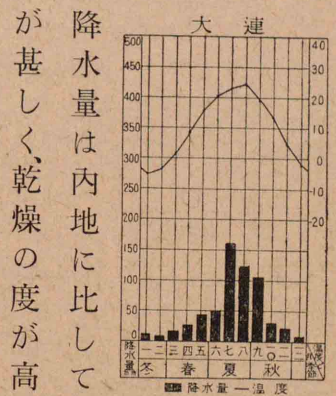
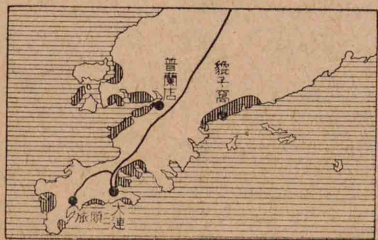


當に降雨がある。

産業・交通

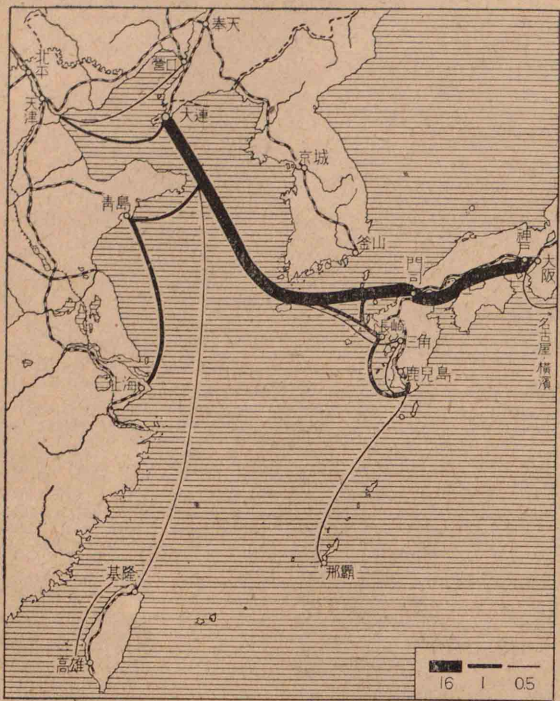
耕地は多くないが、玉蜀黍、落花生、高粱、粟、蔬菜、苹果等の農産があり、沿岸では空氣が乾燥し、風強く、蒸發盛なため天日製鹽が行はれてこれを内地に輸出する。鐵道によつて滿洲國から集められた大豆は、大連市内の油房に於て大規模に豆油及豆糟に製造される。以上の大豆工業の外、金屬硝子セメント、肥料、紡績の製造工業等も大連を中心として

●鹽田の分布(下) 縦線區域が鹽田



寒暑の差が甚しいが、滿洲國の何處よりも溫和である。降水量は内地に比して少く蒸發の度が甚しく、乾燥の度が高いが、夏季は相

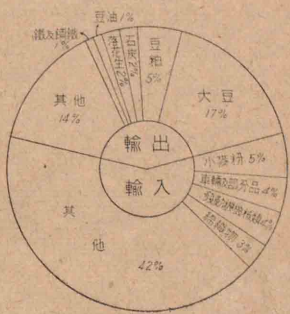
●大連飛行場は周水子にある ●大連を中心とする海陸の交通



盛に行はれつゝあるのは、海陸の交通至便で、滿洲國から原料及石炭を豊富に得られるからである。

南滿洲鐵道會社の經營する大幹線連京線は大連を起點として新京に向ひ、大連市は滿洲國の鐵道交通の要をなし、且つ歐亞連絡の一要地である。海上に於ける内地、朝鮮、臺灣及支那の諸港との連絡は大連港を中心として行はれ、歐米船舶の出入も多い。大連港は港域水深共に大埠頭設備は完備し、多數船舶の同時荷役に役立ち、又沿岸唯一の不凍港で、冬の大豆の出廻期の荷役にも不便がない。航空路網も滿洲國、朝鮮及内地の主要都市と連絡してゐる。かゝる位置、産業、交通の關係上、大連

●大連港の輸出入 (上)

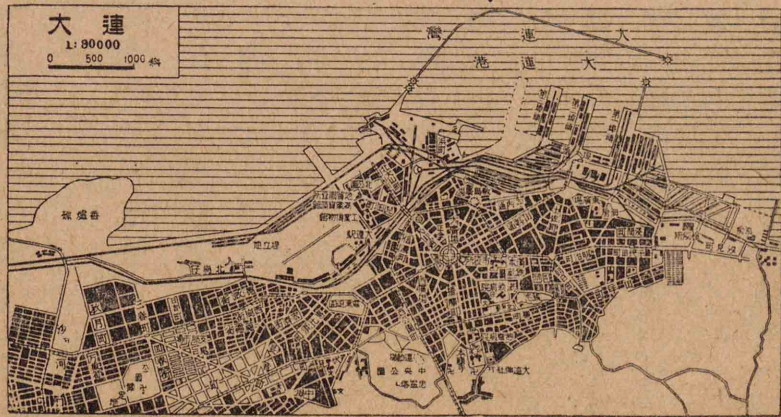


●大連(陸・測) (下)

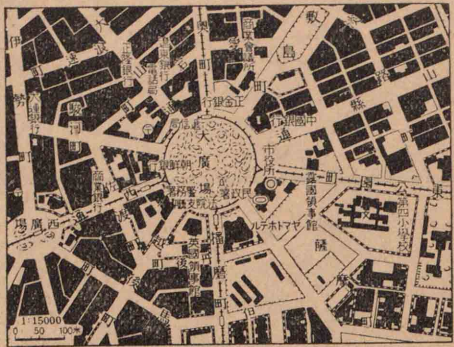
輸入品は金屬、建築材料、鋼、小麥粉、車輛部分品、綿織物、發動機、機械等で、取引は内地が主である。豆粕は肥料として内地へ、豆油は石鹼等の原料として歐米へ輸出される。かく仲繼貿易が主であるから自由港の制が布かれ、大連は實に滿洲國商圏の核心をなしてゐる。

都邑

中心都市は大連、旅順の兩市で、前



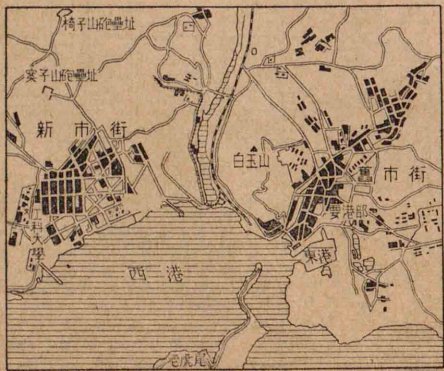
(昭和十二年七月五日旅順要塞司令部許可済)



(昭和十二年七月五日旅順要塞司令部許可済)

- 大連中央廣場 (陸・測) 一萬五千分の一 (上)
- 1 關東州廳
- 2 工科大学
- 旅順市 (下)

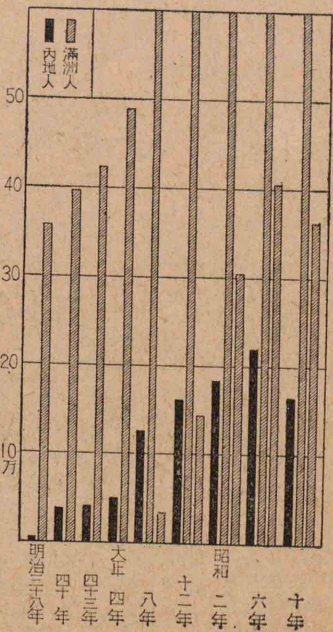
者は、政治的、經濟的、後者は軍事的、學術的中心をなしてゐる。大連市は大連灣に臨む大港市で、一八九九年露國經營直前は戸口僅かに五〇餘の一漁村に過ぎなかつたが、我が國の繼承以來著しい發展を見、現に人口三七萬、内地人約一三萬等に規模整然たるものがあり、就中大廣場を都心として十條の大路が放射されてゐる。大連の對岸にある甘井子は石炭専用積出港で、又工業が興りつゝある。旅順市は港は東西二港に、市街は新舊二區に分れ、東港は水深くして海軍要港として用ひられ、これに接する舊市街は商業區をなし、西港は水浅くして戎克のための開港場に指定され、陸上の新市街には、學校住宅地域等がある。旅順市



(昭和十二年七月五日旅順要塞司令部許可済)

●關東州の人口増加表

關東州(租借地)は港口は勿論、周圍は爾靈山(三〇三高地)等の丘陵を繞らして、天然の要害をなし、日露の役に我が軍の苦戦した所である。金州も南山と共に地峽部の要地を占め、古戰場として知られ、貔子窩は普蘭店と共に製鹽業の中心である。



住民政治 總人口約一六五萬中、大部分は滿洲人で、内地人は約一六萬、多くは都會地に住む。統治は關東總長(滿洲國駐劄大使)の監督のもとに關東州廳長官これに當り、租借權は日露戰爭の結果、露國から譲り受けたが、最初の契約の二五箇年を改めて一八九八年から九九箇年とした。

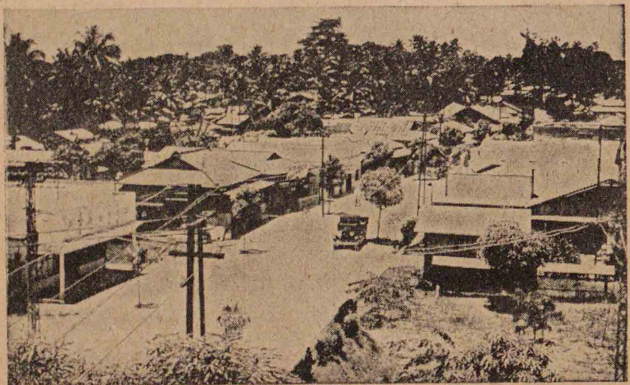
第十二章 南洋群島(委任統治地)

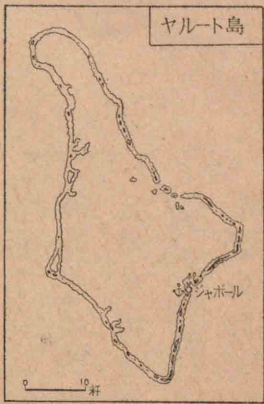
| 行政區劃(六支廳) | 支廳名 | 所在地 |
|-----------|------|------|
| サイパン | サイパン | ガラバ |
| ヤップ | ヤップ | ヤップ |
| パラオ | パラオ | コロ |
| トラック | トラック | 夏島 |
| ポナペ | ポナペ | ポナペ |
| ヤル | ヤル | ヤル |
| ●パラオ島のコロ | | イル市街 |

位置・面積 南洋群島は小笠原諸島以南、赤道までの太平洋に散在する大小無數の島嶼群で、赤道から北緯二二度間に互り、陸地總面積は僅かに二一〇〇餘方軒で、略、東京府の面積と等しいが、南北二千數百軒、東西四千數百軒の廣大な海面を占めてゐる。最大島ポナペも淡路島に及ばないが、大小一千有餘島で、ミクロネシア(小島の意)と總稱する。かくて我が國の領域は赤道から北緯五〇度まで何等隔てるものもなく完全に擴つてゐる。

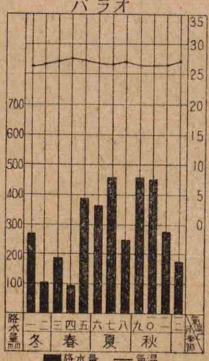
地勢・氣候 諸島の大部は火山島の高島と珊瑚礁の低島から成り、島嶼の配列はマリヤ

南洋群島(委任統治地)





ナ群島、ヤップ島、パラオ諸島等は小笠原諸島と共にアジヤ大陸を中心とした弧状列島をなし、カロリン群島、マールシャル群島等はオーストラリア大陸に向へる弧状列島をなしてゐる。群島は位置上純熱帯海洋性氣候で、北東貿易風卓越し、所謂常夏の島で、氣温年中變化乏しく三〇度内外であるが、各島の面積狭小で、四面の海風絶えることなく、且つ熱帯特有の驟雨(スコール)が毎日あつて、涼を與へるため氣温の割に凌ぎ易い。



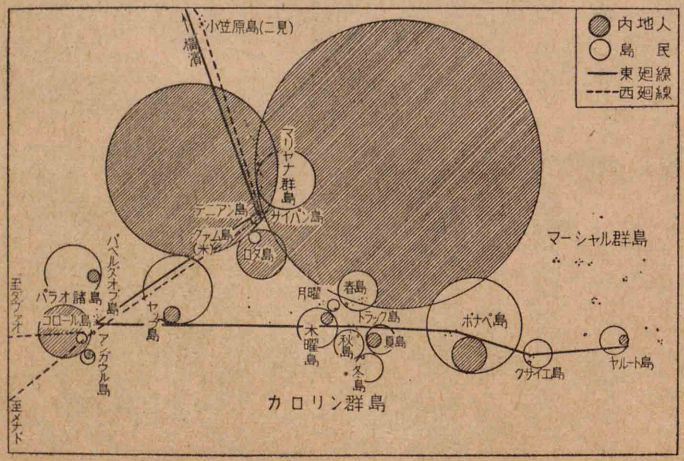
- 1 コブラはココ椰子の實を乾かしたもので油をとり石鹼を製造する
- 2 パラオ諸島附近

産業交通都邑 耕地は多くないが、氣候の關係上甘蔗の栽培が盛となり、従つて製糖業がサイパン、テニアン、兩島に興つた。燐礦とコブラは領有前より知られ、燐礦はアングウル島、コブラは低平な珊瑚礁の著しく發達したマールシャル群島に多く、ジャポールはその集散の中心である。もとから、蝶貝、高瀬貝等も獲れるが、近時鯉鮪の漁業を

- 主要島の人口分布
- 内地人と島民

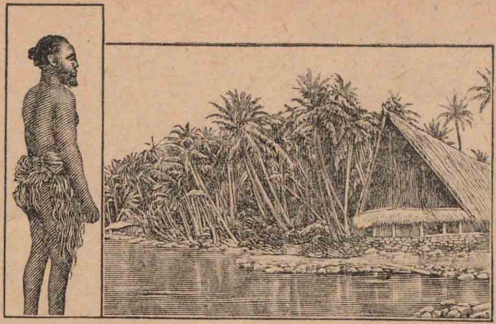
營むものが多くなつた。従つて輸移出品は砂糖、コブラ、燐礦、鯉節貝類等である。内地との連絡は横濱から西廻線、東廻線の定期航路がある。その寄航地の主なものは各諸島の中心地で、マリヤナ群島の中心サイパン島(外にテニアン島、ロタ島)、パラオ諸島の中心コロール島(マラカル港)、カロリン群島の中心トラク島、マールシャル群島の中心ヤルト島のジャポール等がある。多くは波靜かな礁湖を安全な碇泊場としてゐる。

住民政治 人口は少く約一〇萬で、そのうち内地人は約四萬人に達し、全體の約二分の一に及び、沖繩縣人が最も多い。島民はカナカ人及チャモロ人と稱する褐

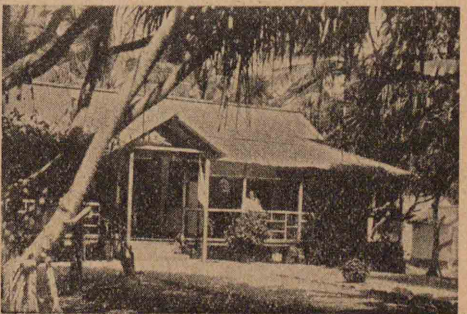


●ヤルト島島民
の新舊住宅
(中・下)

●ヤップ島の景観
と島人 (上)



色の人種で、數多の種族の混血種で、各島その風習を異にしてゐるが、漸次内地化されつゝある。この群島はもとドイツ領であつたが、我が國が世界大戰に参加し、之を占領し、講和條約の結果、國際聯盟から統治を委任され、パラオ島中のコロール島に南洋廳を置いて統治に當つてゐる。陸地面積は小であるが之を含む海上面積が大であるため我が國の太平洋上の地位は著しくこれがために向上した。たゞグム島は既にこの時米領であり、ヤップ島には米國の海底電線の陸揚及無線電信局建設の特權を認めた。



問 題

(一) 關東州と我が内地との地形氣候を比較せよ
(二) 關東州の地理的價値を説述せよ

(三) 南洋群島の地理的價値を説述せよ

第二編 總說

第一章 地勢

山脈と火山脈 東北日本の山系は樺太の樺太山脈から蝦夷山脈を経て關東山塊に連続し、これ等と雁行して北上阿武隈の兩山地があり、更にその西に渡島半島から奥羽中央分水山地並に出羽丘陵に連續する山地がある。かく縦列の山地が北から南に並び走つて北彎山系を成し、東北の日本の地體を構成してゐて、津輕海峽宗谷海峽の空隙があるけれども、明かにその間に山脈の連關を認めることができる。

西南の日本の山系は臺灣山脈から琉球列島及九州四國紀伊の諸山脈を経て、赤石山脈に連絡して外帶をなし、これ等と並んで筑紫山塊から中國高原を経て飛驒山脈に達する内帶があり、これ等内外兩帶は合して南彎山系と稱へ、西南の日本の地體を構成し、その間に豊後水道紀伊水道伊勢海瀨戸内海下關海峽等の陥没があるが、こゝにも明かに相互の地體の聯絡を見出すことができる。朝鮮の大白山脈は別な系統に屬してゐる。

以上の山地の弱所に沿うて火山が噴出し、略一定の方向に配列してゐるものが多い。東北の日本に於ける那須火山脈は奥羽と北海道に跨り、烏海火山脈は那須火山脈に並行し、本州中部から奥羽を経て北海道に及んでゐる。千島火山脈はこれと直角に交つて、北海道本島から延びて千島となつてゐる。西南の日本に於ては中國高原の軸に並行して白山火山脈が中部地方から山陰地方を経て北九州に及び、阿蘇火山脈は瀨戸内から中九州及肥前半島に延びてゐる。霧島火山脈は南九州から琉球列島を経て臺灣に連續してゐる。富士火山脈は獨りその中央にあつて本州島の中央を横斷し、更に太平洋中に伊豆諸島小笠原諸島となつてゐる。

▲主な山の名を擧げよ

▲主な火山の名を擧げよ

▲主な温泉の名を
挙げよ

▲知つてゐる地震
地を挙げよ

かく南彎北彎兩山系と富士火山脈との接合點は本州島の最も幅
廣く且つ高峻な中央の日本の地域を構成してゐるのである。日本
アルプスと稱する三千米内外の高山性の地域も内地第一の高峰で
山容秀麗無比なる富士山もそこに聳えてゐる。

温泉も亦多くはこれ等の火山脈に従屬して湧出してゐる。火山
地帯としては世界で有名な地域の一つであるが、地震に於ても世界
の地震地帯としてはその核心の一つである。

水系 列島の大分水界は略、列島の方向に沿うて走つてゐて、太平
洋斜面と縁海斜面とに分れ、その中間に瀬戸内斜面がある。縁海斜
面は更に日本海斜面オホーツク海斜面東支那海斜面黄海斜面臺灣
海峡斜面等に分つことができる。縦谷と横谷とを兼ねて流れるも
のには比較的長流がある。一般に急流であるのは山地が多いから
である。

湖沼

琵琶湖の如き陥没によるものもあれば、蘆湖洞爺湖猪苗代

湖中禪寺湖等の如く直接間接に火山に原因するものもあり、霞浦八
郎潟の如く海岸の低地に湛へられたものもある。

平野

中央の日本の四周にある關東平野濃尾平野越後平野等は
長流利根川木曾川信濃川等の新舊の堆積地であり、大阪平野筑紫平
野石狩平野臺灣平野湖南平野等は淀川筑後川石狩川濁水溪錦江榮
山江等による堆積地である。その他は山間の溪谷及海岸に沿うて
幾多の平野があるが、一般に山がちであるから廣大なものはない。

海岸

瀬戸内海九州の西北部、朝鮮の西南部等の海岸は出入に富
み島も多く、有数の複雑な海岸地域である。東京灣伊勢海等の大き
な灣入もあれば、紀伊水道豊後水道の兩岸の如き小灣入に富むとこ
ろもある。一方又北陸出羽等の海岸の如く平直にして砂丘に富む
海岸もある。

第二章 海洋

海底の地形 黄海東支那海朝鮮海峡臺灣海峡瀬戸内海等は二〇〇米以内の淺海で、太平洋の深海は四〇〇〇米内外である。我が列島はその境に列をなしてゐる山脈の頂が海上に現れたもので、その外側には日本海溝琉球海溝等がある。前者は九四三五米、後者は七四八一米の深さに達し、土地の變動の大きいことを示し、我が列島が眞にアジア大陸の邊縁である事を物語つてゐる。

潮汐 仁川沖有明海は潮汐の干満極めて大であり、北陸海岸裏朝鮮の如きは甚だ小であるといふ變化をあらはすのは位置、海岸の出入、海底の深淺等による。瀬戸内海の鳴門來島下關の三海峡の潮流が急なのは狭い瀬戸から潮汐が出入し内外の水位の差が大となるからである。

海流 暖流である日本海流（二名黒潮）は南から來り、臺灣琉球の近海を経て九州・四國・本州の南を東北上し、犬吠岬附近から日本列島に遠ざかつてゐる。その分流である對馬海流は九州の西北岸に沿う

1 その差一〇米

2 三〇種

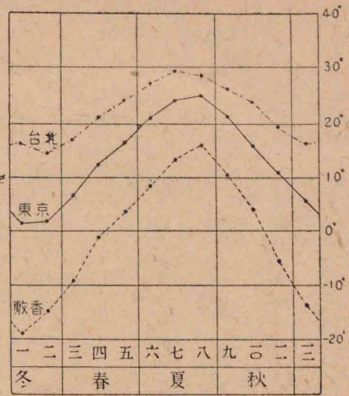
3 一時間二〇杆の速度

て對馬水道を過ぎ、日本海岸を北上し宗谷海峡からオホーツク海に入り北見の海岸に達してゐる。更にその小分流は樺太の西岸及朝鮮の西岸を北上し、又津輕海峡を東流する。

寒流である千島海流（二名親潮）は北から來り、千島列島北海道奥羽の東岸に沿うて南下し黒潮と會してゐる。別に樺太の東岸を南下する樺太海流とシベリヤ沿海州及朝鮮の東岸を南下するリマン海流の二寒流がある。朝鮮津輕宗谷根室等の諸海峡附近に於て濃霧の起るのは寒暖二流が接觸してゐるからである。

第三章 氣候

我が國の大部分は海洋性の温帶の氣候をもつ。南北に細長い列島で、略緯度二九度に互つてゐるから、温帶としても樺太はかなり冷涼であるし、臺灣の南部は熱帶で冬も高温である。然し最も氣候の良い部分が東京から長崎まで東西に細長く横はつてゐることは天



敷香・東京・臺北の氣溫比較

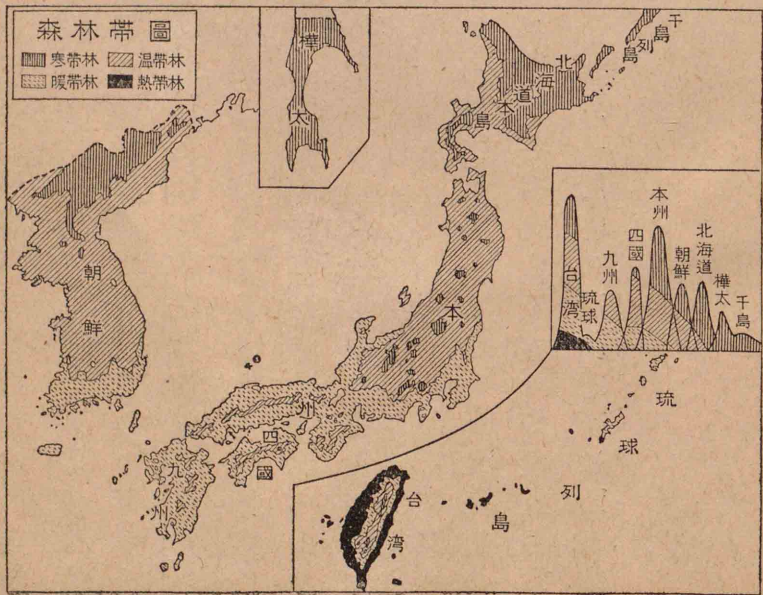
惠である。寒暑の較差は南北に於て著しい相違がある。本州島から樺太島に至るよりも、朝鮮半島に於て北に向ふ較差の増加率が遙かに大であるのは大陸の影響である。風は冬は内地及朝鮮では北又は北西風、臺灣では北東風、夏は内地及朝鮮では偏南風、臺灣では南西風の強く卓越するのはアジヤの東部に於ける季節風の渦巻の方向による。この季節風の交代の初秋の候に颱風が時々襲來して、臺灣琉球を始め西南の日本が害を受ける事が多い。

夏季は内地では表日本に、臺灣では南部に、朝鮮では東部に雨の多いのは卓越風の風上に當るからで、冬季は内地では裏日本に雪が多く、臺灣では北部に雨の多いのは同じくこの季節の卓越風の風上に當るからである。本州・四國・九州の南海岸及臺灣北部は雨最も多く、瀬戸内・中部地方の内陸、北海道・樺太・朝鮮の西北部は雨が少い。一般に降水量は高緯度の地方に至るに従ひ少く、又山地を隔て、卓越風

1 田植を助けることとなる

の風下に當る地方は少い。季節的に見ると梅雨の時には北海道・樺太・臺灣を除いた地方には霖雨が續き、颱風の時には時期は短いが全国的に降水量が多い。

氣候區を大別すると樺太區、北海道東部區、北海道西部區、奥羽東部區、奥羽西部區、東海區、中央高地區、北陸及山陰區、瀬戸内區、北九州區、南海及南九州區、琉球區、臺灣東北部、臺灣西南區、南朝鮮區、北朝鮮區の十六となる。植物の分布は氣候の變化の



多いため多種多様である。臺灣琉球小笠原諸島には熱帯性の榕樹・檳榔樹・ヘゴ・林投樹・蘇鐵・樟・竹類等茂り、バナナ・パイナップル等を産する。九州・四國・本州の西南部、朝鮮南部等には暖帯性の橘・黒松多く、蜜柑・桃・梨・葡萄等の果實を産し、北部には温帯性の榲・赤松多く、苹果を産する。暖温帯を通じて杉・檜がよく繁茂する。北海道樺太及朝鮮北部には寒帯性の蝦夷松・椴松・落葉松・白檜等が多く、臺灣の山地に檜を産し、中部地方の高山に偃松があるのは垂直的の氣候の變化に起因してゐる。

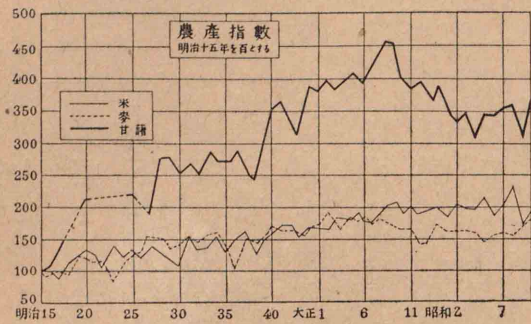
動物は移動性があつて植物の如く變化は著しくないが、北海道の熊、朝鮮の虎、臺灣の水牛、琉球のハブ等は各特色あるもので、魚族も水温によつて自から寒暖の二種に分れ、馬・牛・豚等の有用家畜は到る處に飼養せられてゐる。

第四章 産業

〔農業〕

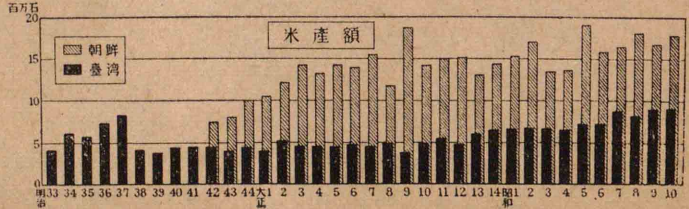
- 水田の分布圖 (一九頁)
- 米の生産分布圖 (一九頁)
- 1 灌溉用の溜池が多い
- 畑の分布圖 (二〇頁)
- 大麥の生産分布圖 (二〇頁)
- 小麥の生産分布圖 (二二頁)
- 大豆の生産分布圖 (二七頁)
- 稈麥の生産分布圖 (九〇頁)
- 甘蔗の生産分布圖 (一五二頁)
- 甘藷の生産分布圖 (二二頁)

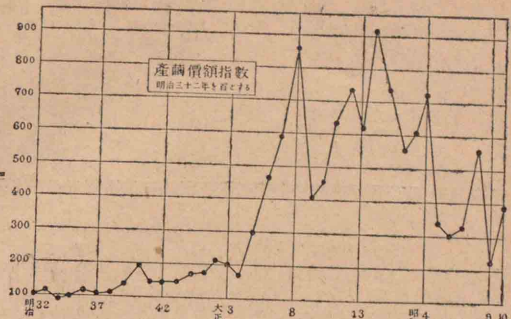
産業



我が國は瑞穂國と稱へ、古來農業を以て立國の本として來たので今も猶これに従事するもの多く、總戸數の六割を占める。農作物中最も主なもののは稻作で、北海道以南は氣温及降水量これに適して到る處米を産し、殊に高知平野及臺灣は年に二回の收穫さへある。

麥は雪の多い裏日本に極めて少く、その他は大麥・稈麥・小麥等を産し、大麥は畑地の多い關東その他に、稈麥は大麥よりも暖地の西南日本及南部朝鮮に、小麥は比較的寡雨地域の關東平野・瀬戸内及筑紫平野に適し、燕麥は北海道樺太・北朝鮮の高地の如き冷涼な地方にのみ産する。大豆は朝鮮と東北日本とに多く、馬鈴薯は東北



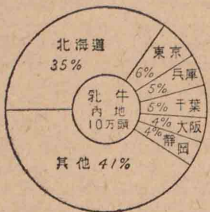
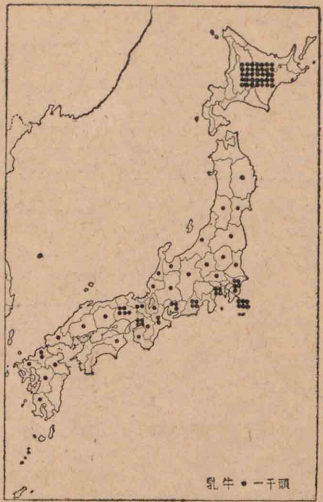


●煎茶の生産分布 圖 (三九頁)

●桑畑の分布圖 (四頁)

●繭の生産分布圖 (四頁)

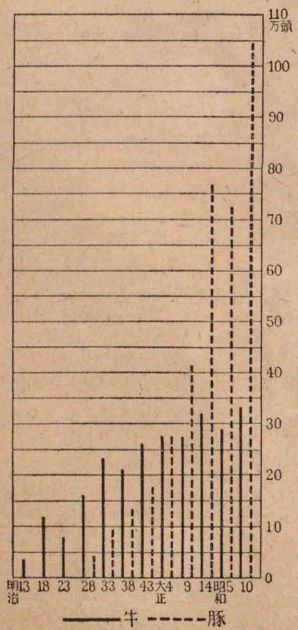
日本に特に適するのに對し、甘藷は關東以西、西南日本、殊に南九州より臺灣に卓越する。野菜は農家の自給のための大根以下各地に栽培されるが、大都市の近郊は特に盛で、促成栽培の傾向も増加した。果樹の栽培は近來著しく盛となり、梅、桃、日本梨、葡萄、柿等殆んど隨所に産するが、苹果、櫻桃、西洋梨は略中央高地より東北日本及朝鮮に限られ、蜜柑、枇杷は東海地方以西に限られ、朝鮮は全く之を見ず、バナナ、パイナップル等は臺灣、小笠原諸島にのみ産する。然し地域が小で人口密度が大であるから、米、麥、大豆の如き主要食料品をはじめ、外國から輸入を仰ぐものが少くない。菜種は西南日本の裏作として栽培され、大麻は栃木縣に、亞麻は北海道に、楮、三極は東海以西に、藺は瀬戸内に、棉は朝鮮に栽培される。煎茶は東海地方、玉露茶は近畿地方、紅茶、烏龍茶、包種茶は臺灣に産出する。その他除蟲菊は北海道、西南日本に、薄荷は北海道及中國に、木蠟は九州に主として産する。桑畑は耕



煉乳、バターも生産され、牛及豚の屠殺數も激増して來たが、牧畜は列強に比べると盛でなく、殊に羊毛は殆んど産しない。

我が國は山地

多く森林面積は總面積の半に達し、風土も適するので、林産は多い。秋田、木曾、吉野、熊野、阿里山の杉、檜、北海道樺太、北朝鮮の

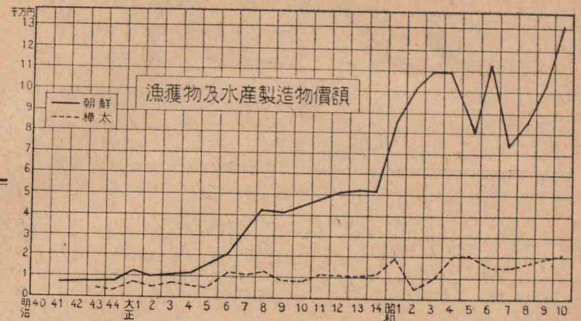


- 成牛の分布圖 (八三頁)
- 馬の分布圖 (二二七頁)
- 豚の分布圖 (二七頁)
- 牛(成牛・犢)及豚屠殺比較表(下) (二七頁)

【林業】

地面積の一〇%を占め、殊に中央日本に多く、養蠶業が盛で、養蠶戸數は農家戸數の三四%に當り、繭の價格は米産額の二二%に及び、我が國の最も特色あり、價值ある産業の一を代表する。

牛は中國と朝鮮、馬は奥羽、北海道と南九州、豚は琉球、臺灣及東京の近縣に多い。近來乳牛増加し、

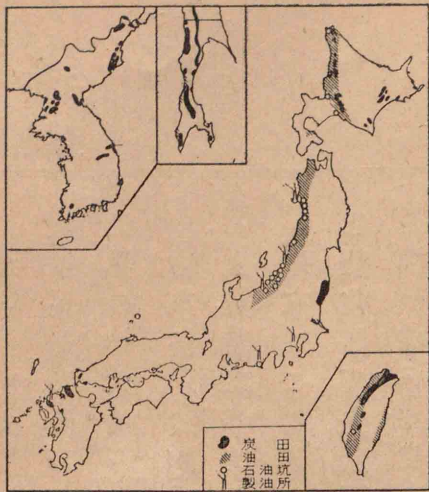


【水産業】
1 鮭は日本海岸では信濃川、太平洋岸では利根川が南の限界である。
鯉の漁獲分布圖 (四〇頁)

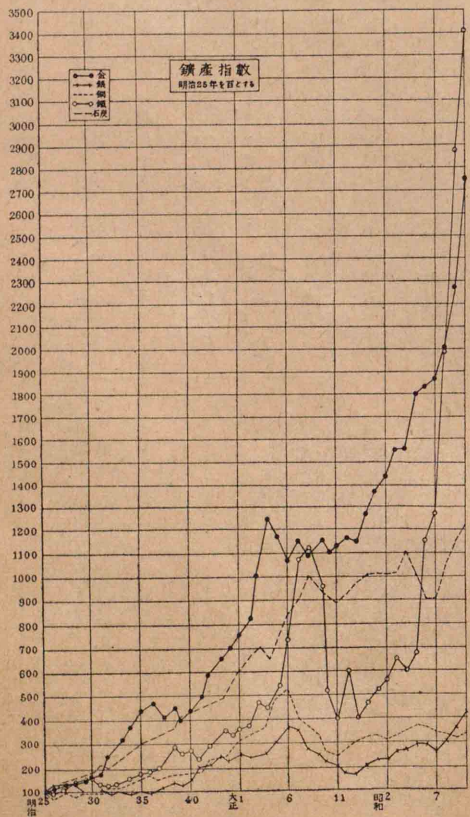
針葉樹は有名で、前者は建築材に、後者は製紙原料として利用されるが、米、材、南洋材の輸入額も多い。西南日本の太平洋岸及臺灣では樟より樟腦を産し、殊に臺灣は世界第一の産額を有し、世界各地に供給する。

東北日本殊に北海道樺太の河海では鯨を主とし、鮭、鱈、鱒、昆布等を漁獲し、中央及西南日本の近海では鯉、鰹、鯛等を漁獲する。それ等は各地に於て鹽、鮭、鱒、棒鱈、身缺、鯨、鰹、節煮、乾鰹及諸種の罐詰に製造される。近時石油發動機船により本土の漁港から遠くカムチャッカ、シベリヤ沿海州、朝鮮、小笠原列島、南洋諸島、オーストラリア、印度等の近海まで出漁するに至り、漁獲物が激増した。鰻、鯉、牡蠣及眞珠貝の養殖もそれらの環境の支配のもとに行はれる。製鹽は内地では瀬戸内に殆んど独占され、朝鮮、臺灣では天日製鹽が行はれ、臺灣及關東州の輸移入鹽が不足を補つてゐる。四面海を環らし且つ寒暖二流に洗はれる我が國は水

【鑛業】
1 常磐炭田、樺太、臺灣にも産する
● 石炭及石油産出關係地域 (上)
● 鑛産の増加表 (下)

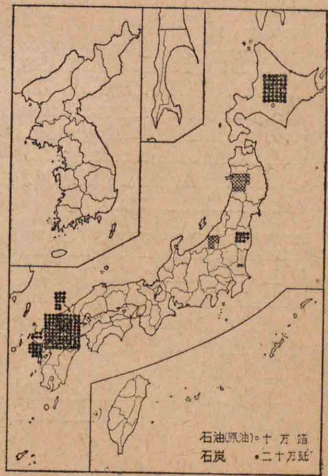
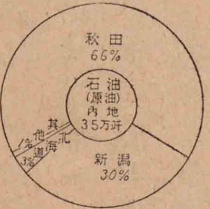
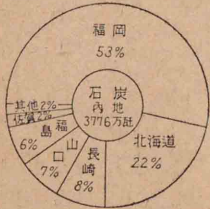
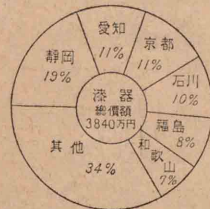
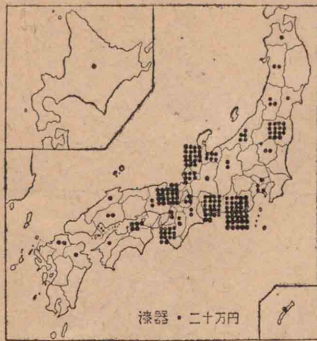


産物に富み、世界三大漁場の一に數へられ、世界第一の水産國である。北九州及北海道の石炭は鑛産中最も有用なるもので、石炭の産額は我が國鑛産額の五七%を占める。無煙炭は平壤、大嶺等を主産地とする。鐵は朝鮮を主とし、釜石にも産するが、他國に比し遙かに少く、多くは海峽植民地及支那から輸入する。石油は日本海沿岸の秋田、新潟兩縣に産し、樺太及臺灣は今少しが、將來有望視される。金



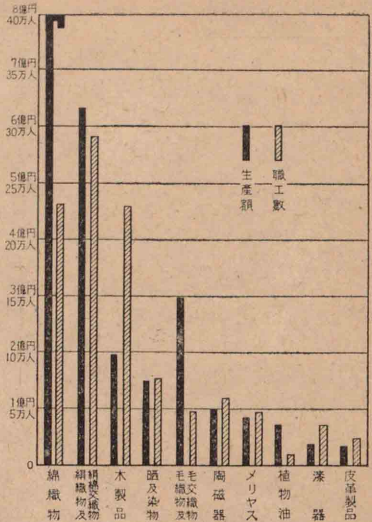
●金・銀の生産分
布圖(一〇五頁)
●銅の生産分
布圖(二四頁)

●工業
●絹織物の生産分
布圖(一五頁)



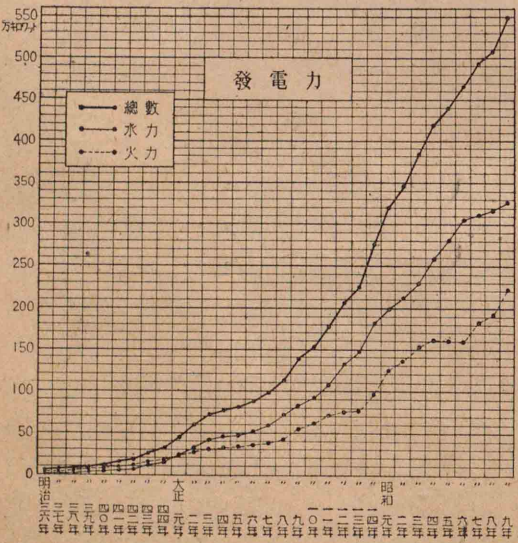
は北海道・南九州・朝鮮・臺灣等に産する。銅は足尾・別子・日立・佐賀・關小坂等に産し、世界の第六位を占める産出國である。古來各地の陶磁器・漆器及絹織物類の如き美術工藝は小規模の工業であつたが、近來はこれ等も動力を利用した工場と變化して生産額を増した。綿絲紡績の如きは原料の棉花を全く外國に仰いで偉大なる生産額に達した。紡績業は世界に於けると等しく、我が國に於ても工業の首位を占めるが、その産額は米國に次ぎ世界第二位を占め、綿製品輸出國として世界第一位に進み、紡績業の本場の英國を遙かに凌ぐに至つた、人造絹絲の産出は

最近急激の躍進を見、世界の首位を占むる米國と並ぶに至つた。生絲の産出は長野縣を中心とし、養蠶業の盛な中央日本に於て多量に生産され、世界の首位で、その八割を占めてゐる。樺太・北海道の製紙業、臺灣の製糖業の如き原料生産地に發生した工業もあるが、我が國の四大



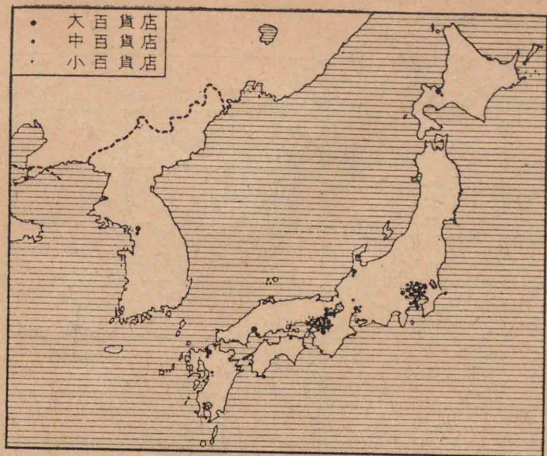
●工業物の生産額
と職工數
●生絲の生産分
布圖(四六頁)
●絹織物の生産分
布圖(二四頁)
●絹織物の生産分
布圖(一五頁)
●絹織物の生産分
布圖(一〇五頁)
●銅の生産分
布圖(二四頁)
●金・銀の生産分
布圖(一〇五頁)

工業地帯は京濱・阪神・名古屋・北九州の都市に核心を有し、各種の近代式製造工業が行はれる。過去に於ては石炭の供給がこれ等の勃興を助けて來たが、今後は水力電氣の利用が偉大なる結果を齎らすことを豫想される。現在



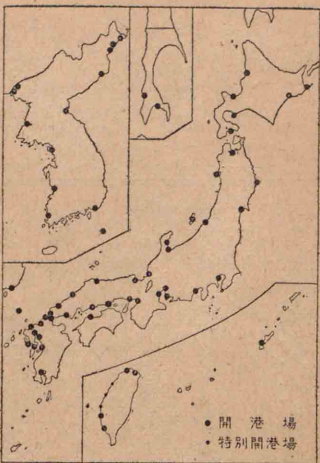
1 發電總量に於ては米・獨に次ぎ、水力のみに於ては米國・カナダに次ぐ。

【内國商業】



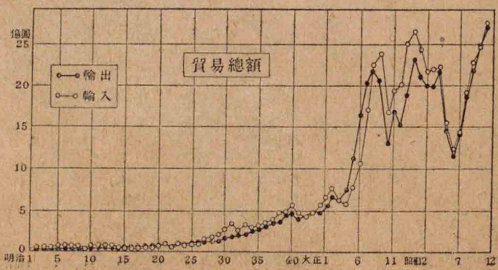
世界第三位の電力國である。勞力の供給の豊富なもの亦一の強味である。我が國の産業を種類別に概観するに職業別人口の比率からすれば、農業者二二%、工業者九%で、兩者共に卓越し、生産額からすれば工産額最大で、農産額はその三分の一に充たない。英米獨の如き工業國には未だ懸隔が多いが、農業國の域を脱して工業國に進展しつつある過渡時代と見るべきである。

内國商業は古來大阪が一大中心であつたが、近時は東京も盛となつて今では兩者が全國の二大中心である。東京の商圏は東北日本で、大阪の商圏は西南日本である。然るに最近名古屋の勃興はこの二大商圏に商圏を擴げるつゝある。横濱は東京の外港で、神戸は大阪の外港ともいふべく、工業地帯も各連續する状態で、東京と大阪といふよりも京濱と阪神といふ方が事實に近い。

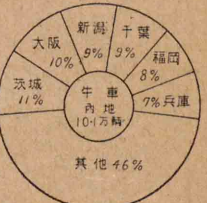
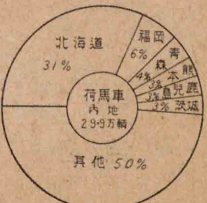
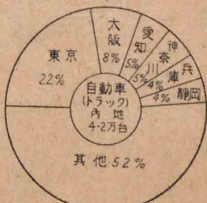
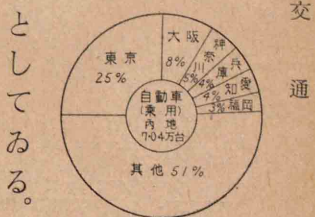
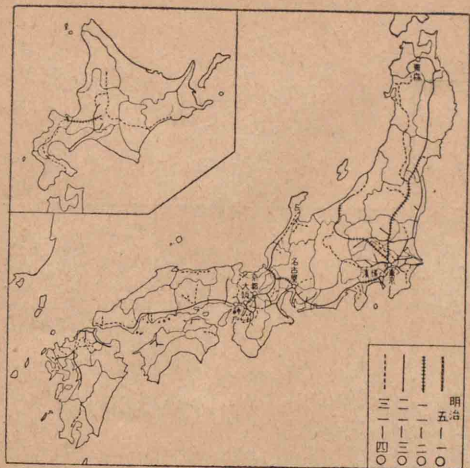


【外國貿易】

貿易港は内地に四三、外地に一八、その外支那に限る特別開港場三、總計六四港ある。うち神戸・横濱・大阪三港が貿易額の八割餘を占め、これに次ぐものは名古屋・門司・若松・四日市・函館・清水である。横濱は生絲の輸出が多く、神戸は棉花の輸入が多いが、輸出入總額は神戸は横濱の約一倍半で、大阪は略、横濱に等しく、阪神二港の取引を合すると横濱の二倍半に達する。而して横濱は東北日本を後背地とし、神戸・大阪は西南日本を後背地として相對立してゐる。近年の貿易總額は約五五億圓で、常に輸入超過である。輸出品は綿織物を第一とし、生絲・人絹織物・機械類・鐵罐・燻詰食料品・絹織物・メリヤス製品・毛織物・陶磁器・鐵製品等これに次ぎ、原料用製品及精製品多く、輸出先は北米合衆國は二二%、關東州は一



●鐵道發達の變遷

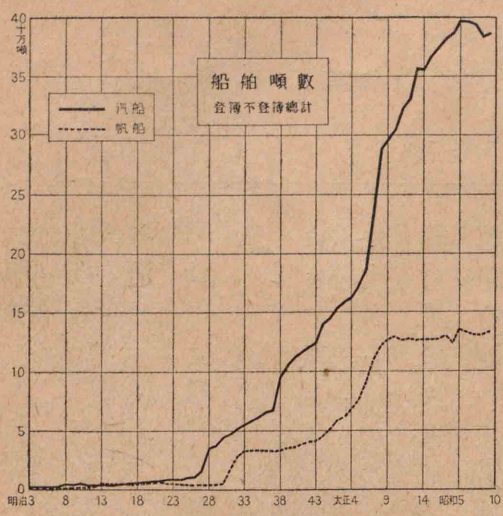


然し自動車一臺に對する人口は我が内地では六一六人であるのに比し、米國は五人、英國は二三人で、未だ發達の餘地は大である。

鐵道

明治五年東京横濱間の鐵道開通以來順次増加して、今は内地總延長二四〇〇〇〇〇〇軒に達し、臺灣には三四〇〇〇軒、朝鮮には四七〇〇〇軒ある。面積に對する鐵道の延長は米國にやゝ優り、英國の約二分の一で、人口當りの鐵道延長は米國の十分の一、獨國の三分の一、英國の二分の一、佛國の五分の一で、列強に比し尙遜色がある。幹線は東海道線を中軸として、西に山陽線、東

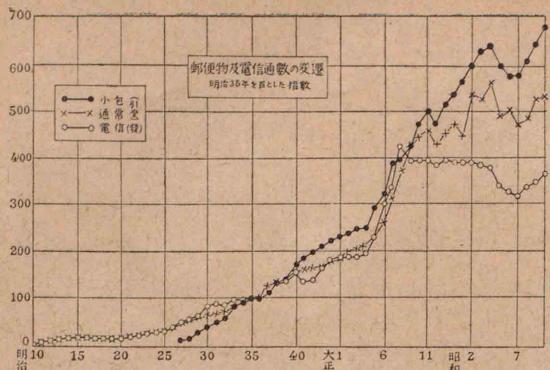
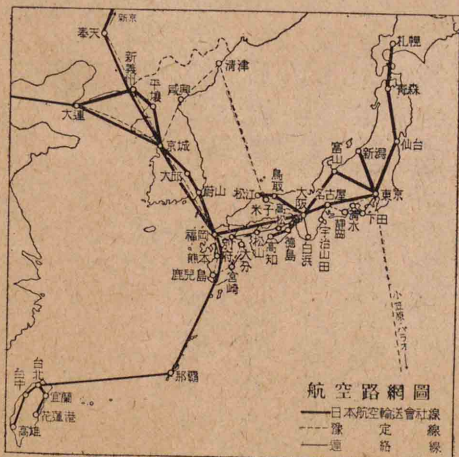
輕鐵及貨物線等は筑豊炭田・臺灣の糖業地に多い



北に東北線がある。西は更に關門連絡船により鹿兒島線と連絡し、關釜連絡船によつて京釜、京義兩線と連絡してゐる。北は青函連絡船によつて函館線及宗谷線、その北は稚泊連絡船によつて樺太の諸鐵道に達してゐる。南は門司、基隆間の汽船によつて臺灣縱貫鐵道と連絡してゐる。かく北は樺太から南は鹿兒島又は高雄、西北は新

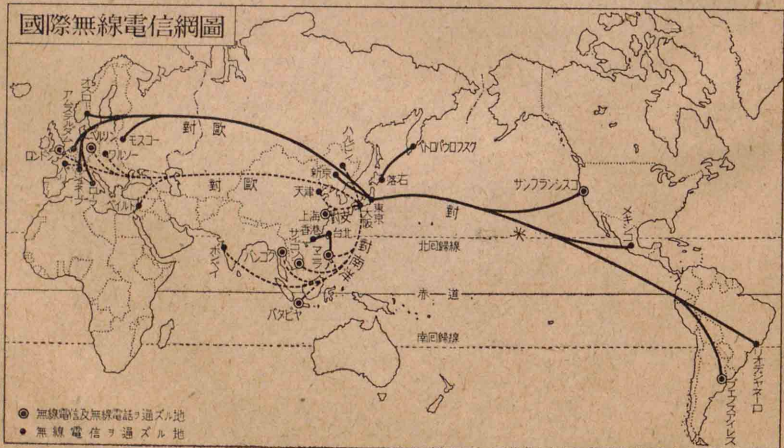
義州まで縦貫することが出来る。この縦貫線の補助線としては常磐線、羽越線、上越線、信越線、北陸線、中央線、山陰線、日豊線、京元線、湖南線等があり、根室線、長崎線等もある。横斷線及横斷線を兼ねたものも亦漸くその數を増さんとしてゐる。大都市の近郊の電車交通網は近來又急速の發達をなし、京濱、阪神、名古屋地方の如き殊に然りである。最近の進歩は特急、超特急等の高速度列車の運轉と省線の電化の増加とである。

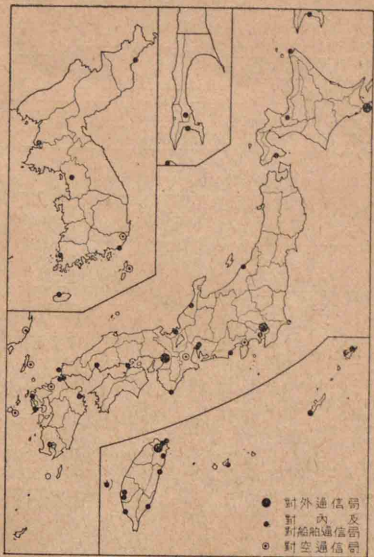
航路 我が國は海國であるから沿岸に汽船帆船の航路を見ない所はない。日本列島相互の連絡は何れも航路による外なく、沿岸に鐵道の發達の乏しい地方は勿論航路が今尙大切な交通機關であるが、沿岸に鐵道の敷設されてある地方でも貨物は船舶によるものが多い。明治以後に於ける我が船舶噸數の増加を見ると進歩の著しいものがある。我が噸數は世界の第三位であるが、第一二位の英米に比べると可なり差がある。日本郵船會社、大阪商船會社は世界各大陸に航路を開いて列國の船舶と伍して活動する。旅客船は大型で快速力を持つ優秀船の競争時代の觀がある。航路網の最も密な所は瀬戸内海で、内外船の外國航路は、横濱、神戸、門司の三港を通過してゐる。河は水量はあるが



急流が多いため、河運は英米獨佛に比べるといふに足らず、運河に至つては殆んど見るべきものがない。湖も亦琵琶湖、霞浦などに於ける航路がその主なものに過ぎない。

航空路 歐米には比較にならないが、我が國としては東京、大連間、東京、新京間、東京、天津間、東京、臺灣間、東京、札幌間に定期航空路があり、利用されることは一時代を劃したものと云はなければならぬ。地形、氣候的に不利な我が國は、歐米に比し著しい遜





色をもつことは止むを得ない。

通信

郵便電信の制度は外國に比して遜色
 が無く發達し、内地は勿論各國に通信すること
 ができる。電信は一局所當りの面積は英國の
 約一八方籽に對し、我が國は四四方籽であるが、
 電報通數より見れば餘り差がなく、人口一〇人
 に對する一箇年の電報利用數は約九通である。
 海底電線は島と島との間、我が國と外國との間を連絡してゐて、中
 も米國の太平洋橫斷線に接續する内地、小笠原線、支那と連絡する長
 崎・上海線、滿鮮に連絡する福岡・釜山線は最も著しいものである。近
 時無線電信、電話通信網も次第に密となり、對米通信及對歐通信の一
 部は東京局、對歐通信の一部及對南洋通信は大阪局にて取扱ひ、航海
 中の船舶との通信及内地相互の通信のため諸局ができ、各通信勢力
 圏を定め空隙のないことを期してゐる。電話も利用増進し、同一區

域内は勿論、加入區域通話も普及し、内地に於ては人口約六二人に對
 して加入者一の割合で、これは列強に比して普及が遅れてゐる。ラ
 チオも最近發達し、主要都市に放送局が設置された。

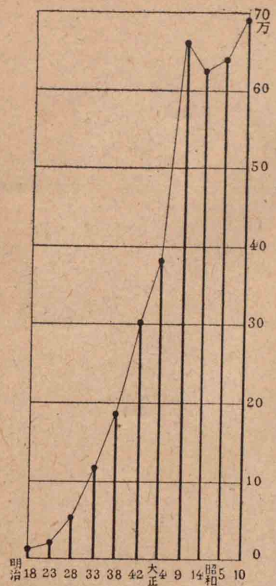
第六章 住民

民族

中央部の本土には優勢なる大和民族が占居し、北には日本
 列島の先住民民族であるアイヌ族が殘留し、オロコ族及ニクブン族は
 樺太の北部に居て、大陸から來た民族との接觸を示してゐる。南方
 の臺灣には夙に渡來した先住民民族のマライ族が山中に殘留し、後に
 對岸の南支那より渡來した數多の漢族は平野に居て、支那民族との
 接觸を示してゐる。西北の朝鮮半島には朝鮮族がある。我が國民
 は忠君愛國の念強く、アジアに於ける最優秀の人種で、東洋及西洋の
 文化の各長所を採り、新文化を建設し、各種の點に於て歐米の人種と
 對立してゐる。

1 全國一方籽の密度一四五人

● 在外内地人數増加

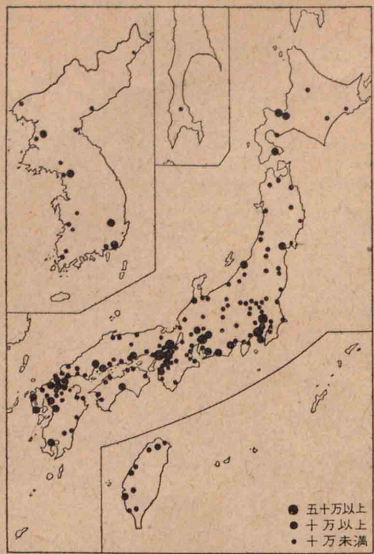
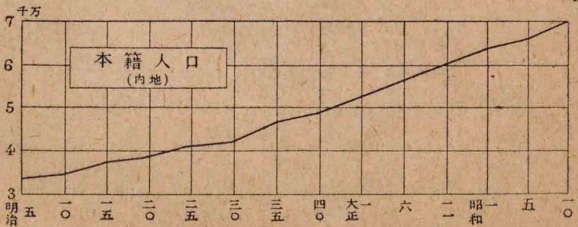


人口 人口の總數は九七〇〇萬人を超え、そのうち内地に約六七〇〇萬、年々の増加は著しく、過去五年間に七〇〇萬を超え(内地四八〇萬、内地の一方籽の人口密度は一八一人で、世界の第四位を占め、ベルギーの二七三人、オランダの二四〇人、英國の一九〇人に次いで密である。最も密な地方は關東平野、東海地方、近畿中央諸盆地、瀬戸内、北九州等で、疎な地方は樺太、北海道、北朝鮮及その他の山地の如きである。府縣別に見た一方籽の密度は東京の二九七〇人、大阪の二三六九人、神奈川の七八二人、愛知の五六三人、福岡の五五八人等が稠密地域で、岩手の六九人、秋田の八九人、青森の一〇〇人等は稀疎地域で、前者は工業地域を多く含み、後者は殆んど農業地域である。北海道は岩手縣より少く、僅かに三五人に過ぎない。外地に於ては臺灣は一四五人、朝鮮は一〇四人、樺太は九人で、何れも内地の一八一人よりも小である。人口増

加率は内地は毎年平均一〇〇〇人に對し約一四人で、米國とは略等しく、英國の五人に比すれば遙かに大である。外地の總人口は二九〇〇萬、そのうち内地人は約一五〇萬で、未だ少く約五分に當る。内地人の海外に在留するものは約七〇萬人で、滿洲國、ブラジル、ハワイ、北米合衆國等に多い。

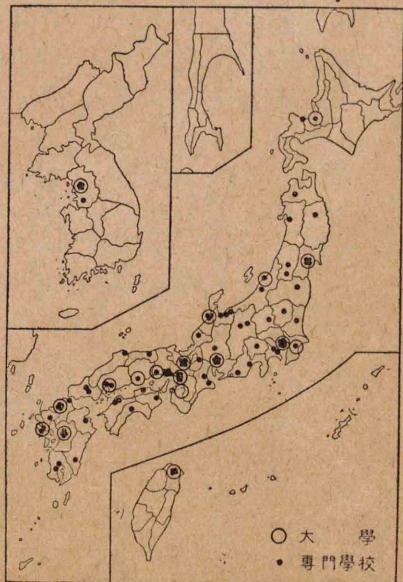
人口密度の大なる地方には都市多く、都市の人口も亦大で、北九州の如きは最も多くの密集する地域の一である。

市部が郡部に比し人口の増加率が約二倍であることは、人口の都市集中の傾向を物語るものである。一〇萬以上の都市數は、英國に比すれば我が國は未だ二分の一に過ぎない。



● 市の分布

●全國專門學校以上諸學校の分布

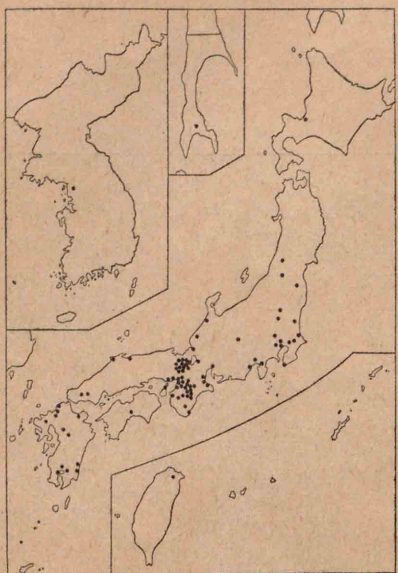


教育 小學校は全國到る處にあり、一市町村に平均二校に當り、六年の義務教育制を勵行してゐるが、不就學兒童は僅かに一〇〇〇分の四に過ぎないといふ世界第一位の好成績を示してゐる。中等學校も亦極めて多く、二七〇〇校に達し、中學校、女學校の生徒數は各三五萬内外で、中學生は歐洲大戰前の二倍、女學生は五倍に激増した。專門學校及高等學校も近年増設され、地方の主要都市はその一を有する程に全國に均霑し、專門學校の種類は、その各都市の環境に適應したものが多く選ばれてゐる。二科以上の大學をもつ都市は、東京、京都の外、大阪、福岡、仙臺、札幌、臺北、京城等である。東京を中心として全國に初等、中等及高等の教育網が張られて、次の時代の國民の養成に努めてゐる。

神社と宗教

神社のうち神宮及官幣社は近畿地方に最も多く、寺の主なるものも亦近畿に多い。寺は山中の靈地などにも大寺があるが、基督教の教會の主なるものは大都市に多い。參拜者の多い寺は伊勢神宮を始めとし、關東の淺草觀音と成田不動、中部の善光寺と熱田神宮、豊川稻荷、近畿では京都の東西本願寺をはじめ、主なる社寺と高野山、中國の出雲大社、四國の琴平宮等で、日光東照宮、嚴島神社の如きは遊覽的要素が多い。外地に樺太神社、臺灣神社、朝鮮神宮、大連神社等が各中心地に勸請されて信仰の中心をなしてゐることは注目に値する。佛教は神道基督教に比し、今尙最も多數の信者を持つが、眞宗大谷派は北陸に、曹洞宗(禪宗)は中央高地及奥羽地方に、日蓮宗及天台宗は關東と東海地方に、眞言宗は近畿、四國、南九州に、眞宗本願寺派、淨土宗は中國及北九州に、各地域

●神社の分布
神宮・官幣大社
及別格官幣社



的に宗教上の勢力圏を有する。各外地にはこれ等宗教上の各派が殆んど悉く末寺説教所等を有して、宗教上の開拓に従事する。

第七章 政治

政體

我が國は古來萬世一系の天皇を戴く君主國で、明治になつて憲法發布され、立憲帝國となり、國體の美は世界に比がない。獨立國に乏しいアジアに於ては殊に異彩を放ち、列強としてはアジアを代表する唯一の國で、極東問題、太平洋問題等の喧しい時局に於ては、我が國の任務は一層重きを加へてゐる。イギリス群島が、ヨーロッパ大陸諸國と大西洋とに對して指導者の地位をもち來れる如く、日本列島はアジア大陸と太平洋に對して、地理的に同一の有利な條件を具備してゐる。

天皇は國の元首として統治の大權を統べさせ給ひ、その下に立法、行政、司法の三機關がある。

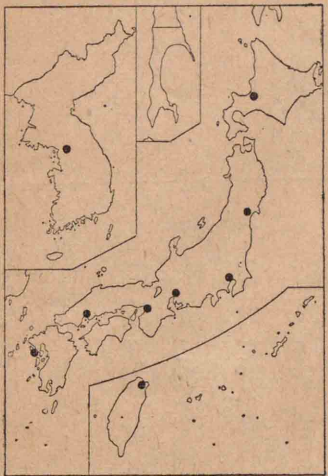
立法部は帝國議會で、貴族院、衆議院から成り、法律案と豫算案とを議する。

行政部は中央政府に内閣があり、外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農林、商工、逓信、鐵道、拓務、厚生の一三省がある。各省大臣は各省長官であつて、又内閣總理大臣と共に内閣を組織し、天皇を輔弼して政務の責に任じてゐる。首府が東京にある關係上、これ等諸官廳は悉く東京に集中設置され、全領土の行政網の總指揮に當つてゐる。地方行政は三府四十三縣、北海道、樺太、臺灣、朝鮮、關東州、南洋群島に分ち知事、長官又は總督をして治めしめる。三大主要都市を含むものを三府として縣と區別し、北海道は内地であるが、開拓は尙淺く、道廳と呼び、府縣に比して廣面積を有してゐる。これ等が内務省に管轄されるに對し、樺太、臺灣、朝鮮、南洋群島等は外地として拓務省の管轄に屬して特別行政を行ふのは、内附、後未だ年數を経ること少く、内地と同一地方行政を布く時期に達してゐないからである。臺灣の五州、朝

鮮の一二道には知事を置き、地方行政に當らしめることは内地の府縣に類似してゐる。外地の臺灣、朝鮮兩總督、關東州廳長官の如きは、内地の府縣知事と異なる特殊の權力を附與されてゐる。

地方の最小單位の行政區劃たる市町村制についても、内地の市に對し、臺灣は同名を用ひるが、朝鮮は府と稱し、内地の町及村に對し、臺灣では街及庄と稱し、朝鮮では邑及面と稱へてゐる。内地は郡制を廢したが、朝鮮では道と邑面との中間に郡が府と共に生ける行政區劃として存在してゐる。かく行政區劃と統治網とに於て、領土の發展と文化の程度とによつて數種の進化的過程の存在することが認められる。

司法部の最上級の大審院は東京に、その下の控訴院は主要都市に、更にその下の地方裁判所、區裁判所はそれ／＼各地に配置して司法網を張つてゐる。樺太以外の外地には獨立した異なる制度があり、名

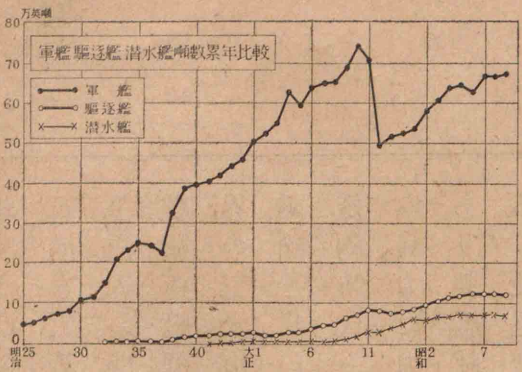


●控訴院及高等法院の分布
1 朝鮮では地方法院・覆審法院・高等法院・臺灣では地方法院・高等法院(覆審部・上告部)

稱を異にするが、各三審制度を實行する法院が各地に配置されてゐる。

兵備

天皇は大元帥で、陸海軍を統べさせられ、全國徴兵の制が布かれて、支那の傭兵、英米の志願兵、露國の徴兵の諸制度に對し最も堅實な制度を有してゐる。陸軍は内地に一四師團を置き、主要地に司令部が置いてある。外に東京には近衛師團、朝鮮には二箇師團、臺灣、關東州には守備隊がある。師團司令部の配置は東京を中心とし、東北では宇都宮、仙臺、弘前、旭川、西南では名古屋、金澤、京都、大阪、姫路、廣島、善通寺、久留米、熊本、朝鮮では龍山、羅南の地を選び、各重要地域と地方を代表する地點とに國防網が張られてある。別に浦賀水道、津輕海峽、紀淡海峽、鳴門海峽、豐豫海峽、下關海峽、對馬海峽、朝鮮海峽、臺灣海峽、奄美大島、小笠原諸島等の如き、東京灣、日本海、瀬戸内、東支那海の關門附近及太平洋上の



要地には各要塞網が完備されてゐる。海軍は横須賀、吳、佐世保の三軍港と大湊、舞鶴、鎮海、馬公、旅順の五要港に根據地を置いて大陸と太平洋との間に介在する海國日本の海外發展と海上防備に當る。軍艦、驅逐艦、潛水艦は著しい増加を來たし、英米に次ぎ世界第三位で、世界の三大海軍國の一であるが、華府會議及ロンドン會議の結果、英米兩國と我が國との主力艦其の他の比率を協定してゐたが、最近は無條約時代となり、我が國としては戰艦及巡洋艦の外、驅逐艦、潛水艦、航空兵力に力を注ぎ、航空母艦も充實し、海上制空權の獲得を期しつゝあり、製艦技能は、國產萬能時代に到達して威力の充實に努めつゝある。最近の進歩の一は航空隊の發達であつて、陸軍では所澤、熊谷、立川、下志津、濱松、各務原、明野、八日市、太刀洗、平壤、會寧、屏東、嘉義の一三飛行場、海軍では大湊、霞浦、横須賀、木更津、館山、舞鶴、吳、横濱、佐伯、鹿屋、大村、佐世保、鎮海の一三飛行場が設けられ、陸軍には航空兵團に屬する飛行團及飛行聯隊と氣球隊、海軍には航空隊があつて、航空母艦、水上機

母艦と共に新軍備として注目されてゐる。

外交

世界の主要國は凡て列強と略等しく、我が國の條約國となり、その數五〇餘國に達し、主要國とは大使若くは公使を交換してゐる。派遣せる國は大使は、ヨーロッパ七、アジア三、北米一、南米一、公使はヨーロッパ一、アジア三、北米三、南米四、アフリカ二の分布状態で、各大陸に於ける列國の國勢と我が國との國際上の特殊な關係とを裏書するものである。要地には又總領事及領事が置かれ、通商及居留民の保護に當り、領事館所在地の密度は、滿洲國、支那本部、露領シベリヤ等に著しく集團する事は、對外經濟關係の緊密なる地域を示すものである。國威の發揚、海外市場の開拓、工業原料の輸入、過剩人口の移住等に就き、大いに國際關係網の進展と充實とを期しつゝある。

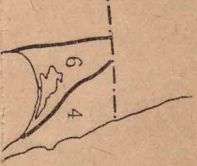
女子中等

日本地理 終

符號類の説明

- 一 ゴチック文字の本文中にあるものは地理區又は地形區名である。
- 一 「●」は地名、鐵道線名等。
- 一 「○」は一定の土地に關係の多い地理的用語。
- 一 「□」は一定の土地に關係の少い一般の地理的用語、即ち地理的術語及地理的の説述に關係の深いその他の用語。
- 一 「陸・測」は陸地測量部發行の帝國圖・地形圖等の意味で、特に縮尺の記入のないものは五萬分の一である。
- 一 欄外の括弧内のゴチックの府縣名は地理區所屬府縣名。
- 一 都邑の人口は昭和十年帝國勢調査の統計による。

日本山



東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

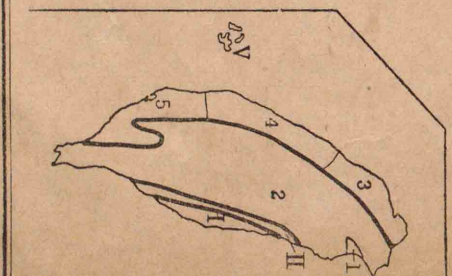
東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I



東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

東部山地 I
中部山地 II
西部山地 III
中央低地 IV
鈴谷山嶺 4.2
知床半島 3.1
中部山地 I

昭和十二年七月五日印刷
昭和十三年一月二十日修正再版印刷
昭和十三年一月二十五日修正再版發行

女子日本地理
定價金壹圓貳拾八錢

新田中女日地

版權所有



著者 田中啓爾

東京市神田區神保町一丁目一番地

株式會社三省堂

代表者 龜井豐治

東京市蒲田區仲六郷一丁目五番地

株式會社三省堂蒲田工場

代表者 喜多見昇

印刷者

發行所

(東京市神田區神保町一丁目五番一)
振替東京三一五五五番

株式會社三省堂

(大阪市西區阿波座下通二ノ六)

株式會社三省堂大阪支店

十二日 歷史・動物

竹内
A
11

3
4

広島大学図書
2000024194

